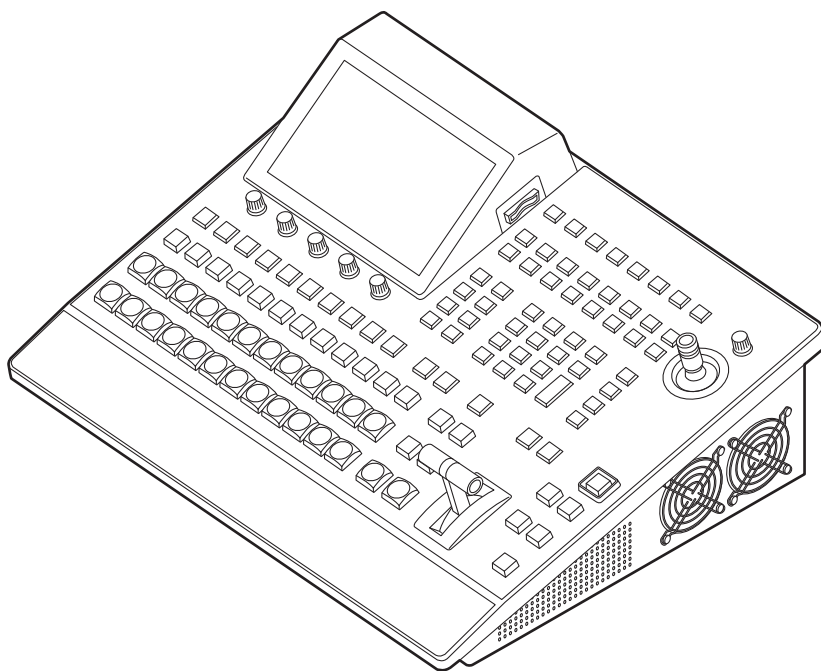


Panasonic[®]

取扱説明書

ライブスイッチャー

品番 **AV-UHS500**



HDMI[™]

**SD[™]
XC**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」(6～8ページ)を必ずお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

● 本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License (GPL) ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードの入手については、下記の Web サイトをご覧ください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

2. 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
3. 本製品には、FreeType Project (www.freetype.org) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

これらの内容については、下記の Web サイトを参照してください。

<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>

原文 (英文) で記載しております。

商標および登録商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Primatte[®] は、株式会社フォトロン[®]の登録商標です。
- Primatte[®] の著作権は、株式会社フォトロン[®]が保有しています。
- Primatte[®] の特許は、株式会社フォトロン[®]が保有しています。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- SDHC メモリーカードまたは SDXC メモリーカードは、いずれも「メモリーカード」と記載しています。それぞれを分けて説明する場合は、個別に記載しています。
- パーソナルコンピュータを「コンピューター」と記載しています。

また本書では、機器の品番を下記のように記載しています。

機器の品番	本書での記載
AV-UHS5M1G	AV-UHS5M1
AV-UHS5M2G	AV-UHS5M2
AV-UHS5M3G	AV-UHS5M3
AV-UHS5M4G	AV-UHS5M4
AV-UHS5M5G	AV-UHS5M5

本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。

もくじ

安全上のご注意（必ずお守りください）.....	6	ワイブの開始位置設定.....	37
はじめに.....	9	ワイブのモディファイ.....	37
概要.....	9	レイテンシーの設定.....	38
定格表示について.....	9	アニメーションワイブの作成.....	39
免責について.....	9	Key（キー）.....	40
ネットワークに関するお願い.....	9	キータイプの選択.....	40
使用上のお願い.....	10	キー素材の選択.....	41
設置上のご注意.....	11	キートランジション.....	42
特長.....	12	キープレビュー.....	44
付属品.....	13	キープレビュー方法の設定.....	45
設置と接続.....	14	ルミナンスキー／リニアキーの調整.....	45
オプションユニットの取り付けかた.....	14	クロマキーの調整.....	46
各部の名前とはたらき.....	16	キーの装飾.....	50
制御パネル部.....	16	キーのマスク.....	51
クロスポイント部.....	17	フライングキー.....	52
メモリー／ワイブパターン／テンキー部.....	19	プライオリティの設定.....	53
ユーザーボタン部.....	20	PinP（ピクチャーインピクチャー）.....	53
トランジション部.....	20	PinP チャンネルと素材の選択.....	53
ディスプレイ部.....	22	Shape の選択.....	53
ポジショナー部.....	24	PinP の調整.....	54
メモリーカード部.....	25	Key PinP と DSK PinP の連動.....	54
背面部.....	26	PinP の装飾.....	55
準備.....	27	トリミングの設定.....	56
電源の入れかたと切りかた.....	27	DSK（ダウンストリームキー）.....	57
メニューの基本操作.....	28	DSK タイプの選択.....	57
メニュー構成と操作.....	28	DSK 素材の選択.....	58
キーボード画面の操作.....	30	DSK のトランジション.....	59
メニューデリゲーション機能.....	30	DSK のプレビュー.....	60
システムフォーマットの設定.....	31	DSK の調整.....	60
日付と時刻の設定.....	31	DSK のマスク.....	61
基本操作.....	32	Key Link.....	62
バックグラウンドトランジション.....	32	FTB（Fade to Black）.....	62
バスの選択.....	32	内蔵カラー信号.....	63
SHIFT 機能によるバスの選択.....	32	カラーバックグラウンドの設定.....	63
バスモードの選択.....	33	Wash の設定.....	64
トランジションモードの選択.....	33	内蔵カラーバー信号.....	64
マニュアルトランジション.....	34	テストトーンの設定.....	64
オートトランジション.....	34	内蔵テストパターン信号.....	65
カットトランジション.....	34	AUX 出力の切り替え.....	66
ワイブ.....	35	AUX 出力素材の選択.....	66
ワイブパターンの選択.....	35	AUX1/2 のトランジション.....	66
ワイブ方向の選択.....	36	AUX1/2 のトランジション有効／無効設定.....	67
ワイブの装飾（ボーダー、ソフト）.....	36	メモリー.....	68
		メモリーの登録.....	69
		メモリーの呼び出し項目.....	69
		メモリーの登録（Store）.....	70
		メモリー動作の呼び出し（Recall）.....	71
		メモリーの削除（Delete）.....	72
		登録対象バスと再生対象バスの選択.....	73

もくじ

エフェクトディゾルブの設定 (ショットメモリー).....	74	タリー表示の設定.....	126
イベントメモリーのタイムライン編集.....	75	素材名の変更 (入力信号).....	127
マクロメモリーの設定.....	80	素材名の変更 (出力信号).....	127
メモリーの管理 (Register).....	83	レベルメーターの設定.....	128
ビデオメモリー.....	84	入力信号マークの設定.....	128
静止画 (Still) を記録する.....	85	マーカの設定.....	128
動画 (Clip) を記録する.....	86	AUX バス、PGM、PVW のアンシラリー設定.....	129
内蔵ストレージへの保存.....	87	AUX バス、PGM、PVW のオーディオ設定.....	130
動画 (Clip) を再生する.....	88	システムの設定.....	131
内蔵ストレージ管理.....	91	システムフォーマットの設定.....	131
Still プレイリスト.....	93	スイッチャーモードの設定.....	131
メモリーカード.....	96	ダイナミックレンジ、色域の設定.....	131
メモリーカードのフォーマット.....	98	クロスポイントの設定.....	132
メモリーカードへの保存.....	98	クロスポイントのアサイン.....	132
メモリーカードからの読み込み.....	99	クロスポイント切り替えの設定.....	133
メモリーカードのファイル削除.....	100	ボタンアサイン.....	134
メモリーカードの情報表示.....	101	ユーザーボタンの設定.....	134
内蔵ストレージ.....	102	日付と時刻の設定.....	135
プロジェクトファイル管理画面.....	102	ネットワークの設定.....	135
内蔵ストレージへのプロジェクトファイルの保存.....	102	内蔵ディスプレイとイルミネーションの設定.....	136
内蔵ストレージからのプロジェクトファイルの読み出し.....	103	ステータス表示.....	137
内蔵ストレージからのプロジェクトファイルの削除.....	103	アラーム状態の表示.....	137
内蔵ストレージに保存されているプロジェクトファイルのファイル名変更.....	104	アラームメッセージ.....	137
波形モニターの設定.....	105	バージョン情報/オプション情報の表示.....	138
入出力信号の設定.....	106	初期化.....	139
入力信号の設定.....	106	設定データの初期化.....	139
排他入力端子の設定.....	108	フェーダーの初期化.....	139
入力信号の色領域の設定.....	108	リモートカメラ連携機能.....	140
入力信号の状態確認.....	109	リモートカメラとの接続設定.....	141
フレームシンクロナイザーの設定.....	109	リモートカメラ接続端子の選択.....	141
遅延量の設定.....	110	IP アドレスの設定.....	141
入力信号のフリーズ.....	110	リモートカメラのポート設定.....	142
素材名の設定.....	111	リモートカメラとの認証設定.....	142
アップコンバーターの設定.....	111	リモートカメラ接続状況の確認.....	142
Color Corrector.....	112	リモートカメラ操作方向の設定.....	143
HDMI 入力信号の設定.....	115	リモートカメラのタリー制御設定.....	143
HDMI 入力信号の情報表示.....	116	制御対象のカメラの選択方法.....	144
出力信号の設定.....	117	カメラコントロール画面での制御.....	145
出力信号のアサイン.....	118	リモートカメラの設定.....	146
SDI 出力の色領域の設定.....	118	リモートカメラの選択と情報確認、電源制御.....	146
HDMI 出力の設定.....	119	リモートカメラの制御速度設定.....	147
ダウンコンバーターの設定 (オプション).....	120	リモートカメラのオンスクリーンメニュー、カラーバー設定.....	147
同期信号の設定.....	121	リモートカメラのレンズ制御設定.....	148
出力信号の位相調整.....	121	リモートカメラの映像調整設定.....	148
マルチビューディスプレイの設定.....	125	リモートカメラのプリセットメモリー再生設定.....	149
画面レイアウトの設定.....	125	リモートカメラの制御無効化.....	149
分割枠と文字の設定.....	126		

もくじ

カメラプリセットメモリー画面での制御	150
プリセットメモリーの保存	152
プリセットメモリーの呼び出し	152
プリセットメモリーの削除	152
プリセットメモリーのページ選択	153
ROI 機能.....	154
ROI モード設定	156
ROI の抽出位置、範囲の調整	157
CAM CONT 画面からの ROI 調整	158
ROI プリセットメモリー	159
外部インターフェース	161
GPI I/O の設定	161
LAN	164
外部パネルの制御	165
準備	165
外部パネルの設定	165
外部パネル接続時の本機の設定	165
バス ID、ソース ID 一覧	166
External Control	171
Macro Trigger	172
ソフトパネル接続設定	175
ローカル PC	175
保証とアフターサービス (よくお読みください)	177
修理を依頼される時	177
外形寸法図	178
定格	179
セッティングメニュー一覧	181
付 録【用語解説】	218
さくいん	221

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

設置業者様向け



- 電源を入れたまま設置や接続工事、配線をしない
(火災や感電の原因となります。)



警告



- 本機の設置や接続工事は販売店に依頼する
(設置や接続工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。)
⇒ 必ず販売店に依頼してください。





異常、故障時には直ちに使用を中止する







電源プラグ
を抜く

- 異常があったときは、電源プラグを抜く
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
(そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)
⇒ 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。
⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源プラグは、根元まで確実に差し込む
(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。)
⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。
- 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる
(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。)
⇒ 半年に一度はプラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。
- 付属品・オプションは、指定の製品を使用する
(本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)

⚠ 警告 (つづき)

	<p>■ 電源コード・プラグが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱機器に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。) ⇒ 電源コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100 V - 240 V 以外での使用はしない (たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。) ⇒ 付属の電源コードは最大定格：AC125 V です。日本国内では 100 V でご使用ください。</p>
	<p>■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。</p>
	<p>■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p>
 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない (感電の原因になります。)</p>
 水場使用 禁止	<p>■ 水場で使用しない (火災や感電の原因になります。)</p>
 ぬれ手 禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない (感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 振動や強い衝撃を与えない (火災や感電の原因となります。)</p>
	<p>■ 開口部 (オプションスロット部など) に手を入れない (けがや感電の原因となります。)</p>
	<p>■ メモリーカード (別売品) やねじは乳幼児の手の届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>

⚠ 注意

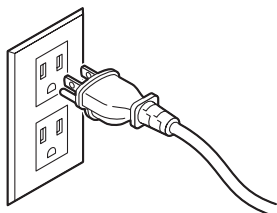
	<p>■ 本機の放熱を妨げない [通風孔やファンは、ふさがない、横倒し、逆さまにしない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ ろうそく等の炎を機器の近くに置かない (火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約 60℃以上)になりますので、外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。) ⇒ 本機を絶対に放置しないでください。</p>
	<p>■ 電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒ 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。</p>
	<p>■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)</p>
 電源プラグを抜く	<p>■ 長期間使用しないときや、点検・整備・修理の前には、電源プラグをコンセントから抜く (火災の原因になります。また、感電の危険があります。)</p>
	<p>■ コードを接続した状態で移動しない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ 1年に1程度程度は、販売店に内部の掃除の相談をする (本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。)</p>
	<p>■ 落としたり、破損させたりしない (本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。) ⇒ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>

本製品（付属品を含む）に表示の記号は以下を示しています。

～ AC (交流)

電源プラグの接地に関するご注意

- 本機に付属されている AC コードは、接地端子を備えた 3 ピンのコンセントに接続してください。



海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付 AC コードを準備してください。

はじめに

■概要

本機は、4K/3G/HD マルチフォーマットに対応した1ME デジタルビデオスイッチャーです。

12G-SDIに対応した4K ライブスイッチャー

AV-UHS500は、ハイエンド大型スイッチャーに迫る基本機能を備え、HD映像制作時と同等の運用性を4K映像制作で可能にします。可搬性に優れた本体一体型ボディにより音楽やスポーツ、エンターテインメントショーなど数々のライブイベントに持ち出して使用可能です。

また、4K/3G/HD マルチフォーマット対応に加え、オプションユニットの増設によりSDIで最大16入力まで拡張することができ、カメラ台数の多いイベントでもスムーズに運用ができます。

多彩な番組演出を可能にするキーヤーはクロマキー 2ch、PinP 2chを含む5キーヤーを装備しています。

さらに、アップ/ダウンコンバート機能、HDR/SDR変換機能、ITU-R BT.2020/BT.709変換機能を搭載し、異なるフォーマットが混在するシーンでも目的に合わせた柔軟な映像出力を選択できます。

放送局はもちろん特設会場や中継車で持ち出し用途に、また大学や企業の講演イベントなどに、様々な用途での使いやすさを追求した4Kライブスイッチャーが、その現場の生きた映像制作に高いパフォーマンスを発揮します。

■定格表示について

本機の名称、品番、電気定格は、背面に表示されています。

■免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- ⑦登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

- ⑧本体やメモリーカードまたはコンピューターに保存された画像データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

■ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用する機能もあります。ネットワークへ接続して使用する際には、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ①本機を経由した情報の漏えいや流出
- ②悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- コンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、必ずすべてのWebブラウザを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- パスワードは第三者が容易に推測できないよう、アルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、特殊記号の少なくとも3つを含め8文字以上で設定する。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 公衆回線を利用した接続はしない。

また、以下の点にもご注意ください。

- 本機と接続する機器は、同一セグメントでの運用を推奨します。セグメントが異なる機器との接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が発生する可能性がありますので、運用開始前に本機と接続対象機器との接続確認を十分に行ってください。
- 本機やケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください。

使用上のお願い

●取り扱いには注意に

落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。また、フェーダーレバーを持って持ち運びや移動はしないでください。故障や事故の原因になります。

●使用温度範囲は、0℃～40℃でお使いください。

0℃を下回る寒いところや、40℃を超える暑いところでは内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

●ケーブルの抜き差しは電源を切って

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

●湿気、ホコリの少ないところで

湿気、ホコリの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますのでさけてください。

●お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いた後、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。

お願い

- ・ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- ・化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

●制作時のご注意

本機の映像切り替え機能や映像効果機能を用いると、細かく点滅する映像や急激に変化する映像を制作することが可能です。

このような映像は、視聴者の身体へ影響を与える可能性がありますので、制作時には、特にご注意ください。

●内蔵ディスプレイ（液晶モニター）について

内蔵ディスプレイに長時間同じ画像を映したままにしておくと、残像（焼き付き）が一時的に発生する場合があります。

この残像は、通常の動画をしばらく表示すると解消されます。

液晶モニターのドットについては、有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。

これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えてものではありません。

温度差が激しい所では、液晶モニターの液晶部につゆがつくことがあります。そのような場合は柔らかい乾いた布でふいてください。

本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

●廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

●消耗品について

冷却ファン：

冷却ファンは消耗品です。

約5年（1日に15時間使用時）を目安に交換してください。

消耗品の交換時期は、使用条件により異なります。

消耗品を交換する場合は、必ず、販売店に依頼してください。

設置上のご注意

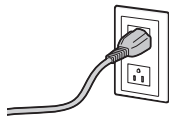
●「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

電源の接続について

- 付属のACコードを必ず使用してください。
- 付属のACコードはアース端子付き3芯プラグです。

接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。

- 背面のグランド端子 (SIGNAL GND) は、システムのグランドに接続してください。
- 長時間使用しないときは、節電のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



取り扱いはていねいに

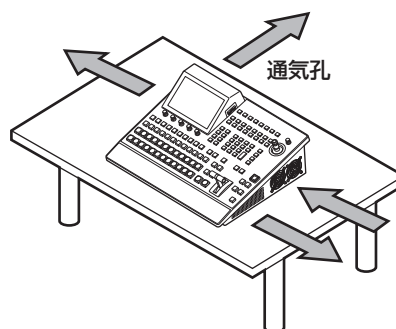
- 落としたり、強い衝撃や振動を与えると、故障や事故の原因になります。

内部に異物を入れないでください。

- 水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

設置場所について

- 十分な強度があり、安定した水平な場所に置いて使用してください。
- 本機の通気孔周辺は、通風の妨げにならないように100 mm以上の空間を確保してください。
特にパネルやテーブルに埋め込んで使用する場合は、通気と配線の空間を十分に確保してください。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください。
- 直射日光の当たるところや温風の吹き出し口付近への設置は避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。



特長

コンパクト設計、豊富な入出力

- コンパクトながら、SDI 入力 8 系統、HDMI2.0 入力 2 系統、SDI 出力 5 系統、HDMI2.0 出力 2 系統を装備しています。
- カット、ミックス、ワイプによるバックグラウンドトランジションに加え、キーヤーはクロマキー 2ch、PinP 2ch を含み 5 キーヤーを装備しています。
- 2 系統のマルチビューディスプレイ機能により、最大 16 系統の映像を 1 台のモニターに分割して表示できます。
- 入出力は標準で 4K/3G/HD-SDI に対応し、すべての入力にフレームシンクロナイザー (FS) を内蔵しています。
- 入出力兼用のオプションスロットを 2 つ備えており、入力用オプションユニット追加で最大 16 入力、出力用オプションユニット追加で最大 13 出力まで拡張することができます。

マルチフォーマット対応

- 下記の信号フォーマットに対応しています。

4K フォーマット：
2160 × 59.94p、2160 × 50p、2160 × 29.97p、 2160 × 25p、2160 × 24p、2160 × 23.98p
2K フォーマット：
1080 × 59.94P、1080 × 50P、1080 × 29.97Psf、 1080 × 25Psf、1080 × 24Psf、1080 × 23.98Psf、 1080 × 59.94i、1080 × 50i、1080 × 29.97p、 1080 × 25p、1080 × 24p、1080 × 23.98p
HD フォーマット：
720 × 59.94P、720 × 50P

- 4K/2K/HD マルチフォーマットに対応しています。
- 12G-SDI/3G-SDI/1.5G-SDI/HDMI の多彩なインターフェイスに対応しています。
- 本体一体型のコンパクトな筐体に 3 基 (内 1 基はソフトウェアアップデートで対応予定) のオプションスロットを装備しています。
- 入力数は、SDI 標準 8 系統 / 最大 16 系統、HDMI 標準 2 系統 / 最大 8 系統まで拡張可能です。
- 出力数は、SDI 標準 5 系統 / 最大 13 系統、HDMI 標準 2 系統 / 最大 8 系統まで拡張可能です。
- 5 つのキーヤーを装備し、豊富な映像効果を実現します。
- アップ / ダウンコンバート機能、HDR/SDR 変換機能、ITU-R BT.2020/BT.709 変換機能を搭載しています。
- AUX BUS を 4 系統装備。AUX1、2 には MIX トランジション機能を装備し、さらに DSK1、2 をアサイン可能です。
- 最大 16 台の当社製 4K/HD インテグレートドカメラを制御するリモートカメラコントローラー機能を搭載しています。
- Primatte[®] アルゴリズムによる高品位クロマキーが可能です。
- ビデオメモリー (静止画と動画それぞれ 2 系統 (ただし 4K モードでは 1 系統)) をキー信号付きで録画や再生が可能です。

- ショットメモリー、イベントメモリー機能を搭載しています。
- SD メモリーカード / SDHC メモリーカード / SDXC メモリーカードに対応しています。
- 7 型カラーディスプレイを内蔵しています。

用途に応じて多彩な機能拡張が可能なオプションユニット

- SDI 入力ユニット AV-UHS5M1
3G もしくは 12G-SDI × 4 入力 フレームシンクロナイザー、アップコンバート、カラーコレクション、SDR/HDR 変換、ITU-R BT.2020/BT.709 変換に対応しています。
- SDI 出力ユニット AV-UHS5M2
3G もしくは 12G-SDI × 4 出力 ダウンコンバート、HDR/SDR 変換、ITU-R BT.2020/BT.709 変換に対応しています。
- HDMI 入力ユニット AV-UHS5M3
HDMI2.0 × 3 入力
各チャンネルにスケーラー機能を搭載しています。
- HDMI 出力ユニット AV-UHS5M4
HDMI2.0 × 3 出力
各チャンネルにスケーラー機能を搭載しています。
- 4K DVE ユニット AV-UHS5M5
4K モード時の DVE 機能を搭載しています。(BKGD × 1、Keyer × 1)

付属品

付属品をご確認ください。

- 電源コードキャップ（付属している場合）および包装材料は、商品を取り出したあと、適切に処理してください。

ACコード..... 1

■ 別売品

オプションユニット

製品品番	名称	機能	対応するスロット	
			SLOT A	SLOT B
AV-UHS5M1	SDI 入力ユニット	3G/12G-SDI 入力 4 系統	○	○
AV-UHS5M2	SDI 出力ユニット	3G/12G-SDI 出力 4 系統	○	○
AV-UHS5M3	HDMI 入力ユニット	HDMI 入力 3 系統	○	○
AV-UHS5M4	HDMI 出力ユニット	HDMI 出力 3 系統	○	○
AV-UHS5M5	4K DVE ユニット	BKGD 出力 1 系統、Keyer 出力 1 系統	○	○

○：有効

設置と接続 (必ず、販売店に依頼してください。)

■ オプションユニットの取り付けかた

詳細は、各オプションユニットの取扱説明書を参照してください。

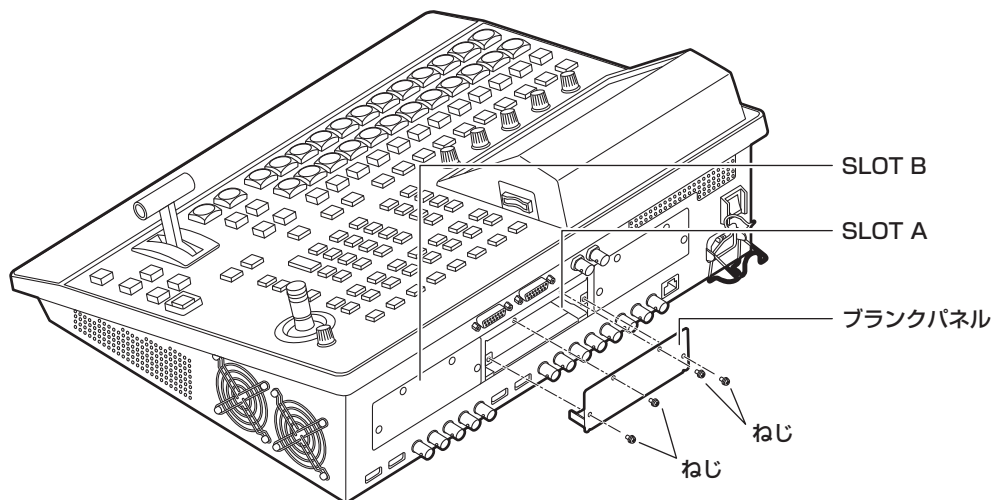
AV-UHS5M1	SLOT A	IN-A1、IN-A2、IN-A3、IN-A4
	SLOT B	IN-B1、IN-B2、IN-B3、IN-B4
AV-UHS5M2	SLOT A	OUT-A1、OUT-A2、OUT-A3、OUT-A4
	SLOT B	OUT-B1、OUT-B2、OUT-B3、OUT-B4
AV-UHS5M3	SLOT A	IN-A1、IN-A2、IN-A3
	SLOT B	IN-B1、IN-B2、IN-B3
AV-UHS5M4	SLOT A	OUT-A1、OUT-A2、OUT-A3
	SLOT B	OUT-B1、OUT-B2、OUT-B3

NOTE

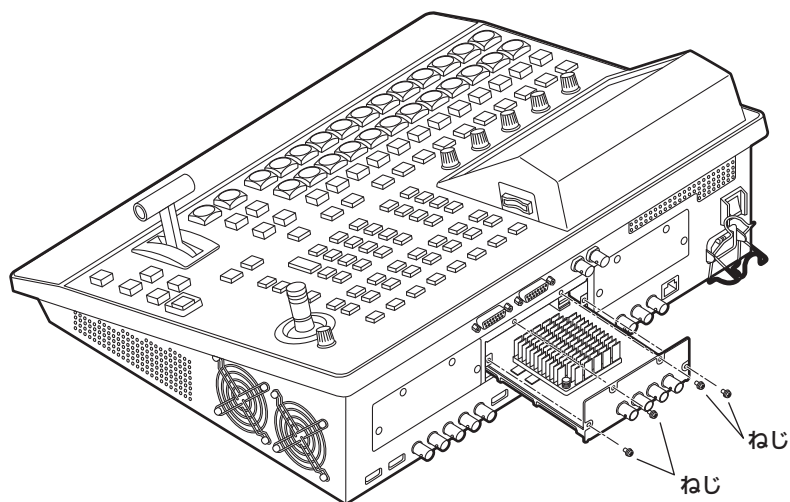
- 取り付け、および取り外し作業は、電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
- オプションユニットに触れる前に、接地した金属に手を触れ、人体に帯電している静電気を「放電」してください。静電気防止のリストストラップを着けると安全です。
帯電している状態でオプションユニットに触れると、故障の原因となります。
- オプションユニットを落としたり、強い衝撃や振動を与えて破損しないようにしてください。
- オプションユニットを取り外した後は、必ずブランクパネルを取り付けてください。
- オプションユニットを取り付けるときや取り外すときに、オプションユニットの縁や金属部などでけがをしないようにご注意ください。

設置と接続 (必ず、販売店に依頼してください。)

- ① 本機の電源を OFF にし、AC コードを抜く。
- ② 背面の SLOT A または SLOT B のねじ 4 本を緩めて、ブラックパネルを外す。



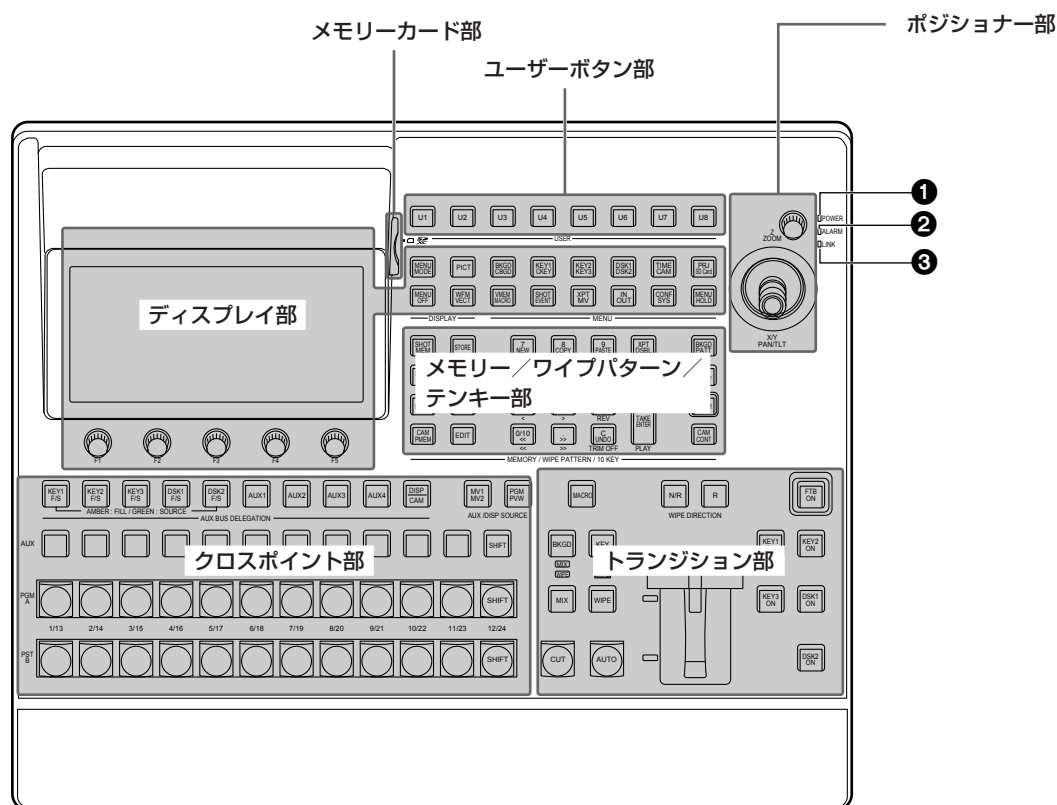
- ③ オプションユニットをガイドレールに沿わせて、ゆっくりと差し込む。
確実に奥まで差し込んでください。このとき無理な力を加えると、内部のコネクターを破損することがありますので、ご注意ください。
- ④ ねじ 4 本でオプションユニットを取り付ける。
締め付けトルク : 0.7 N・m



- ⑤ 必要なケーブルを接続してから、AC コードを差し込んで電源を入れる。

各部の名前とはたらき

制御パネル部



① 電源ランプ [POWER]

AC 電源入力端子 (45) に電源が入力されているときに、背面の電源スイッチ (38) を ON にすると点灯します。

② アラームランプ [ALARM]

下記の異常が発生した時に点灯します。

- ・ 冷却ファン停止
- ・ 電源異常 (電圧降下)
- ・ 本機の内部が高温

このとき、内蔵ディスプレイにアラームメッセージが表示されます。

アラーム発生中は、System メニュー → Alarm サブメニューで、異常の内容を確認することができます。

アラーム情報は、背面の TALLY/GPI 端子 (48) から外部機器に出力することができます。

詳しくは、「アラームメッセージ」を参照してください。

アラームが発生した場合は、すぐに使用を中止し、必ず販売店へご連絡ください。

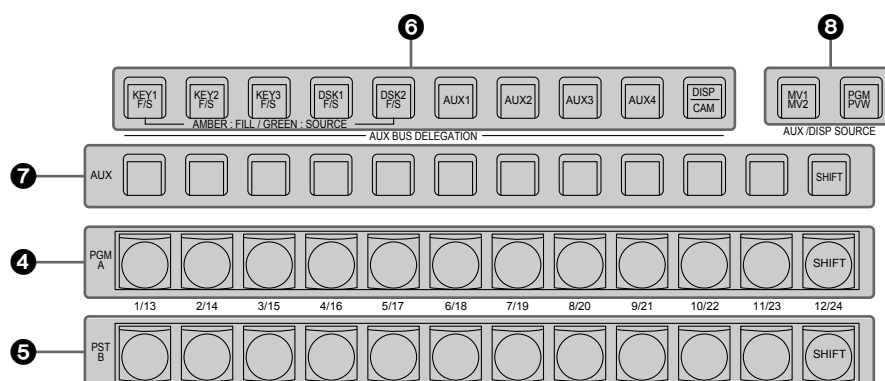
そのまま使用すると、本機が故障する原因となることがあります。

③ LINK ランプ [LINK]

外部機器と本機をリンクしているときに点灯します。TALLY/GPI 入出力端子 (48) にのみ外部機器が接続されている場合は、LINK ランプは点灯しません。外部機器の設定は、外部機器の取扱説明書を参照してください。

各部の名前とはたらき

クロスポイント部



④ PGM/A バスクロスポイントボタン

[PGM/A 1 ~ 12]

PGM/A バスの映像信号を選択します。

[SHIFT] ボタンを使って、1 ~ 24 までを選択することができます。

⇒「SHIFT 機能によるバスの選択」参照

Config メニュー → Operate サブメニューで、Bus Mode 項目を“A/B”、“PGM-A/PST-B”、“PGM-B/PST-A”から選択することができます。

⇒「バスモードの選択」参照

クロスポイントボタン (④、⑤、⑦) を長押ししたときは、入力素材の名称やクロスポイントボタンの番号を表示します。

⑤ PST/B バスクロスポイントボタン

[PST/B 1 ~ 12]

PST/B バスの映像信号を選択します。

[SHIFT] ボタンを使って、1 ~ 24 までを選択することができます。

⇒「SHIFT 機能によるバスの選択」参照

Config メニュー → Operate サブメニューで、Bus Mode 項目を“A/B”、“PGM-A/PST-B”、“PGM-B/PST-A”から選択することができます。

⇒「バスモードの選択」参照

⑥ AUX バス選択ボタン (AUX BUS DELEGATION)

AUX バスクロスポイントボタン (⑦) で操作するバスを選択します。

選択されているボタンが点灯します。

[KEY1 F/S]、[KEY2 F/S]、[KEY3 F/S] :

AUX バスクロスポイントボタン (⑦) をキーフィルバス、またはキーソースバスのソース選択ボタンに切り替えます。

ボタンを押すごとに、キーフィルバスとキーソースバスが切り替わります。

アンバー	キーフィルバス
グリーン	キーソースバス

[DSK1 F/S]、[DSK2 F/S] :

AUX バスクロスポイントボタン (⑦) を DSK フィルバス、または DSK ソースバスのソース選択ボタンに切り替えます。

ボタンを押すごとに DSK フィルバスと DSK ソースバスが切り替わります。

アンバー	DSK フィルバス
グリーン	DSK ソースバス

[AUX1] ~ [AUX4] :

AUX バスクロスポイントボタン (⑦) を AUX バスのソース選択ボタンに切り替えます。

[DISP/CAM] (内蔵ディスプレイ /CAM) :

内蔵ディスプレイ選択時は、AUX クロスポイントボタン (⑦) を DISP バス (内蔵ディスプレイに表示する映像) のソース選択ボタンに切り替えます。

CAM 選択時は AUX クロスポイントボタン (⑦) を CAM ソース選択ボタンに切り替えます。

ボタンを押すごとに内蔵ディスプレイ選択と CAM 選択が切り替わります。

アンバー	内蔵ディスプレイ選択
グリーン	CAM 選択

各部の名前とはたらき

⑦ AUX バスクロスポイントボタン

AUX バス選択ボタン (⑥) で切り替えたバスのソースを選択します。

[SHIFT] ボタンを使って、1 ~ 24 までを選択することができます。

⇒「SHIFT 機能によるバスの選択」参照

⑧ AUX/DISP バス専用クロスポイントボタン (AUX/DISP SOURCE)

AUX バス選択ボタン (⑥) の [AUX1] ~ [AUX4] ボタンが点灯している間は、AUX バスのソースを選択します。

AUX バス選択ボタン (⑥) の [DISP/CAM] ボタンが点灯している間は、DISP バスのソースを選択します。

押されたボタンは、アンバー色に点灯します。

[MV1/MV2] :

AUX バス、または DISP バスにマルチビューディスプレイ信号 1 もしくは 2 を選択します。

マルチビューディスプレイ信号 1/2 は、[SHIFT] ボタン (⑦) で切り替えられます。

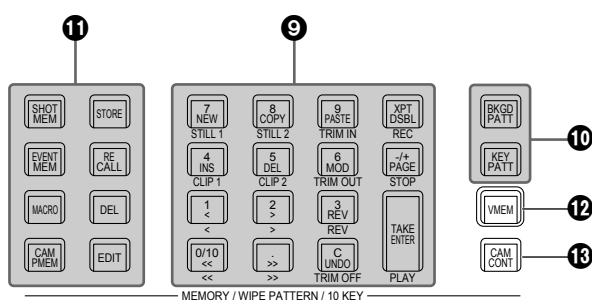
[PGM/PVW] :

AUX バス、または DISP バスに PGM 信号もしくは PVW 信号を選択します。

PGM 信号 /PVW 信号は、[SHIFT] ボタン (⑦) で切り替えられます。

各部の名前とはたらき

メモリー／ワイプパターン／テンキー部



⑨ テンキー

下記ボタンを押して点灯させると、その機能の操作ボタンに切り替わります。

⑩ BKGD/KEY パターン選択ボタン	[BKGD PATT] [KEY PATT]
⑪ メモリー操作ボタン	[SHOT MEM] [EVENT MEM] [MACRO] [CAM PMEM]
⑫ ビデオメモリー操作ボタン	[VMEM]

⑩ BKGD/KEY パターン選択ボタン

[BKGD PATT]、[KEY PATT]

[BKGD PATT] ボタンを押して点灯しているときは、テンキーでバックグラウンドトランジションのワイプパターンを選択します。

[KEY PATT] ボタンを押して点灯しているときは、テンキーでキートランジションのワイプパターンを選択します。

[BKGD PATT] ボタンと [KEY PATT] ボタンが点灯しているときは、内蔵ディスプレイにパターン選択メニューを表示します。

このとき [F1] (33) を回すと、パターンのページが切り替わります。

⇒「ワイプ」参照

⑪ メモリー操作ボタン

[SHOT MEM]、[EVENT MEM]、[MACRO]、[CAM PMEM] :

メモリーの種類を選択します。

テンキー (1 ~ 10) で操作や設定の登録・呼び出しができます。

[CAM PMEM] ボタンは、ROI PMEM 機能と併用しています。

⇒「ROI 機能」参照

[STORE] :

メモリーを登録します。

[RECALL] :

メモリーの呼び出しをします。

[DEL] :

メモリーを削除します。

[EDIT] :

イベントメモリー / マクロメモリーを編集します。

⇒「メモリー」参照

⑫ ビデオメモリー操作ボタン [VMEM]

[VMEM] ボタンを押して点灯しているときは、テンキーでビデオメモリーの録画、再生などの操作ができます。

⇒「ビデオメモリー」参照

[VMEM] ボタンを押して緑色に点灯しているときは、ビデオメモリーの内蔵ストレージ管理を行うことができます。

⑬ カメラ制御ボタン [CAM CONT]

接続されているリモートカメラの制御を行うことができます。

制御にはポジションナー (34)、ディスプレイモードボタン (30) を使用します。

[CAM CONT] ボタンは、ROI 機能の抽出範囲の制御にも使用できます。

⇒「ROI 機能」参照

各部の名前とはたらき

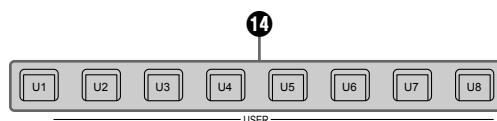
ユーザーボタン部

14 ユーザーボタン (USER BUTTON)

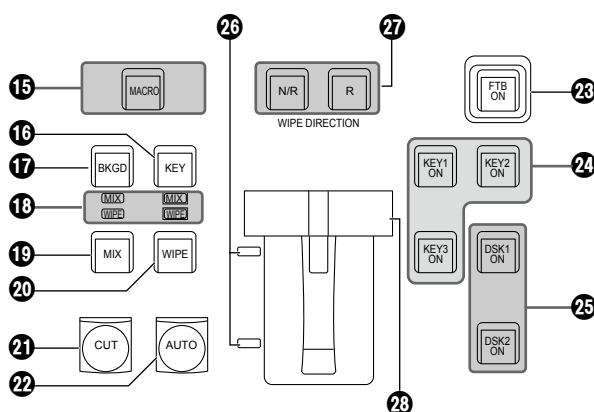
[U1 ~ U8]

Config メニューでメニュー設定の一部の機能を、[U1] ~ [U8] にアサインして使用することができます。

⇒ 「ユーザーボタンの設定」参照



トランジション部



15 [MACRO] ボタン

メニューの Macro Assign にて XPT に設定された Macro メモリーを実行する場合に使用します。
[MACRO] ボタンを選択しアンバー点灯時、メニューの Macro Assign にて Macro メモリーが設定された [AUX] ボタンがグリーン点灯します。
点灯したボタンを選択すると、登録されていた Macro メモリーが実行されます。

16 [KEY] ボタン

[CUT] ボタン (21)、[AUTO] ボタン (22) またはフェーダーレバー (23) の操作を行ったときに、KEY1 のトランジションを行います。
[KEY] ボタンを押して選択されているときは、アンバー色に点灯します。
[BKGD] ボタン (17) が押された場合は消灯し、非選択状態になります。
ただし、[BKGD] ボタン (17) と [KEY] ボタンを同時に押した場合は、両方の選択状態となります。

17 [BKGD] ボタン

[CUT] ボタン (21)、[AUTO] ボタン (22) またはフェーダーレバー (23) の操作を行ったときに、バックグラウンドのトランジションを行います。
[BKGD] ボタンを押して選択されているときはアンバー色に点灯します。
[KEY] ボタン (16) が押された場合は消灯し、非選択状態になります。
ただし、[BKGD] ボタンと [KEY] ボタン (16) を同時に押した場合は、両方の選択状態となります。

18 MIX/WIPE 選択状態表示 LED

バックグラウンドトランジションまたはキートランジションを行うときに、それぞれ MIX、WIPE のどちらが選択されているかを表示します。

19 [MIX] ボタン

A/B バスの画像をオーバーラップさせながら切り替えます。
トランジション中は、A/B バスの出力の合計が 100 % に保たれます。
[MIX] ボタンを押して選択されているときはアンバー色に点灯します。
[WIPE] ボタン (20) が押された場合は、消灯し、非選択状態になります。

各部の名前とはたらき

⑳ [WIPE] ボタン

テンキー (9) で選択したパターンにより、トランジションを行います。

[WIPE] ボタンを押して選択されているときはアンバー色に点灯します。

[MIX] ボタン (19) が押された場合は、消灯し、非選択状態になります。

㉑ [CUT] ボタン

トランジションを瞬時に実行します。

トランジション中はアンバー色に点灯し、トランジションが完了すると消灯します。

KEY 設定時は、KEY1 のみ有効です。

㉒ [AUTO] ボタン

Time メニューで設定されたトランジションタイムにより、トランジションを自動実行します (オートトランジション)。

オートトランジション中はアンバー色に点灯します。

オートトランジション中に再度押すと、オートトランジションの動作を中断し、緑色に点灯します。中断中に再度押すと、残りのトランジションを実行します。

オートトランジションが完了すると消灯します。

フェーダーレバー (28) が途中の状態 [AUTO] ボタンを押すと、途中からの残り時間でトランジションを実行します。

KEY 設定時は、KEY1 のみ有効です。

㉓ [FTB ON] ボタン

Time メニューで設定されたトランジションタイムで、黒画面 / 白画面 / Still / Clip / カラーバックグラウンド画面へのフェードアウト、または黒画面 / 白画面 / Still / Clip / カラーバックグラウンド画面からのフェードインを実行します。

㉔ [KEY1 ON] [KEY2 ON] [KEY3 ON] ボタン

Time メニューで設定されたトランジションタイムで、キーのトランジションを行います。

㉕ [DSK1 ON] [DSK2 ON] ボタン

Time メニューで設定されたトランジションタイムで、ダウンストリームキーのフェードイン、フェードアウトを実行します。

㉖ バスタリー LED

A/B バスの出力状態を表示します。プログラム (PGM) 出力されているバス側が点灯します。

㉗ ワイプ方向選択ボタン (WIPE DIRECTION)

[N/R]、[R]

バックグラウンドトランジション実行時にワイプを行う方向を選択します。

[R] 消灯時:

ノーマル方向にワイプを行います。

[R] 点灯時:

リバース方向にワイプを行います。

[N/R] 点灯時:

トランジション完了時にノーマル方向とリバース方向を入れ替えます。

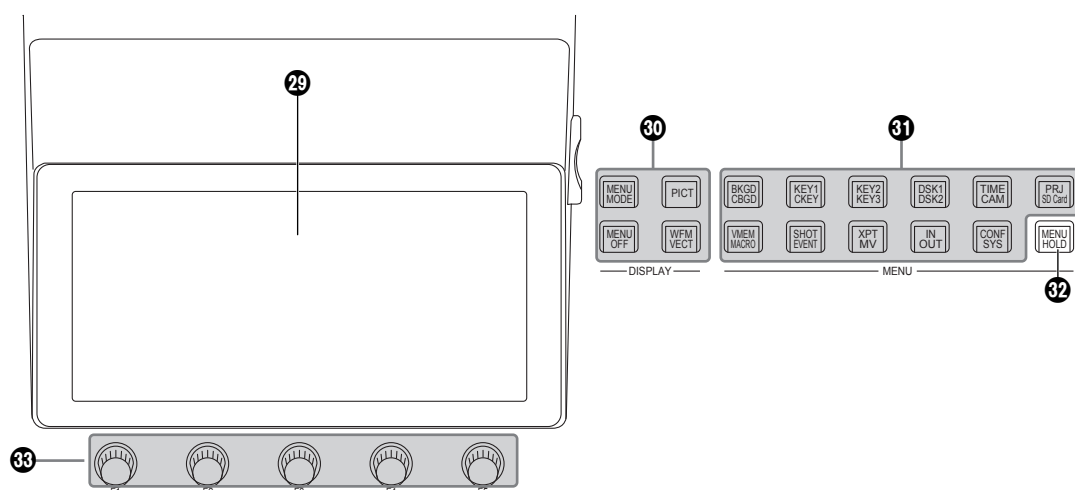
(ワイプを行う方向に合わせて [R] ボタンの点灯と消灯も切り替わります。)

㉘ フェーダーレバー

バックグラウンドまたは KEY1 のトランジションを実行する場合に使用します。レバーを動かしきると、トランジションが完了します。オートトランジション実行中にフェーダーレバーを動かした場合、フェーダーの位置が実行中のトランジション量を追い越した時点でマニュアル動作に切り替わります。

各部の名前とはたらき

ディスプレイ部



29 内蔵ディスプレイ

ディスプレイモードボタン(30)、メニュー選択ボタン(31)や[CAM CONT]ボタン(13)の操作によって、映像、波形、メニューを表示します。

内蔵ディスプレイに映像を表示する場合は、AUXバス選択ボタン(6)の[DISP/CAM]ボタンを押してアンバー色に点灯させてください。

DISPバスで選択したソースの映像を表示することができます。

カメラ入力を確認する場合は、[CAM CONT]ボタン(13)を選択しアンバー表示している状態で、AUXバス選択ボタン(6)の[DISP/CAM]ボタンを選択、グリーン表示させて、確認したいカメラの接続されたAUXのXPTを選択してください。

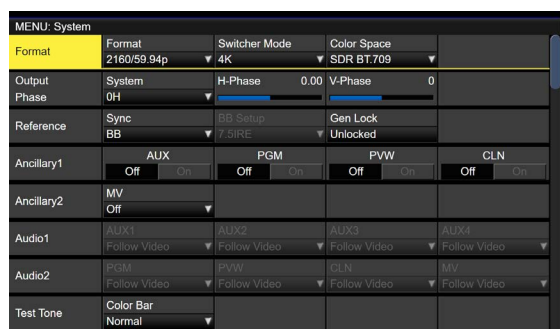
30 ディスプレイモードボタン (DISPLAY)

内蔵ディスプレイの表示内容を切り替えます。

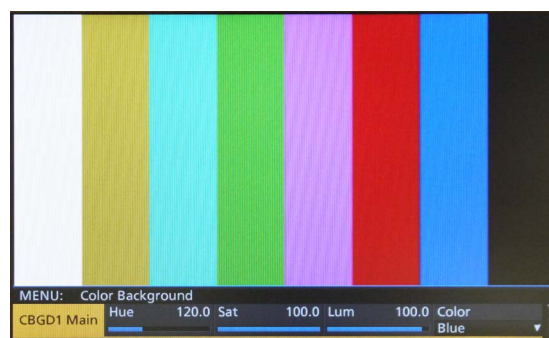
[MENU MODE] :

ボタンを押すごとに、メニューのモードが切り替わります。

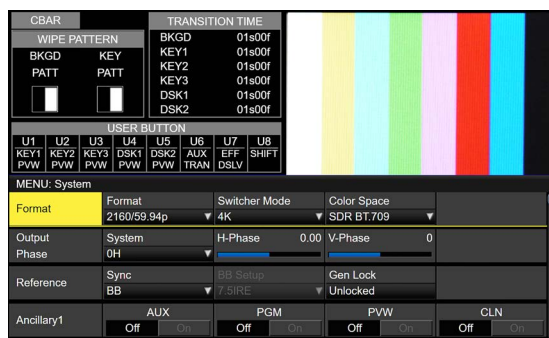
- メニューのみを表示



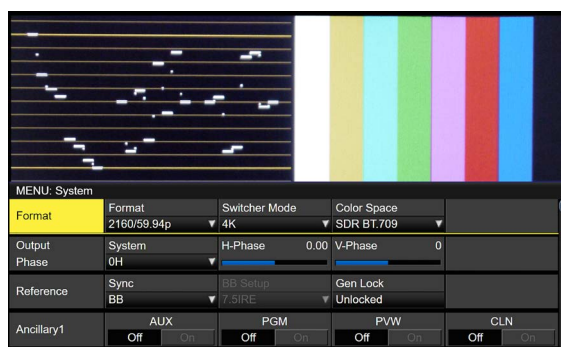
- メニュー表示 1行と全画面の映像表示



- メニュー表示 / 子画面 / 映像表示



- メニュー表示 / WFM表示 (または VECTOR表示) / 映像表示



内蔵ディスプレイの上部に表示している映像表示とWFM表示(またはVECTOR表示)は[PICT]ボタンや、[WFM/VECT]ボタンで切り替えます。

各部の名前とはたらき

[MENU OFF] :

メニューの表示を消して、映像の表示のみに切り替えます。

[PICT] :

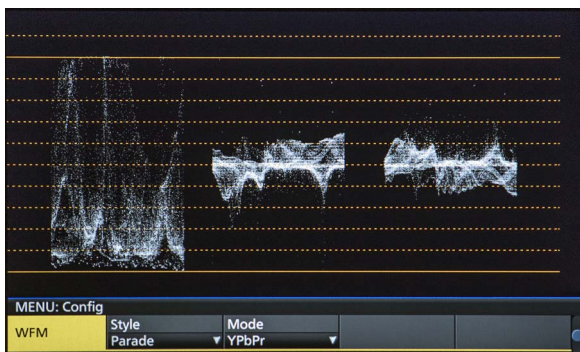
ボタンを押して点灯させると、内蔵ディスプレイに映像を表示します。

[WFM/VECT] :

ボタンを押して点灯させると、内蔵ディスプレイにWFM（波形モニター）または、VECTOR（ベクトルスコープ）を表示します。

ボタンを押すごとに、WFM 表示と VECTOR 表示が切り替わります。

- WFM（波形モニター）表示



- VECTOR（ベクトルスコープ）表示



㉑ メニュー選択ボタン (MENU)

ボタンを押すごとに、ボタンの上段に表示されている機能と下段に表示されている機能のメニューが切り替わります。

選択中のメニューのボタンは、アンバー色に点灯します。

㉒ [MENU HOLD] ボタン

メニュー表示を固定します。

メニューを表示しているときにこのボタンを押すと、メニュー選択ボタンを押しても他のメニューに切り替わりません。

[MENU HOLD] ボタンが押されているときは、[MENU HOLD] ボタンがアンバー色に点灯します。

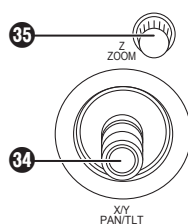
㉓ ロータリーエンコーダー [F1] ~ [F5]

内蔵ディスプレイに表示されたパラメーターを設定します。

⇒「メニューの基本操作」参照

各部の名前とはたらき

ポジショナー部



③④ ポジショナー (POSITIONER)

[X/Y] [PAN/TILT]

下記の設定を行うときに使用します。

- Key PinP、DSK PinP の位置設定
- ワイプの開始位置設定

対象パターン：

WIPE1 : 5

WIPE2 : 4、5、6、7

SQ1 : 5

SQ2 : 4、5、6、7

⇒「ワイプ」参照

- フライングキーの位置設定
- クロマキーのマーカ位置設定
- 文字入力時
- キーボード画面使用の設定
- リモートカメラのパン・チルト制御

いずれも下記メニューが選択されている場合にのみ有効になります。

NOTE

本機は、電源を入れてから起動するまでの間にポジショナーの位置を検出し、中心位置に設定します。起動するまでの間は、ポジショナーに触れないでください。

③⑤ ロータリーエンコーダー [Z] [ZOOM]

PinP やフライングキーの大きさ設定、およびクロマキーの領域を選択するとき使用します。

リモートカメラのズーム制御にも使用します。

いずれも下記メニューが選択されている場合にのみ有効になります。

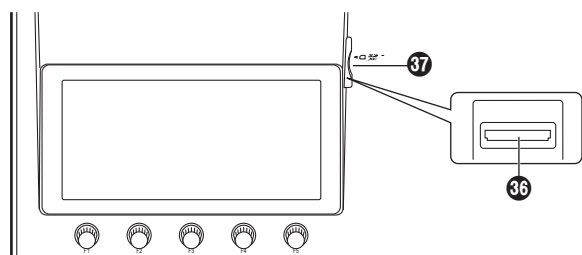
また、キーボード画面使用の設定に使用します。

	ポジショナー	ロータリーエンコーダー		有効メニュー
	X/Y	Z	スイッチ	
Key PinP、DSK PinP	位置調整	サイズ調整 (右回りでサイズが大きくなり、左回りで小さくなる)	長押しで初期値 (X/Y、Z) に戻る	PinP Position
WIPE (BKGD)	開始位置調整	—	長押しで初期値 (X/Y) に戻る	Background/Position
WIPE (KEY)	開始位置調整	—	長押しで初期値 (X/Y) に戻る	Key/Position
クロマキー	選択位置調整	選択領域のサイズ調整 (右回りでサイズが大きくなり、左回りで小さくなる)	サンプリングの実行 長押しでサイズが初期値に戻る	Chroma Key
フライングキー	位置調整	サイズ調整 (右回りでサイズが大きくなり、左回りで小さくなる)	長押しで初期値 (X/Y、Z) に戻る	Key1 : Flying Key

- [CAM CONT] ボタン (18) がアンバー点灯、もしくは内蔵ディスプレイに [CAM PMEM] 画面の表示中は、Camera Information に登録されたカメラの PAN/TILT、ZOOM 制御に使用することができます。
- ROI モード時、内蔵ディスプレイに [ROI PMEM] 画面の表示中は、CAM バスで選択している入力の Pos-X、Pos-Y、Size、Pos-Speed の設定に使用することができます。

各部の名前とはたらき

メモリーカード部



36 メモリーカードスロット

SD メモリーカード (別売)、SDHC メモリーカード (別売)、または SDXC メモリーカード (別売) を挿入します。

37 メモリーカードアクセス LED

メモリーカードにアクセスしている間、LED が点灯します。

アクセス LED が点灯している間は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜かないでください。メモリーカードのデータが破壊されることがあります。

●メモリーカードについて

本機で使用するメモリーカードは、SD 規格 / SDHC 規格 / SDXC 規格に準拠したものをお使いください。

また、メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

FAT (SDXC メモリーカードでは exFAT) でフォーマットされたメモリーカードをお使いください。(NTFS フォーマットのメモリーカードは認識できません。)

本機では、下記の容量の Panasonic 製のメモリーカードが使用できます。

SD (8 MB ~ 2 GB まで)

SDHC (4 GB ~ 32 GB まで)

SDXC (64 GB ~ 128 GB まで)

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記の Web サイトをご参照ください。

日本語：

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

英語：

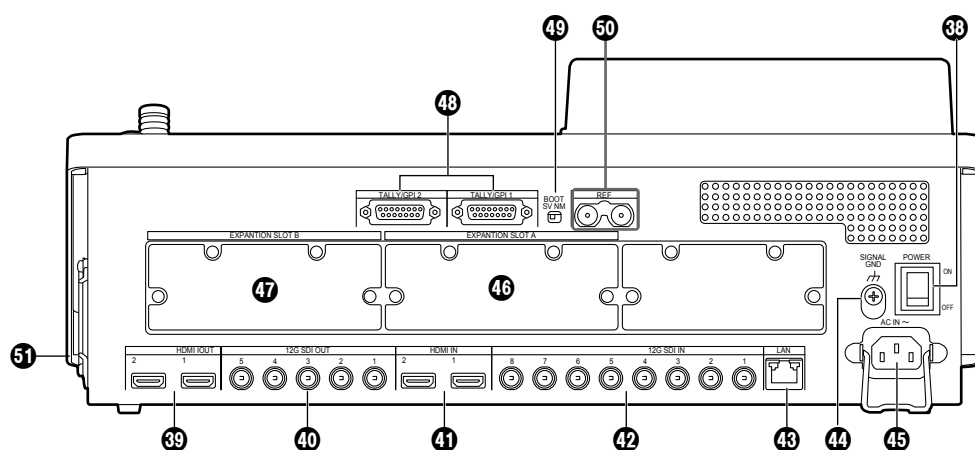
<https://connect.panasonic.com/en/>

● 使用時、保管時は以下の点にお気をつけください。

- ・ 高温・多湿を避ける。
- ・ 水滴を付けない。
- ・ 帯電を避ける。

各部の名前とはたらき

背面部



③⑧ 電源スイッチ [POWER]

電源スイッチを ON にすると電源ランプ (①) が点灯し、本機を操作することができます。

③⑨ HDMI 出力端子 [HDMI OUT 1、2]

HDMI ケーブルで外部機器と接続します。

④⑩ SDI 信号出力端子 [12G SDI OUT 1 ~ 5]

メニューによりアサイン可能

④① HDMI 入力端子 [HDMI IN 1、2]

HDMI ケーブルで外部機器と接続します。

④② SDI 信号入力端子 [12G SDI IN 1 ~ 8]

12G SDI IN 5 ~ 12G SDI IN 8 は、アップコンバーター機能を使用することができます。

④③ LAN 端子 [LAN] (RJ-45) (1000Base-TX)

⇒ 「外部インターフェース」参照

④④ グランド端子 [SIGNAL GND]

システムのグランドに接続してください。

④⑤ AC 電源入力端子 [AC IN ~] (AC 100 V - 240 V、50/60 Hz)

付属の AC コードを接続し、もう一方を AC コンセントに差し込みます。

付属の AC コードは 3 芯プラグです。3 極コンセントを使用して確実にアースを接続してください。

3 極コンセントが使用できない場合は、必ず販売店にご連絡ください。

④⑥ オプションスロット A [EXPANSION SLOT A]

④⑦ オプションスロット B [EXPANSION SLOT B]

入出力兼用のオプションスロットです。

SDI 入力ユニット、HDMI 出力ユニットなどのオプションユニットを取り付けることができます。

詳細は、「オプションユニットの取り付けかた」および各オプションユニットの取扱説明書を参照してください。

④⑧ TALLY/GPI 入出力端子 [TALLY/GPI 1、TALLY/GPI 2] (D-sub 15 ピン、メス、インチねじ) ⇒ 「外部インターフェース」参照

④⑨ BOOT スイッチ [BOOT SV NM]

メンテナンス用のスイッチです。

通常は、「NM」(ノーマル)の位置で使用してください。

④⑩ リファレンス入力端子 / BB 出力端子 [REF]

外部同期モード時は、ループスルー出力します。

ループスルー出力を使用しない場合は、75 Ωで終端してください。

内部同期モード時は、2 つの端子から BB 信号を出力します。

⑤① 冷却ファン

電源の入れかたと切りかた

●電源の入れかた

1 電源スイッチをONにする

本機に電源が供給されると、電源ランプが点灯します。

- ① 数秒後、クロスポイントボタンが点灯します。
- ② クロスポイントボタンが点灯したあと、数秒後にオープニング画面が内蔵ディスプレイに表示されます。



- ③ オープニング画面が消えると、メニューの操作が可能になります。

●電源の切りかた

1 電源スイッチをOFFにする

本機の電源が切れて、電源ランプが消灯します。

準備

メニューの基本操作

内蔵ディスプレイに表示されるメニューの基本操作を説明します。
メニューの構成は「設定メニュー一覧」を参照してください。

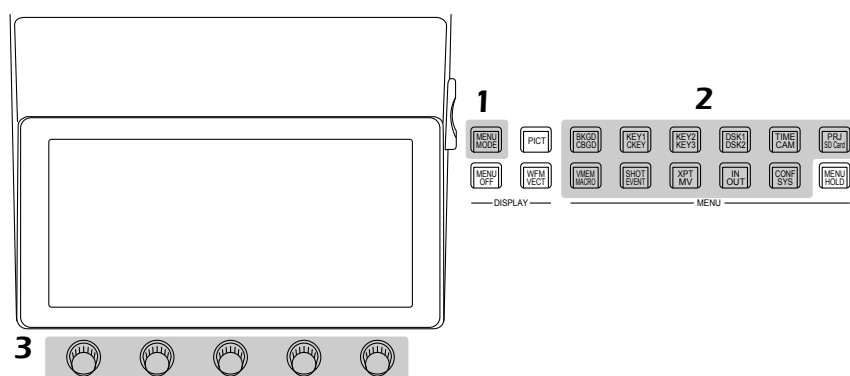
メニュー構成と操作

1 [MENU MODE] ボタンを押して、内蔵ディスプレイにメニューを表示します。

⇒「ディスプレイ部」参照

2 メニュー選択ボタン (MENU) で、各機能別のメニューを選択する

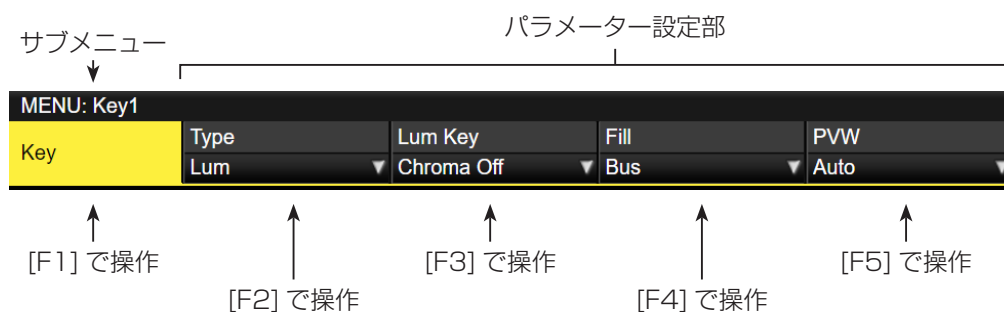
ボタンを押すごとに、ボタンの上段に表示されている機能と下段に表示されている機能のメニューが切り替わります。
選択中のメニューのボタンは、アンバー色に点灯します。



3 ロータリーエンコーダー [F1] ~ [F5] で詳細な設定をする

[F1] : ロータリーエンコーダーを回してサブメニューを切り替えます。

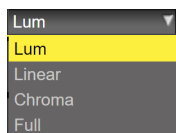
[F2] ~ [F5] : ロータリーエンコーダーを操作 (押す、または回す) してパラメーターの設定をします。
詳しくは、次のページを参照してください。



- InputメニューとOutputメニューは、オプションユニットの有無によりメニューが異なります。

準備

リストボックス：



- ① [F2] ~ [F5] を押してリストボックスを表示します。
- ② [F2] ~ [F5] を左右に回して設定値を選択します。
 - 選択した設定値が点滅しない項目は、選択した時点で設定値が本機に反映されます。
 - 選択した設定値が点滅する項目は、[F2] ~ [F5] を押すことで設定値が本機に反映されます。
- ③ 再度 [F2] ~ [F5] を押してリストボックスを閉じます。
 - [F2] ~ [F5] を長押しすると、リストを初期値に戻します。

選択ボタン：



[F2] ~ [F5] を押すと、“On” と “Off” が切り替わります。
[F2] ~ [F5] を長押しすると、リストを初期値に戻します。

実行ボタン：







[F2] ~ [F5] を押すと、該当の機能を実行します。

数値入力ボックス：

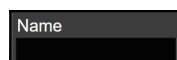


[F2] ~ [F5] を回して数値を変更します。
[F2] ~ [F5] を長押しすると、数値を初期値に戻します。
数値と連動して数値バーが表示されます。

テンキーで数値を入力する

- ① [F2] ~ [F5] を押すと、テンキーで数値を入力するモードになります。
 - 小数点は、 ボタンで入力してください。小数点を入力しないと整数値になり、小数点以下の値が“0”（ゼロ）になります。
 - プラスやマイナスの数値は、 ボタンを押して切り替えてください。 ボタンを押すごとにプラスとマイナスが切り替わります。
 - 数値を入力しているときに  ボタンを押すと、数値を変更前の値に戻します。
- ② テンキーで数値を入力して [TAKE ENTER] ボタンを押します。
入力した値が確定して本機に反映されます。
 - テンキーで数値を入力して [F1] ~ [F5] を操作すると、入力した値が取り消されて入力前の数値に戻ります。
 - 設定範囲外の数値を入力した場合、無効となり、入力前の数値に戻ります。

文字入力ボックス：



[F2] ~ [F5] を押すと、キーボード画面が表示されます。
[F1] ~ [F5]、ポジションナー、[Z] を使って文字を入力します。

⇒「キーボード画面の操作」参照

[F2] ~ [F5] を長押しすると、文字を初期値に戻します。

準備

キーボード画面の操作

入力信号の素材名、メモリーの名称、メモリーカードに保存するデータの名称などを変更する場合、キーボード画面を表示して文字を入力します。

名称を変更する項目（文字入力ボックス）に該当する [F2] ~ [F5] を押すと、内蔵ディスプレイにキーボード画面が表示されます。



キーボード画面が表示されると、ポジションナー、[Z]、[F1] ~ [F5] を使って文字（英数字と記号）を入力していきます。このとき、入力エリアに選択した文字が反映されます。

[F1] : CURSOR

[F1] を回して入力エリア内でカーソルを移動させます。

[F2] : SHIFT

[F2] を押すと、キーボードの表示が切り替わります。（大文字、小文字、記号）

[F3] : CLEAR

[F3] を押すと、入力エリアの文字が全消去されます。

[F4] : OK

[F4] を押すと、入力した名称が確定して本機に反映されます。

このとき、キーボード画面が消えて元の画面に戻ります。

[F5] : CANCEL

[F5] を押すと、入力した名称が取り消されます。

このとき、キーボード画面が消えて元の画面に戻ります。

ポジションナー : POSITION

ポジションナーを動かしてキーボード画面内でカーソルを移動させます。

[Z] : SELECT

[Z] を押すと、文字を選択します。

- テンキーで数字入力、[C] ボタンで文字の削除、[Enter] ボタンで名称の確定をすることも可能です。

メニューデリゲーション機能

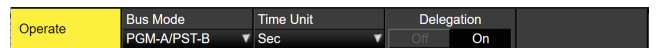
下記のボタンをダブルクリックすると、特定されたメニューに切り替わります。（メニューデリゲーション機能）このとき、各ボタンを押したときの動作も実行されます。

ボタン	切り替わるメニュー
クロスポイント部 (AUX バス選択ボタン)	
KEY1 F/S	Key メニュー / Adjust サブメニュー クロマキー選択時： Chroma Key メニュー / Adjust サブメニュー PinP 選択時： PinP メニュー / Position サブメニュー
KEY2 F/S	Key メニュー / Adjust サブメニュー
KEY3 F/S	Key メニュー / Adjust サブメニュー
DSK1 F/S	DSK メニュー / Adjust サブメニュー クロマキー選択時： Chroma Key メニュー / Adjust サブメニュー PinP 選択時： PinP メニュー / Position サブメニュー
DSK2 F/S	DSK メニュー / Adjust サブメニュー
トランジション部	
BKGD	Time メニュー / BKGD サブメニュー
KEY	Time メニュー / Key1 サブメニュー
WIPE	Background メニュー / Border サブメニュー

<メニューデリゲーションの設定>

メニューデリゲーション機能の有効/無効を設定します。

- ボタンを押して点灯させ、Config メニューを表示します。
- [F1] を操作して Operate サブメニューを表示します。




- [F4] を操作して、Delegation 項目でメニューデリゲーション機能の有効/無効を設定します。

On	有効
Off	無効

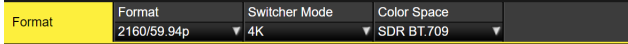
準備

システムフォーマットの設定

システム（入出力信号）のフォーマットを1つ選択します。

①  ボタンを押して点灯させ、Systemメニューを表示します。

② [F1] を操作して Format サブメニューを表示します。



③ [F3] を操作して、Switcher Mode 項目で 4K、2K を選択し、[F3] を押して選択内容を確定します。

- 本機の Switcher Mode を 4K、2K に切り替えたときに、Initial と再起動を実施します。Initial されるため、現在設定している内容、ビデオメモリーはすべて消えてしまいます。内蔵ストレージに保存している Still、Clip データ、プロジェクトファイルは消えません。

④ [F2] を操作して、Format 項目で各フォーマットを選択し、[F2] を押して選択内容を確定します。

- 本機の Format を切り替えたときに、ビデオメモリーがすべて消えてしまいます。ただし、静止画のメモリー (Still) は 1080、720 に切り替えたときのみ消えます。内蔵ストレージに保存している Still、Clip データ、プロジェクトファイルは消えません。

⑤ [F4] を操作して、Color Space 項目でカラースペースを選択し、[F4] を押して選択内容を確定します。

日付と時刻の設定

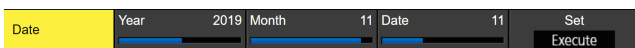
メモリーカードのタイムスタンプに使用する日付と時刻を設定します。

メモリーカードを使用する際は、必ず設定をしてください。

日付を設定する

①  ボタンを押して点灯させ、Systemメニューを表示します。

② [F1] を操作して Date サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Year 項目で年を設定します。

④ [F3] を操作して、Month 項目で月を設定します。

⑤ [F4] を操作して、Date 項目で日を設定します。

⑥ [F5] を押して、年・月・日を確定します。

⑦ [F1](YES) を押して保存します。[F5](NO) を押すと無効となります。

時刻を設定する

① Systemメニューから、[F1] を操作して Time サブメニューを表示します。



② [F2] を操作して、Hour 項目で時を設定します。

③ [F3] を操作して、Minute 項目で分を設定します。

④ [F4] を操作して、Second 項目で秒を設定します。

⑤ [F5] を押して、時・分・秒を確定させます。

⑥ [F1](YES) を押して保存します。[F5](NO) を押すと無効となります。

時刻は、電源 ON 時からカウントアップされます。

内蔵日付用電池について

時刻表示が「2014/01/01 00:00:00」の時は、内蔵日付用電池が消耗しています。

内蔵日付用電池充電後、日付と時刻の設定を行ってください。

内蔵日付用電池を充電するには

本機の電源を ON にして約 3 時間そのままの状態にしてください。

約 6 か月間時計設定を記憶します。

基本操作

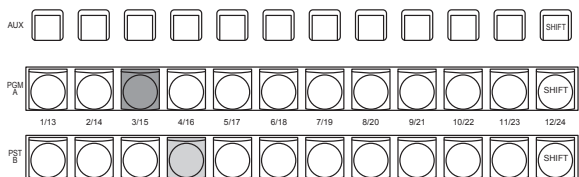
バックグラウンドトランジション

バスの選択

クロスポイントボタンを押して、バックグラウンドトランジションを行う素材を選択します。

押したボタンは、動作状態により 2 種類の色で点灯します。

赤色点灯	選択された入力が入力されている場合 (ただし、FTB 動作中はアンバー色に点灯します。)
緑色点灯	選択された入力が入力されていない場合



■ 赤色で点灯
■ 緑色で点灯

- クロスポイントボタンを長押しすると、押ししている間は、ボタンの番号とクロスポイントボタンに割り当てられている入力素材の名称が一覧で内蔵ディスプレイに表示されます。

XPT:	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
SI.G:	IN1	IN2	SDI IN3	SDI IN4	SDI IN5	SDI IN6	SDI IN7	SDI IN8	CBAR	CBGD 1	CBGD 2	SHIFT
XPT:	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
SI.G:	None	None	None	None	None	None	None	None	None	None	None	SHIFT

SHIFT 機能によるバスの選択

SHIFT 機能とは、1 つのボタンに表素材と裏素材の 2 つの素材を割り当て、[SHIFT] ボタンで切り替えて使う機能です。

PGM/A バスクロスポイントボタン、PST/B バスクロスポイントボタン、AUX バスクロスポイントボタンの各 12 個のボタンに、表素材 (1 ~ 12) と裏素材 (13 ~ 24) の 24 の素材をアサインすることができます。

SHIFT 機能には、すべての表素材と裏素材を入れ替える「一括 SHIFT」と、各バスクロスポイントボタンごとに表素材と裏素材を入れ替える「個別 SHIFT」があります。

一括 SHIFT は、ユーザーボタンに SHIFT 機能をアサインして操作します。

個別 SHIFT は、メニュー操作で各バスクロスポイントボタンの 12 番、または 1 番のボタンに SHIFT 機能をアサインして操作します。

一括 SHIFT

PGM/A バスクロスポイントボタン、PST/B バスクロスポイントボタン、AUX バスクロスポイントボタンの素材を、一括で表素材と裏素材を切り替えます。

表素材と裏素材は、SHIFT 機能をアサインしたユーザーボタンで切り替えます。

- ① ユーザーボタンに SHIFT 機能をアサインします。
(ユーザーボタンへのアサイン方法は、「ユーザーボタンの設定」を参照)
- ② [SHIFT] ボタン (ユーザーボタン) を押すごとに、表素材と裏素材が切り替わります。
 - 裏素材 (13 ~ 24) を選択しているときは、[SHIFT] ボタン (ユーザーボタン) がアンバー色に点灯します。
 - 再度ボタンを押すと消灯し、表素材 (1 ~ 12) の状態となります。

基本操作


個別 SHIFT

PGM/A バスクロスポイントボタン、PST/B バスクロスポイントボタン、AUX バスクロスポイントボタンの素材を、別々に表素材と裏素材を切り替えます。

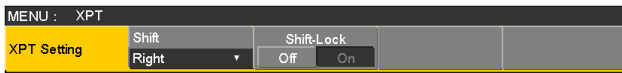
表素材と裏素材は、SHIFT 機能をアサインしたクロスポイントボタンで切り替えます。

SHIFT 機能は 12 番、または 1 番のボタンにアサインすることができます。

■ SHIFT 機能のアサイン

①  ボタンを押して点灯させ、XPT メニューを表示します。

② [F1] を操作して XPT Setting サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Shift 項目で SHIFT 機能をアサインするボタンを選択します。

Right	12 番のボタン
Left	1 番のボタン
Off	アサインしない


④ [F3] を操作して、Shift-Lock 項目で [SHIFT] ボタンを押したときの動作を選択します。

Off	[SHIFT] ボタンを押している間だけが裏素材になります。
On	[SHIFT] ボタンを押すごとに表素材と裏素材が切り替わります。

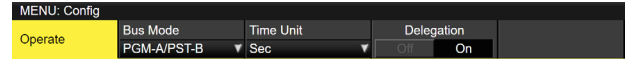
- SHIFT 機能をアサインしたボタンに設定されている素材を使う場合は、SHIFT 機能を Off にするか、もう 1 つのボタンに SHIFT 機能をアサインしてください。
- 「一括 SHIFT」で裏素材（13～24）に切り替えたときに「個別 SHIFT」の [SHIFT] ボタンを押すと、対象のバスクロスポイントボタンが表素材に切り替わります。
- クロスポイントボタンを長押しすると、押しの間は、ボタンの番号とクロスポイントボタンに割り当てられている入力素材の名称が一覧で内蔵ディスプレイに表示されます。

バスモードの選択

設定メニューから、A/B バス方式、フリップフロップ方式 (PGM/PST 方式) を選択します。

①  ボタンを押して点灯させ、Config メニューを表示します。

② [F1] を操作して Operate サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Bus Mode 項目で A/B または PGM/PST (フリップフロップ方式) を選択します。

A/B	フェーダーレバーが A 側のときは、A バスで選択された信号が PGM バスの素材になります。フェーダーレバーが B 側のときは、B バスで選択された信号が PGM バスの素材になります。
PGM-A/ PST-B	フリップフロップ方式で、A バスで選択された信号が常に PGM バスの素材になり、B バスで選択された信号が常に PST バスの素材になります。
PGM-B/ PST-A	フリップフロップ方式で、B バスで選択された信号が常に PGM バスの素材になり、A バスで選択された信号が常に PST バスの素材になります。

トランジションモードの選択

トランジションモードをミックス (MIX) とワイプ (WIPE) から選択します。

① トランジション部の [BKGD] ボタンを押してアンバー色に点灯させます。

[BKGD] ボタンと [KEY] ボタンを同時に押した場合は、両方選択されます。

② トランジション部の [MIX] ボタン、[WIPE] ボタンでバックグラウンドトランジションのモードを選択します。

選択されているボタンは、アンバー色に点灯します。

基本操作

マニュアルトランジション

フェーダーレバーを操作してマニュアルでトランジションを実行します。

オートトランジション実行中にフェーダーレバーを動かした場合、フェーダーの位置が実行中のトランジション量を追い越した時点でマニュアル動作に切り替わります。

フェーダーレバー左のバスターリー LED は、プログラムバスの出力状態を表示します。


上の LED のみ点灯	PGM/A バスを出力
上下の LED 点灯	トランジション中
下の LED のみ点灯	PST/B バスを出力

カットトランジション

[CUT] ボタンを押すと、瞬時にトランジションを実行します。

オートトランジション

- [AUTO] ボタンを押すと、設定されたトランジションタイムでトランジションを自動実行します。
- フェーダーレバーの操作途中で [AUTO] ボタンを押すと、残り時間でトランジションを実行します。
- オートトランジションタイムの設定は、Time メニューで行います。

- ①  ボタンを押して点灯させ、Time メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、BKGD サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、トランジションタイムを設定します。
表示単位は、Config メニュー → Operate サブメニュー → Time Unit 項目で設定します。

Sec	秒単位で表示します。
Frame	フレーム単位で表示します。

設定できる時間は 0 ~ 999f です。システムフォーマットにより、秒表示のときの設定可能時間が異なります。

59.94i :	最大 33s09f	59.94p :	最大 16s39f
50i :	最大 39s24f	50p :	最大 19s49f
29.97PsF :	最大 33s09f	29.97p :	最大 33s09f
25PsF :	最大 39s24f	25p :	最大 39s24f
24PsF :	最大 41s15f	24p :	最大 41s15f
23.98PsF :	最大 41s15f	23.98p :	最大 41s15f

基本操作

ワイプ

ワイプパターンの選択

ワイプパターンは、テンキーで選択します。

- ① [BKGD PATT] ボタン (または [KEY PATT] ボタン) を押します。

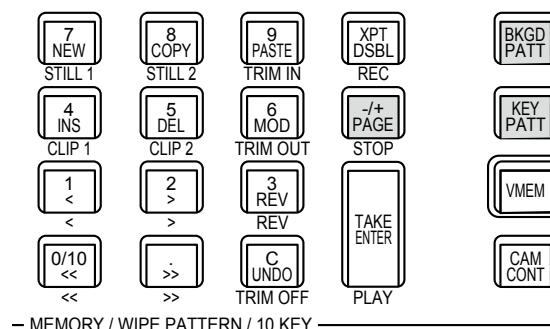
[BKGD PATT] ボタン (または [KEY PATT] ボタン) がアンバー色で点灯し、パターン一覧画面が内蔵ディスプレイに表示されます。

- ② [F1] を操作してページを選択します。

- ③ テンキーでパターンを選択します。

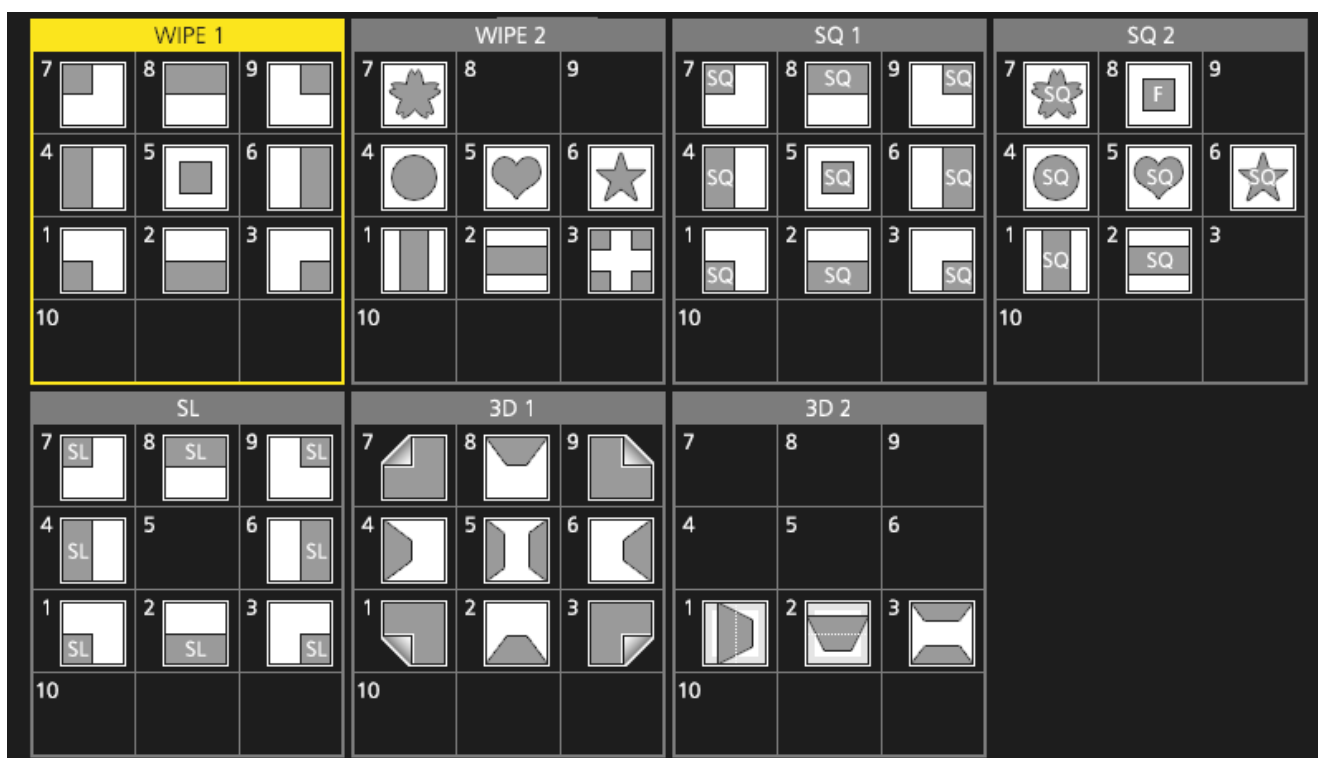
- ④ 一覧画面を閉じる場合は、[F5] を操作します。

- [BKGD PATT] ボタン、または [KEY PATT] ボタンを押して消灯させても、一覧画面を閉じることができます。



— MEMORY / WIPE PATTERN / 10 KEY —

■ ワイプパターン一覧



- 「SQ2 : 8」のパターンは、[KEY PATT] ボタンを押したときに有効になります。
- 4Kモード時は、WIPE 1、WIPE 2のみ使用可能です。他のパターンは、4K DVEユニット (AV-UHS5M5) を接続することで使用可能になります。

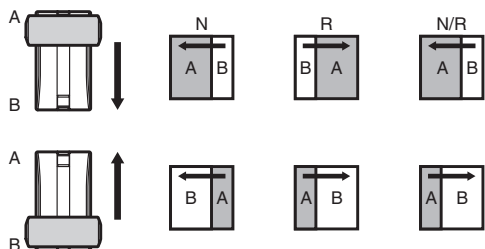
基本操作

ワイプ方向の選択

ワイプ方向選択ボタンを操作して、バックグラウンドトランジションのワイプの方向を選択します。

(キートランジションは、メニューで設定します。ここで設定した方向は反映されません。)

⇒「キートランジション」参照



[R] 消灯時：

ノーマル方向にワイプを行います。

[R] 点灯時：

リバース方向にワイプを行います。

[N/R] 点灯時：


トランジション完了時にノーマル方向とリバース方向を入れ替えます。

(ワイプを行う方向に合わせて [R] ボタンの点灯と消灯も切り替わります。)

ワイプの装飾 (ボーダー、ソフト)

バックグラウンドトランジションのワイプに、ボーダー効果やソフト効果を付加します。

ボーダー、ソフトを設定する

①  ボタンを押して点灯させ、Background メニューを表示します。

② [F1] を操作して Border サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Border 項目でボーダーの On/Off を設定します。

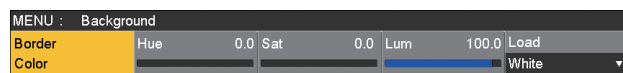
④ [F3] を操作して、Width 項目でボーダーの幅を設定します。

⑤ [F4] を操作して、Soft 項目でソフト効果の量を設定します。

Border 項目を “On” にすると、ソフト効果の量は、ボーダーの幅に対するソフト効果の割合を示します。ソフト効果のみをワイプに付加する場合は、Border 項目を “Off” にしてください。

ボーダーの色を設定する

① Background メニューより、[F1] を操作して Border Color サブメニューを表示します。



② [F2] ~ [F4] を操作して、ボーダーカラーの Hue、Sat、Lum を調整します。

■ プリセットカラーを呼び出す場合

[F5] を操作して Load 項目でプリセットカラーを選択し、[F5] を押します。

- [F5] を押すと、それまで設定していた値が取り消されてプリセットカラーの値に変更されます。
- プリセットカラーを呼び出す前に設定していた値を保存する場合は、「メモリー」を参照してください。

基本操作



ワイブの開始位置設定

ワイブの開始位置を任意に設定することができます。

対象パターン：

WIPE1 : 5
WIPE2 : 4、5、6、7
SQ1 : 5
SQ2 : 4、5、6、7

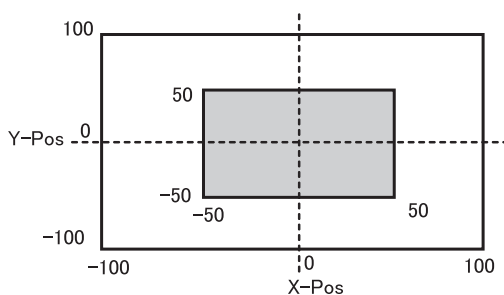
WIPE パターンは、Background メニュー（または Key メニュー）の Position サブメニューで設定します。

- ①  ボタン（または  ボタン）を押して点灯させ、Background メニュー（または Key メニュー）を表示します。
- ② [F1] を操作して Position サブメニューを表示します。



- ③ ポジショナーを操作するか、[F2] と [F3] を操作して、X-Pos 項目と Y-Pos 項目でワイブの開始位置を設定します。
バックグラウンド、またはキーパターンで対象パターンを選択している場合にのみ、設定が可能です。
- ④ フェーダーレバーを操作するか、[AUTO] ボタンを押して、ワイブの動作を確認します。
（例えば、X-Pos : -50、Y-Pos : -50 を設定した場合は、次の画面（またはキー）が左下から現れて、画面中心に移動しながらワイブを行います。）

<X-Pos、Y-Pos の設定範囲>



 画面範囲内
 画面範囲外

- ⑤ 開始位置の設定をコピーする場合は、[F5] (Copy To Key1、または Copy To BKGD) を押します。
バックグラウンドの設定はキーの設定へ、キーの設定はバックグラウンドの設定へコピーします。

ワイブのモディファイ

3D (ページターン) 効果の設定



ワイブパターンにライティング効果を付加することができます。

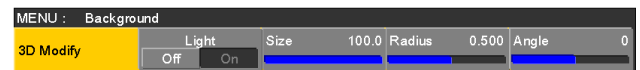
また、ページターン効果のパラメーターを設定することができます。

バックグラウンドトランジション、およびキートランジションに対して設定することができます。

対象パターン：

3D1 : 1、3、7、9

- ①  ボタン（または  ボタン）を押して点灯させ、Background メニュー（または Key メニュー）を表示します。
- ② [F1] を操作して、3D Modify サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Light 項目でライティング効果を付加するかどうかを選択します。

On	ライティング効果を付加します。
Off	ライティング効果を付加しません。
- ④ [F3] を操作して、Size 項目で縮小したときのサイズを設定します。
- ⑤ [F4] を操作して、Radius 項目でページターン効果の半径を設定します。
- ⑥ [F5] を操作して、Angle 項目でページターン効果の方向を設定します。



基本操作

トリミングの設定

バックグラウンドトランジションを行うときのトリミングの設定をすることができます。

対象パターン：

SQ1、SQ2、SL、3D1、3D2

①  ボタン（または  ボタン）を押して点灯させ、Background メニュー（または Key メニュー）を表示します。

② [F1] を操作して、Modify サブメニューを表示します。




③ [F2] を操作して、Trim 項目でトリミングの動作とトランジションの動作を設定します。

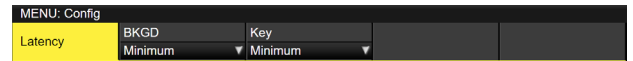
Off	トリミングをしません。
16:9	素材の周囲をトリミングします。素材の周囲に黒い縁取りなどが見えるときに使用します。
4:3	4:3 のアスペクト比でトリミングを行い、トランジション完了時にトリミングを解除します。
4:3 Smooth	4:3 のアスペクト比でトリミングを行い、16:9 の映像へ滑らかにトランジションを行います。

レイテンシーの設定

バックグラウンド映像、またはキー映像の遅延量を設定します。

①  ボタンを押して点灯させ、Config メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Latency サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、BKGD 項目でバックグラウンド映像の遅延量を設定します。

また、[F3] を操作して、Key 項目でキー映像の遅延量を設定します。

ただし、4K モード時は Minimum のみとなります。

1F Fix	映像を 1 フレーム (1F) 遅延させます。 ● ワイプが完了したときに、元の映像が残ることがなくなります。(ワイプパターンに SQ1、SQ2、SL、3D1、3D2 を選択時)
Minimum	映像を遅延させません。 ● ただし、ワイプパターンに SQ1、SQ2、SL、3D1、3D2 を選択しているときやフライングキーを選択しているときは、1 フレーム (1F) 遅延します。

■ BKGD 項目

遅延量の設定	トランジション中以外	MIX/WIPE	SQ/SL/3D
Minimum	遅延なし	遅延なし	1F 遅延
1F Fix	1F 遅延	1F 遅延	1F 遅延


■ Key 項目

遅延量の設定	トランジション中以外	MIX/WIPE	SQ/SL/3D/フライングキー
Minimum	遅延なし	遅延なし	1F 遅延
1F Fix	1F 遅延	1F 遅延	1F 遅延

基本操作

アニメーションワイプの作成

ビデオメモリーに登録した動画（CLIP）と ME トランジションを連動させて、アニメーションワイプを作成できます。

①  ボタンを押して点灯させ、Background メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Transition Time サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Trans Time 項目で BKGD トランジションの時間を設定します。

④ [F3] を操作して、WaitTime 項目で BKGD トランジション開始までの待ち時間を設定します。
また、[F4] を押して、WaitTime の有効／無効を設定します。Off に設定した場合は WaitTime の設定にかかわらず WaitTime は無効となります。

⑤ [F1] を操作して、Transition Margin サブメニューを表示します。



⑥ [F2] を押して、Margin 項目で BKGD AUTO トランジションの開始／終了マーシンの調整機能の有効／無効を設定します。

⑦ [F3] を操作して、Start 項目で BKGD AUTO トランジション開始マーシンを調整します。
End との合計が 100.0 を超える設定になると End の設定が自動調整されます。

⑧ [F4] を操作して、End 項目で BKGD AUTO トランジション終了点マーシンを調整します。
Start との合計が 100.0 を超える設定になると Start の設定が自動調整されます。

⑨ [F1] を操作して、Clip Trans Sync サブメニューを表示します。



⑩ [F2] を操作して、Clip1 項目で Clip1 の再生トリガーを設定します。
再生トリガーを次のボタンに割り付けることができます。

AUTO、KEY1 ON、KEY2 ON、KEY3 ON、
DSK1 ON、DSK2 ON、FTB ON、Fader

また、[F3] を操作して、Clip2 項目で Clip2 の再生トリガーを設定します。

ただし、4K モード時は Clip 1 のみ表示します。

基本操作

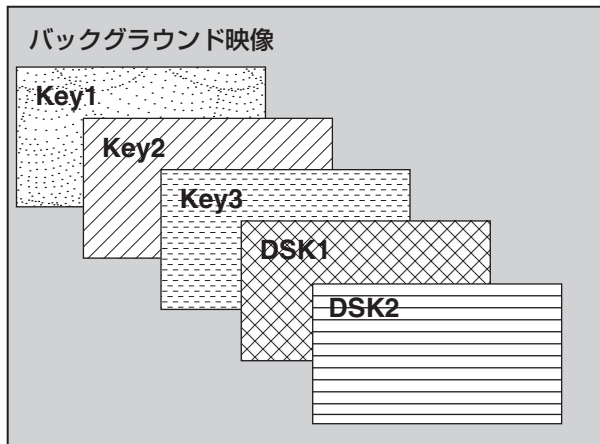
Key (キー)

バックグラウンド映像に別の映像を合成します。また、キーの抜け具合の調整や、合成した映像にエッジを付加することができます。

バックグラウンド映像に合成する素材として、Key1、Key2、Key3、DSK1（ダウンストリームキー）、DSK2があります。

プライオリティ（映像の配置）の初期設定は、下図のようになります。

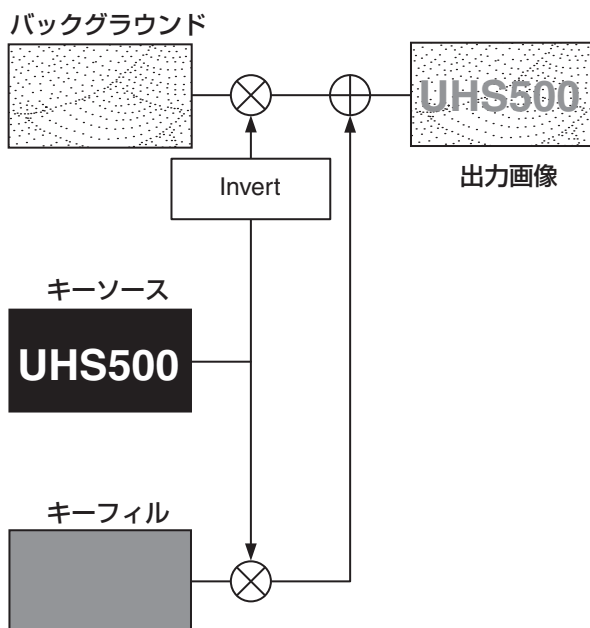
< プライオリティの初期設定 >



Key1、Key2、Key3 内のプライオリティ、DSK1、DSK2 内のプライオリティは、変更することができます。
⇒「プライオリティの設定」参照

また、キー合成のしくみは下図のようになります。

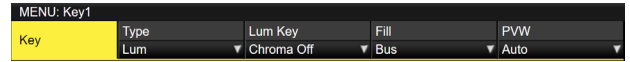
< キー合成のしくみ >



キータイプの選択

① ボタンを押して点灯させ、Key メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Key サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Type 項目を選択します。

Lum (ルミナンスキー / セルフキー)	キーフィル信号の輝度成分または、輝度成分とクロマ成分からキー信号を作成します。
Linear (リニアキー / EXT キー)	キーソース信号の輝度成分からキー信号を作成します。 キーソース信号とキーフィル信号が異なる場合に使用します。
Chroma (クロマキー / セルフキー)	キーフィル信号の特定の色相を基準にしてキー信号を作成します。
Full (フルキー / セルフキー)	全画面の映像をキーソース信号としてキー信号を作成します。 フライングキーと組み合わせて、PinP 合成を行うことが可能です。 ⇒「フライングキー」参照

ルミナンスキーとクロマキーは、セルフキーとして運用されるためキーフィル信号をキーソース信号として使用します。フルキーは、全画面の映像をキーソース信号として使用します。

キーのタイプとしてルミナンスキーやクロマキー、フルキーを選択しているときは、キーソース信号を切り替えてもキー信号は変化しません。

リニアキーを使用する場合、キーソース信号は、背景が黒色でキー合成したい文字や形が白色の素材を使用してください。白黒以外の色の素材は、きれいに合成されない場合があります。

また、背景が白色で黒の文字などの素材は、キーインバート機能で反転させて使用することができます。

④ ルミナンスキーを選択した場合、セルフキー用途を考慮して、キー信号の生成にクロマ成分を含めることができます。(リニアキーには適用されません。)

[F3] を操作して、Lum Key 項目で設定します。

Chroma On	輝度成分に加えて、クロマ成分も考慮してキー信号を生成します。 キー信号に、輝度成分の低い色を用いた場合（例えば、青色の文字を抜きたい場合など）に設定します。
Chroma Off	輝度成分のみからキー信号を生成します。

基本操作

- ⑤ [F4] を操作して、Fill 項目でフィルのタイプを選択します。

Bus	キーフィル信号にバスの信号を使用します。
Matte	キーフィル信号に内蔵のフィルマットを使用します。

キー素材の選択

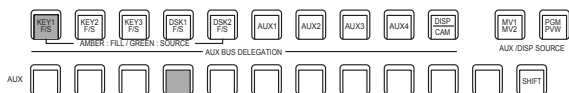
キーフィル、キーソース信号を選択する

AUX バス選択部の [KEY] ボタンを押して、キーフィル信号（アンバー色に点灯）とキーソース信号（緑色に点灯）の選択を切り替えます。

<キーフィル信号の選択>

[KEY] ボタンがアンバー色に点灯している状態で、AUX バスクロスポイントボタン 1～12 を押してキーフィル信号を選択します。

選択された AUX バスクロスポイントボタンはアンバー色に点灯します。（選択された信号が PGM 端子から出力されている場合は、赤色に点灯します。）



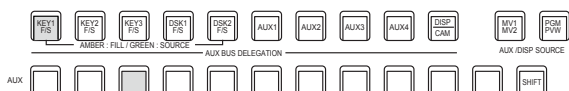
■ アンバー色で点灯

<キーソース信号の選択>

[KEY] ボタンが緑色に点灯している状態で、AUX バスクロスポイントボタン 1～12 を押してキーソース信号を選択します。

選択された AUX バスクロスポイントボタンは緑色に点灯します。（選択された信号が PGM 端子から出力されている場合は、赤色に点灯します。）

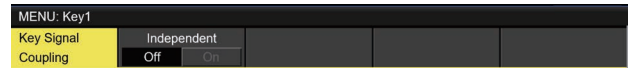
ルミナンスキーとクロマキーは、セルフキーとして運用されるためキーフィル信号をキーソース信号として使用します。キーのタイプとしてルミナンスキーやクロマキーを選択しているときは、キーソース信号を切り替えてもキー信号は変化しません。



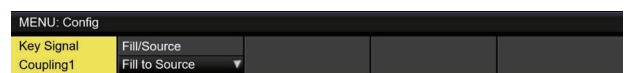
■ 緑色で点灯

キーフィル信号とキーソース信号の選択を連動させる

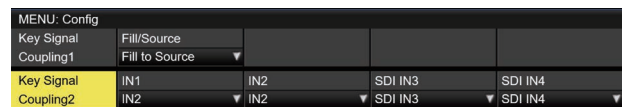
- ① 使用する KEY のボタンを押し、メニューを表示させます。(KEY1/KEY2/KEY3)
- ② [F1] を操作して Key Signal Coupling サブメニューを表示し、Independent を設定します。



- ③ [CONF SYS] ボタンを押して点灯させ、Config メニューを表示します。
- ④ [F1] を操作して Key Signal Coupling1 サブメニューを表示し、Fill/Source を設定します。



- ⑤ [F1] を操作して、Key Signal Coupling2～8 のサブメニューを表示します。
 - Key Signal Coupling1 が Fill to Source の場合、選択した Fill に対して Source を何にするかを選択できます。
 - また、Source to Fill の場合は、選択した Source に対して Fill を何にするかを選択できます。



<Independent>

[KEY] ボタンがアンバー色に点灯しているときにキーフィル信号が選択でき、緑色に点灯しているときにキーソース信号が選択できます。

Independent

ON	Fill to Source の場合、Fill に連動する Source を他の KEY とは別に単独で設定できます。 Source to Fill の場合、Source に連動する Fill を他の KEY とは別に単独で設定できます。
OFF	Key Signal Coupling2～8 の設定に従います。

基本操作

<Fill To Source>

キーフィル信号を選択したときにキーソース信号も自動的に切り替わります。

最初、キーソース信号とキーフィル信号は、同じ信号になります。

例えば、キーフィル信号に“SDI1”を選択した場合は、キーソース信号も“SDI1”になります。

次に、[KEY] ボタンを押して緑色に点灯させ、キーソース信号に“SDI2”を選択します。このとき「キーフィル信号：SDI1、キーソース信号：SDI2」という組み合わせ情報が本機に記録されます。

キーフィル信号とキーソース信号を他の信号に切り替えて何らかの操作をしたあと、キーフィル信号を選択して“SDI1”にすると、記録された組み合わせ情報からキーソース信号が自動的に“SDI2”に切り替わります。

キーフィル信号を“SDI1”にした状態でキーソース信号を変えると、変更後の組み合わせ情報に更新されて本機に記録されます。

<Source To Fill>

キーソース信号を選択したときにキーフィル信号が自動的に切り替わるようになります。

(最初に [KEY] ボタンがアンバー色に点灯します。)

初期値は、キーソース信号とキーフィル信号が同じです。

フィルマットの色を設定する

① [KEY] ボタンを押して点灯させ、Key メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Fill Matte サブメニューを表示します。



③ [F2] ~ [F4] を操作して、フィルマットの Hue、Sat、Lum を調整します。

■ プリセットカラーを呼び出す場合

[F5] を操作して Load 項目でプリセットカラーを選択し、[F5] を押します。

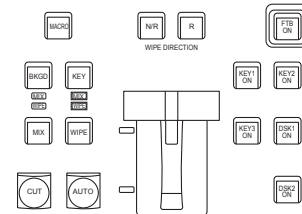
- [F5] を押すと、それまで設定していた値が取り消されてプリセットカラーの値に変更されます。
- プリセットカラーを呼び出す前に設定していた値を保存する場合は、「メモリー」を参照してください。

キートランジション

① トランジションモードを選択します。

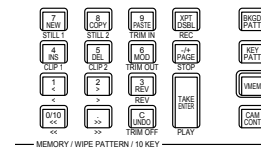
トランジション部の [KEY] ボタンを押して点灯させます。

バックグラウンドトランジションとキートランジションを同時に実行させる場合は、[BKGD] ボタンと [KEY] ボタンを同時に押して両方点灯させます。



② トランジションタイプを選択します。

トランジション部の [MIX] ボタンまたは [WIPE] ボタンで、キートランジションのモードを選択します。選択したボタンがアンバー色に点灯し、選択したモードの MIX/WIPE 選択状態表示 LED が点灯します。WIPE を選択した場合は、メモリー／ワイブパターン／テンキー部の [KEY PATT] ボタンを押して点灯させ、ワイブパターンを選択します。



③ トランジションの時間を設定します。

Time メニューより、[F1] を操作して Key サブメニューを表示します。

バックグラウンドトランジションと同様に、トランジションタイムを設定します。

基本操作

④ ワイプの方向を設定します。

Key メニューより、[F1] を操作して Transition サブメニューを表示します。

[F1] を操作して、Keyout Pattern 項目で「Normal」（ノーマル） / 「Reverse」（リバース）を設定します。

Normal（ノーマル）	キーアウトのパターンを、キーインのパターンと同じ方向にします。
Reverse（リバース）	キーアウトのパターンを、キーインのパターンと逆方向（対角方向）にします。

< パターン例 >

	パターン例 1	パターン例 2	パターン例 3 ● WIPE1 : 5 ● WIPE2 : 1 ~ 7	パターン例 4 ● SQ1 : 5 ● SQ2 : 1, 2, 4 ~ 7 ● 3D1 : 5 ● 3D2 : 1 ~ 3
キーイン				
キーアウト (ノーマル)				
キーアウト (リバース)				

: キー合成されている領域を示します。

- 「WIPE1 : 5」、「WIPE2 : 1 ~ 7」は、パターン例 3 の動作を行います。
- 「SQ1 : 5」、「SQ2 : 1, 2, 4 ~ 7」、「3D1 : 5」、「3D2 : 1 ~ 3」は、パターン例 4 の動作を行い、ノーマルとリバースが同じ動作になります。

⑤ トランジションを実行します。

トランジション部の [AUTO] ボタンを押して、設定されたトランジションタイムでトランジションを自動で実行します。

または、フェーダーレバーを操作して手動でトランジションを実行します。

キーオートトランジション

トランジション部の [KEY ON] ボタンを押すと、設定されたトランジションタイムでトランジションを自動で実行します。

キーイン中は、[KEY ON] ボタンが赤色に点滅し、トランジションが完了すると赤色に点灯します。

完全にキーインした状態で [KEY ON] ボタンを押すと、KEY 映像がトランジション（キーアウト）します。

キーアウト中は、[KEY ON] ボタンが赤色に点灯し、トランジションが終了すると消灯します。

トランジションの途中で [KEY ON] ボタンを押すと、トランジションの方向が反転します。

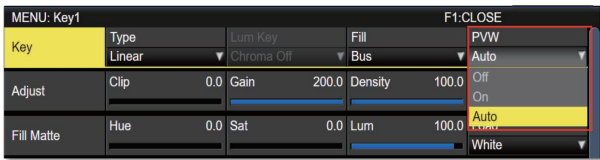
基本操作

キープレビュー

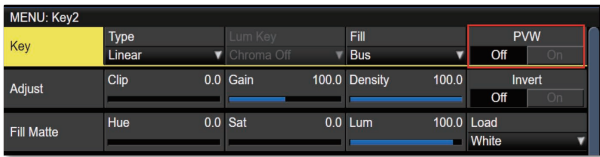
プレビュー出力にキーのプレビュー映像を出力して、キーの調整および確認をすることができます。

- ① Key の各メニューおよび DSK の各メニューより、[F1] を操作して Key1/Key2/Key3/DSK1/DSK2 メニューを表示します。

Key1 メニュー



Key2/Key3/DSK1/DSK2 メニュー



メニューの連動

Key2、Key3、DSK1、DSK2 の PVW 設定は以下のように連動します。

パネルの KEY ボタン=ON で AUTO、CUT、フェーダーで操作できる状態に設定可能である Key1 は、他の Key、DSK とは異なるので独立操作可能です。

	PVW	Key1	Key2	Key3	DSK1	DSK2
Key1	On		---	---	---	---
	Off		---	---	---	---
Key2	On	---		Off	Off	Off
	Off	---		---	---	---
Key3	On	---	Off		Off	Off
	Off	---	---		---	---
DSK1	On	---	Off	Off		Off
	Off	---	---	---		---
DSK2	On	---	Off	Off	Off	
	Off	---	---	---	---	

Off: Off への強制設定変更

---: 変化なし

PVW の映像

PVW が OFF の場合：

- PGM の状態を PVW に表示します。
- ただし、トランジション状態は反映されません。

PVW が ON の場合：

- PVW を “On” に設定すると、PVW に次の PGM の映像を表示します。
- PVW を “On” に設定できるのは、Key2、Key3、DSK1、DSK2 の中では 1 つのみです。
- Key1 は独立しているため、最大 2 個の Keyer が PVW に乗せられます。

PVW が Auto の場合：

- PVW に “Auto” を設定できるのは Key1 のみです。
- トランジション部の KEY ボタンを押すと、以下の 2 つの状態が切り替わります。
- ・ KEY ボタンの点灯時は、PVW が “On” の動作になります。
- ・ KEY ボタンの消灯時は、PVW が “Off” の動作になります。

PVW の背景

PVW の BKGD 映像は、PVW 設定やトランジション部の BKGD と KEY のボタン設定状態で変化します。

基本的には Key PVW、DSK PVW のいずれかが “On” になったときに PGM 映像になります。

ただし、トランジション部の BKGD と KEY のボタンが共に “On” になると PST になります。

On/Off を割り当てたユーザーボタンを押すと、On (ボタン点灯) と Off (ボタン消灯) が交互に切り替わり、“Auto” の設定にはなりません。

(該当するユーザーボタンの項目は、KEY1_PVW/KEY2_PVW/KEY3_PVW/DSK1_PVW/DSK2_PVW です。)


メニュー	ユーザーボタン	ユーザーボタンを押す
On	点灯	Off: 消灯
Off	消灯	On: 点灯
Auto	消灯	On: 点灯

メニューの操作で “Auto” を選択すると、ユーザーボタンは Off (消灯) になります。

基本操作

キープレビュー方法の設定

本機では AV-HS410 と同等のキープレビュー方法を選択することができます。

- ①  ボタンを押して点灯させ、Config メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Preview Mode サブメニューを表示します。



- ③ Mode Select 項目で [F2] を操作し、キープレビューモードを選択します。

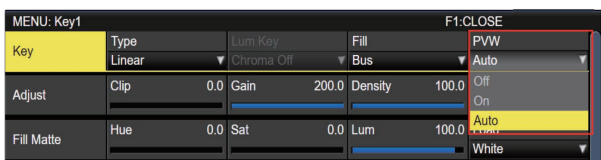
PVW Mode1	本機のキープレビューモードです。「キープレビュー」(44 ページ) を参照してください。
PVW Mode2	AV-HS410 のキープレビューモードです。

PVW Mode2 を選択したときのキープレビュー動作は、以下のとおりです。

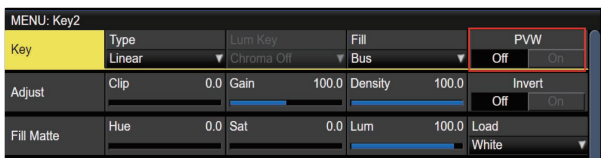
プレビュー出力にキーのプレビュー映像を出力して、キーの調整および確認をすることができます。

- ① Key の各メニューおよび DSK の各メニューより、[F1] を操作して Key1/Key2/Key3/DSK1/DSK2 メニューを表示します。

Key1 メニュー



Key2/Key3/DSK1/DSK2 メニュー



- ② [F5] を操作して、PVW 項目でプレビューのモードを設定します。

On	プレビュー出力にキー効果を付加した映像を出力します。
Off	プレビュー出力にキー効果を付加しない映像を出力します。
Auto	プレビュー出力に次のトランジションのプレビュー映像を出力します。


On/Off を割り当てたユーザーボタンを押すと、On (ボタン点灯) と Off (ボタン消灯) が交互に切り替わり、“Auto” の設定にはなりません。

メニュー	ユーザーボタン	ユーザーボタンを押す
On	点灯	Off : 消灯
Off	消灯	On : 点灯
Auto	消灯	On : 点灯

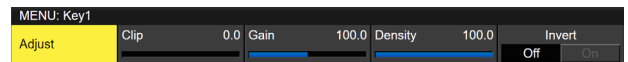
メニューの操作で “Auto” を選択すると、ユーザーボタンは Off (消灯) になります。

ルミナンスキー／リニアキーの調整

ルミナンスキーとリニアキーの抜け具合を調整します。

- ①  ボタンを押して点灯させ、Key メニューを表示します。

- ② [F1] を操作して Adjust サブメニューを表示します。



- ③ [F2]、[F3]、[F4] を操作してキーの抜け具合を調整します。

- ④ [F5] を操作してキーインバートの設定をします。
On の場合は、内部で生成するキー信号を反転させます。

操作 / パラメーター	設定内容	設定範囲
F2/ Clip	キー信号作成の基準レベル	0.0 ~ 108.0
F3/ Gain	キーの増幅度	0.0 ~ 200.0
F4/ Density	キーの濃さ	0.0 ~ 100.0
F5/ Invert	キー信号の反転	On, Off

基本操作

クロマキーの調整

選択したキー素材に対してサンプリングを行い、キーの抜け具合を調整します。

ステップ 1

■ 自動でサンプリングを実行する場合


- ①  ボタンを押して点灯させ、Chroma Key メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Auto Compute サブメニューを表示させます。



- ③ [F2] を押して、自動的にサンプリングを実行します。サンプリングした内容を元に戻す場合は、[F5] を押します。

■ 手動でサンプリングを実行する場合

手動調整モードをサンプルモードに変更します。

- ①  ボタンを押して点灯させ、Chroma Key メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Adjusting Mode サブメニューを表示させます。



- ③ [F2] を操作して、Sample Mode を選択します。
- ④ [F1] を操作して Sample サブメニューを表示させます。



- ⑤ [F2] を操作して、View 項目で “Composite” (バックグラウンド映像とキーの合成映像) を選択します。
- ⑥ [F3] を操作して、Mode 項目で “Select BG” を選択します。

Select BG	フォアグラウンド映像のバックグラウンドにする色を指定します。 通常は、ブルーバック、またはグリーンバックを指定します。
------------------	--

- ⑦ ポジショナーを使って、サンプルマーカの位置を移動させます。
サンプルマーカのサイズを変更する場合は、ロータリーエンコーダー [Z] を回します。

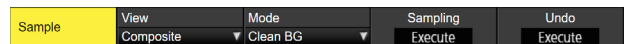
- ⑧ 設定したサンプル領域で良ければ、ロータリーエンコーダー [Z] を押します。
設定した領域がサンプリングされます。

- ⑨ サンプリングを実行したあと、サンプリング前の状態に戻す場合は、[F5] を押します。

ステップ 2

バックグラウンド映像のノイズを除去します。
数回この操作を行って、ノイズを除去します。

- ① Chroma Key メニューより、[F1] を操作して Sample サブメニューを表示させます。



- ② [F2] を操作して、View 項目で “Matte” (マット映像) を選択します。
- ③ [F3] を操作して、Mode 項目で “Clean BG” を選択します。

Clean BG	バックグラウンド映像のノイズを除去します。
-----------------	-----------------------

- ④ ポジショナーを使って、バックグラウンド映像のノイズ (白い点) の位置にサンプルマーカの位置を移動させます。
サンプルマーカのサイズを変更する場合は、ロータリーエンコーダー [Z] を回します。
- ⑤ 設定したサンプル領域で良ければ、ロータリーエンコーダー [Z] を押します。
設定した領域のノイズが除去されます。
- ⑥ サンプリングを実行したあと、サンプリング前の状態に戻す場合は、[F5] を押します。



ノイズ除去前



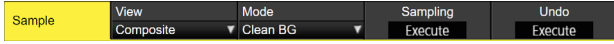
ノイズ除去後

基本操作

ステップ 3

フォアグラウンド映像のノイズを除去します。
数回この操作を行って、ノイズを除去します。

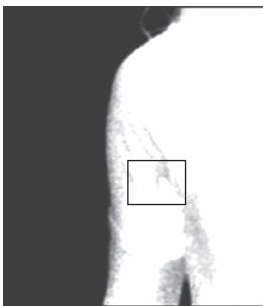
- ① [F2] を操作して、View 項目で “Matte” (マット映像) を選択します。



- ② [F3] を操作して、Mode 項目で “Clean FG” を選択します。

Clean FG	フォアグラウンド映像のノイズを除去します。
----------	-----------------------

- ③ ポジショナーを使って、フォアグラウンド映像のノイズ (黒い点) の位置にサンプルマーカの位置を移動させます。
サンプルマーカのサイズを変更する場合は、ロータリーエンコーダー [Z] を回します。
- ④ 設定したサンプル領域で良ければ、ロータリーエンコーダー [Z] を押します。
設定した領域のノイズが除去されます。
- ⑤ サンプリングを実行したあと、サンプリング前の状態に戻す場合は、[F5] を押します。



ノイズ除去前



ノイズ除去後

ステップ 4

ステップ 1 ~ ステップ 3 の操作では、下の映像のように髪の毛の付近など細部にノイズが残ってしまいます。
ステップ 4 では、細部に残っているノイズを除去します。
ノイズの数が多い場合は、数回この操作を行って、ノイズを除去します。



- ① [F2] を操作して、View 項目で “Composite” (バックグラウンド映像とキーの合成映像) を選択します。



- ② [F3] を操作して、Mode 項目で “Sponge” を選択します。

Sponge	細部に残っているノイズを除去します。
--------	--------------------

- ③ ポジショナーを使って、ノイズが残っている位置にサンプルマーカの位置を移動させます。
サンプルマーカのサイズを変更する場合は、ロータリーエンコーダー [Z] を回します。
- ④ 設定したサンプル領域で良ければ、ロータリーエンコーダー [Z] を押します。
設定した領域のノイズが除去され、より自然な色に変わります。
- ⑤ サンプリングを実行したあと、サンプリング前の状態に戻す場合は、[F5] を押します。

- サンプル領域は、明るい部分と暗い部分の両方でそれぞれサンプリングしてください。
- 上記の操作を行っても、フォアグラウンド映像のノイズが完全に除去されない場合は、FineTuning サブメニューの操作を行ってください。

基本操作

ステップ 5

ノイズの調整や透明度など、映像の微調整を行います。

- ① Chroma Key メニューより、[F1] を操作して Sample サブメニューを表示させます。



- ② [F2] を操作して、View 項目で調整を行う映像を選択します。

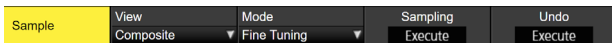
Composite	バックグラウンド映像とキーの合成映像
Matte	マット映像
Proc.FG	プロセスフォアグラウンド映像
FG	フォアグラウンド映像

- ③ [F3] を操作して、Mode 項目で調整機能を選択します。各項目の詳細は、「[[FineTuning]]」を参照してください。
- ④ ポジショナーを使って、サンプリングする位置にサンプルマーカーの位置を移動させます。サンプルマーカーのサイズを変更する場合は、ロータリーエンコーダー [Z] を回します。
- ⑤ 設定したサンプル領域で良ければ、ロータリーエンコーダー [Z] を押します。設定した領域のサンプリングが行われます。
- ⑥ 調整を行ったあと、1 段階前の状態に戻す場合は、[F5] を押します。

[FineTuning]

微細な映像の調整を行います。

- ① Chroma Key メニューより、[F1] を操作して Sample サブメニューを表示させます。



- ② [F2] を操作して、View 項目で “Composite” を選択します。
- ③ [F3] を操作して、Mode 項目で “FineTuning” を選択します。
- ④ ポジショナーを使って、サンプリングする位置にサンプルマーカーの位置を移動させます。サンプルマーカーのサイズを変更する場合は、ロータリーエンコーダー [Z] を回します。
- ⑤ 設定したサンプル領域で良ければ、ロータリーエンコーダー [Z] を押します。

- ⑥ Chroma Key メニューより、[F1] を操作して Fine Tuning サブメニューを表示させます。



- ⑦ [F2] を操作して、Spill 項目でノイズの除去と復元を行います。マイナスの方向に値を大きくすると、フォアグラウンド映像から多くのノイズが除去され、ブルースクリーンの補色（反対色）に近づいていきます。プラスの方向に値を大きくすると、オリジナルのフォアグラウンド映像に近づいていきます。
- ⑧ [F3] を時計方向に回して、Trans 項目でフォアグラウンド映像の色に近い色のマットを調節することができます。例えば、フォアグラウンドの映像で、濃い煙や雲などに覆われた部分を半透明にする場合に有効です。
- ⑨ [F4] を時計方向に回して、Detail 項目でバックグラウンド映像の色に近い色に対するマット情報を調節します。例えば、サンプリングによりフォアグラウンド映像で失われた微細な映像（ほつれた髪の毛や煙など）を元に戻す場合に有効です。

ステップ 6

生成したクロマキー信号の微調整を行います。

- ① Chroma Key メニューより、[F1] を操作して Adjust サブメニューを表示させます。



- ② [F2] を操作して、Narrow 項目でクロマキー信号の幅を調整します。キー信号の幅を水平方向に 0.5（画素数）の単位で調整します。
- ③ [F3] を操作して、Phase 項目でクロマキー信号の水平位相を調整します。キー信号の位置を 0.5（画素数）の単位で水平方向に移動することができます。

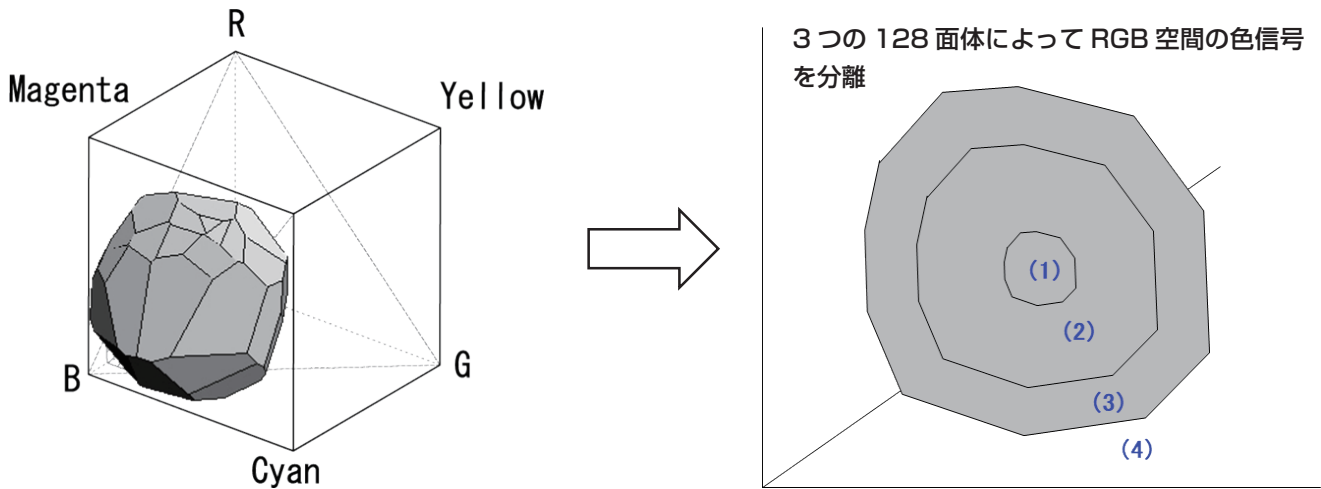
基本操作

■ 手で3つの境界面を調整する場合

手動調整モードをバリューモードに変更します。

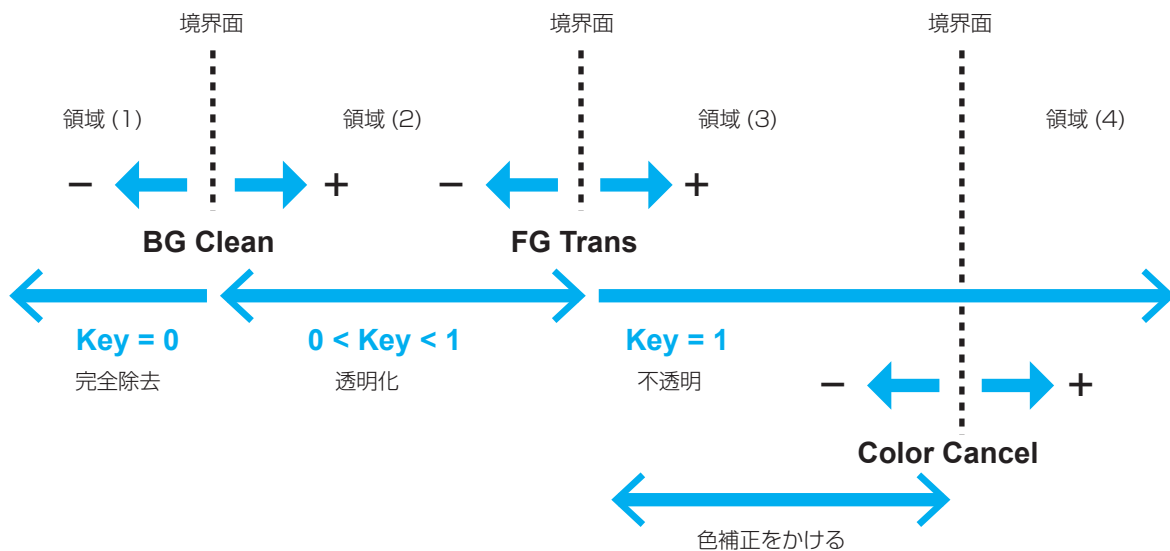
バリューモードとは、数値変更により3つの境界面を全体的に調整できるモードです。

本機で採用しているクロマキーアルゴリズムでは、128面体の計上によって色信号を4つの領域に分割しています。



領域 (1)	100%背景の部分
領域 (2)	ガラス、水など透明、半透明な部分
領域 (3)	Spill が除去された前景部分
領域 (4)	100%前景の部分


バリューモードの概念は、下図のとおりです。



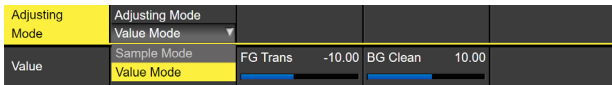
バリューモードでは、以下の3つのパラメーターで各境界面をそれぞれ調整することができます。

BG Clean	領域 (1) と (2) の境界面	数値を + 側へ調整することにより、ブルーバックのノイズを減少することができます。
FG Trans	領域 (2) と (3) の境界面	数値を + 側へ調整することにより、被写体が透明になっていきます。
Color Cancel	領域 (3) と (4) の境界面	数値を + 側へ調整することにより、被写体部の色を濃い肌色方向にシフトできます。

基本操作

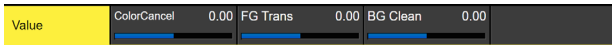
①  ボタンを押して点灯させ、Chroma Key メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Adjusting Mode サブメニューを表示させます。



③ [F2] を操作して、Value Mode を選択します。

④ [F1] を操作して、Value サブメニューを表示させます。



⑤ [F2] を操作して、Color Cancel 項目で領域 (3) と (4) の境界面の調整をします。
数値を + 側へ調整することにより、被写体部の色を濃い肌色方向にシフトできます。


⑥ [F3] を操作して、FG Trans 項目で領域 (2) と (3) の境界面の調整をします。
数値を + 側へ調整することにより、被写体が透明になっていきます。

⑦ [F4] を操作して、BG Clean 項目で領域 (1) と (2) の境界面の調整をします。
数値を + 側へ調整することにより、ブルーバックのノイズを減少することができます。

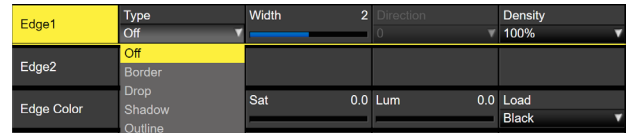
キーの装飾

キーに、ボーダーやシャドウなどのエッジを付加します。

キーのエッジを設定する

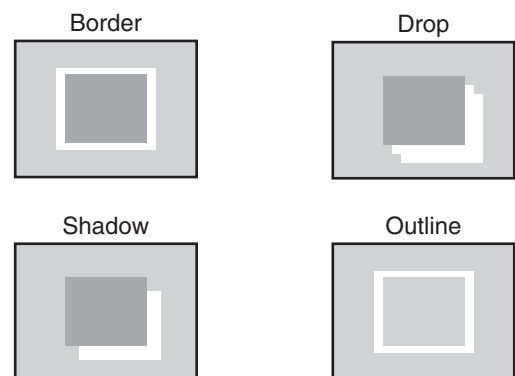
①  ボタンを押して点灯させ、Key メニューを表示します。

② [F1] を操作して Edge1 サブメニューを表示します。



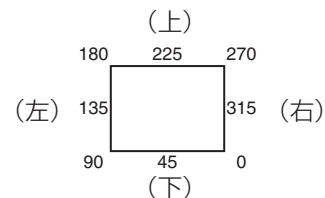
③ [F2] を操作してエッジのタイプを選択します。

Off	エッジを付加しません。
Border	全縁にボーダーを付加します。
Drop	斜め方向のボーダーを付加します。
Shadow	シャドウを付加します。
Outline	アウトライン (フィルなしのボーダーのみ) を付加します。



④ [F3] を操作してエッジの幅を設定します。

⑤ [F4] を操作して“Drop”、“Shadow”を付加する方向 (45° 単位) を設定します。



⑥ [F5] を操作してエッジの濃さ (Density) を設定します。

基本操作

エッジフィルを設定する

エッジとして挿入する素材を設定します。

- ① Key メニューより、[F1] を操作して、Edge2 サブメニューを表示します。



- ② [F2] を操作して、Edge Fill 項目でエッジの素材を選択します。

Color	Edge Color で設定した色を使用します。
CBGD1	カラーバックグラウンドを使用します。
CBGD2	
Still1	静止画ビデオメモリー (Still1) を使用します。
Still2	静止画ビデオメモリー (Still2) を使用します。
Clip1	動画ビデオメモリー (Clip1) を使用します。
Clip2	動画ビデオメモリー (Clip2) を使用します。

- 4K モード時は、Still2、Clip2 は選択できません。

エッジの色を設定する

- ① Key メニューより、[F1] を操作して、Edge Color サブメニューを表示します。



- ② [F2] ~ [F4] を操作して、エッジカラーの Hue、Sat、Lum を調整します。

■ プリセットカラーを呼び出す場合

[F5] を操作して Load 項目でプリセットカラーを選択し、[F5] を押します。

- [F5] を押すと、それまで設定していた値が取り消されてプリセットカラーの値に変更されます。
- プリセットカラーを呼び出す前に設定していた値を保存する場合は、「メモリー」を参照してください。

キーのマスク

BOX パターンのマスク信号で、キー信号をマスクします。

- ① ボタンを押して点灯させ、Key メニューを表示します。

- ② [F1] を操作して Mask サブメニューを表示させます。



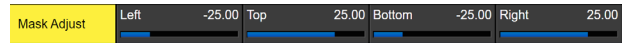
- ③ [F2] を操作して、Mask 項目でマスクの方法を設定します。

Off	キー信号をマスクしません。
Manual	Mask Adjust サブメニューで設定する領域をマスクします。
4:3	4:3 のアスペクト比にマスクします。

- ④ [F3] を操作して、Invert 項目でマスク信号を反転させるかどうかを設定します。

On	マスク信号を反転させます。
Off	マスク信号を反転させません。

- ⑤ [F1] を操作して Mask Adjust サブメニューを表示させます。

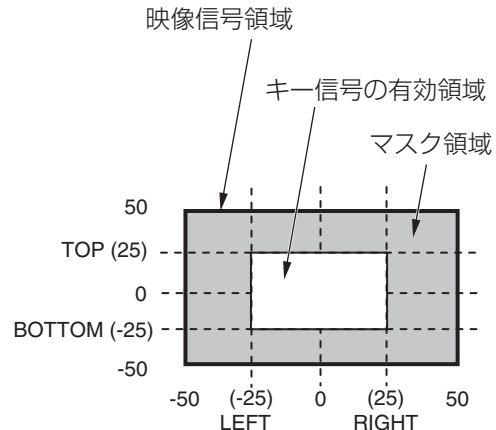


- ⑥ [F2] ~ [F5] を操作して、マスクする領域を設定します。

操作 / パラメーター	設定内容	設定範囲 / 初期値
F2 / Left	キー左側の位置	-50.00 ~ 50.00 / -25.00
F3 / Top	キー上部の位置	-50.00 ~ 50.00 / 25.00
F4 / Bottom	キー下部の位置	-50.00 ~ 50.00 / -25.00
F5 / Right	キー右側の位置	-50.00 ~ 50.00 / 25.00

Left と Right、Top と Bottom は、お互いの設定範囲を超えることはできません。

< キーマスクの設定 > (図はデフォルト値の場合)



基本操作

フライングキー

入力されたキー信号に対して、DVE 効果を利用して移動や拡大、縮小を行うことができます。

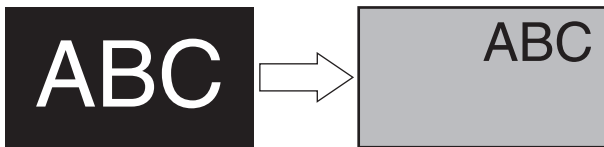
フライングキーを有効にするためには、キートランジションで「SQ2 : 8」を選択します。

⇒「ワイプパターンの選択」参照

キートランジションを実行すると、フライングキーのメニューで設定したキー信号でキー合成を行います。

(トランジション効果は、MIX に固定です。)

フライングキーでは、DVE 効果を利用しているため、映像が 1 フレーム遅れます。



キー信号

フライングキーで合成

DVE 効果の前にキーのエッジを付加するため、サイズを変更するとエッジの太さも変化します。

位置とサイズを調整する

① [KEY] ボタンを押して点灯させ、Key メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Flying Key Position/Size サブメニューを表示させます。



③ [F2] を操作して、X-Pos 項目でキー信号の X 座標を設定します。

④ [F3] を操作して、Y-Pos 項目でキー信号の Y 座標を設定します。

⑤ [F4] を操作して、Size 項目でキー信号の変更サイズ (最大 400: 400%) を設定します。

傾きを調整する

① [KEY] ボタンを押して点灯させ、Key メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Flying Key Rotation サブメニューを表示させます。



③ [F2] を操作して、X 項目でキー信号の X 回転を設定します。

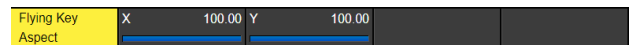
④ [F3] を操作して、Y 項目でキー信号の Y 回転を設定します。

⑤ [F4] を操作して、Z 項目でキー信号の Z 回転を設定します。

アスペクト比を調整する

① [KEY] ボタンを押して点灯させ、Key メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Flying Key Aspect サブメニューを表示させます。



③ [F2] を操作して、X 項目でキー信号の横比率を設定します。

④ [F3] を操作して、Y 項目でキー信号の縦比率を変更します。

基本操作

フライングキーを利用した PinP 合成



「キータイプの選択」の Type 項目で“Full”を選択すると、フライングキーを利用して PinP 合成を行うことができます。

(このとき、Adjust サブメニューで Clip 項目と Gain 項目の設定ができません。)

フルキーは、全画面の映像がキーソース信号となるため、そのままではエッジが付加されません。
エッジを付加する場合は、キーソース信号が全画面より小さくなるようにマスクを行ってください。
⇒マスクのしかたは、「キーのマスク」を参照してください。

プライオリティの設定

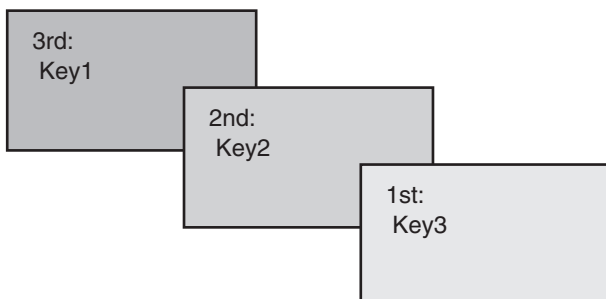
Key1、Key2、Key3 の映像が重なったときの位置関係を設定します。

- ①  (または ) ボタン) を押して点灯させ、Key メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Key Priority サブメニューを表示させます。



- ③ [F2] ~ [F4] を操作して、3rd 項目、2nd 項目、1st 項目でそれぞれの位置関係を設定します。

1st	最上位の対象を設定します。
2nd	中間の対象を設定します。
3rd	最下位の対象を設定します。



PinP (ピクチャーインピクチャー)

バックグラウンド映像に別の映像を合成します。

本機は、DSK と Key の 2 チャンネルの PinP に対応しています。

PinP チャンネルと素材の選択

2K モード、HD モード：

AUX バス選択ボタンの [Key2] ボタンを押します。

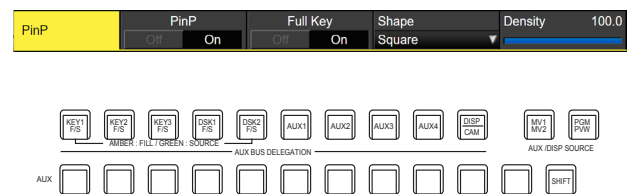
4K モード、4K DVE ユニットがない場合：

AUX バス選択ボタンの [Key1] ボタンを押します。

[Key2] ボタン (または、[Key1] ボタン) が点灯して内蔵ディスプレイに PinP メニューが表示されます。

このとき、AUX バスクロスポイントボタンは、PinP の素材が選択されている状態になります。

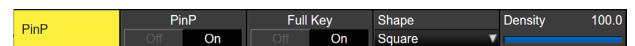
選択された AUX バスクロスポイントボタンは、アンバー色に点灯します。(選択された信号が PGM 出力されている場合は、赤色に点灯します。)



Shape の選択

PinP の映像を合成するときの形には、四角形 (Square)、円形 (Circle)、ハート (Heart)、花 (Flower)、星 (Star) を選択することができます。

- ① [Key2] ボタン (2K/HD モード) または [Key1] ボタン (4K モード、4K DVE ユニットがない場合) を押して点灯させ、PinP メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、PinP サブメニューを表示させます。



- ③ [F4] を操作して、Shape 項目で映像を合成するときの形を選択します。
- ④ [F5] を操作して、Density 項目で映像を合成するときの透過率 (濃さ) を調整します。

基本操作

Full Key の On/Off

- ① PinP サブメニューで [F3] を操作して、Full Key の有効 (On) / 無効 (Off) を設定します。

On	Key サブメニューで設定した値に関わらず、Full Key で PinP 映像が合成されます。
Off	Key サブメニューで設定した値に基づいて PinP 映像が合成されます。

PinP の調整

位置とサイズを調整する

PinP メニューが選択されているとき、ポジションナー部のポジションナーで X、Y 座標を調整し、ロータリーエンコーダー [Z] で大きさを調整します。またメニューでも設定することができます。

- ① [Key2] ボタン (2K/HD モード) または [Key1] ボタン (4K モード、4K DVE ユニットがない場合) を押して点灯させ、PinP メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、PinP Position サブメニューを表示させます。



- ③ ポジションナーとロータリーエンコーダー [Z] を操作するか、[F2]、[F3]、[F4] を操作して、X-Pos 項目、Y-Pos 項目、Size 項目で X、Y 座標と大きさを設定します。

Key PinP と DSK PinP の連動

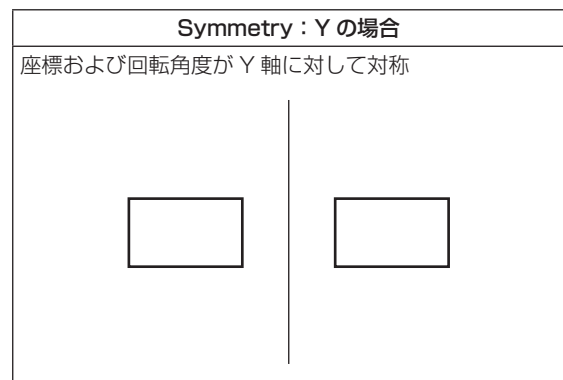
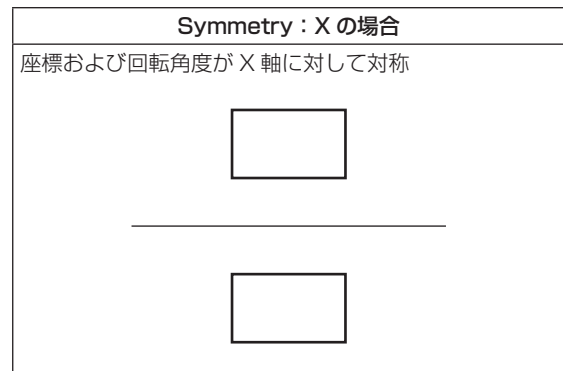
座標および回転角度を設定した軸に対して、Key PinP と DSK PinP の映像が対称な動作をします。基準になる映像は、操作しているメニューの PinP 映像になります。

Key PinP と DSK PinP を連動させる

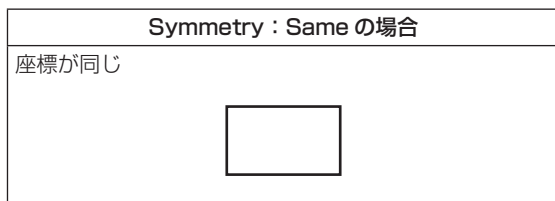
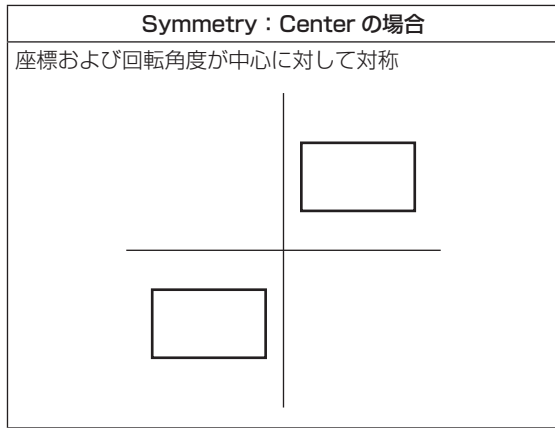
- ① [Key2] ボタン (2K/HD モード) または [Key1] ボタン (4K モード、4K DVE ユニットがない場合) を押して点灯させ、PinP メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、PinP Sync サブメニューを表示させます。



- ③ [F2] を操作して、Sync 項目で基準にする位置を選択します。基準になる映像は、操作しているメニューの PinP 映像になります。



基本操作



設定値をコピーする

Key PinP の設定値を DSK PinP へコピー、同様に DSK PinP の設定値を Key PinP へコピーすることができます。

- ① PinP メニューで [F1] を操作して、PinP Sync サブメニューを表示します。



- ② [F2] を操作して、Sync 項目で Off を選択します。
- ③ [F5] を押すと、Key PinP (または DSK PinP) の設定値がコピーされ、DSK PinP (または Key PinP) の値に設定されます。

NOTE

下記の設定値は、コピーされません。

- PinP Trim サブメニュー
- PinP サブメニュー

PinP の装飾

PinP にボーダーやソフト効果を付加します。

- ① [Key2] ボタン (2K/HD モード) または [Key1] ボタン (4K モード、4K DVE ユニットがない場合) を押して点灯させ、PinP メニューを表示します。

- ② [F1] を操作して、PinP Border サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Border 項目でボーダーの On/Off を設定します。
- ④ [F3] を操作して、Width 項目でボーダーの幅を設定します。

- ⑤ [F4] を操作して、Soft 項目でソフト効果の量を設定します。0.0 はソフト効果 OFF となります。Border 項目を "On" に設定したとき、ソフト効果の量は、ボーダーの幅に対するソフト効果の割合を示します。ソフト効果のみを PinP に付加する場合は、Border 項目を "Off" に設定してください。

- ⑥ [F5] を操作して、Mode 項目でボーダー幅の変化を設定します。

Fix	ボーダー幅を一定に保ちます。
Variable	PinP のサイズに合わせてボーダー幅が変化します。

ボーダーの色を設定する

- ① PinP メニューで [F1] を操作して、PinP Border Color サブメニューを表示します。



- ② [F2] ~ [F4] を操作して、ボーダーカラーの Hue、Sat、Lum を調整します。

■ プリセットカラーを呼び出す場合

[F5] を操作して Load 項目でプリセットカラーを選択し、[F5] を押します。

- [F5] を押すと、それまで設定していた値が取り消されてプリセットカラーの値に変更されます。
- プリセットカラーを呼び出す前に設定していた値を保存する場合は、「メモリー」を参照してください。

基本操作

トリミングの設定

① [Key2] ボタン (2K/HD モード) または [Key1] ボタン (4K モード、4K DVE ユニットがない場合) を押して点灯させ、PinP メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Trim サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Trim 項目でトリミングの On/Off を設定します。

On	トリミングをします。
Off	トリミングをしません。

④ [F3] を操作して、トリミングの種類を選択します。

16:9	アスペクト比が 16:9 になるように自動的にトリミングします。
12:9	アスペクト比が 12:9 になるように自動的にトリミングします。
9:9	アスペクト比が 9:9 になるように自動的にトリミングします。
7:9	アスペクト比が 7:9 になるように自動的にトリミングします。
6:9	アスペクト比が 6:9 になるように自動的にトリミングします。
Manual	Trim サブメニューで設定されている値でトリミングします。

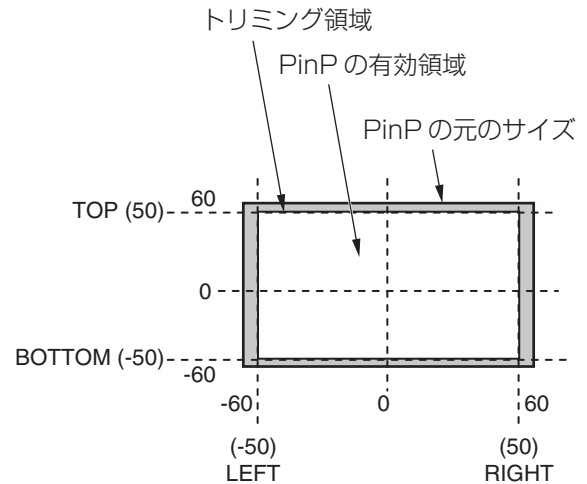
⑤ [F3] を操作して、Pair 項目で Pair の On/Off を設定します。

On	Left と Right、Top と Bottom のトリミング量が同じになるように変化します。(上下、左右対称になります)
Off	Pair の設定をしません。

⑥ [F1] を操作して PinP Trim Adjust サブメニューを表示し、[F2]、[F3]、[F4]、[F5] を操作してトリミングの値を設定します。

操作 / パラメーター	設定内容	設定範囲 / 初期値
F2 / Left	左側のトリミング値	-50.00 ~ 50.00 / -50.00
F3 / Top	上部のトリミング値	-50.00 ~ 50.00 / 50.00
F4 / Bottom	下部のトリミング値	-50.00 ~ 50.00 / -50.00
F5 / Right	右側のトリミング値	-50.00 ~ 50.00 / 50.00

< トリミングの設定 > (図はデフォルト値の場合)




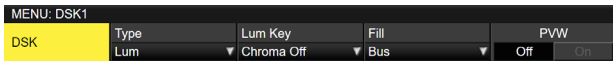
基本操作

DSK (ダウストリームキー)

バックグラウンド映像に文字や別の映像を合成します。
DSKには、DSK1とDSK2の2種類があります。

DSKタイプの選択

- ①  ボタンを押して点灯させ、DSKメニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、DSKサブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Type項目を選択します。
DSK1：
選択肢は、Lum、Linear、Chroma、Fullの4つです。
DSK2：
選択肢は、Lum、Linear、Fullの3つです。

Lum (ルミナンスキー / セルフキー)	キーフィル信号の輝度成分からキー信号を作成します。
Linear (リニアキー / EXTキー)	キーソース信号の輝度成分からキー信号を作成します。 キーソース信号とキーフィル信号が異なる場合に使用します。
Chroma (クロマキー / セルフキー)	キーフィル信号の特定の色相を基準にしてキー信号を作成します。
Full (フルキー / セルフキー)	全画面の映像をキーソース信号としてキー信号を作成します。

ルミナンスキーは、セルフキーとして運用されるためキーフィル信号をキーソース信号として使用します。ダウストリームキーのタイプとしてルミナンスキーを選択しているときは、キーソース信号を切り替えてもキー信号は変化しません。

リニアキーを使用する場合、キーソース信号は、背景が黒色でキー合成したい文字や形が白色の素材を用意してください。白黒以外の色の素材は、きれいに合成されない場合があります。

また、背景が白色で黒の文字などの素材は、キーインバート機能で反転させて使用することができます。

- ④ ルミナンスキーを選択した場合、セルフキー用途を考慮して、キー信号の生成にクロマ成分を含めることができます。(リニアキーには適用されません。)
[F3] を操作して、Lum Key項目で設定します。

Chroma On	輝度成分に加えて、クロマ成分も考慮してキー信号を生成します。 キー信号に、輝度成分の低い色を用いた場合(例えば、青色の文字を抜きたい場合など)に設定します。
Chroma Off	輝度成分のみからキー信号を生成します。

- ⑤ [F4] を操作して、Fill項目でフィルのタイプを選択します。

Bus	キーフィル信号にバスの信号を使用します。
Matte	キーフィル信号に内蔵のフィルマットを使用します。

フィルマットの色を設定する

- ① DSKメニューより、[F1] を操作して、Fill Matteサブメニューを表示します。



- ② [F2] ~ [F4] を操作して、フィルマットのHue、Sat、Lumを調整します。

■ プリセットカラーを呼び出す場合

[F5] を操作してLoad項目でプリセットカラーを選択し、[F5] を押します。

- [F5] を押すと、それまで設定していた値が取り消されてプリセットカラーの値に変更されます。
- プリセットカラーを呼び出す前に設定していた値を保存する場合は、「メモリー」を参照してください。

基本操作

DSK 素材の選択

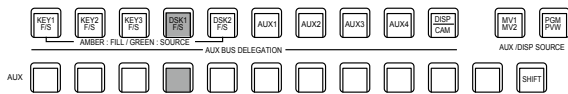
DSK フィル信号と DSK ソース信号を選択する

AUX バス選択部の [DSK] ボタンを押して、DSK フィル信号（アンバー色に点灯）と DSK ソース信号（緑色に点灯）の選択を切り替えます。

<DSK フィル信号の選択>

[DSK] ボタンがアンバー色に点灯している状態で、AUX バスクロスポイントボタン 1 ~ 12 を押して DSK フィル信号を選択します。

選択された AUX バスクロスポイントボタンはアンバー色に点灯します。（選択された信号が PGM 端子から出力されている場合は、赤色に点灯します。）



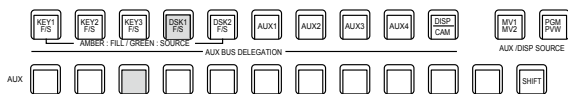
■ アンバー色で点灯

<DSK ソース信号の選択>

[DSK] ボタンが緑色に点灯している状態で、AUX バスクロスポイントボタン 1 ~ 12 を押して DSK ソース信号を選択します。

選択された AUX バスクロスポイントボタンは緑色に点灯します。（選択された信号が PGM 端子から出力されている場合は、赤色に点灯します。）

ルミナンスキーは、セルフキーとして運用されるためキーフィル信号をキーソース信号として使用します。ダウンストリームキーのタイプとしてルミナンスキーを選択しているときは、キーソース信号を切り替えてもキー信号は変化しません。



■ 緑色で点灯

DSK フィル信号と DSK ソース信号の選択を連動させる

- ① ボタンを押して点灯させ、Config メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Key Signal Coupling1 サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Fill/Source 項目で DSK フィル信号と DSK ソース信号の連動方法を選択します。

Fill To Source	DSK フィル信号を選択すると DSK ソース信号が自動的に変わります。
Source To Fill	DSK ソース信号を選択すると DSK フィル信号が自動的に変わります。

<Fill To Source>

DSK フィル信号を選択したときに DSK ソース信号も自動的に切り替わります。

最初、DSK ソース信号と DSK フィル信号は、同じ信号になります。

例えば、DSK フィル信号に“SDI1”を選択した場合は、DSK ソース信号も“SDI1”になります。

次に、[DSK] ボタンを押して緑色に点灯させ、DSK ソース信号に“SDI2”を選択します。このとき「DSK フィル信号：SDI1、DSK ソース信号：SDI2」という組み合わせ情報が本機に記録されます。

DSK フィル信号と DSK ソース信号を他の信号に切り替えて何らかの操作をしたあと、DSK フィル信号を選択して“SDI1”にすると、記録された組み合わせ情報から DSK ソース信号が自動的に“SDI2”に切り替わります。

DSK フィル信号を“SDI1”にした状態で DSK ソース信号を変えると、変更後の組み合わせ情報に更新されて本機に記録されます。

<Source To Fill>

DSK ソース信号を選択したときに DSK フィル信号が自動的に切り替わるようになります。

ただし、[DSK] ボタンが点灯していない状態から [DSK] ボタンを押すと、最初は、[DSK] ボタンが緑色に点灯して DSK ソース信号を選択するモードになることにご注意ください。

基本操作

記録された組み合わせ情報は、Key Signal Coupling サブメニューの Coupling1 から 8 で組み合わせを設定できます。

Key Signal Coupling1	Fill/Source			
	Fill to Source			
Key Signal Coupling2	IN1	IN2	SDI IN3	SDI IN4
	IN1	IN2	SDI IN3	SDI IN4
Key Signal Coupling3	SDI IN5	SDI IN6	SDI IN7	SDI IN8
	SDI IN5	SDI IN6	SDI IN7	SDI IN8
Key Signal Coupling4	IN-A1	IN-A2	IN-A3	IN-A4
	IN-A1	IN-A2	IN-A3	IN-A4
Key Signal Coupling5	IN-B1	IN-B2	IN-B3	IN-B4
	IN-B1	IN-B2	IN-B3	IN-B4
Key Signal Coupling6	Black	CBAR	CBGD 1	CBGD 2
	Black	CBAR	CBGD 1	CBGD 2
Key Signal Coupling7	Still 1V	Still 1K		
	Still 1V	Still 1K		
Key Signal Coupling8	Clip 1V	Clip 1K		
	Clip 1V	Clip 1K		

初期値は、DSK ソース信号と DSK フィル信号が同じです。

DSK フィル信号と DSK ソース信号の選択を別々に設定する

- ① DSK メニューより、[F1] を操作して DSK Signal Coupling サブメニューを表示します。

DSK Signal Coupling	Independent			
	Off On			


- ② [F2] を操作して、Independent 項目で On/Off を設定します。

<Independent>

[DSK] ボタンがアンバー色に点灯しているときに DSK フィル信号が選択でき、緑色に点灯しているときに DSK ソース信号が選択できます。

DSK のトランジション

- ① トランジションの時間を設定します。

 ボタンを押して点灯させ、Time メニューを表示します。

- ② [F1] を操作して、DSK サブメニューを表示します。バックグラウンドトランジションと同様に、トランジションタイムを設定します。
⇒ 「オートトランジション」参照

- ③ トランジション部の [DSK1 ON] または [DSK2 ON] ボタンを押すと、設定されたトランジションタイムで DSK 映像を合成（フェードイン）します。

フェードイン中は、[DSK1 ON] または [DSK2 ON] ボタンが赤色に点滅し、トランジション（フェードイン）が完了すると赤色に点灯します。

完全にフェードインした状態で [DSK1 ON] または [DSK2 ON] ボタンを押すと、DSK 映像がトランジション（フェードアウト）します。


フェードアウト中は、[DSK1 ON] または [DSK2 ON] ボタンが赤色に点灯し、トランジション（フェードアウト）が終了すると消灯します。

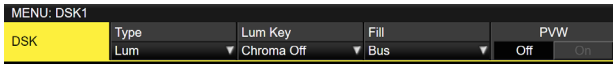
トランジションの途中で [DSK1 ON] または [DSK2 ON] ボタンを押すと、トランジションの方向が反転します。

基本操作

DSKのプレビュー

プレビュー出力に DSK のプレビュー映像を出力するかどうかを選択します。

- ①  ボタンを押して点灯させ、DSK メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、DSK サブメニューを表示します。



- ③ [F5] を操作して、PVW 項目を設定します。


On	プレビュー出力に、DSK の効果を付加した映像を出力します。
Off	プレビュー出力に、DSK の効果を付加しない映像を出力します。

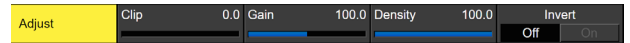
PVW の On/Off は、ユーザーボタンにアサインすることができます。

⇒「ユーザーボタンの設定」参照

DSKの調整

DSK の抜け具合を調整します。

- ①  ボタンを押して点灯させ、DSK メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Adjust サブメニューを表示します。




- ③ [F2]、[F3]、[F4] を操作して、DSK（ダウンストリームキー）の抜け具合を調整します。
- ④ [F5] を操作して、キーインバートの設定をします。On の場合は、内部で生成するキー信号を反転させます。

操作 / パラメーター	設定内容	設定範囲
F2/ Clip	キー信号作成の基準レベル	0.0 ~ 108.0
F3/ Gain	キーの増幅度	0.0 ~ 200.0
F4/ Density	キーの濃さ	0.0 ~ 100.0
F5/ Invert	キー信号の反転	On、Off

基本操作

DSKのマスキ

BOX パターンのマスク信号で、DSK をマスクします。

- ①  ボタンを押して点灯させ、DSK メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Mask サブメニューを表示させます。



- ③ [F2] を操作して、Mask 項目でマスクの方法を設定します。

Off	DSK をマスクしません。
Manual	Mask Adjust サブメニューで設定する領域をマスクします。
4:3	4:3 のアスペクト比にマスクします。

- ④ [F3] を操作して、Invert 項目でマスク信号を反転させるかどうかを設定します。

On	マスク信号を反転させます。
Off	マスク信号を反転させません。

- ⑤ [F1] を操作して、Mask Adjust サブメニューを表示させます。

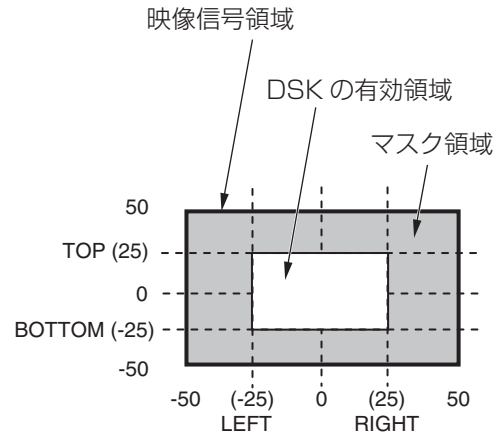


- ⑥ [F2] ~ [F5] を操作して、マスクする領域を設定します。

操作 / パラメーター	設定内容	設定範囲 / 初期値
F2 / Left	DSK 左側の位置	-50.00 ~ 50.00 / -25.00
F3 / Top	DSK 上部の位置	-50.00 ~ 50.00 / 25.00
F4 / Bottom	DSK 下部の位置	-50.00 ~ 50.00 / -25.00
F5 / Right	DSK 右側の位置	-50.00 ~ 50.00 / 25.00

Left と Right、Top と Bottom は、お互いを超えることはできません。

<DSK マスクの設定> (図はデフォルト値の場合)

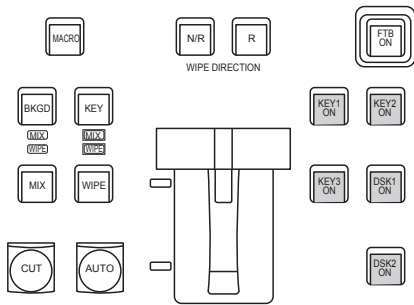


基本操作

Key Link

Key1、Key2、Key3 と DSK1、DSK2 を Group1 から 4 で連動させることができます。

[KEY ON] ボタンの On/Off (ボタン点灯/ボタン消灯) に合わせて、[DSK ON] ボタン (DSK1 ON、DSK2 ON) や [KEY ON] ボタン ([KEY1 ON]、[KEY2 ON]、[KEY3 ON]) の On/Off を連動させることができます。



- ① 使用する Config のボタンを押し、メニューを表示させます。
- ② [F1] を操作して、Key/DSK Link1 もしくは 2 のサブメニューを表示し、各ボタンのリンクさせるボタンを、Group1 ~ 4 で設定します。
 - OFF を選択した場合は、リンクしません。
 - 各ボタンのボタンカラーは、サブメニュー Color Group KEY ON と Color Group DSK/FTB ON にて設定されます。

MENU: Config				
Key/DSK Link1	Key1	Key2	Key3	
	Off	Off	Off	
Key/DSK Link2	DSK1	DSK2		
	Off	Off		

MENU: Config				
Color Group KEY ON	KEY1 ON	KEY2 ON	KEY3 ON	
	Color Group1	Color Group1	Color Group1	
Color Group DSK/FTB ON	DSK1 ON	DSK2 ON	FTB ON	
	Color Group1	Color Group1	Color Group1	

例：

Key/DSK Link1 の KEY 1 を Color Group 1 に設定すると、KEY2 ON/KEY3 ON/DSK1 ON/DSK2 ON のどのボタンを ON (点灯) に設定しても、KEY1 ON ボタンも ON に設定されます。

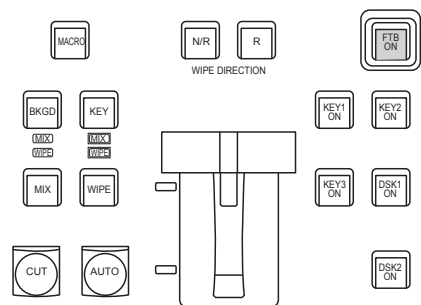
FTB (Fade to Black)

プログラム映像から黒画面 / 白画面 / Still / Clip / カラーバックグラウンド画面へのフェードアウト、または黒画面 / 白画面 / Still / Clip / カラーバックグラウンド画面からプログラム映像へのフェードインを実行します。

- ① トランジションの時間を設定します。

[TIME CAM] ボタンを押して点灯させ、Time メニューを表示します。

- ② [F1] を操作して、FTB サブメニューを表示します。バックグラウンドトランジションと同様に、トランジションタイムを設定します。
⇒ 「オートトランジション」参照



- ③ トランジション部の [FTB ON] ボタンを押すと、設定されたトランジションタイムで設定画面にフェードアウトします。

フェードアウト中は、[FTB ON] ボタンが赤色に点滅し、トランジション (フェードアウト) が完了して黒画面になると、赤色に点灯します。*

黒画面の状態から、[FTB ON] ボタンを押すと、プログラム映像にフェードインします。

フェードイン中は、[FTB ON] ボタンが赤色に点灯し、トランジション (フェードイン) が終了すると消灯します。


トランジションの途中で [FTB ON] ボタンを押すと、トランジションの方向が反転します。

* : FTB 状態では、通常赤色に点灯するクロスポイントボタンは、アンバー色に点灯します。

基本操作

映像の選択

フェードアウトするときの映像を選択することができます。

- ①  ボタンを押して点灯させ、Config メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Assign サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、FTB Source 項目でフェードアウトするときの映像を選択します。

Still1	静止画ビデオメモリー (Still1) を使用します。
Still2	静止画ビデオメモリー (Still2) を使用します。 <ul style="list-style-type: none">● 2K モード時のみ選択可能。
Clip1	動画ビデオメモリー (Clip1) を使用します。
Clip2	動画ビデオメモリー (Clip2) を使用します。 <ul style="list-style-type: none">● 2K モード時のみ選択可能。
CBGD1	カラーバックグラウンドを使用します。
CBGD2	
White	白背景
Black	黒背景

内蔵カラー信号


本機は 2 系統の内蔵カラー信号に対応しています。

カラーバックグラウンドの設定

バスで使用するカラーバックグラウンドの色を設定します。Hue (色相)、Sat (色の濃さ)、Lum (明るさ) を設定して使用方法と、プリセットカラーの 8 色 (White、Yellow、Cyan、Green、Magenta、Red、Blue、Black) を呼び出して使用方法があります。

呼び出した色の Hue、Sat、Lum を調整することもできます。

色を調整する

- ①  ボタンを押して点灯させ、Color Background メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、CBGD1 Main (または CBGD2 Main) サブメニューを表示します。



- ③ [F2]、[F3]、[F4] を操作して色の調整 (Hue、Sat、Lum) を行います。

■ プリセットカラーを呼び出す場合

[F5] を操作して Load 項目でプリセットカラーを選択し、[F5] を押します。


- [F5] を押すと、それまで設定していた値が取り消されてプリセットカラーの値に変更されます。
- プリセットカラーを呼び出す前に設定していた値を保存する場合は、「メモリー」を参照してください。

基本操作

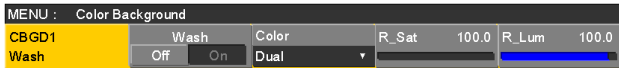
Washの設定

カラーバックグラウンドのグラデーション効果を設定します。

Washの選択と色の設定

①  ボタンを押して点灯させ、Color Background メニューを表示します。

② [F1] を操作して、CBGD1 Wash (または CBGD2 Wash) サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Wash 項目で Wash (グラデーション) 効果の設定をします。

On	グラデーション効果を付加します。
Off	グラデーション効果を付加しません。

④ [F3] を操作して、Color 項目で Wash (グラデーション) 効果の色を設定します。

Dual	2色のグラデーション効果を付加します。 (CBGD1 Main と CBGD1 Sub の2色のグラデーションになります)
Rainbow	虹色のグラデーション効果を付加します。

⑤ “Dual” を選択した場合、[F1] を操作して CBGD1 Sub サブメニュー (または CBGD2 Sub サブメニュー) を表示して、サブカラーを設定します。



⑥ [F2]、[F3]、[F4] を操作して、色の調整 (Hue、Sat、Lum) を行います。

Washの波形の調整

① Color Background メニューより、[F1] を操作して CBGD1 Wave (または CBGD2 Wave) サブメニューを表示します。



② [F2] を操作して、Pattern 項目でグラデーションの波形を選択します。

Sine	サイン波を選択します。
Saw	のこぎり波を選択します。

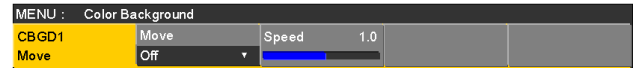
③ [F3] を操作して、Cycle 項目でグラデーションの周期を選択します。

④ [F4] を操作して、Phase 項目でグラデーションの位相を選択します。

⑤ [F5] を操作して、Angle 項目でグラデーションの角度を選択します。

Washの動きの設定

① Color Background メニューより、[F1] を操作して CBGD1 Move (または CBGD2 Move) サブメニューを表示します。



② [F2] を操作して、Move 項目でグラデーションの動きを設定します。

Off	動きを設定しません。
Roll	グラデーションをスクロールさせます。
Rotation	グラデーションを回転させます。


③ [F3] を操作して、Speed 項目で動きの速さを設定します。

内蔵カラーバー信号

本機は 1 系統の内蔵カラーバー信号に対応しています。

テストトーンの設定

カラーバー信号の時に出力するテストトーン信号 (1 kHz) に関する設定を行います。

①  ボタンを押して点灯させ、System メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Test Tone サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Color Bar 項目でテストトーン機能を設定します。

Normal	テストトーンを通常の音量 (-12 dB) で出力します。
Low	テストトーンを小さめの音量 (-20 dB) で出力します。
Off	テストトーンを出力しません。

基本操作

内蔵テストパターン信号

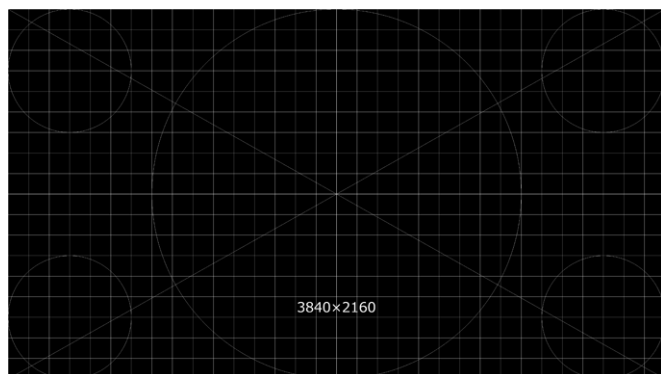
本機はテストパターン信号を送出することができます。出力先の機器でのアスペクトなどを確認することができます。

本機で設定されたシステムフォーマットに対応した画角のテストパターン信号が選択されます。

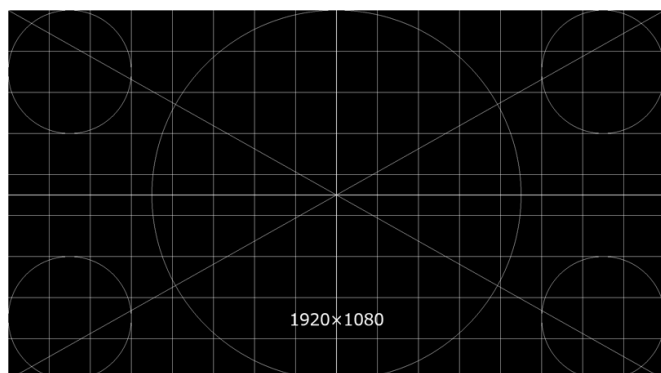
ビデオメモリーの Still1 または Still2 にロードされ、内部素材として使用することができます。

- 本機のシステムモードが 4K の場合は、Still1 のみにロードできます。

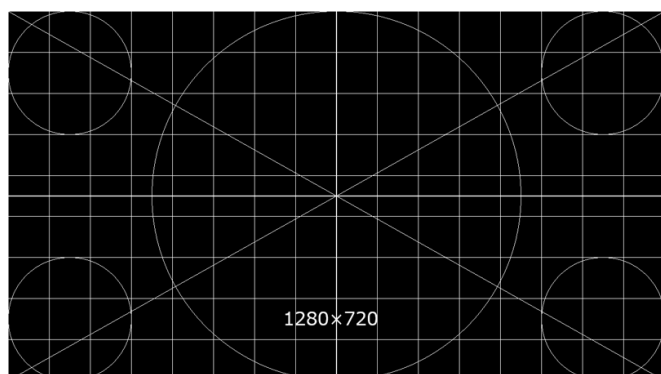
<システムモード 4K のときのテストパターン>




<システムモード 2K のときのテストパターン>

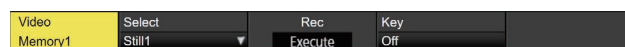


<システムモード HD のときのテストパターン>



①  ボタンを押して点灯させ、Video Memory メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Video Memory1 サブメニューを表示します。



③ Select 項目で [F2] を操作し、テストパターン信号を出力する対象を選択します。

- 本機のシステムモードが 4K の場合は、Still1 のみを選択可能です。

④ [F1] を操作して、Test Pattern サブメニューを表示します。



⑤ Load 項目で [F2](Execute) を押すと、③で選択したビデオメモリーにロードされます。

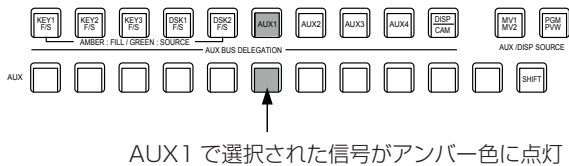
基本操作

AUX出力の切り替え

AUX出力素材の選択

AUXバス（AUX1～AUX4）の出力信号を選択します。

- ① AUXバス選択ボタンの[AUX1]～[AUX4]ボタンのいずれかを押しします。
選択したボタンがアンバー色に点灯します。
- ② AUXバスクロスポイントボタンを押しします。
[AUX1]～[AUX4]ボタンに対して、選択した信号が出力されます。



AUX1で選択された信号がアンバー色に点灯

<AUXバスで選択できる信号>

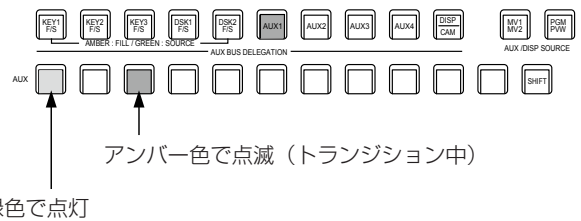
信号名	信号
IN1、IN2	SDI/HDMI入力信号 1、2
SDI IN3～SDI IN8	SDI入力信号 3～8
IN-A1～4、IN-B1～4	オプションスロット入力信号 (SDI、HDMI)
PGM	プログラム映像信号
PVW	プレビュー映像信号
CLN	クリーン信号
MV1、MV2	マルチビューディスプレイ出力信号 1、2
KeyOut	キー出力信号
BLACK	黒信号
CBGD1、CBGD2	カラーバックグラウンド 1、2
CBAR	カラーバー
Still1、Still2	ビデオメモリー（静止画）1、2 ● Still2は、2Kモード時のみ選択可能。
Clip1、Clip2	ビデオメモリー（動画）1、2 ● Clip2は、2Kモード時のみ選択可能。

- MVを選択しているAUXバスをマルチビューディスプレイの子画面に表示すると、2枚の鏡を向かい合わせにしたときのように映像がループします。

AUX1/2のトランジション

AUX1/2に設定した出力信号を切り替えたときに、MIXトランジションを行います。

- ① AUXバス選択ボタンの[AUX1]または[AUX2]ボタンを押しします。
選択したボタンとそのボタンに対応しているAUXバスクロスポイントボタンがアンバー色に点灯します。
- ② 切り替える出力信号のAUXバスクロスポイントボタンを押しします。
このとき、Timeメニューで設定されているトランジションタイムでMIXトランジションを行います。
トランジション中は、トランジション元のAUXボタンが緑色に点灯し、トランジション先のAUXボタンがアンバー色で点滅します。
トランジションが完了した時点でトランジション元のAUXボタンが消灯し、トランジション先のAUXボタンがアンバー色で点灯します。
また、トランジション中に別の信号に切り替えた場合、トランジションは、その途中から継続して処理が行われます。




緑色で点灯

- Shot Memoryリコール時のAUXバストランジションは、Shot Memoryのディゾルブタイムに連動します。
- Event Memoryリコール時のAUXバストランジションは、Event MemoryのDuration設定に連動します。

基本操作

AUX1/2のトランジション有効／無効設定

AUX1/2のトランジションタイムとトランジションの有効／無効を設定します。

- ①  ボタンを押して点灯させ、Timeメニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、AUX1 BUS Trans サブメニューを表示します。

AUX1 BUS Trans	TransTime 01s00f	Transition Off On		
AUX2 BUS Trans	TransTime 01s00f	Transition Off On		

- ③ [F2] を操作してトランジションタイムを設定します。

設定できる時間は0～999fです。システムフォーマットにより、秒表示のときの設定可能時間が異なります。

59.94i :	最大 33s09f	59.94p :	最大 16s39f
50i :	最大 39s24f	50p :	最大 19s49f
29.97PsF :	最大 33s09f	29.97p :	最大 33s09f
25PsF :	最大 39s24f	25p :	最大 39s24f
24PsF :	最大 41s15f	24p :	最大 41s15f
23.98PsF :	最大 41s15f	23.98p :	最大 41s15f

- ④ [F4] を操作して、Transition項目でトランジションの有効／無効を設定します。

On	有効
Off	無効

トランジションを無効にしたときは、AUX1 に設定した出力信号を切り替えたときに、トランジションを行わずに出力信号が切り替わります。

基本操作

メモリー

■ ショット (SHOT) メモリー

バックグラウンドのトランジションパターンや PinP のサイズ、ボーダーの幅など映像効果をメモリーに登録し、呼び出すことができます。これをショットメモリーと呼びます。

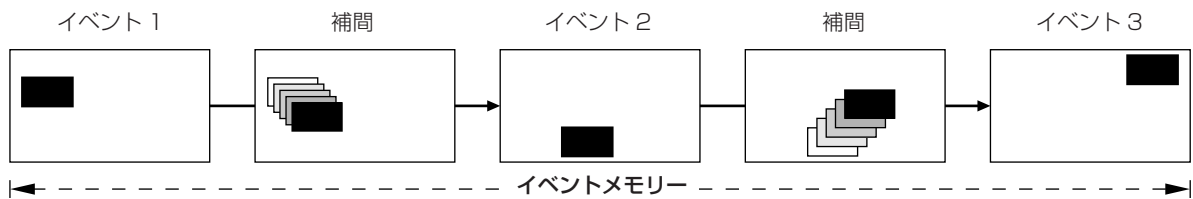
エフェクトディゾルブを設定することにより、現在の映像からショットメモリーに登録されている映像や動作への切り替えを、スムーズに変化させることができます。

■ イベント (EVENT) メモリー

ショットメモリーに登録できる映像効果をイベントとして複数登録し、イベントとイベントを補間しながら連続して再生することにより、滑らかに遷移する効果を得ることができます。そのイベントの集まりをイベントメモリーと呼びます。

1つのイベントメモリーには、最大で 64 のイベントを登録することができます。

- イベントメモリーに登録したときと異なるシステムフォーマットでイベントメモリーの再生などを行うと、正しく動作しません。



■ マクロ (MACRO) メモリー

本機の一連の動作を記録して、再生する機能です。

ショットメモリー、イベントメモリーでは対象外の機能（入力の設定、出力の設定など）を詳細な対象範囲で記録、再生できます。

記録したマクロは、AUX バスのクロスポイントボタン、またはマクロアタッチした特定のボタンを押すと、再生できます。





ショットメモリー、イベントメモリー、マクロメモリーは、それぞれ 100 個ずつ登録することができます。

操作はテンキーで行います。

メモリーのページ番号は、1 ページ～ 10 ページまで指定することができます。

指定した各ページ番号には、それぞれメモリー番号として 1 ～ 10 まで指定することができます。

メモリー番号の選択方法

- ① 選択するメモリーのボタン [SHOT MEM]、[EVENT MEM] または [MACRO] を押して選択します。
- ②  ボタンを押します。
 ボタンが点灯し、メモリーのページ番号を指定するモードになります。
現在選択されているページのテンキーが、アンバー色に点灯します。
このとき、1 つ以上のメモリーが登録されているページ番号のテンキーは、緑色に点灯します。
メモリーが登録されていないページ番号のテンキーは、消灯します。
- ③ ページ番号のテンキー（1 ～ 10）を押します。
ページ番号が決まると  ボタンが消灯し、メモリー番号を指定するモードになります。
ページ番号を変更しない場合は、テンキーを押さずに  ボタンを押して消灯させると、メモリー番号を指定するモードになります。
- ④ メモリー番号のテンキー（1 ～ 10）を押します。
(メモリーを登録するときや削除するときメモリー番号を指定するときは、テンキーを長押しします。)

基本操作

メモリーの登録

対象バス	素材選択	トランジション	パターン	メニュー	ショットメモリー対象	イベントメモリー対象	マクロメモリー対象
ME	<ul style="list-style-type: none"> PGM/A バス PST/B バス Key Fill バス Key Source バス 	<ul style="list-style-type: none"> フェーダー量 ワイブの方向 	<ul style="list-style-type: none"> BKGD パターン (MIX、ワイブ) KEY パターン (MIX、ワイブ) 	<ul style="list-style-type: none"> Background Key Chroma Key 	○	○	○
DSK	<ul style="list-style-type: none"> DSK Fill バス DSK Source バス 			<ul style="list-style-type: none"> DSK 	○	○	○
AUX	<ul style="list-style-type: none"> AUX バス 				○	○	○
CBGD				<ul style="list-style-type: none"> Color Background 	○	○	-
CLIP				<ul style="list-style-type: none"> Video Memory 	-	○	-
MENU	メニュー操作			各メニュー	-	-	○
XPT	XPT 選択操作			<ul style="list-style-type: none"> XPT 	-	-	○
OTHER	<ul style="list-style-type: none"> DISP バス 				-	-	○

○：有効
-：無効

- マクロメモリー対象の MENU では、以下の操作は登録対象外です。
Project File : Load、Save、Delete、Rename、Protect
SD Card : Mount、Unmount、Format、Load、Delete、Rename、Save、Create Thumbnail (Still/Clip 両方)

メモリーの呼び出し項目

メモリーの呼び出し対象は、Target Select 1、2 メニューで On(呼び出し対象) / Off(呼び出し対象にしない) が選択可能です。

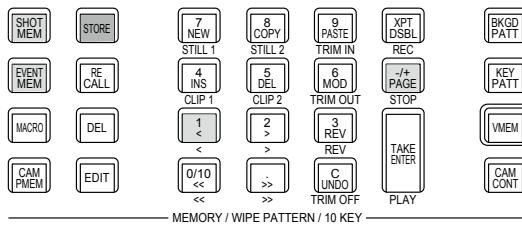
Target1、2	呼び出し対象
ME	A/B XPT、BKGD、KEY1、KEY2、KEY3
DSK	DSK1、DSK2
AUX	AUX1、AUX2、AUX3、AUX4
CBGD	CBGD1、CBGD2
CLIP	CLIP1、CLIP2


- CLIP は、イベントメモリーのみです。

基本操作

メモリーの登録 (Store)

登録しておきたい映像や動作の設定を行い、メモリーに登録します。

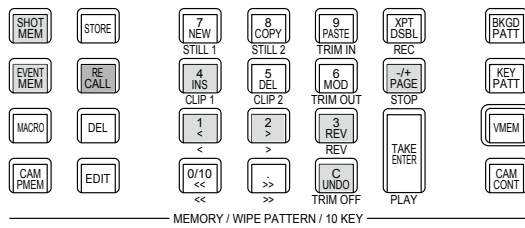


- ① 登録しておきたい映像や動作を本機で設定します。
イベントメモリーを登録する場合には、「イベントメモリーのタイムライン編集」の「■ 新規にタイムラインを作成する」を参照してください。
- ② 登録するメモリーのボタン [SHOT MEM]、[EVENT MEM]、または [MACRO] を押して選択します。
前回の操作に応じて、[STORE] ボタン、[RECALL] ボタン、[DEL] ボタン、[EDIT] ボタンのいずれかが点灯します。
- ③ メモリーに登録するバス (ME、DSK、AUX、CBGD、CLIP、MENU、XPT、OTHER) を選択します。
Shot Memory メニュー (または Event Memory メニュー) → Target Select 1/2 サブメニューで “On” を選択します。
Macro メニュー → Store Select サブメニューで “On” を選択します。
⇒ 「メモリーの登録」と「登録対象バスと再生対象バスの選択」参照
- ④ [STORE] ボタンを押します。
[STORE] ボタンが赤色に点灯します。
- ⑤  ボタンを押して、ページ番号のテンキー (1 ~ 10) を押します。

- ⑥ 登録するメモリー番号のテンキー (1 ~ 10) を長押しします。(約 2 秒間)
登録が完了すると、メモリー番号のテンキーが緑色に点灯します。
 - 緑色に点灯しているテンキーには、すでにメモリーが登録されています。メモリーの削除を行ってから登録し直してください。
- ⑦ 上記の操作を繰り返し行い、何種類かの設定をメモリーに登録します。

基本操作

メモリー動作の呼び出し (Recall)



- ① 呼び出すメモリーのボタン [SHOT MEM]、または [EVENT MEM] を押して選択します。
前回の操作に応じて、[STORE] ボタン、[RECALL] ボタン、[DEL] ボタン、[EDIT] ボタンのいずれかが点灯します。
- ② メモリーから呼び出すバス (ME、DSK、AUX、CBGD、CLIP、MENU、XPT、OTHER) を選択します。
Shot Memory メニュー (または Event Memory) → Target Select サブメニューで "On" を選択します。
Macro メニュー → Store Select サブメニューで "On" を選択します。
⇒ 「登録対象バスと再生対象バスの選択」 参照
- ③ 登録されている「素材選択」項目の素材を使わずに、操作パネルのクロスポイントボタンで素材を選択する場合は、[XPT DSBL] ボタンを押して赤色に点灯させます。
⇒ 「メモリーの登録」 参照
- ④ [RECALL] ボタンを押します。
[RECALL] ボタンがアンバー色に点灯します。
- ⑤ ボタンを押して、ページ番号のテンキー (1 ~ 10) を押します。

⑥ 呼び出すメモリー番号のテンキー (1 ~ 10) を押します。

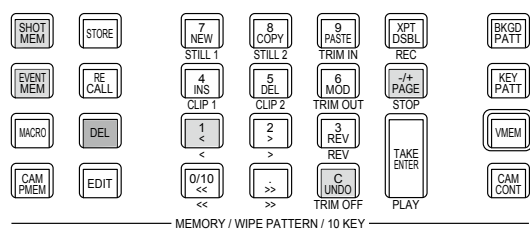
- ショットメモリーでは、映像効果が呼び出されて再生を開始します。
再生中は、メモリー番号のテンキーが緑色に点滅します。
- イベントメモリーでは、イベントが呼び出されて再生を開始します。
再生中は、メモリー番号のテンキーが緑色に点滅します。
PAUSE イベントがある場合は、そのイベントで一時停止し、メモリー番号のテンキーがアンバー色に点滅します。
メモリー番号のテンキーを押すごとに、先頭から再生を開始します。
[TAKE/ENTER] ボタンを押すごとに、再生と一時停止を繰り返します。


⑦ 呼び出されたメモリー番号の再生を開始すると

- ボタンが有効になり、 ボタンが点灯します。
再生中に ボタンを押すと、再生を終了します。

基本操作

メモリーの削除 (Delete)




- ① 削除するメモリーのボタン [SHOT MEM]、または [EVENT MEM] を押して選択します。
選択されたボタンがアンバー色に点灯します。
前回の操作に応じて、[STORE] ボタン、[RECALL] ボタン、[DEL] ボタン、[EDIT] ボタンのいずれかが点灯します。
- ② [DEL] ボタンを押します。
[DEL] ボタンが赤色に点灯します。
また、メモリーが登録されているテンキーのボタンが緑色に点灯します。
 - ページ番号を変更する場合は、 ボタンを押して、ページ番号のテンキー（1～10）を押します。
次に、削除するメモリー番号のテンキー（1～10）を押します。
- ③ 削除するメモリー番号のテンキー（1～10）を長押し（2秒程度）します。
押したテンキーのボタンが消灯します。

基本操作

登録対象バスと再生対象バスの選択

メモリーを登録する / 再生するときのバスの選択

イベントメモリー、ショットメモリーやマクロメモリーを作成するときに、保存対象とする項目を選択します。

- ①  ボタンを押して、Event Memory メニュー（Shot Memory メニューまたは Macro メニュー）を表示します。
- ② [F1] を操作して、Target Select1、2 サブメニューを表示します。
- ③ [F2] ~ [F5] を操作して、保存したい項目を“On”に設定します。

Event Memory メニュー：

MENU: Event Memory				
Target Select1	ME	DSK	AUX	
	Off On	Off On	Off On	Off On
Target Select2	CBGD	CLIP		
	Off On	Off On		

Shot Memory メニュー：

MENU: Shot Memory				
Target Select1	ME	DSK	AUX	
	Off On	Off On	Off On	Off On
Target Select2	CBGD			
	Off On			

Macro メニュー：

Store Select1	ME	DSK	AUX	
	Off On	Off On	Off On	Off On
Store Select2	MENU	XPT	OTHER	
	Off On	Off On	Off On	Off On

On	バスの設定をメモリーに登録します。
Off	バスの設定をメモリーに登録しません。

<メモリーの情報表示例>

Page:1 (1 ~ 10)

No.	Name	EVENT	ME	DSK	AUX	CBGD	XPT
1-1	SHOT001	1	On	On	On	On	On
1-2	SHOT002	1	On	On	On	On	On
1-3	SHOT003	1	On	On	On	On	On
1-4	SHOT004	1	On	On	On	On	On
1-5	SHOT005	1	On	On	On	On	On
1-6	SHOT006	1	On	On	On	On	On
1-7	SHOT007	1	On	On	On	On	On
1-8							
1-9							
1-10							

素材選択項目の登録


各バスの「素材選択」項目を登録するかどうかを設定します。

⇒「メモリーの登録」参照

基本操作

エフェクトディゾルブの設定 (ショットメモリー)

現在の映像からショットメモリーに登録されている映像や動作への切り替えを、スムーズに変化させることができます。

- ①  ボタンを押して、Shot Memory メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Path サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Effect 項目で映像を切り替えるときの効果の設定をします。

Cut	カット効果で映像を切り替えます。
Dissolve	ディゾルブ効果で映像を切り替えます。

- ディゾルブ効果の時間は、Time メニュー → Effect Dissolve サブメニューで設定します。

- ④ [F3] を操作して、Hue Path 項目で色が切り替わる時の効果を選択します。

下記の Hue が対象になります。

- カラーバックグラウンドの色
- ボーダーの色
- エッジの色
- フィルマットの色

Short	ベクトルスコープ上で Hue の変化が少ない方向に色を変化させます。
Long	ベクトルスコープ上で Hue の変化が多い方向に色を変化させます。
CW	ベクトルスコープ上で時計回りに Hue を変化させます。
CCW	ベクトルスコープ上で反時計回りに Hue を変化させます。

- 動作の切り替え中は、押したテンキーが緑色に点滅します。
- 動作の切り替えが完了すると、押したテンキーがアンバー色に点灯します。
- 動作の切り替え中に Effect 項目を “Dissolve” から “Cut” に変更した場合、ディゾルブ効果が解除されて、選択したショットメモリーの映像に瞬時に切り替わります。
- 動作の切り替え中は、フェーダーの操作が無効になります。

- 動作の切り替え中に、他のメモリー動作を呼び出すことができない場合があります。
 - ・ ショットメモリー動作中の別のショットメモリー呼び出し
 - ・ イベントメモリー動作中の別のイベントメモリー呼び出し
- イベントメモリー動作中のショットメモリー呼び出し、またはショットメモリー動作中のイベントメモリー呼び出しは可能ですが、イベントメモリーとショットメモリーで再生されるバス、素材が競合しているときには、あとから呼び出したメモリーに切り替わって再生されます。

基本操作

イベントメモリのタイムライン編集

イベントの挿入や修正などをタイムライン上で編集することができます。

■ タイムライン

各イベントメモリのイベントを時間軸上に並べたものをタイムラインと呼びます。

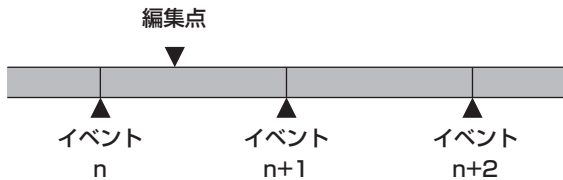
■ イベント点と編集点

タイムライン上で、イベントを登録した位置をイベント点と呼び、現在編集しているイベントをカレントイベントメモリと呼びます。

イベント点とイベント点の間に編集点がある場合は、編集点から1つ手前にあるイベント点のカレントイベントメモリになります。

(図ではイベントn)

< イベント点と編集点 >



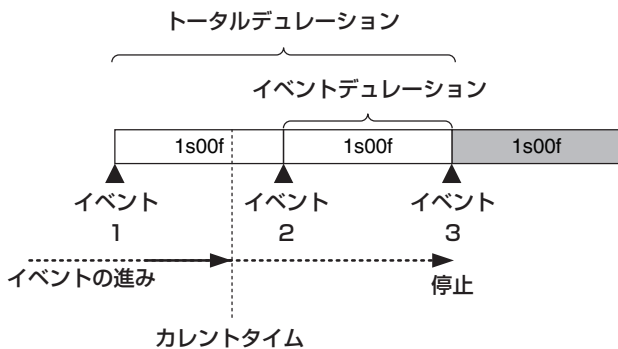
■ イベントデュレーションとトータルデュレーション

次のイベントまでの長さをイベントデュレーションと呼びます。

すべてのイベントデュレーションの合計をトータルデュレーションと呼びます。

また、現在のタイムライン上の時間をカレントタイムと呼びます。

< 時間の呼び方 >

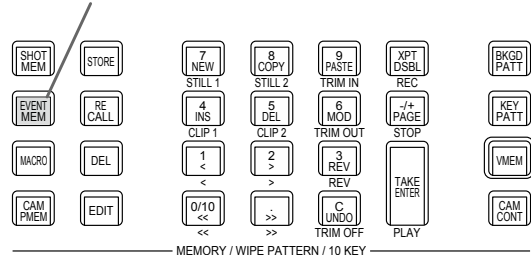



タイムライン編集の流れ

■ 登録済みのイベントメモリーを修正する

- ① [EVENT MEM] ボタンを押して点灯させます。

[EVENT MEM] ボタン



- ② [RECALL] ボタンを押して点灯させ、 ボタンとテンキー (1 ~ 10) で修正するイベントメモリーを選択します。

⇒ 「メモリー動作の呼び出し (Recall)」 参照

- ③ [EDIT] ボタンを押して、編集モードに入ります。
(この時点で、選択したイベントメモリーのタイムラインがワーク領域にコピーされます。)
内蔵ディスプレイにタイムラインが表示され、イベントの挿入や修正などを行うことができます。


- ④ タイムラインの編集、確認を行います。
⇒ 後述の操作を参照してください。

- ⑤ 修正が完了したイベントメモリーを登録します。
⇒ 「メモリーの登録 (Store)」 参照

■ 新規にタイムラインを作成する

この操作を行うと、現在ワーク領域にあるタイムラインが削除されます。

必要な場合は、イベントメモリーに登録を行ってください。

- ① [EVENT MEM] ボタンを押して点灯させます。
- ② [EDIT] ボタンを押して点灯させ、 を押します。
- ③ 新規のタイムラインを作成します。
⇒ 後述の操作を参照してください。
- ④ 新しく作成したイベントメモリーを登録します。
⇒ 「メモリーの登録 (Store)」 参照

タイムラインの編集は、ワーク領域で行います。
編集をしたあとは、必ず登録を行ってください。

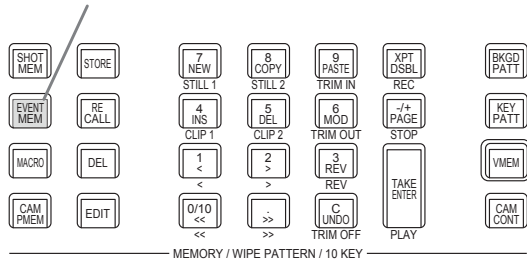
基本操作

再生方法の設定

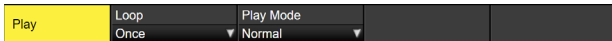
■ 再生モードを設定する

- ① [EVENT MEM] ボタンを押して点灯させます。

[EVENT MEM] ボタン



- ② [EDIT] ボタンを押して、編集モードに入ります。
- ③ [SHOT EVENT] ボタンを押して、Event Memory メニューを表示します。
- ④ [F1] を操作して、Play サブメニューを表示します。



- ⑤ [F2] を操作して、Loop 項目で再生モードを設定します。

Once	通常の再生では、最終のイベントで再生が停止し、[TAKE/ENTER] ボタンを押すと同じ方向に再生します。 逆再生では、先頭のイベントで再生が停止し、[TAKE/ENTER] ボタンを押すと同じ方向に再生します。
Loop	通常の再生では、最終のイベントと先頭のイベントを補完しながら、再生を繰り返します。 逆再生では、先頭のイベントと最終のイベントを補完しながら、再生を繰り返します。

■ 表示モードを設定する

- ① [SHOT EVENT] ボタンを押して、Event Memory メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Timeline サブメニューを表示します。

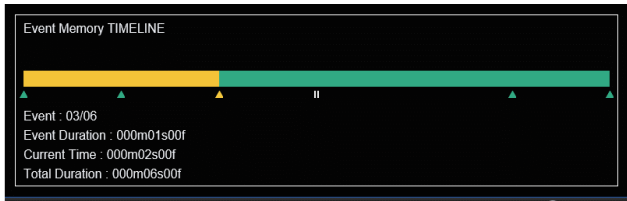


- ③ [F2] を操作して、View 項目でタイムラインの表示モードを設定します。

Normal	内蔵ディスプレイの画面に横幅 1/2 のサイズでタイムラインを表示します。
Wide	内蔵ディスプレイの画面にフルサイズでタイムラインを表示します。

基本操作

< タイムライン表示 (内蔵ディスプレイ) >



イベント点は、緑色の“△”でタイムラインの下側に表示されます。

イベント点に“PAUSE”が設定されている場合は、“II”が表示されます。

編集点がイベント点上にある場合、そのイベント点の“△”はアンバー色で表示されます。

イベントに“CLIP” (Clip1, Clip2) を登録した場合は、イベント点の上側に“▶”が表示されます。

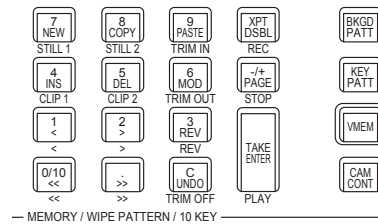
イベントに“GPI-Out” (GPI-01 ~ GPI-019) を登録した場合は、イベント点の上側に“⚡”が表示されます。

先頭のイベントから最終のイベントまでは、タイムライン軸が緑色で表示されます。

再生しているときは、先頭部分から現在の位置までを黄色で表示します。

リバース再生を行っているときは、最終部分から現在の位置までを黄色で表示します。

■ テンキーの操作



— MEMORY / WIPE PATTERN / 10 KEY —

	新規のタイムラインを作成します。
	イベントをコピーします。 編集点がイベント上じゃない場合は、コピーできません。
	コピーしたイベントを貼り付けます。 編集点がイベント点の場合は、そのイベント点の次にコピーしたイベントを挿入します。 編集点がイベントの途中にある場合は、編集点にイベントを挿入します。
	イベントを挿入します。 編集点がイベント点の場合は、そのイベント点の次にイベントを挿入します。 編集点がイベントの途中にある場合は、編集点にイベントを挿入します。
	イベントを削除します。
	イベントを修正します。 編集点がイベント点上じゃない場合は、操作できません。
	先頭のイベント点に移動します。
	最終のイベント点に移動します。
	次のイベント点に移動します。
	前のイベント点に移動します。
	再生方向を逆 (イベント番号の逆順) にします。
	イベントの編集操作を戻します。 ボタンを押すと、直前の操作が 1 回だけ取り消されます。
	イベントを再生します。 このボタンが有効なときは、ボタンがアンバー色に点灯します。 ボタンを押すごとに、再生と一時停止を繰り返します。 再生時は緑色に点滅し、一時停止のときはアンバー色に点滅します。

基本操作

イベントを挿入する (Insert)

現在の設定状態を1つのイベントとして、カレントイベントメモリーの次に挿入します。

イベントを挿入すると、カレントイベントメモリー以降のイベント番号が1つずつ送られます。

① 、、、 を操作して、イベントを挿入するイベント点（カレントイベントメモリー）を選択します。

イベントの途中に挿入する場合は、挿入したいところまでイベントを再生して編集点を停止させます。

② パネルを操作してイベントを作成します。

③ を押して、作成したイベントを挿入します。
イベントの挿入を取り消す場合は、 ボタンを押します。

- タイムラインのイベント数が64に達した場合は、イベントを挿入することができません。
- 編集点がイベント点上にある場合は、カレントイベントメモリーと同じデュレーションで新しく作成したイベントが挿入されます。
- 編集点がイベント点とイベント点の間にある場合は、編集点の位置でカレントイベントメモリーを分割し、新しく作成したイベントを挿入します。
- イベントメモリーに“CLIP”（Clip1、Clip2）を登録する場合、Clip1（またはClip2）のCurrent timeを先頭（Video memory2 サブメニューで[F2]（LEAD）を押す）にしてください。
クリップが再生されないことがあります。

イベントを修正する (Modify)

すでに登録されているイベントを修正します。

① 、、、 を操作して、修正するイベントのイベント点を選択します。

② パネルを操作してイベントを修正します。

③ を押して修正内容を確定します。
イベントの修正を取り消す場合は、 ボタンを押します。

イベントをコピーする (Copy)

すでに登録されているイベントをコピーします。

① 、、、 を操作して、コピーするイベントのイベント点を選択します。

② を押してイベントをコピーします。

イベントを貼り付ける (Paste)

コピーしたイベントを貼り付けます。

① 、、、 を操作して、コピーしたイベントを挿入するイベント点を選択します。
イベント点とイベント点の間に挿入する場合は、挿入したいところまでイベントを再生して停止させます。

② を押して、コピーしたイベントを貼り付けます。
イベントの貼り付けを取り消す場合は、 ボタンを押します。

- タイムラインのイベント数が64に達した場合は、イベントを挿入することができません。
- 編集点がイベント点上にある場合は、カレントイベントメモリーと同じデュレーションでコピーしたイベントが挿入されます。
- 編集点がイベント点とイベント点の間にある場合は、編集点の位置でカレントイベントメモリーを分割しコピーしたイベントを挿入します。

イベントを削除する (Delete)

すでに登録したイベントを削除します。

① 、、、 を操作して、削除するイベントのイベント点を選択します。

② を押してイベントを削除します。
削除を取り消す場合は、 ボタンを押します。

- 編集点がイベントの途中にある場合も、カレントイベントメモリーが削除されます。

編集前の状態に戻す (Undo)

ボタンを押すと、直前の操作が1回だけ取り消されます。

基本操作

イベントをメニューで設定する

■ マークの登録

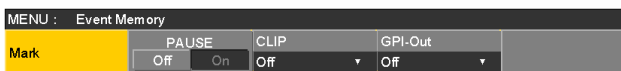
イベント点にマークの登録やイベントの挿入を行います。

- ポーズ
- クリップ再生
- GPI-Out 出力

① [0/10 <<]、[1 <]、[2 >]、[>>] を操作して、マークを登録または挿入するイベントを選択します。

② [SHOT EVENT] ボタンを押して、Event Memory メニューを表示します。

③ [F1] を操作して、Mark サブメニューを表示します。



④ [F2] (PAUSE 項目)、[F3] (CLIP 項目)、[F4] (GPI-Out 項目) のいずれかを操作して選択します。

PAUSE	“On” を選択してマークをイベント点に登録すると、イベントの再生時にマークの位置で再生を一時停止させます。 タイムライン上には、“II” マークを表示します。
CLIP	“Clip1”、または“Clip2” を選択してマークをイベント点に登録すると、イベントの再生時にマークの位置でクリップの再生を行います。 タイムライン上には、“▶” マークを表示します。
GPI-Out	“GPI-01” ~ “GPI-019” を選択してマークをイベント点に登録すると、イベントの再生時にマークの位置で GPI Output ポートからパルス信号を出力します。 タイムライン上には、“Z” マークを表示します。 ● 選択した GPI Output ポートが Config メニュー → GPI-Out Port 1/5 ~ GPI-Out Port 5/5 サブメニュー → Assign 項目で “Event MEM” に設定されていることを確認してください。

⑤ [MOD] を押してマークを登録します。
また、[INS] を押してイベントを挿入します。
マークの登録やイベントの挿入を取り消す場合は、[UNDO] ボタンを押します。

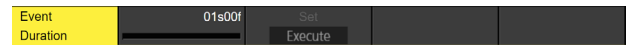
■ イベントデュレーションの設定

イベントの長さを設定します。

① [0/10 <<]、[1 <]、[2 >]、[>>] を操作して、修正するイベントを選択します。

② [SHOT EVENT] ボタンを押して、Event Memory メニューを表示します。

③ [F1] を操作して、Event Duration サブメニューを表示します。



④ [F2] を操作して、イベントの長さを設定します。

⑤ [F3] を押して、デュレーションを確定します。

修正内容を取り消す場合は、[UNDO] ボタンを押します。

■ トータルデュレーションの設定

先頭から最終までのイベントを合計した長さを設定します。
トータルデュレーションを変更すると、イベントメモリーに含まれる各イベントのデュレーションは、変更前のデュレーションの比で演算して修正されます。

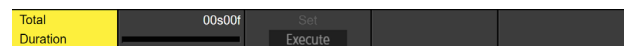
ただし、1 イベントのデュレーションの最小値は、1 フレームより短くはなりません。

① [EVENT MEM] ボタンを押して点灯させます。

② [RECALL] ボタンを押して点灯させ、[PAGE] ボタンとテンキー (1 ~ 10) で修正するイベントメモリーを選択します。
⇒ 「メモリー動作の呼び出し (Recall)」 参照

③ [SHOT EVENT] ボタンを押して、Event Memory メニューを表示します。

④ [F1] を操作して、Total Duration サブメニューを表示します。



⑤ [F2] を操作して、イベントの長さを設定します。


⑥ [F3] を押して、デュレーションを確定します。

● イベントが多く含まれていて変更したトータルデュレーションにイベントが収まらない場合は、強制的にフレーム数を調整します。

基本操作

■ イベント切り替え効果（パス）の設定

イベントとイベントの切り替え（パスの切り替え）をスムーズに変化させることができます。

- ①  ボタンを押して点灯させ、Event Memory メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Path サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Trans Path 項目で次のイベントにトランジションする方法を設定します。
下記のトランジションが対象になります。

- ボーダーの幅
- ボーダーのソフト効果
- 映像の位置
- トリミングの値

Linear	映像と映像の切り替えを直線で補間します。
Spline	映像と映像の切り替えを滑らかな曲線（3次関数の曲線）で補間します。
Step	パラメーターをイベント通過時に更新します。

- ④ [F3] を操作して、Hue Path 項目で色が切り替わる時の効果を選択します。
下記の Hue が対象になります。

- カラーバックグラウンドの色
- ボーダーの色
- エッジの色
- フィルマットの色

Short	ベクトルスコープ上で Hue の変化が少ない方向に色を変化させます。
Long	ベクトルスコープ上で Hue の変化が多い方向に色を変化させます。
CW	ベクトルスコープ上で時計回りに Hue を変化させます。
CCW	ベクトルスコープ上で反時計回りに Hue を変化させます。
Step	イベントを通過するときに色の変化を更新します。

マクロメモリーの設定

無操作期間の記録


- ①  ボタンを押して点灯させ、Macro メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Insert Delay サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Time 項目で無操作期間の時間を設定します。
- ④ [F3] を操作して、手順③で設定した時間を記録します。

マクロメモリーの割り付け

AUX バスクロスポイントボタンに登録したマクロメモリーを割り付けることができます。


- ①  ボタンを押して点灯させ、Macro メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Macro Assign 1/6 ~ 6/6 サブメニューを表示します。

Macro Assign 1/6	XPT1 No Assign	XPT2 No Assign	XPT3 No Assign	XPT4 No Assign
Macro Assign 2/6	XPT5 No Assign	XPT6 No Assign	XPT7 No Assign	XPT8 No Assign
Macro Assign 3/6	XPT9 No Assign	XPT10 No Assign	XPT11 No Assign	XPT12 No Assign
Macro Assign 4/6	XPT13 No Assign	XPT14 No Assign	XPT15 No Assign	XPT16 No Assign
Macro Assign 5/6	XPT17 No Assign	XPT18 No Assign	XPT19 No Assign	XPT20 No Assign
Macro Assign 6/6	XPT21 No Assign	XPT22 No Assign	XPT23 No Assign	XPT24 No Assign

- ③ 各サブメニューで [F2] ~ [F5] を操作して、XPT1 ~ 24 項目で各クロスポイントに割り付けるマクロメモリーを設定します。

基本操作

マクロメモリーのファイル名変更

- ①  ボタンを押して点灯させ、Macro メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Register サブメニューを表示します。



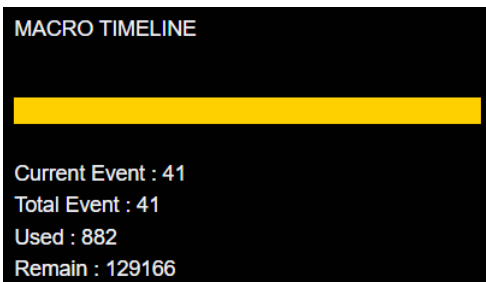
- ③ [F2] ~ [F3] を操作して、ファイル名変更するマクロメモリーを選択します。
- ④ [F4] を操作して、Rename 項目で [F4] を押します。キーボード画面が表示されるので、マクロメモリーのファイル名を変更します。

< 使用可能な文字 >

A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9, 半角スペース,
! # \$ % & ' () @ ^ _ { } - * = [] ; , . + | ~ : ? < > \

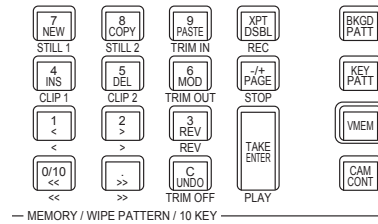
タイムライン表示







マクロメモリーのタイムラインにてイベント数、使用容量、残容量を表示します。



Current Event	ワークメモリーのカレントのイベント数を表示します。
Total Event	ワークメモリーに記録された合計のイベント数を表示します。
Used	ワークメモリーの使用容量を表示します。(単位: Byte)
Remain	ワークメモリーの残容量を表示します。(単位: Byte)

テンキーの操作




	新規のタイムラインを作成します。
	イベントの最後に無操作時間を追加します。
	一番後ろのイベントを削除します。
	マクロ記録の再生・停止を行います。記録のときは、ボタンが赤色に点灯します。
	マクロ再生の停止を行います。
	マクロを再生します。このボタンが有効なときは、ボタンがアンバー色に点灯します。

基本操作

マクロアタッチ機能

マクロレジスタメモリーを次の再生トリガーボタンに割り付けることができます。

PGM/Aバス、PST/Bバス、KEY1/KEY2/KEY3バス、DSK1/DSK2バス、AUX1～AUX4バスのクロスポイントボタン、<KEY1 ON>/<KEY2 ON>/<KEY3 ON>/<DSK1 ON>/<DSK2 ON> ボタン

①  ボタンを押して点灯させ、Macro メニューを表示します。

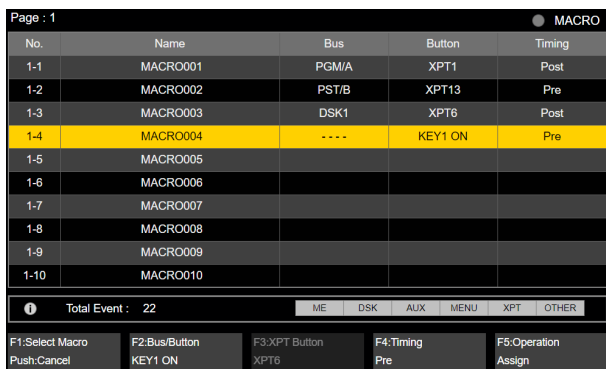
② [F1] を操作して、Attach サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、マクロアタッチ機能の有効/無効を切り替えます。

ON にすると、マクロアタッチ機能が有効になります。

④ [F3] を押して、Attach Setting 項目を選択し再生トリガーボタンを割り付けます。




Select Macro	[F1] を操作して、マクロメモリーを選択します。
Cancel	[F1] を押して、割り付け画面を抜けます。
Bus/Button	[F2] を操作して、バスボタンを選択します。 マクロアタッチ設定するバス [PGM/A]、[PST/B]、[KEY1]、[KEY2]、[KEY3]、[DSK1]、[DSK2]、[AUX1]～[AUX4]、[KEY1 ON]～[KEY3 ON]、[DSK1 ON]、[DSK2 ON] から選択します。
XPT Button	[F3] を操作して、XPT ボタンを選択します。 [XPT1]～[XPT24] から選択します。 バスボタン [KEY1 ON]～[KEY3 ON]、[DSK1 ON]、[DSK2 ON] のときは、選択できません。
Timing	[F4] を操作して、マクロアタッチしたボタンを押したときの、マクロ再生タイミングを指定します。 [Post] ボタン機能が動作してからマクロレジスタメモリーを再生します。 [Pre] マクロレジスタメモリーを再生完了してからボタン機能が動作します。 [Replace] ボタン機能は動作しないでマクロレジスタメモリーを再生します。
Operation	[F5] を操作して、設定した情報を割り当て、消去を選択します。 [F5] を押して、割り当て、消去を行います。 [Assign] マクロアタッチしたボタンの情報を割り当てます。 [Clear] マクロアタッチしたボタンの情報を消去します。

基本操作

メモリーの管理 (Register)

ショットメモリーとイベントメモリーの管理を行います。
内蔵ディスプレイのステータス領域に情報を表示し、名前の変更を行うことができます。

- ①  ボタンを押して点灯させ、Shot Memory メニュー（または Event Memory メニュー）を表示します。
このとき、内蔵ディスプレイのステータス領域にメモリーの情報を表示します。
- ② [F1] を操作して、Register サブメニューを表示します。



メモリーの名前を変更する

メモリーの名前（最大で 32 文字まで）を変更します。

- ① Register サブメニューより [F2] を操作して、Page 項目で登録されているメモリーのページ番号を選択します。
- ② [F3] を操作して、No. 項目でメモリー番号を選択します。
- ③ [F4] を押して、キーボード画面を表示します。
- ④ ポジショナー部、テンキー部と [F1] ~ [F3] を使って名前を入力し、[F4] を押します。
入力した名前を取り消してキーボード画面を閉じる場合は、[F5] を押します。
⇒ 「キーボード画面の操作」 参照

基本操作

ビデオメモリー

本機では、静止画のメモリー(Still)と動画のメモリー(Clip)をそれぞれ2チャンネルずつ保存して使用することができます。4Kモード時は、1チャンネルずつ保存します。

- ビデオメモリー（静止画と動画）は、キー信号付きの映像を保存することができます。
- 動画メモリーに保存できる秒数は、システムフォーマットによって異なります。
- 保存できる容量（秒数）は、システムフォーマット（フレームレート）によって異なります。
- ビデオメモリーのデータは、メモリーカードへの保存と読み出しが可能です。
- ビデオメモリーのデータは、内蔵ストレージへの保存と読み出しが可能です。
- プレイリストを作成することにより内蔵ストレージからビデオメモリーへのロードが可能です。

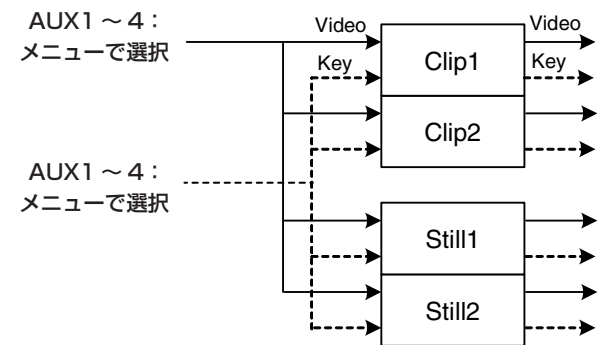
ビデオメモリーの操作		現在の状態					
		Clip1			Clip2		
		記録中	再生中	停止中	記録中	再生中	停止中
Still1	記録	—	○	○	—	○	○
Still2	記録	—	○	○	—	○	○
Clip1	記録	/	/	/	—	○	○
	再生	/	/	/	○	○	○
	停止	/	/	/	○	○	○
Clip2	記録	—	○	○	/	/	/
	再生	○	○	○	/	/	/
	停止	○	○	○	/	/	/

○：有効
—：無効

■ ビデオメモリーの入出力

映像の入力素材は、AUXバス（AUX1～AUX4）の出力信号から選択します。

< ビデオメモリーの映像系統 >



基本操作

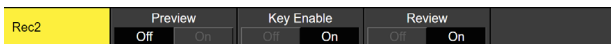
静止画 (Still) を記録する

- ①  ボタンを押して点灯させ、Video Memory メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Video Memory1 サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Select 項目で “Still1”、または “Still2” を選択します。
 - 4K モード時は、Still1 のみ選択できます。

- ④ [F1] を操作して、Rec2 サブメニューを表示します。



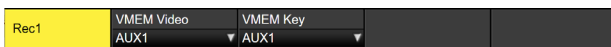
- ⑤ [F2] を操作して、Preview 項目で内蔵ディスプレイに表示する映像を設定します。

On	DISP バスに選択した素材ではなく、記録する映像 (VMEM Video 項目で選択した AUX1 ~ 4) に強制的に切り替わります。
Off	DISP バスに選択している映像ソースをレビュー表示します。

Preview 項目を “On” に選択した場合、次のように動作しますのでご注意ください。

- DISP ボタンと VMEM Video 項目で選択されている AUX1 ~ 4 の AUX バス選択ボタン (AUX BUS DELEGATION) が連動して点灯/消灯します。
- DISP バスの素材を変更すると DISP バスと選択されている AUX バスの素材が同時に変更されます。同様に、選択されている AUX バスの素材を変更すると DISP バスの素材も同時に変更されます。

- ⑥ Rec1 の [F2]、[F3] を操作して、VMEM Video 項目でビデオメモリーに記録する映像を設定します。

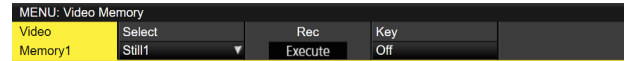


AUX1 ~ AUX4	AUX バス (AUX1 ~ AUX4) の出力信号を素材として記録します。
-------------	--

- ⑦ Rec2 の [F4] を操作して、Review 項目でレビュー表示を設定します。

On	映像を記録したあと、AUXバスに記録したビデオメモリーの映像を表示します。(約2秒間)
Off	レビュー表示を行いません。

- ⑧ [F1] を操作して、Video Memory1 サブメニューを表示します。




- ⑨ [F3] (Rec) を押すと同時に、静止画を記録します。

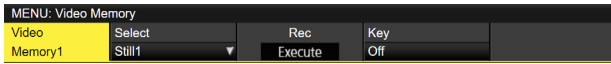
- テンキーの右に配置されている [VMEM] ボタンを押してビデオメモリーの操作モードにしているときは、テンキーの [XPT/DSBL] ボタンと連動します。
- 静止画の記録が完了すると、サムネール画面に静止画のサムネールを表示します。

基本操作

動画 (Clip) を記録する

①  ボタンを押して点灯させ、Video Memory メニューを表示します。

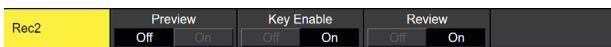
② [F1] を操作して、Video Memory1 サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Select 項目で “Clip1”、または “Clip2” を選択します。

- 4K モード時は、Clip1 のみ選択できます。

④ [F1] を操作して、Rec2 サブメニューを表示します。



⑤ [F2] を操作して、Preview 項目で内蔵ディスプレイに表示する映像を設定します。

On	DISP バスに選択した素材ではなく、記録する映像 (VMEM Video 項目で選択した AUX1 ~ 4) に強制的に切り替わります。
Off	DISP バスに選択している映像ソースをレビュー表示します。

Preview 項目を “On” に選択した場合、次のように動作しますのでご注意ください。

- DISP ボタンと VMEM Video 項目で選択されている AUX1 ~ 4 の AUX バス選択ボタン (AUX BUS DELEGATION) が連動して同時に点灯/消灯します。
- DISP バスの素材を変更すると DISP バスと選択されている AUX バスの素材が同時に変更されます。同様に、選択されている AUX バスの素材を変更すると DISP バスの素材も同時に変更されます。

⑥ Rec1 の [F2]、[F3] を操作して、VMEM Video 項目でビデオメモリーに記録する映像を設定します。

AUX1 ~ AUX4	AUX バス (AUX1 ~ AUX4) の出力信号を素材として記録します。
-------------	--

⑦ Rec2 の [F4] を操作して、Review 項目でレビュー表示を設定します。

On	映像を記録したあと、AUX バスに記録したビデオメモリーの映像を表示します。(最大 4 秒間)
Off	レビュー表示を行いません。

⑧ [F1] を操作して、Rec3 サブメニューを表示します。



⑨ [F2] を操作して、Loop 項目で記録の繰り返しを設定します。

On	停止操作を行うまで映像の記録を続けます。記録中に下記の操作を行うと、最終フレームまで映像を記録して停止します。 <ul style="list-style-type: none"> ● Loop 項目を “Off” に設定する。 ● [Stop] (Video Memory サブメニューの [F5]) を押す。
Off	最大記録時間 (Limit 項目で設定) まで映像を記録して、自動的に停止します。

⑩ [F3] を操作して、Quality 項目で記録する映像の画質を設定します。

Standard	標準画質
High	高画質

最大記録時間は、ビデオフォーマットによって異なります。

	Standard	High
2160/59.94p	15 秒	High モードは、Standard モードの半分になります。
2160/50p	18 秒	
2160/29.97p	30 秒	
2160/25p	36 秒	
2160/23.98p、24p	37.5 秒	
1080/59.94p	60 秒	
1080/50p	72 秒	
1080/29.97psf	120 秒	
1080/25psf	144 秒	
1080/23.98psf、24psf	150 秒	
1080/59.94i	120 秒	
1080/50i	144 秒	
720/59.94p	120 秒	
720/50p	144 秒	
1080 × 29.97p	120 秒	
1080 × 25p	144 秒	
1080 × 24p	150 秒	
1080 × 23.98p	150 秒	

⑪ [F1] を操作して、Limit 項目で最大記録時間を設定します。

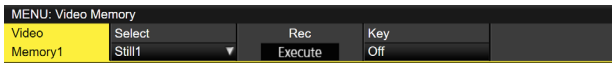
⑫ [F1] を操作して、Play Mode2 サブメニューを表示します。



基本操作

⑬ [F4] を操作して、Audio 項目で記録する音の設定をします。

⑭ [F1] を操作して、Video Memory1 サブメニューを表示します。



⑮ [F3] (Rec) を押すと同時に、動画の記録を開始します。

⑯ [F5] (Stop) を押すと、動画の記録を停止します。

- テンキーの右に配置されている [VMEM] ボタンを押してビデオメモリーの操作モードにしているときは、テンキーの [PAGE] ボタンと連動します。
- サムネール画面には動画のサムネールを表示します。
サムネールを表示しているときは、下記の情報もサムネール画面に表示します。

現在の再生位置 (時間)、IN 点の位置、OUT 点の位置

- キー信号が記録された動画は、サムネールのアイコンに白色の○印が表示されます。
- Video Memory3 サブメニューの Total Time 項目には、記録時間が表示されます。ただし、トリミングを行った場合には、トリミング後の IN 点から OUT 点までの時間が表示されます。
また、キー信号が記録されたときには、Key 項目が “On” の表示になります。

内蔵ストレージへの保存

ビデオメモリーの画像を内蔵ストレージ領域に保存すると、電源を切ってもデータを保持することができます。AUX バスからデータを転送するときに、ビデオメモリーの画像データを自動的に保存するか、手動で保存するかを設定します。

NOTE

- 保存が完了していない間に本機の電源を切ると、ビデオメモリーのデータが消去されます。
- 保存されたビデオメモリーのデータは、電源を入れたときに必ず復帰します。

① [MEM] ボタンを押して点灯させ、Video Memory メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Memory サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Mode 項目で保存方法を選択します。

Auto	自動的に保存する
Manual	手動で保存する

④ [F3] を操作して、Select 項目で内蔵ストレージ領域に保存するビデオメモリーを選択します。
“All” を選択した場合は、すべてのビデオメモリーが保存の対象になります。

記録が完了したビデオメモリーを内蔵ストレージ領域に保存します。


⑤ [F5] (Save) を押して、内蔵ストレージ領域に保存します。

- [F3] (Select) と [F5] (Save) は、Mode 項目で “Manual” を選択したときに有効になります。
- Mode 項目で “Auto” を選択した場合、ビデオメモリーの記録が停止すると、その直後にビデオメモリーを内蔵ストレージ領域に保存します。
ただし、記録中に電源を切った場合は、内蔵ストレージ領域に保存されません。

基本操作

動画 (Clip) を再生する

再生モードの設定

- ①  ボタンを押して点灯させ、Video Memory メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Play Mode1 サブメニュー (または Play Mode2 サブメニュー) を表示します。




- ③ [F2] を操作して、Mode 項目で再生モードを選択します。

Lead	再生後に先頭フレームに戻します。
Last	再生後に最終フレームで止まります。
Loop	最終フレームと先頭フレームをつないで繰り返して再生します。

- ④ [F3] を操作して、Reverse 項目で逆方向の再生を選択します。

On	逆方向に再生します。
Off	正方向に再生します。

- テンキーの右に配置されている [VMEM] ボタンを押してビデオメモリの操作モードにしているときは、テンキーの  と連動します。

- ⑤ [F4] を操作して、Variable 項目で可変速再生を行うときの速度を選択します。

選択速度 :
x1、x2、x4、x8、x1/2、x1/4、x1/8

- ⑥ [F5] を操作して、Freeze 項目で停止時の映像を選択します。

Frame	フレームの映像で停止します。
Field	フィールドの映像で停止します。

- ビデオフォーマットにより、選択できないフォーマットがあります。


- ⑦ [F1] を操作して、Play Mode2 サブメニューを表示します。

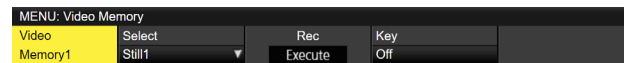


- ⑧ [F2] を操作して、トランジション操作に連動して動画を再生させるときの操作ボタンを設定します。
[F2] を操作して Clip の再生開始ボタンを設定します。

Off	トランジション操作に連動しません。
AUTO	[AUTO] ボタンの操作に連動して動画の再生を開始します。
KEY1 ON	[KEY1 ON] ボタンの操作に連動して動画の再生を開始します。
KEY2 ON	[KEY2 ON] ボタンの操作に連動して動画の再生を開始します。
KEY3 ON	[KEY3 ON] ボタンの操作に連動して動画の再生を開始します。
DSK1 ON	[DSK1 ON] ボタンの操作に連動して動画の再生を開始します。
DSK2 ON	[DSK2 ON] ボタンの操作に連動して動画の再生を開始します。
FTB ON	[FTB ON] ボタンの操作に連動して動画の再生を開始します。
Fader	Fader の操作に連動して動画の再生を開始します。

動画を再生する

- ①  ボタンを押して点灯させ、Video Memory メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Video Memory 1 サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Select 項目で Clip1 または Clip2 を選択します。
- ④ [F4] (Play) を押すと、動画の再生を開始します。
 - テンキーの右に配置されている [VMEM] ボタンを押してビデオメモリの操作モードにしているときは、テンキーの [TAKE/ENTER] ボタンと連動します。
 - Video Memory3 サブメニューの Current Time 項目には、現在の再生位置 (時間) が表示されます。

基本操作

先頭フレームや最終フレームに移動する

- ①  ボタンを押して点灯させ、Video Memory メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Video Memory2 サブメニューを表示します。






- ③ [F2] (LEAD) を押すと先頭フレームに移動し、[F3] (LAST) を押すと最終フレームに移動します。

動画をトリミングする

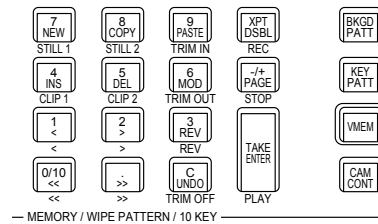
動画の再生を開始する位置 (IN 点) と再生を終了する位置 (OUT 点) を設定します。
















- ① テンキーの右に配置されている [VMEM] ボタンを押してビデオメモリーの操作モードにします。
- ② [F1] (SELECT) を操作して Clip1 または Clip2 を選択します。
- ③ テンキーを操作して、トリミングを行う位置 (IN 点または OUT 点) で動画を停止させます。
- ④ 下記のボタン操作でトリミングを行います。

	トリミングの IN 点を設定します。
	トリミングの OUT 点を設定します。
	トリミングの設定を解除します。

- トリミングした動画の再生は、IN 点から OUT 点までになります。
- メモリーカードに動画を保存すると、トリミングした部分だけが保存されます。
- IN 点と OUT 点で同じ位置を指定することはできません。トリミングを行うときの最小単位は 2 フレームです。

■ テンキーでの操作



	操作の対象に Still 1 を選択します。
	操作の対象に Still 2 を選択します。
	操作の対象に Clip 1 を選択します。
	操作の対象に Clip 2 を選択します。
	トリミングの IN 点を設定します。
	トリミングの OUT 点を設定します。
	トリミングの設定を解除します。
	1 フレームずつ逆方向に再生します。
	1 フレームずつ正方向に再生します。
	再生の方向を逆方向にします。
	動画の先頭フレームに移動して停止します。
	動画の最終フレームに移動して停止します。
	動画を再生します。
	動画の記録を開始します。
	動画の記録や再生を停止します。

基本操作

サムネールを表示する

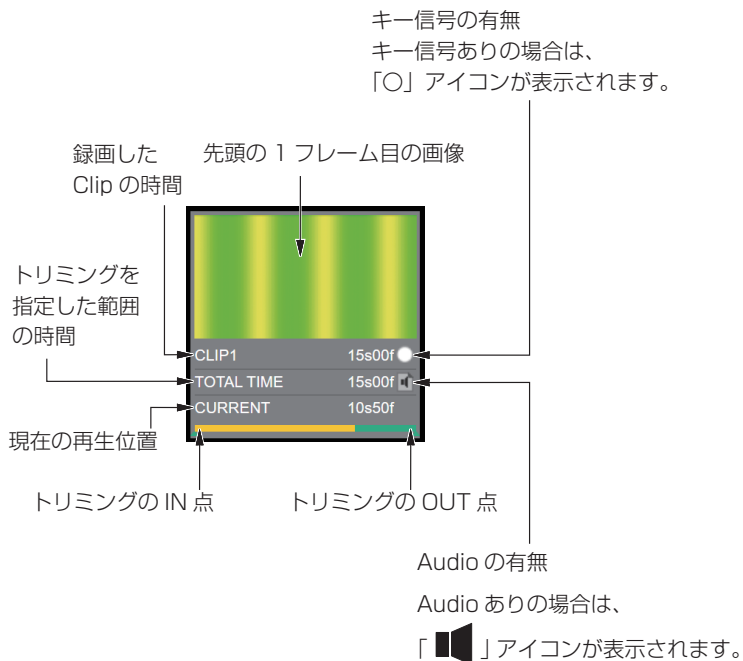
- テンキーの右に配置されている [VMEM] ボタンを押してビデオメモリーの操作モードにしているときは、ビデオメモリー (Still1、Still2、Clip1、Clip2) に登録されている画像のサムネールを内蔵ディスプレイに表示することができます。

サムネールのレイアウト

■ Still (静止画)



■ Clip (動画)



基本操作

内蔵ストレージ管理

本機では、ビデオメモリーを内蔵ストレージで複数管理することができます。

保存可能な最大ファイル数は、以下のとおりです。

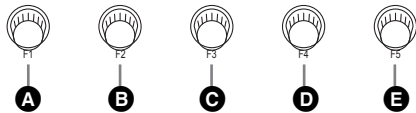
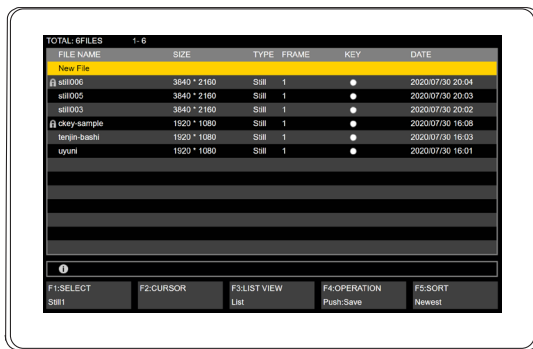
Still	50 ファイル
Clip	50 ファイル、ただし、最大 20GB まで

- 内蔵ストレージに保存可能な空き容量がない場合、保存はできません。既存ファイルを削除して内蔵ストレージの空き容量を増やしてください。
- Clip ファイルリスト画面では、各 Clip のデータ容量と、Clip 用に割り当てられている内蔵ストレージの使用容量と空き容量が表示されます。

複数のビデオメモリーデータの保存と読み出しを内蔵ストレージで行うための管理画面は、以下の操作で表示します。

- ①  ボタンを押して緑色に点灯させます。

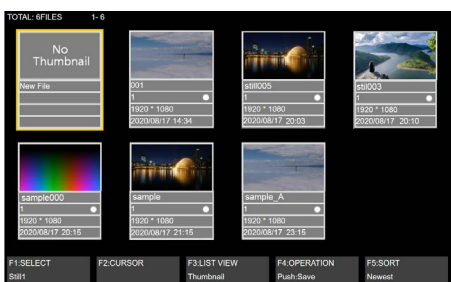
内蔵ストレージファイル管理画面（リスト表示）



A	[F1]	SELECT	カレントのビデオメモリーを選択します。回転させると Still1 → Still2 → Clip1 → Clip2 と切り替わります。本機のスイッチャーモードが 4K の場合は、Still2、Clip2 は表示されません。Clip1/2 選択時は、内蔵ストレージの最大容量 (20GB) と残容量を表示します。
B	[F2]	CURSOR	リストの中のアイテムを選択します。回転させることでアイテムにカーソルが移動します。
C	[F3]	LIST VIEW	画面の表示を「List」（ファイルの一覧）と「Thumbnail」（サムネール表示）に切り替えることができます。
D	[F4]	OPERATION	内蔵ストレージ管理画面で行う操作を選択します。回転させると「Save」、「Load」、「Delete」、「Rename」、「Protect」と切り替わります。
E	[F5]	SORT	リストのファイルを名前、日付降順、日付昇順で並び替えをします。回転させると「Newest」、「Oldest」、「Name」と切り替わります。

内蔵ストレージファイル管理画面（サムネール表示）

[F3] を回転させることでリスト表示とサムネール表示を切り替えることができます。



基本操作

ファイルの保存

ビデオメモリーにロードされている Still、Clip データを内蔵ストレージに保存します。

- ① [F1] を回転させて、保存するビデオメモリーを選択します。
- ② [F4] を回転させて Save を選択し、[F4] を押します。
- ③ キーボード画面が表示されるので、保存するファイル名を入力し、[F4] を押します。「キーボード画面の操作」(30 ページ) も参照してください。
- ④ 保存中はプログレスバーが表示され、右端まで進むと保存が完了します。
 - 内蔵ストレージに空き容量がない場合、保存はできません。

ファイルの呼び出し

内蔵ストレージに保存されている Still、Clip データをビデオメモリーにロードします。

- ① [F1] を回転させて、ロードするビデオメモリーを選択します。
- ② [F4] を回転させて、Load を選択します。
- ③ [F2] を回転させて、ファイルリストからロードする Still、Clip データを選択します。

ロードできないリストを選択した場合は、[F4] はグレーアウトされ押すことはできません。
- ④ [F4] を押して、対象のファイルをロードします。

ロード中はプログレスバーが表示され、右端まで進むとロードが完了します。

ファイルの削除

内蔵ストレージに保存されている Still、Clip データを削除します。

- ① [F4] を回転させて、Delete を選択します。
- ② [F2] を回転させて、ファイルリストから削除する Still、Clip データを選択します。
- ③ [F4] を押し、対象のファイルを削除します。
- ④ 削除前に確認画面が表示されます。[F1] を押すと削除実行、[F5] を押すと削除がキャンセルされます。
 - 一度削除すると元に戻すことはできません。

ファイルリストがない場合や、プロテクト済みファイルを選択した場合は、[F4]Delete はグレーアウトされ選択することはできません。

ファイルの名前変更

内蔵ストレージに保存されている Still、Clip データのファイル名を変更します。

- ① [F4] を回転させて、Rename を選択します。
- ② [F2] を回転させて、ファイルリストから名前を変更する Still、Clip データを選択します。
- ③ [F4] を押し、対象ファイルの名前を変更します。
- ④ キーボード画面が表示されるので、新しい名前を入力し、[F4] を押します。「キーボード画面の操作」(30 ページ) も参照してください。
 - 一度名前を変更すると元に戻すことはできません。もう一度名前変更を実施してください。

ファイルリストがない場合や、プロテクト済みファイルを選択した場合は、[F4]Rename はグレーアウトされ選択することはできません。

ファイルのプロテクト

内蔵ストレージに保存されている Still、Clip データをプロテクトし、上書き、削除、ファイル名変更をできなくします。

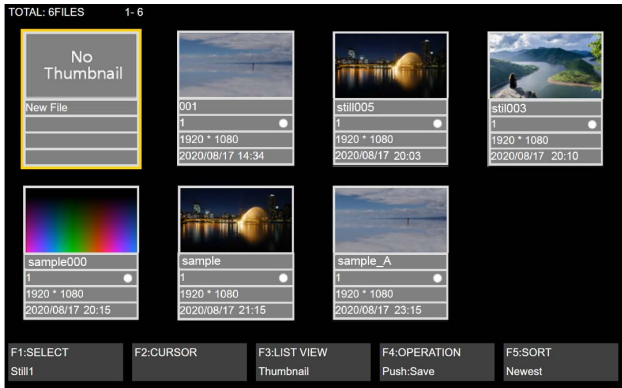
- ① [F4] を回転させて、Protect を選択します。
- ② [F2] を回転させて、ファイルリストからプロテクトする Still、Clip データを選択します。
- ③ [F4] を押し、対象ファイルのプロテクトをします。
 - プロテクトの状態ではファイル名の前に鍵マークが表示され、プロテクト状態であることを表します。

ファイルリストがない場合は、[F4]Protect はグレーアウトされ選択することはできません。
 - Still、Clip の Rec 中は、ファイルの保存、呼び出し、削除、名前変更、プロテクト操作ができません。

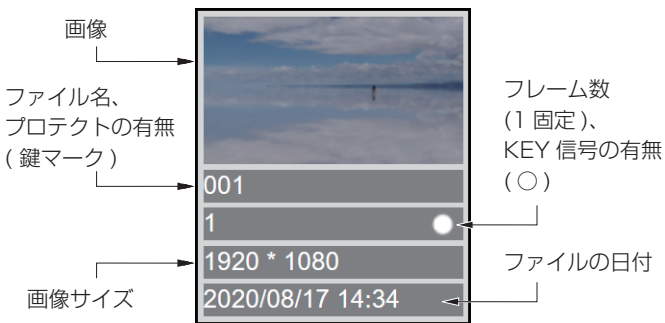
基本操作

サムネール表示

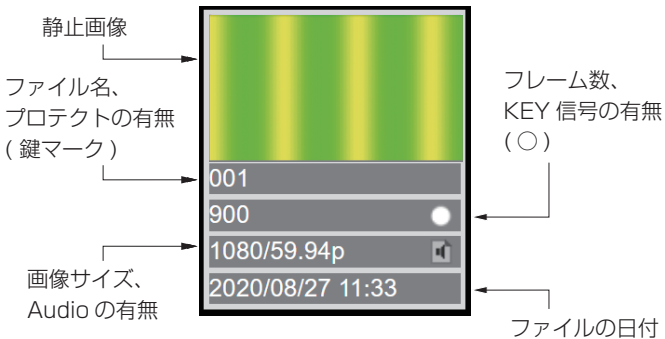
■内蔵ストレージファイル管理画面



■ Still (静止画)



■ Clip (動画)



Still プレイリスト

本機では、内蔵ストレージに保存されている Still データをビデオメモリーへロードする順序を最大 10 個まで設定し、それによって Still データをビデオメモリーへロードすることができます。

- Still プレイリストに設定されている Still データファイルが内蔵ストレージから削除された場合は、連動してプレイリストからも削除されます。
- Still プレイリストに設定されている Still データのファイル名が変更された場合は、連動してプレイリスト上のファイル名も変更されます。
- 本機で初期化処理を実行すると、Still プレイリストもすべて初期化され、全項目空欄となります。
- 作成したプレイリストはプロジェクトファイルに保存できます。また、プロジェクトファイルから読み込むこともできます。
- Still プレイリストの編集操作は、本機のマクロ機能で記録することができます。
- プレイリストに従い Still データをロードした場合は、内蔵ストレージから選択された Still データをロードした操作がマクロに記録されます。

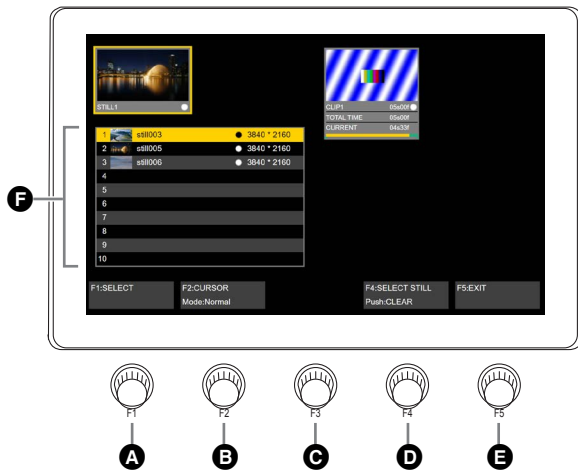
基本操作

Still プレイリストの作成、編集

Still プレイリストの作成、編集を行うには、ビデオメモリー操作画面を表示します。

- ①  ボタンを押して橙色に点灯させます。

ビデオメモリー操作画面 (Still プレイリスト編集画面)




A	[F1]	SELECT	カレントのビデオメモリーを選択します。回転させると Still1 → Still2 → Clip1 → Clip2 と切り替わります。本機のスイッチャーモードが 4K の場合は、Still2、Clip2 は表示されません。 Clip1/2 選択時は、 F プレイリストがグレースアウトされます。
B	[F2]	CURSOR	プレイリストの Still データを選択します。また、[F2] を押すことで Normal/Swap とモードを切り替えます。 ● Normal (カーソル移動モード) Normal モードでは、カーソルの色が黄色になります。 回転させることで F プレイリストの Still データ選択カーソルが上下に動きます。 ● Swap (リスト入替モード) Swap モードでは、カーソルの色が青緑色になります。 回転させることで選択したリストを入れ替えながら上下に移動することができます。
C	[F3]	—	本画面では、未使用です。
D	[F4]	SELECT STILL	内蔵ストレージの Still ファイルデータを選択します。 回転することで、内蔵ストレージの Still ファイルデータがファイル名の順に表示され、Still プレイリストに設定されます。 本機のスイッチャーフォーマットに対応した Still データのみが表示されます。 [F4] を押すことで、カーソル位置のプレイリストをクリアします。
E	[F5]	EXIT	ビデオメモリー操作画面を終了し、[VMEM] ボタンを押す直前のメニューに戻ります。
F			Still プレイリストです。 10 個の Still データを登録できます。 リストの左から順に、再生順序、サムネール、Still ファイル名、Key の有無、画像サイズが表示されます。

基本操作

Still プレイリストからビデオメモリーへのロード

Still プレイリストからビデオメモリー (Still1/2) へ Still データをロードします。

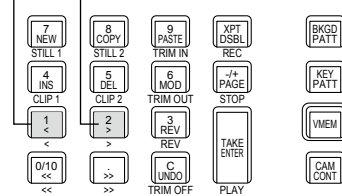
- ①  ボタンを押して橙色に点灯させます。
- ② [F1] を回転させてロード先のビデオメモリーを選択します。
 - Still1 または Still2 を選択します。Clip1/2 選択時には Still データのロードは実行されません。
 - スイッチャーモードが 4K の場合は、Still2 は表示されません。
- ③ テンキーの [1] または [2] を押して、ロードを実行します。

[1] プレイリストに従い降順にロードします。

([Prev.] プレイリストを戻す)

[2] プレイリストに従い昇順にロードします。

([Next] プレイリストを進める)



— MEMORY / WIPE PATTERN / 10 KEY —

- プレイリストの No.1 にカーソルがあるときに、[1] ボタンを押しても No.10 には移動しません。
- プレイリストの No.10 にカーソルがあるときに、[2] ボタンを押しても No.1 には移動しません。
- 再生のできないリストはスキップされ、再生できません。
- 登録されていないリストはスキップされ、その次の Still リストがロードされ、カーソルが移動します。

プレイリストで選択されている Still データを内蔵ストレージからビデオメモリーにロードすることも可能です。

- ④ [F2] を押して、Normal モードにします。
- ⑤ [F2] を回転させ、プレイリストからロードしたい Still データを選択します。
- ⑥ テンキー部の [TAKE/ENTER] ボタンを押して、Still データをビデオメモリーにロードします。

基本操作

メモリーカード

メモリーカードには、本機のビデオメモリーデータやセットアップデータをプロジェクトファイルとして保存することができます。

逆に、メモリーカードから本機に、これらのデータを読み込むことも可能です。

また、本機のソフトウェアのアップグレードを行うこともできます。

- 高画質で記録時間が長い動画や高画質の静止画ファイルをメモリーカードに保存する際には、しばらく時間がかかる場合があります。

ビデオメモリー（静止画データ：Still1、Still2）：

< 対応ファイル形式 >

ビットマップ (bmp)、JPEG (jpg)、TARGA (tga)、TIFF (tif)、GIF (gif)、PNG (png)

- 本機は、24 bit 非圧縮、または 32 bit 非圧縮の TARGA ファイルに対応しています。
他の TARGA ファイルを本機で読み込むとサムネールの表示が黒の画像になり、認識することができません。
- ビデオメモリーの静止画を GIF 形式でメモリーカードに保存すると、画質の劣化を伴いますので注意してください。

< 適正なサイズ >

4K：	3840 × 2160
HD/1080i：	1920 × 1080
HD/1080PsF：	1920 × 1080
HD/720p：	1280 × 720

- 適正なサイズと一致しない画像は、サイズを変更しないでセンタリングして AV-HS6000 から映像を出力します。サイズが大きい場合は、サイズからはみ出た部分をカットして表示します。
サイズが小さい場合は、余白部分を黒の画像で表示します。
また、3840 × 2160 ピクセルを超えるサイズのファイルは、読み込みができません。

ビデオメモリー（動画データ：Clip1、Clip2）：

本機のオリジナル形式です。

データの保存と読み込みを行います。

セットアップデータ (Set Up)：

下記のデータを除いて、本機に保存されているすべてのデータを指します。

プロジェクトファイルで保存できます。

日付、時刻、ネットワーク設定、ビデオメモリーデータ、ショットメモリーデータ、イベントメモリーデータ、マクロメモリーデータ、Still プレイリスト

アップグレード用ソフトウェア (Upgrade)：

アップグレード用ソフトウェアの読み込みを行います。

アップグレード用ソフトウェアは、下記の Web サイトの「サポート&ダウンロード」から入手することができます。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

アップグレードの手順は、ダウンロードファイルに含まれている手順書に従って行ってください。

ログファイル (Log)：

本機が保持しているログファイルを保存することができます。

●メモリーカードについて

本機で使用するメモリーカードは、SD 規格 /SDHC 規格 /SDXC 規格に準拠したものをお使いください。
また、メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

FAT (SDXC メモリーカードでは exFAT) でフォーマットされたメモリーカードをお使いください。(NTFS フォーマットのメモリーカードは認識できません。)

本機では、下記の容量の Panasonic 製のメモリーカードが使用できます。

SD (8 MB ~ 2 GB まで)

SDHC (4 GB ~ 32 GB まで)

SDXC (64 GB ~ 128 GB まで)

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記の Web サイトをご参照ください。

日本語：

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

英語：

<https://connect.panasonic.com/en/>

- 使用時、保管時は以下の点にお気をつけください。

- ・ 高温・多湿を避ける。
- ・ 水滴を付けない。
- ・ 帯電を避ける。

基本操作

各データは、メモリーカードの下記のフォルダーに保存されます。

データを読み込むときは、それぞれのフォルダーに保存してからファイルの読み込みを行ってください。

< データフォルダーの構成 >

データの種類	Save Type 項目	保存フォルダー	拡張子
プロジェクトファイル (project)	Project (*2)	"HS\COMM\PROJECT"	001、002、… (*3)
ビデオメモリー (Still ファイル)	Still1、Still2 (*1)	"HS\COMM\IMAGE"	bmp、tga、png、jpg(jpeg)、tif(tiff)、gif
ビデオメモリー (Still ファイル) のサムネイル画像	Still1、Still2 (*1)	"HS\COMM\IMAGE_THUMBNAIL"	tbn、tpn、tjp、ttg、ttif、tgi
ビデオメモリー (Clip ファイル)	Clip1、Clip2 (*1)	"HS\COMM\CLIP"	clp
ビデオメモリー (Clip ファイル) のサムネイル画像	Clip1、Clip2 (*1)	"HS\COMM\CLIP_THUMBNAIL"	png
アップデートファイル	—	"HS\UHS500\UPDATE"	50d
ログファイル	Log	"HS\UHS500\LOG"	log

*1：キー信号付きの静止画データをビデオメモリーに保存する場合は、「tga」形式、または「png」形式のデータにしてください。他の形式の静止画データは、キー信号を付けて保存することができません。

4Kモードの場合は、Still1、Clip1のみです。

*2：プロジェクトファイルでは、Target Select 項目で選択したセットアップデータ、ショットメモリーデータ、イベントメモリーデータ、マクロメモリーデータ、静止画データ、動画データ、静止画プレイリストがまとめて保存できます。

*3：プロジェクトファイルは、HS\COMM\PROJECT フォルダーの1階層下に File Name フォルダーを作成し、作成したフォルダー内にプロジェクトファイルを保存します。

保存するプロジェクトファイルが大きい場合は、ファイルが分割され、各ファイルに連番の拡張子 (001、002、...) が付加されます。


メモリーカード取り扱い時の注意

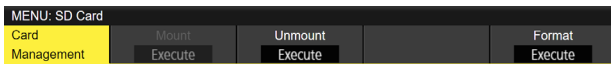
- メモリーカードアクセス LED が点灯している間は、絶対にメモリーカードを抜かないでください。メモリーカードアクセス LED が点灯している間にメモリーカードを抜くと、トランジションが一時停止する場合やメモリーカードに保存された内容が失われる場合があります。
- メモリーカードに保存した内容は、メモリーカードの紛失や誤操作などにより失われる可能性があります。大切なデータは、コンピューターなどに保存されることをおすすめします。

基本操作

メモリーカードのフォーマット

本機でメモリーカードを使用する前に、必ず、本機でメモリーカードのフォーマットを実行してください。フォーマットを実行することにより、メモリーカードのフォーマット(SD規格に準拠)を行い、専用ディレクトリーを作成します。(メモリーカードに保存されているファイルは、すべて消去されます。)


- ① 本機のメモリーカードスロットにメモリーカードを挿入します。
- ②  ボタンを押して点灯させ、SD Card メニューを表示します。
- ③ [F1] を操作して、Card Management サブメニューを表示します。

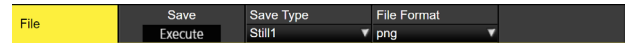


- ④ [F5] を操作して、Format 項目を実行します。
メモリーカードが挿入されていない場合は項目がグレーアウトされます。
 - 確認画面でフォーマットする場合は、[F1] を押します。
 - 取りやめる場合は、[F5] を押します。

本機で使用するためには、メモリーカードのフォーマットを行ってください。
また、本機は、SDHC メモリーカード/SDXC メモリーカードにも対応しています。
SD メモリーカードと SDHC メモリーカード/SDXC メモリーカードを区別することなく、フォーマットすることができます。

メモリーカードへの保存

- ① 本機でフォーマットを行ったメモリーカードをメモリーカードスロットに挿入します。
- ②  ボタンを押して点灯させ、SD Card メニューを表示します。
- ③ [F1] を操作して、File サブメニューを表示します。



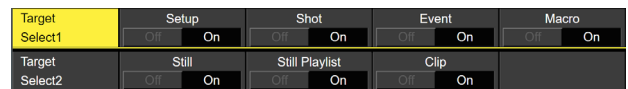
- ④ [F3] を操作して、Save Type 項目でメモリーカードに保存するデータを選択します。

静止画データの場合：

[F4] を操作して、File Format 項目で静止画の保存ファイルフォーマットを選択します。

プロジェクトファイルの場合：

[F1] を操作し、Target Select1/2 項目でプロジェクトファイルとして保存したい項目を選択します。
[F2] ~ [F5] を操作し、保存する項目をそれぞれ ON にします。



- ⑤ [F2] (Save) を押すと、メモリーカードにファイルを保存します。
データの保存先は、<データフォルダーの構成>を参照してください。
 - ビデオメモリーの静止画を GIF 形式でメモリーカードに保存すると、画質の劣化を伴いますので注意してください。
 - ファイル名として使用できる文字は、半角英数字と半角記号です。(下記を参照)
他の文字を使用しているファイルは、本機では表示されません。
 - 入力画面からはピリオドは使用できません。また、キーボード画面で使用できない文字は、グレーアウトされます。

< 使用可能な文字 >

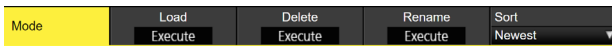
A~Z, a~z, 0~9, !@#\$%^&()-'`_{}

基本操作

メモリーカードからの読み込み

- ① データが保存されているメモリーカードをメモリーカードスロットに挿入します。
データは、それぞれのフォルダーに保存してからファイルの読み込みを行ってください。
他のフォルダーに保存したデータは、本機では認識できません。
データの保存先は、<データフォルダーの構成>を参照してください。

- ② SD Card メニューより、[F1] を操作して Mode サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Load 項目で [F2] を押します。
[F2] を押すと、ファイル選択画面が表示されます。

<ファイル選択画面表示例>

FILE NAME	SIZE	TYPE	FRAME	KEY	DATE
image1224.png	3840 * 2160	Still	1	●	2020/05/13 19:04
image007_4K.png	3840 * 2160	Still	1	●	2020/05/13 19:04
image005_4K.png	3840 * 2160	Still	1	●	2020/05/13 19:04
still001.png	3840 * 2160	Still	1	●	2020/05/13 19:04
still002.png	3840 * 2160	Still	1	●	2020/05/13 19:04
still003.png	3840 * 2160	Still	1	●	2020/05/13 19:04
still004.png	3840 * 2160	Still	1	●	2020/05/13 19:04
image008_2K.png	1920 * 1080	Still	1	●	2020/05/13 19:02
image006_2K.png	1920 * 1080	Still	1	●	2020/05/13 19:02
super.png	1920 * 1080	Still	1	●	2020/05/13 19:02

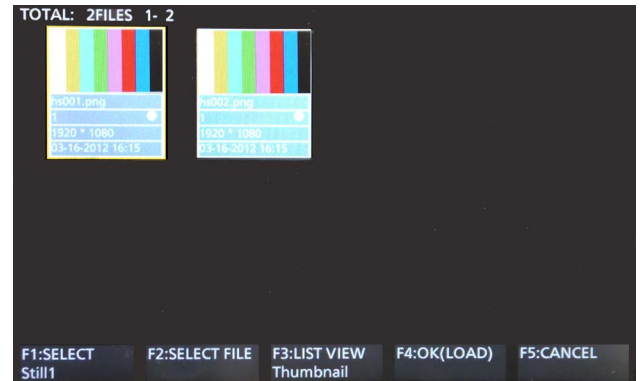
- ④ [F1] を操作して、SELECT 項目で読み込むファイルの種類を選択します。
 - ファイル選択画面での [F1] (SELECT 項目での選択) と [F3] の関係

[F1] SELECT 項目 での選択	[F3] 表示/機能
Still1、Still2、 Clip1、Clip2	F3: LIST VIEW 画面の表示を「List (ファイルの一覧)」と「Thumbnail (サムネール表示)」に切り替えることができます。 ● 4K モード時は Still1、Clip1 のみです。
Upgrade	F3: 操作することができません。 画面は、ファイルの一覧を表示します。
Project	F3: 操作することができません。 画面は、ファイルの一覧を表示します。

- ⑤ [F2] を操作して、SELECT FILE 項目で読み込むファイル名を選択します。
読み込むファイル名が、23 文字を超えていた場合、短縮ファイル名で表示されることがあります。
読み込むファイル名が 33 文字以上の場合は、ファイル選択画面に表示されません。

- ⑥ [F4] を操作して、ファイルを読み込みます。

サムネール表示



Still は、上部に画像、下部にファイル名、KEY の有無、画像サイズ、ファイルの日付を表示します。

Clip は、上部に静止画像、下部にファイル名、KEY の有無、録画時間 (フレーム数)、フォーマット、ファイルの日付を表示します。

Still で最大 100 件、Clip で最大 100 件まで表示します。1 画面に 4 件ずつを 2 段で 8 件表示します。8 件以上の場合には、1 段ずつ切り替わります。

[F2] (SELECT 項目) でカーソルを移動し、右下 (または左上) の画像にカーソルがある状態のときに、右に回すと (または左に回すと) ページが切り替わります。

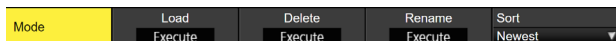
- サムネール表示処理中は、絶対にメモリーカードを抜かないでください。

基本操作

ソートモードを変更する

ファイル選択画面に表示されるファイルリストの並び順を指定することができます。

- ① SD Card メニューより、[F1] を操作して Mode サブメニューを表示します。



- ② [F5] を操作して、Sort 項目でファイル選択画面のソートモードを選択します。

Newest	登録した日時の新しい順
Oldest	登録した日時の古い順
Name	ファイルの名前順

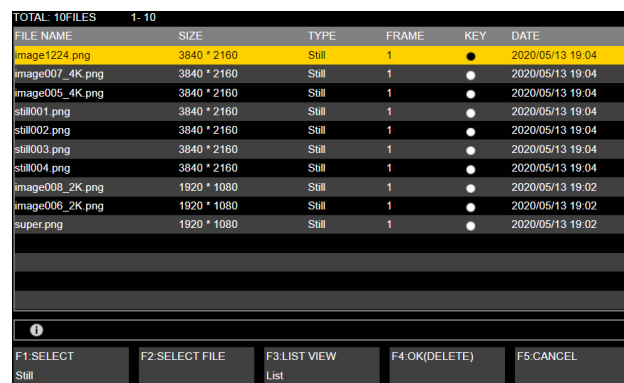
メモリーカードのファイル削除

- ① データが保存されているメモリーカードをメモリーカードスロットに挿入します。
- ② SD Card メニューより、[F1] を操作して Mode サブメニューを表示します。



- ③ [F3] を操作して、Delete 項目で [F3] を押します。
[F3] を押すと、ファイル選択画面が表示されます。

< ファイル選択画面表示例 >



FILE NAME	SIZE	TYPE	FRAME	KEY	DATE
image1224.png	3840 * 2160	Still	1	●	2020/05/13 19:04
image007_4K.png	3840 * 2160	Still	1	●	2020/05/13 19:04
image005_4K.png	3840 * 2160	Still	1	●	2020/05/13 19:04
still001.png	3840 * 2160	Still	1	●	2020/05/13 19:04
still002.png	3840 * 2160	Still	1	●	2020/05/13 19:04
still003.png	3840 * 2160	Still	1	●	2020/05/13 19:04
still004.png	3840 * 2160	Still	1	●	2020/05/13 19:04
image008_2K.png	1920 * 1080	Still	1	●	2020/05/13 19:02
image006_2K.png	1920 * 1080	Still	1	●	2020/05/13 19:02
super.png	1920 * 1080	Still	1	●	2020/05/13 19:02

①

F1: SELECT	F2: SELECT FILE	F3: LIST VIEW	F4: OK(DELETE)	F5: CANCEL
Still		List		

- ④ [F1] を操作して、SELECT 項目で削除するファイルの種類を選択します。
読み込むファイル名が、23 文字を超えていた場合、短縮ファイル名で表示されることがあります。
- ⑤ [F2] を操作して、SELECT FILE 項目で削除するファイル名を選択します。
- ⑥ [F4] を操作して、ファイルを削除します。

基本操作

メモリーカードの情報表示

- ① データが保存されているメモリーカードをメモリーカードスロットに挿入します。
- ② SD Card メニューより、[F1] を操作して Card Information サブメニューを表示します。

Card Information	Free 0KB	Total 0KB		
------------------	----------	-----------	--	--

Free	メモリーカードの空き容量を表示します。
Total	メモリーカードの容量を表示します。

サムネイル画像の生成

- ① データが保存されているメモリーカードをメモリーカードスロットに挿入します。
- ② SD Card メニューより、[F1] を操作して Create Thumbnail サブメニューを表示します。

Create Thumbnail	Still Execute	Clip Execute		
------------------	---------------	--------------	--	--

- ③ [F2] を操作し、Still 項目で静止画用のサムネイルを生成します。
- ④ [F3] を操作し、Clip 項目で動画用のサムネイルを生成します。

基本操作


内蔵ストレージ

内蔵ストレージには、本機のセットアップデータをプロジェクトファイルとして保存することができます。

また、内蔵ストレージから本機に、セットアップデータを読み込むことも可能です。

- 高画質で記録時間が長い動画や高画質の静止画ファイルを内蔵ストレージに保存する際には、しばらく時間がかかる場合があります。
- プロジェクトファイルとして、以下のデータを選択して保存 / 読み込みができます。
セットアップデータ、ショットメモリーデータ、イベントメモリーデータ、マクロメモリーデータ、Still ビデオメモリー、Clip ビデオメモリー、Still プレイリスト
- 日付、時刻、ネットワーク設定は保存できません。


プロジェクトファイル管理画面

- ①  ボタンを押して点灯させ、Project File メニューを表示します。



- このメニュー画面で内蔵ストレージでのプロジェクトファイルの読み出し、保存、削除、名前変更ができます。また、最後に読み出したプロジェクトファイルの情報を確認できます。
- プロジェクトファイルとして読み出し、保存するデータを下記から選択できます。
セットアップデータ、ショットメモリーデータ、イベントメモリーデータ、マクロメモリーデータ、Still ビデオメモリー、Clip ビデオメモリー、Still プレイリスト

内蔵ストレージへのプロジェクトファイルの保存

- ①  ボタンを押して点灯させ、Project File メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Target Select1/2 項目でプロジェクトファイルとして保存したい項目を選択します。
[F2] ~ [F5] を操作し、保存する項目をそれぞれ ON にします。
- ③ [F1] を操作して、Project File サブメニューを表示します。
- ④ [F3](Save) を押すと、プロジェクトファイル選択画面が表示されます。

<プロジェクトファイル選択画面表示例>

FILE NAME	SIZE	Setup	Shot	Event	Macro	Still	Still-PL	Clip	DATE
New File									
0004	688.4MB	On	On	On	On	On	On	On	2020/08/28 11:12
0003	7.4MB	On	On	On	On	On	On	On	2020/08/17 17:35
0002	1.8MB	On	On	On	On	Off	Off	Off	2020/01/20 09:27
0001	56.0MB	On	On	On	On	On	Off	On	2019/11/21 13:16

- ⑤ [F1] を操作して、ファイルの並び順を変更することができます。

Newest	登録した日時の新しい順
Oldest	登録した日時の古い順
Name	プロジェクトファイルの名前順

- ⑥ [F2] を操作して、保存するファイルを選択します。
 - 新しく保存する場合は、[New File] を選択します。
 - すでに保存されているプロジェクトファイルに上書き保存することができます。
 - ファイル名の先頭に鍵マークがついているファイルに上書き保存することはできません。

基本操作

⑦ [F4](SAVE) を押すと、ファイル名入力のための文字入力画面が表示されます。(30 ページ「キーボード画面の操作」)


- ファイル名の最大文字数は 32 文字です。
- 入力画面からはピリオドは使用できません。また、キーボード画面で使用できない文字は、グレーアウトされま

< 使用可能な文字 >


A～Z、a～z、0～9、!@#\$%^&()-'`_{}

⑧ [F4]OK を押すと、内蔵ストレージにプロジェクトファイルが保存されます。

内蔵ストレージからのプロジェクトファイルの読み出し


- ①  ボタンを押して点灯させ、Project File メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Target Select 1/2 項目でプロジェクトファイルとして読み出したい項目を選択します。
[F2] ~ [F5] を操作し、読み出す項目をそれぞれ ON にします。
- ③ [F1] を操作して、Project File サブメニューを表示します。
- ④ [F2](Load) を押すと、プロジェクトファイル選択画面が表示されます。
- ⑤ ファイル選択画面で [F2] を操作して、読み出すファイルを選択します。
- ⑥ [F4](LOAD) を押すと、内蔵ストレージからプロジェクトファイルが読み出せます。
- ⑦ [F3](PROTECT) を押すと、対象のファイルを保護することができます。
 - プロテクトされたファイル名の先頭には、鍵マークが表示されます。
 - プロテクトされたプロジェクトファイルに対して上書き保存、削除、ファイル名変更はできません。

内蔵ストレージからのプロジェクトファイルの削除

- ①  ボタンを押して点灯させ、Project File メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Project File サブメニューを表示します。
- ③ [F4](Delete) を押すと、プロジェクトファイル選択画面が表示されます。
- ④ ファイル選択画面で [F2] を操作して、削除するファイルを選択します。
- ⑤ [F4](DELETE) を押すと、内蔵ストレージからプロジェクトファイルが削除されます。
 - ファイル名の先頭に鍵マークがついているファイルを削除することはできません。
- ⑥ [F3](PROTECT) を押すと、対象のファイルを保護することができます。
 - プロテクトされたファイル名の先頭には、鍵マークが表示されます。
 - プロテクトされたプロジェクトファイルに対して上書き保存、削除、ファイル名変更はできません。

基本操作

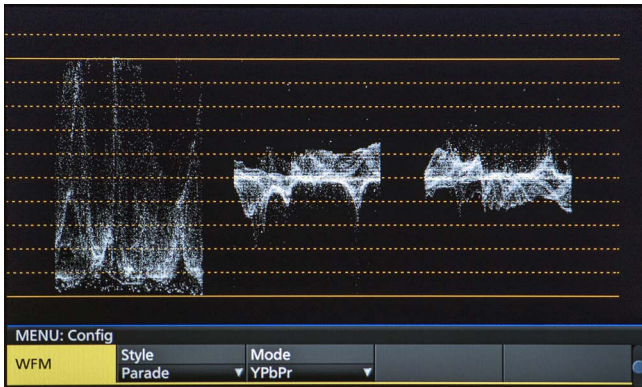
内蔵ストレージに保存されているプロジェクトファイルのファイル名変更


- ①  ボタンを押して点灯させ、Project File メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Project File サブメニューを表示します。
- ③ [F5](Rename) を押すと、プロジェクトファイル選択画面が表示されます。
- ④ ファイル選択画面で [F2] を操作して、ファイル名を変更するプロジェクトファイルを選択します。
- ⑤ [F4](RENAME) を押すと、ファイル名入力のための文字入力画面が表示されます。(30 ページ「キーボード画面の操作」)
- ⑥ [F4]OK を押すと、内蔵ストレージに保存されたプロジェクトファイル名が変更できます。
- ⑦ [F3](PROTECT) を押すと、対象のファイルを保護することができます。
 - プロテクトされたファイル名の先頭には、鍵マークが表示されます。
 - プロテクトされたプロジェクトファイルに対して上書き保存、削除、ファイル名変更はできません。

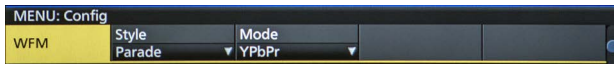
基本操作

波形モニターの設定

WFM (波形モニター) の設定



- ① ディスプレイモードボタンの [WFM/VECT] ボタンを押して、内蔵ディスプレイに波形モニターを表示します。
- ②  ボタンを押して点灯させ、Config メニューを表示します。
- ③ [F1] を操作して、WFM サブメニューを表示します。



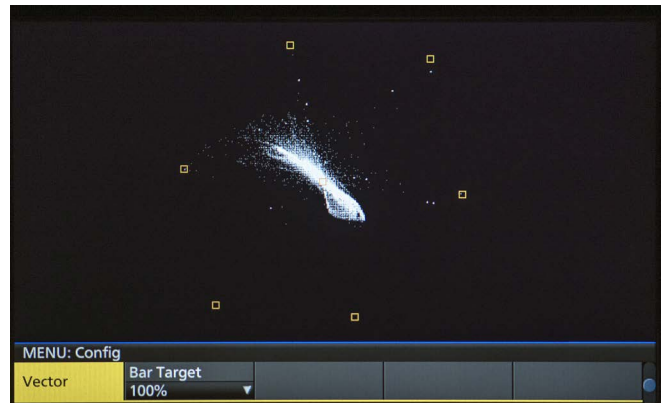
- ④ [F2] を操作して、Style 項目で信号波形の表示方法を選択します。


Parade	信号波形を並べて表示します。
Overlay	信号波形を重ねて表示します。

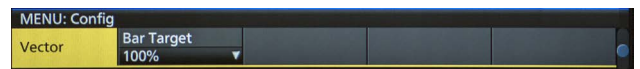
- ⑤ [F3] を操作して、Mode 項目で波形を表示する信号を選択します。

YPbPr	Y、PB、PR の信号を表示します。
RGB	R、G、B の信号を表示します。
Y	Y 信号のみを表示します。

VECTOR (ベクトルスコープ) の設定



- ① ディスプレイモードボタンの [WFM/VECT] ボタンを押して、内蔵ディスプレイにベクトルスコープを表示します。
- ②  ボタンを押して点灯させ、Config メニューを表示します。
- ③ [F1] を操作して、Vector サブメニューを表示します。



- ④ [F2] を操作して、Bar Target 項目でカラーバーの基準マーカを選択します。

75%	75% カラーバーの基準マーカを表示します。
100%	100% カラーバーの基準マーカを表示します。

入出力信号の設定

入力信号の設定

IN1、IN2 は SDI 信号 / HDMI 信号の排他入力になります。

SDI IN3 ~ 8 は SDI 信号の入力になります。

IN-A1 ~ 4、IN-B1 ~ 4 は、下記のオプションユニットが接続されている場合のみ設定することができます。

AV-UHS5M1 (SDI 入力ユニット)	IN-A1 ~ A4、IN-B1 ~ B4 が設定可能
AV-UHS5M3 (HDMI 入力ユニット)	IN-A1 ~ A3、IN-B1 ~ B3 が設定可能

入力信号を設定するときは、最初に Input サブメニューで設定したい入力信号を選択してから行います。

①  ボタンを押して点灯させ、Input メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Input サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Select 項目で入力信号を選択します。

選択した入力信号によって、メニュー表示が切り替わります。

メニューのタイトルは、「MENU : Input (信号の種類) / 入力端子 (素材名)」になります。

信号の種類	SDI、HDMI
素材名	「素材名の設定」で設定した素材名

<メニューの例 (SDI) >



入出力信号の設定

< 入力信号別の設定一覧 >

入力端子		設定メニューと本書のページ					
		Color Space	Status	FS	Freeze	Limited	Name
		P 108	P 109	P 109	P 110	P 110	P 111
12G SDI IN1、 12G SDI IN2 HDMI IN1、 HDMI IN2 排他入力	標準 SDI × 2	○	○	○	○	—	○
	標準 HDMI × 2	○	—	—	○	○	○
12G SDI IN3、 12G SDI IN4	標準 SDI × 2	○	○	○	○	—	○
12G SDI IN5 ~ 12G SDI IN8	標準 SDI × 4	○	○	○	○	—	○
オプションスロット IN-A1 ~ IN-A4 IN-B1 ~ IN-B4	AV-UHS5M1 SDI × 4	○	○	○	○	—	○
オプションスロット IN-A1 ~ IN-A3 IN-B1 ~ IN-B3	AV-UHS5M3 HDMI × 3	○	—	—	○	○	○


入力端子		設定メニューと本書のページ						
		Up/Down Converter	C/C	HDMI Status	HDMI Input	Scale	Camera Settings	ROI
		P 111	P 112	P 116	P 115	P 120	P 141	P 156
12G SDI IN1、 12G SDI IN2 HDMI IN1、 HDMI IN2 排他入力	標準 SDI × 2	—	—	—	—	—	○	—
	標準 HDMI × 2	—	—	○	○	○	○	—
12G SDI IN3、 12G SDI IN4	標準 SDI × 2	—	—	—	—	—	○	—
12G SDI IN5 ~ 12G SDI IN8	標準 SDI × 4	○	○	—	—	—	○	○
オプションスロット IN-A1 ~ IN-A4 IN-B1 ~ IN-B4	AV-UHS5M1 SDI × 4	○	○	—	—	—	○	○
オプションスロット IN-A1 ~ IN-A3 IN-B1 ~ IN-B3	AV-UHS5M3 HDMI × 3	—	○	○	○	○	○	○

○：有効
—：無効

入出力信号の設定

排他入力端子の設定

SDI 入力端子 (12G SDI IN1、12G SDI IN2)、HDMI 入力端子 (HDMI IN1、HDMI IN2) の排他入力を設定します。Input サブメニューの Select 項目で選択できる IN1、IN2 に対して設定します。

- ①  ボタンを押して点灯させ、Input メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Input サブメニューを表示します。




- ③ [F2] を操作して、Select 項目で入力信号を選択します。
- ④ [F5] を操作して、SDI/HDMI 項目で入力信号の種類を設定します。

SDI IN	IN1/2 として 12G SDI IN1/2 に入力された SDI 信号を選択します。HDMI 信号が入力されていても本機に入力はされません。
HDMI IN	IN1/2 として HDMI IN1/2 に入力された HDMI 信号を選択します。SDI 信号が入力されていても本機に入力はされません。

入力信号の色領域の設定

入力信号に対して色域を設定します。全入力信号に独立に設定できます。

- ①  ボタンを押して点灯させ、Input メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Input サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Select 項目で入力信号を選択します。
- ④ [F4] を操作して、Color Space 項目で色領域を設定します。

HDR BT.2020	ハイダイナミックレンジ、色域 Rec.2020 として入力します。
HDR BT.709	ハイダイナミックレンジ、色域 Rec.709 として入力します。
SDR BT.709	スタンダードダイナミックレンジ、色域 Rec.709 として入力します。

入出力信号の設定

入力信号の状態確認

入力信号のステータスが確認できます。

SDI 入力信号の場合

① [F1] を操作して、Status サブメニューを表示します。

Status	Format 2160/59.94p	Audio **** *	Color Space SDR Rec.709
--------	-----------------------	-----------------	----------------------------

本機では入力信号の内容を自動判別し、以下の情報を表示します。

Format	入力されている SDI 信号の映像フォーマット情報を表示します。
Audio	入力されている SDI 信号の音声情報を表示します。
Color Space	入力されている SDI 信号の色空間情報を表示します。

HDMI 入力信号の場合

① [F1] を操作して、HDMI Status サブメニューを表示します。

HDMI Status	Size 3840x2160	Dot Clock 594.0MHz	H-Frequency 135.0kHz	V-Frequency 60.0Hz
-------------	-------------------	-----------------------	-------------------------	-----------------------

本機では入力信号の内容を自動判別し、以下の情報を表示します。

Size	入力されている HDMI 信号の解像度情報を表示します。
Dot Clock	入力されている HDMI 信号のドットクロック情報を表示します。
H-Frequency	入力されている HDMI 信号の水平周波数情報を表示します。
V-Frequency	入力されている HDMI 信号の垂直周波数情報を表示します。

フレームシンクロナイザーの設定

入力ごとにフレームシンクロナイザーの On/Off を設定することができます。

HDMI 入力のフレームシンクロナイザーは常に On となり、On/Off の設定はできません。

① Input サブメニューより [F2] を操作して、Select 項目で設定する入力を選択します。

⇒ 「入力信号の設定」 参照

② [F1] を操作して、FS サブメニューを表示します。

FS	Mode Auto	Delay 0F
----	--------------	-------------

③ [F3] を操作して、FS 項目でフレームシンクロナイザーの設定をします。

Off	フレームシンクロナイザーを Off にします。このとき、ラインシンクロナイザー機能が動作します。 ラインシンクロナイザー機能とは、水平同期信号の位相に合わせて、入力映像信号の位相を自動調整する機能のことです。
Normal	フレームシンクロナイザー機能を有効にします。システムフォーマットと異なる信号が入力されると、黒画面になります。
Auto	フレームシンクロナイザー機能を有効にします。システムフォーマットと異なる信号が入力されても黒画面になりません。 このとき出力される映像は、乱れた映像になる場合があります。

- 出力信号の位相が [OH] に設定されている場合は、FS 項目を Off にできません。
FS 項目を Off にしている場合は、Normal へ変更されます。
- 3G-SDI Level B Mapping の信号を入力したときは、フレームシンクロナイザーの設定を [Auto] に設定してください。

入出力信号の設定

遅延量の設定

入力信号を遅延させることができます。

- 12G SDI IN5 ~ 8、SDI 入力オプションユニット (IN-A1 ~ 4、IN-B1 ~ 4) への入力信号が対象です。

① Input サブメニューより [F2] を操作して、Select 項目で設定する入力を選択します。

⇒ 「入力信号の設定」参照

② [F1] を操作して、FS サブメニューを表示します。



③ [F3] を操作して、Delay 項目で遅延量を設定します。

入力信号のフリーズ

入力信号をフリーズ (静止) させて使用することができます。また、フリーズしている間はその入力のタリー信号を出力しません。

フリーズの設定

① Input サブメニューより [F2] を操作して、Select 項目で設定する入力を選択します。

⇒ 「入力信号の設定」参照

② [F1] を操作して、Freeze サブメニューを表示します。



Frame	フレーム単位でフリーズさせます。
Field	フィールド単位でフリーズさせます。 動いている映像をフリーズさせるときに使用します。 ただし、インターレース信号では、斜め線や動きのある部分がギザギザに見えます。

映像がフリーズしている状態でも、選択することができます。

③ [F3] を押して、入力映像のフリーズおよび解除を行います。

表示が “Off” のときに [F3] を押すと、映像信号がフリーズして表示が “On” になります。

表示が “On” のときに [F3] を押すと、映像信号のフリーズを解除して表示が “Off” になります。

マルチビューディスプレイの出力に設定されている信号をフリーズすると、素材名の前に “F” マークが表示されます。

- フレームシンクロナイザー機能を OFF で使用する場合は、フリーズ実行時に出力映像が乱れることがありますが、フリーズ画像への影響はありません。
- フレームシンクロナイザー機能を OFF で使用しているときにフリーズの設定を “On” に設定した場合、自動的にフレームシンクロナイザー機能が ON に切り替わります。

入出力信号の設定

素材名の設定

入力信号に、素材名を付けることができます。
素材名は、デフォルト設定、またはユーザー設定から選択することができます。

- ① Input サブメニューより [F2] を操作して、Select 項目で設定する入力を選択します。
⇒ 「入力信号の設定」 参照
- ② [F1] を操作して、Name サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して Type 項目で素材名の種類を選択します。

Default (デフォルト 設定)	自動的に下記の素材名が選択されます。 IN1、IN2、12G SDI IN3～8、IN-A1～4、 IN-B1～4
User (ユーザー設 定)	32文字までで素材名を設定します。

< 使用可能な文字 >

A～Z、a～z、0～9、半角スペース、
!#\$%&'()*@^_{ }-*=[];,:.+|~:~?<>\\

アップコンバーターの設定

SDI IN5～SDI IN8 と下記のオプションユニットに内蔵されている、アップコンバーターの設定を行います。

- AV-UHS5M1 (SDI 入力ユニット)

- ① Input サブメニューより [F2] を操作して、Select 項目で設定する入力を選択します。
⇒ 「入力信号の設定」 参照
- ② [F1] を操作して、Up/Down Converter サブメニューを選択します。



- ③ [F2] を操作して、Move Detect 項目で映像の動き検出感度を設定します。

1	静止画寄り
}	}
3	標準
}	}
5	動画寄り

- ④ [F3] を操作して、Sharp 項目で映像へのエッジ強調の強弱を設定します。

1	エッジ強調弱め
}	}
3	標準
}	}
5	エッジ強調強め

入出力信号の設定

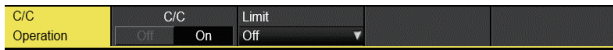
Color Corrector

SDI IN5 ~ SDI IN8 とオプションユニットに内蔵されている Color Corrector の設定を行います。

- ① Input サブメニューより [F2] を操作して、Select 項目で設定する入力を選択します。
⇒ 「入力信号の設定」 参照

カラーコレクターの設定

- ① [F1] を操作して、C/C Operation サブメニューを表示します。

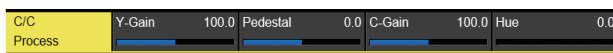


- ② [F2] を操作して、Color Corrector の有効 (On) / 無効 (Off) を設定します。
- ③ [F3] を操作して、Limit 項目で入力信号の色領域を設定します。

Off	色領域の制限をしません。
108	各色 (R、G、B) の振幅レベルを 0% ~ 108% に制限します。
104	各色 (R、G、B) の振幅レベルを 0% ~ 104% に制限します。
100	各色 (R、G、B) の振幅レベルを 0% ~ 100% に制限します。

プロセスコントロール

- ① [F1] を操作して、C/C Process サブメニューを表示します。

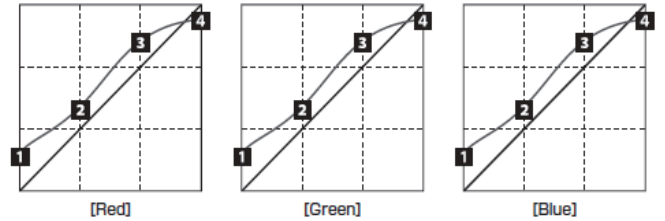


- ② [F2] を操作して、Y-Gain 項目で Y 信号のゲイン値を設定します。
- ③ [F3] を操作して、Pedestal 項目でペダスタルレベルの値を設定します。
- ④ [F4] を操作して、C-Gain 項目で彩度 (Saturation) のゲイン値を設定します。
- ⑤ [F5] を操作して、Hue 項目で色相 (Hue) の変化量を設定します。

トーンカーブ

入力信号の階調を補正します。
トーンカーブを設定して、画像の明るさ、コントラストなどを調整します。

R、G、B それぞれの色を別々に調整することにより、ホワイトバランスの調整や色調の調整ができます。



- 1 : Tone1 Black
- 2 : Tone2 Gray L
- 3 : Tone3 Gray H
- 4 : Tone4 White

Tone1 Black	ブラックレベルの調整を行います。
Tone2 Gray L	グレー Low レベルの調整を行います。
Tone3 Gray H	グレー High レベルの調整を行います。
Tone4 White	ホワイトレベルの調整を行います。

- ① [F1] を操作して、C/C Tone1 Black サブメニューを表示します。



- ② [F2] を操作して、Red 項目でブラックレベルの R 信号の調整を行います。
- ③ [F3] を操作して、Green 項目でブラックレベルの G 信号の調整を行います。
- ④ [F4] を操作して、Blue 項目でブラックレベルの B 信号の調整を行います。
- ⑤ [F5] を操作して、RGB Link 項目で調整値のリンク設定を行います。

Off	C/C Tone1 Black、C/C Tone2 Gray L、C/C Tone3 Gray H、C/C Tone4 White の各サブメニューで、RGB 独立に設定できます。
On	C/C Tone1 Black、C/C Tone2 Gray L、C/C Tone3 Gray H、C/C Tone4 White の各サブメニューで、Red の設定値を Green と Blue に設定します。

入出力信号の設定

- ⑥ [F1] を操作して、C/C Tone2 Gray L サブメニューを表示します。



- ⑦ [F2] を操作して、Red 項目でグレー Low レベルの R 信号の調整を行います。
- ⑧ [F3] を操作して、Green 項目でグレー Low レベルの G 信号の調整を行います。
- ⑨ [F4] を操作して、Blue 項目でグレー Low レベルの B 信号の調整を行います。
- ⑩ [F1] を操作して、C/C Tone3 Gray H サブメニューを表示します。



- ⑪ [F2] を操作して、Red 項目でグレー High レベルの R 信号の調整を行います。
- ⑫ [F3] を操作して、Green 項目でグレー High レベルの G 信号の調整を行います。
- ⑬ [F4] を操作して、Blue 項目でグレー High レベルの B 信号の調整を行います。
- ⑭ [F1] を操作して、C/C Tone4 White サブメニューを表示します。



- ⑮ [F2] を操作して、Red 項目でホワイトレベルの R 信号の調整を行います。
- ⑯ [F3] を操作して、Green 項目でホワイトレベルの G 信号の調整を行います。
- ⑰ [F4] を操作して、Blue 項目でホワイトレベルの B 信号の調整を行います。

NOTE

- 本機は、設定したブラックレベル、グレー Low レベル、グレー High レベル、ホワイトレベルを簡易的に曲線で結び、トーンカーブを作ります。設定値によっては、希望するトーンカーブにならない場合があります。

カラーマトリクスのゲイン調整

- ① [F1] を操作して、C/C Matrix R/G サブメニューを表示します。



- ② [F2] を操作して、R-G 項目で R-G 軸方向のゲイン値を設定します。
- ③ [F3] を操作して、R-B 項目で R-B 軸方向のゲイン値を設定します。
- ④ [F4] を操作して、G-R 項目で G-R 軸方向のゲイン値を設定します。
- ⑤ [F5] を操作して、G-B 項目で G-B 軸方向のゲイン値を設定します。

- ⑥ [F1] を操作して、C/C Matrix B サブメニューを表示します。

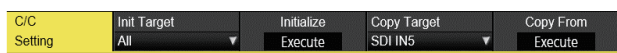


- ⑦ [F2] を操作して、B-R 項目で B-R 軸方向のゲイン値を設定します。
- ⑧ [F3] を操作して、B-G 項目で B-G 軸方向のゲイン値を設定します。

入出力信号の設定

カラーコレクターの初期化

- ① [F1] を操作して、C/C Setting サブメニューを表示します。



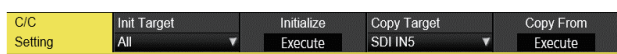
- ② [F2] を操作して、Init Target 項目で初期化対象を選択します。

Process	C/C Process サブメニューの設定を初期化します。
Tone	C/C Tone1 Black、C/C Tone2 Gray L、C/C Tone3 Gray H、C/C Tone4 White サブメニューの設定を初期化します。
RGB Matrix	C/C Matrix R/G、C/C Matrix B サブメニューの設定を初期化します。
All	すべてを初期化します。

設定のコピー

他の入力で設定した Color Corrector の設定情報をコピーすることができます。

- ① [F1] を操作して、C/C Setting サブメニューを表示します。



- ② [F4] を操作して、Copy Target 項目でコピー元を選択します。
- ③ [F5] の Copy From 項目を押すと、Copy Target で選択した設定をコピーします。

入出力信号の設定

HDMI入力信号の設定

HDMI入力ユニット（オプション）、またはフルHD HDMI入力ユニット（オプション）が接続されている場合、HDMI入力信号の設定をします。

入力可能な解像度の信号は下記のとおりです。

HDMI入力信号	標準 (デジタル)	HDMI 入力ユニット (デジタル) AV-UHS5M3
XGA (1024 × 768)/60 Hz	○	○
WXGA (1280 × 768)/60 Hz	○	○
SXGA (1280 × 1024)/60 Hz	○	○
WSXGA+ (1680 × 1050)/60 Hz	○	○
UXGA (1600 × 1200)/60 Hz	○	○
WUXGA (1920 × 1200)/60 Hz	○	○
WQHD (2560 × 1440)/60 Hz	○	○
720/59.94p (1280 × 720)/59.94 Hz、60 Hz	○	○
720/50p (1280 × 720)/50 Hz	○	○
1080/59.94i (1920 × 1080)/59.94Hz、60 Hz	○	○
1080/50i (1920 × 1080)/50 Hz	○	○
1080/23.98p (1920 × 1080)/23.98 Hz	○	○
1080/24p (1920 × 1080)/24 Hz	○	○
1080/25p (1920 × 1080)/25 Hz	○	○
1080/29.97p (1920 × 1080)/29.97 Hz	○	○
1080/59.94p (1920 × 1080)/59.94Hz、60 Hz	○	○
1080/50p (1920 × 1080)/50 Hz	○	○
2160/23.98p (3840 × 2160)/23.98 Hz	○	○
2160/24p (3840 × 2160)/24 Hz	○	○
2160/25p (3840 × 2160)/25 Hz	○	○
2160/29.97p (3840 × 2160)/29.97 Hz	○	○
2160/59.94p (3840 × 2160)/59.94Hz、60 Hz	○	○
2160/50p (3840 × 2160)/50 Hz	○	○

○：有効
-：無効

- 他の解像度の信号や他の周波数の信号が入力された場合は、入力された信号を正しく取り込むことができません。このとき出力される映像は、黒の映像や乱れた映像になる場合があります。
- HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) には対応していません。

① Inputサブメニューより[F2]を操作して、Select項目で設定する入力を選択します。

⇒「入力信号の設定」参照

② [F1]を操作して、HDMI Inputサブメニューを表示します。



③ [F2]を操作して、スケーリング方法を選択します。

Fit-V	入力映像のアスペクト比を維持して、垂直解像度に合わせて拡大または縮小します。
Fit-H	入力映像のアスペクト比を維持して、水平解像度に合わせて拡大または縮小します。
Full (フル)	入力映像をシステムの解像度に合わせて、拡大または縮小します。 (アスペクト比は維持されません。上下左右の拡大縮小率は異なります。)

入出力信号の設定

HDMI入力信号の情報表示

HDMI入力信号の映像に関する情報を表示します。
各情報を変更することはできません。

① Input サブメニューより [F2] を操作して、Select 項目で設定する入力を選択します。
⇒ 「入力信号の設定」 参照

② [F1] を操作して、HDMI Status サブメニューを表示します。

HDMI Status	Size 3840x2160	Dot Clock 594.0MHz	H-Frequency 135.0kHz	V-Frequency 60.0Hz
-------------	-------------------	-----------------------	-------------------------	-----------------------

Size	映像の画素数を表示します。
Dot Clock	映像のドットクロックを表示します。
H-Frequency	映像の水平周波数を表示します。
V-Frequency	映像の垂直周波数を表示します。

対応フォーマットは以下のとおりです。

<HDMI 対応フォーマット>

HDMI 入力信号			ドットクロック (MHz)	周波数	
				水平 (kHz)	垂直 (Hz)
XGA	1024 × 768	デジタル	65.0	48.36	60.00
WXGA	1280 × 768	デジタル	79.5	47.78	59.87
SXGA	1280 × 1024	デジタル	108.0	63.98	60.02
WSXGA+	1680 × 1050	デジタル	146.2	65.29	59.95
UXGA	1600 × 1200	デジタル	162.0	75.00	60.00
WUXGA	1920 × 1200	デジタル	154.0	74.04	59.95
WQHD	2560 × 1440	デジタル	241.5	88.79	59.95
720/59.94p	1280 × 720	デジタル	74.25/1.001	44.96	60.00/1.001
720/50p	1280 × 720	デジタル	74.25	37.50	50.00
1080/59.94i	1920 × 1080	デジタル	74.25/1.001	33.72	60.00/1.001
1080/50i	1920 × 1080	デジタル	74.25	28.13	50.00
1080/23.98p	1920 × 1080	デジタル	74.2	27.0	24.00/1.001
1080/24p	1920 × 1080	デジタル	74.2	27.0	24.00
1080/25p	1920 × 1080	デジタル	74.2	28.1	25.00
1080/29.97p	1920 × 1080	デジタル	74.2	33.7	30.00
1080/59.94p	1920 × 1080	デジタル	148.5/1.001	67.50/1.001	60.00/1.001
1080/50p	1920 × 1080	デジタル	148.5	56.25	50.00
2160/23.98p	3840 × 2160	デジタル	297.0/1.001	53.9	24.00/1.001
2160/24p	3840 × 2160	デジタル	297.0	54.0	24.00
2160/25p	3840 × 2160	デジタル	297.0	56.2	25.00
2160/29.97p	3840 × 2160	デジタル	297.0/1.001	67.40	30.00
2160/59.94p	3840 × 2160	デジタル	594.0/1.001	134.9	60.00/1.001
2160/50p	3840 × 2160	デジタル	594.0	112.5	50.00

- 対応フォーマットに合致しない入力信号の場合、その信号を正しく取り込むことができず、黒の映像や乱れた映像になる場合があります。

入出力信号の設定

出力信号の設定

12G SDI OUT1 ~ 12G SDI OUT5 は、SDI 信号の出力になります。

HDMI OUT1、HDMI OUT2 は、HDMI 信号の出力になります。

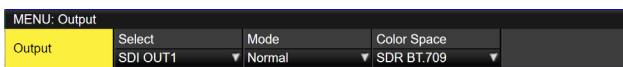
OUT-A1 ~ OUT-A4、OUT-B1 ~ OUT-B4 は、下記のオプションユニットが接続されている場合のみ設定することができます。

AV-UHS5M2 (SDI 出力ユニット)	OUT-A1 ~ OUT-A4、OUT-B1 ~ OUT-B4 が設定可能
AV-UHS5M4 (HDMI 出力ユニット)	OUT-A1 ~ OUT-A3、OUT-B1 ~ OUT-B3 が設定可能

出力信号を設定するときは、最初に Output サブメニューで設定したい出力信号を選択してから行います。

①  ボタンを押して点灯させ、Output メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Output サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Select 項目で出力信号を選択します。

選択した出力信号によって、メニュー表示が切り替わります。

メニューのタイトルは、「MENU : Output (信号の種類) / 出力端子」になります。

信号の種類	SDI、HDMI
-------	----------

< メニューの例 (HDMI) >



< 出力信号別の設定一覧 >

出力端子		設定メニューと本書のページ				
		Assign	SDI Output	HDMI Output	Down Converter	Scale
		P 118	P 106	P 119	P 120	P 120
12G SDI OUT1 ~ 12G SDI OUT5	標準 SDI × 5	○	○	—	○ 簡易	—
HDMI OUT1、 HDMI OUT2	標準 HDMI × 2	○	—	○	—	—
OUT-A1 ~ OUT-A4	AV-UHS5M2 SDI × 4	○	○	—	○	—
OUT-A1 ~ OUT-A3	AV-UHS5M4 HDMI × 3	○	—	○	—	○
OUT-B1 ~ OUT-B4	AV-UHS5M2 SDI × 4	○	○	—	○	—
OUT-B1 ~ OUT-B3	AV-UHS5M4 HDMI × 3	○	—	○	—	○

○：有効
—：無効

入出力信号の設定

出力信号のアサイン

12G SDI OUT と HDMI OUT に、出力信号をアサインします。

- ① Output サブメニューより [F2] を操作して、Select 項目で設定する出力を選択します。
⇒「出力信号の設定」参照
- ② [F1] を操作して、Assign サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Source 項目で出力信号の種類を設定します。

PGM	スイッチャーの本線出力でワイプ、ミックス、キー、ダウンストリームキーなど効果がかかった映像を出力します。
PVW	次の操作を事前に確認できるプレビュー出力です。
CLN	クリーン信号（PGM 信号からキー、ダウンストリームキーなどの効果を除いた映像）を出力します。
ME PGM	ME PGM 信号（ダウンストリームキーの効果を除いた映像）を出力します。
AUX1 ~ 4	4 系統ある AUX バス（AUX1 ~ AUX4）で選択された信号を出力します。
MV1、MV2	マルチビューディスプレイ出力です。複数の入力信号や出力信号を縮小して、1 画面に出力します。
KeyOut	キー信号を出力します。

- ④ [F3] を操作して、Mode 項目で出力モードを設定します。

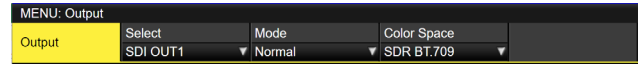
Normal	システムフォーマットと同一の信号を出力します。
簡易ダウンコンバーター	システムフォーマットが 2160/59.94p のときは、1080/59.94p のフォーマットで出力します。
ダウンコンバーター	SDI 出力ユニット（オプション：AV-UHS5M1）が接続されている場合に選択できます。 システムフォーマットが 2160/59.94p のときは、1080/59.94p、1080/59.94i、720/59.94p のフォーマットで出力します。 システムフォーマットが 1080/59.94p のときは、1080/59.94i、720/59.94p のフォーマットで出力します。 システムフォーマットが 1080/59.94i のときは、720/59.94p のフォーマットで出力します。 システムフォーマットが 2160/29p、25p、24p、23p のときは、それぞれ 1080/29psf、25psf、24psf、23psf で出力します。

SDI 出力の色領域の設定

SDI 出力信号の映像に対して、色の領域を設定します。

- 全出力信号に独立に設定できます。

- ① Output サブメニューより [F4] を操作して、Color Space を設定します。



HDR BT.2020	ハイダイナミックレンジ、色域 Rec.2020 として出力します。
HDR BT.709	ハイダイナミックレンジ、色域 Rec.709 として出力します。
SDR BT.709	スタンダードダイナミックレンジ、色域 Rec.709 として出力します。

入出力信号の設定

HDMI 出力の設定

標準出力 (HDMI OUT) の HDMI 出力信号、および HDMI 出力ユニット (オプション) が接続されている場合の HDMI 出力信号の設定をします。

- ① Output サブメニューより [F2] を操作して、Select 項目で設定する出力を選択します。
⇒「出力信号の設定」参照

- ② Output サブメニューより [F4] を操作して、Color Space 項目で出力の色域を設定します。

HDR BT.2020	ハイダイナミックレンジ、色域 Rec.2020 として出力します。
HDR BT.709	ハイダイナミックレンジ、色域 Rec.709 として出力します。
SDR BT.709	スタンダードダイナミックレンジ、色域 Rec.709 として出力します。

- ③ [F1] を操作して、Assign サブメニューを表示します。



- ④ [F2] を操作して、Source 項目で出力信号の種類を設定します。

PGM	スイッチャーの本線出力でワイプ、ミックス、キー、ダウンストリームキーなど効果がかかった映像を出力します。
PVW	次の操作を事前に確認できるプレビュー出力です。
CLN	クリーン信号 (PGM 信号からキー、ダウンストリームキーなどの効果を除いた映像) を出力します。
ME PGM	ME PGM 信号 (ダウンストリームキーの効果を除いた映像) を出力します。
AUX1 ~ 4	4 系統ある AUX バス (AUX1 ~ AUX4) で選択された信号を出力します。
MV1、MV2	マルチビューディスプレイ出力です。複数の入力信号や出力信号を縮小して、1 画面に出力します。
KeyOut	キー信号を出力します。

以降の設定は HDMI 出力ユニット (オプション) が接続されている場合に可能となります。

- ⑤ [F1] を操作して、HDMI Output サブメニューを表示します。

- ⑥ [F2] を操作して、Size 項目で出力する映像の解像度を選択します。

Auto	HDMI 信号により出力先の機器情報を取得し、最適な解像度で出力します。
XGA	(1024 × 768) / 60 Hz
WXGA	(1280 × 768) / 60 Hz
SXGA	(1280 × 1024) / 60 Hz
WXGA+	(1680 × 1050) / 60 Hz
UXGA	(1600 × 1200) / 60 Hz
WUXGA	(1920 × 1200) / 60 Hz
WQHD	(2560 × 1440) / 60 Hz
Native	システムフォーマットと同一で出力します。

- ⑦ [F3] を操作して Color 項目で出力する色空間を設定します。

Auto	HDMI 信号により出力先の機器情報を取得し、最適な色空間で出力します。
RGB	色空間を RGB 形式で設定します。
YUV444	色空間を Y, Cb, Cr を 4:4:4 で設定します。(水平 4 ピクセルにつき、輝度成分と 2 つの色差成分を各 4 ピクセルずつサンプルする方式)
YUV422	色空間を Y, Cb, Cr を 4:2:2 で設定します。(水平 2 ピクセルから色差信号を 1 ピクセル分だけとる形式。輝度信号は 1 ピクセルごとにとる。)

入出力信号の設定

⑧ [F4] を操作して、Scale 項目でスケーリング方法を選択します。

Fit-V	出力映像のアスペクト比を維持して、垂直解像度に合わせて拡大または縮小します。 (映像のない部分には黒の映像を挿入します。はみ出した部分の映像は切り取ります。)
Fit-H	出力映像のアスペクト比を維持して、水平解像度に合わせて拡大または縮小します。 (映像のない部分には黒の映像を挿入します。はみ出した部分の映像は切り取ります。)
Full (フル)	出力映像をシステムの解像度に合わせて拡大または縮小します。
Full80%	システムの解像度の 80% の大きさに合わせて、出力映像を拡大または縮小します。
Full90%	システムの解像度の 90% の大きさに合わせて、出力映像を拡大または縮小します。

- Full、Full80%、Full90% では、アスペクト比は維持されません。
上下左右の拡大縮小率が異なります。

⑨ [F5] を操作して、Move Detect 項目で映像の動きを検出する感度を設定します。

1	静止画寄り
}	}
3	標準
}	}
5	動画寄り

ダウンコンバーターの設定 (オプション)

SDI 出力ユニット (AV-UHS5M2) に内蔵されているダウンコンバーターの設定を行います。

- ① Output サブメニューより [F2] を操作して、Select 項目で設定する出力を選択します。
⇒ 「出力信号の設定」参照
- ② [F1] を操作して、Down Converter サブメニューを表示します。
- ③ [F2] を操作して、Delay 項目で出力の遅延時間を設定します。

Minimum	システムの最小遅延で出力します。位相の遅延量については「出力信号の位相調整」を参照してください。
1F Fix	システム映像より 1 フレーム遅れの同相で出力します。

- ④ [F3] を操作して、Sharp 項目で映像へのエッジ強調の強弱を設定します。

1	標準
}	}
5	エッジ強調強め

入出力信号の設定

同期信号の設定


システムで使用する同期信号を選択します。

外部同期：

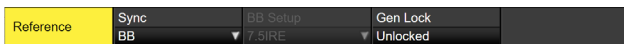
外部同期信号に同期します（ゲンロック）。
リファレンス入力信号は、ループスルー出力します。

BB	ブラックバースト信号（垂直位相 0H）
BB Advanced	ブラックバースト信号 59.94i または 59.94p 選択時： 垂直位相 90H 50i または 50p 選択時： 垂直位相 75H
Tri-level sync	3 値シンク信号（垂直位相 0H）
Internal	内部基準信号（INT）に同期します。 2 つのリファレンス端子から REFOUT 信号（ブラックバースト信号）を出力します。 ● システムフォーマットが “1080/24PsF” のときは選択できません。

- 1080/24PsF フォーマット時は、Tri-level sync のみ選択できます。
- 本機は、システムフォーマットと同じフィールド周波数の同期信号に対応します。
ただし、1080/23.98PsF フォーマット時は、10F-ID 付きブラックバースト信号（SMPTE318M 準拠）にも対応します。

①  ボタンを押して点灯させ、System メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Reference サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Sync 項目で同期信号を選択し、[F2] を押して、選択内容を確定します。

④ [F3] を操作して、BB Setup 項目で内部同期モード時におけるブラックバースト信号のセットアップレベルを選択します。

この設定は、映像方式が 59.94i または 59.94p のときに有効になります。


50i または 50p のときは、0 IRE 固定になります。

⑤ Gen Lock 項目には、ゲンロックの状態を表示します。

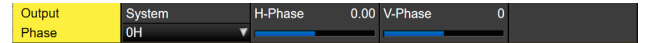
Locked	外部同期信号または内部基準信号に同期しています。
UnLock	外部同期信号または内部基準信号に同期していません。

出力信号の位相調整

出力ビデオ信号の位相を調整します。

①  ボタンを押して点灯させ、System メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Output Phase サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、System 項目で “0H” または “1H” を選択します。

0H	システムの Reference 信号に対して同相で出力ビデオ信号を出力します。 すべての入力信号に対してフレームシンクロナイザー機能が ON 状態になります。
1H	システムの Reference 信号に対して 1H 遅れで出力ビデオ信号を出力します。 フレームシンクロナイザー機能が ON のときは、1 フレーム + 1H 遅延したビデオ信号出力になります。

④ [F3] を操作して、H-Phase 項目で H 位相の調整をします。

H-Phase は、-0.50H ~ +0.49H の範囲で調整することができます。

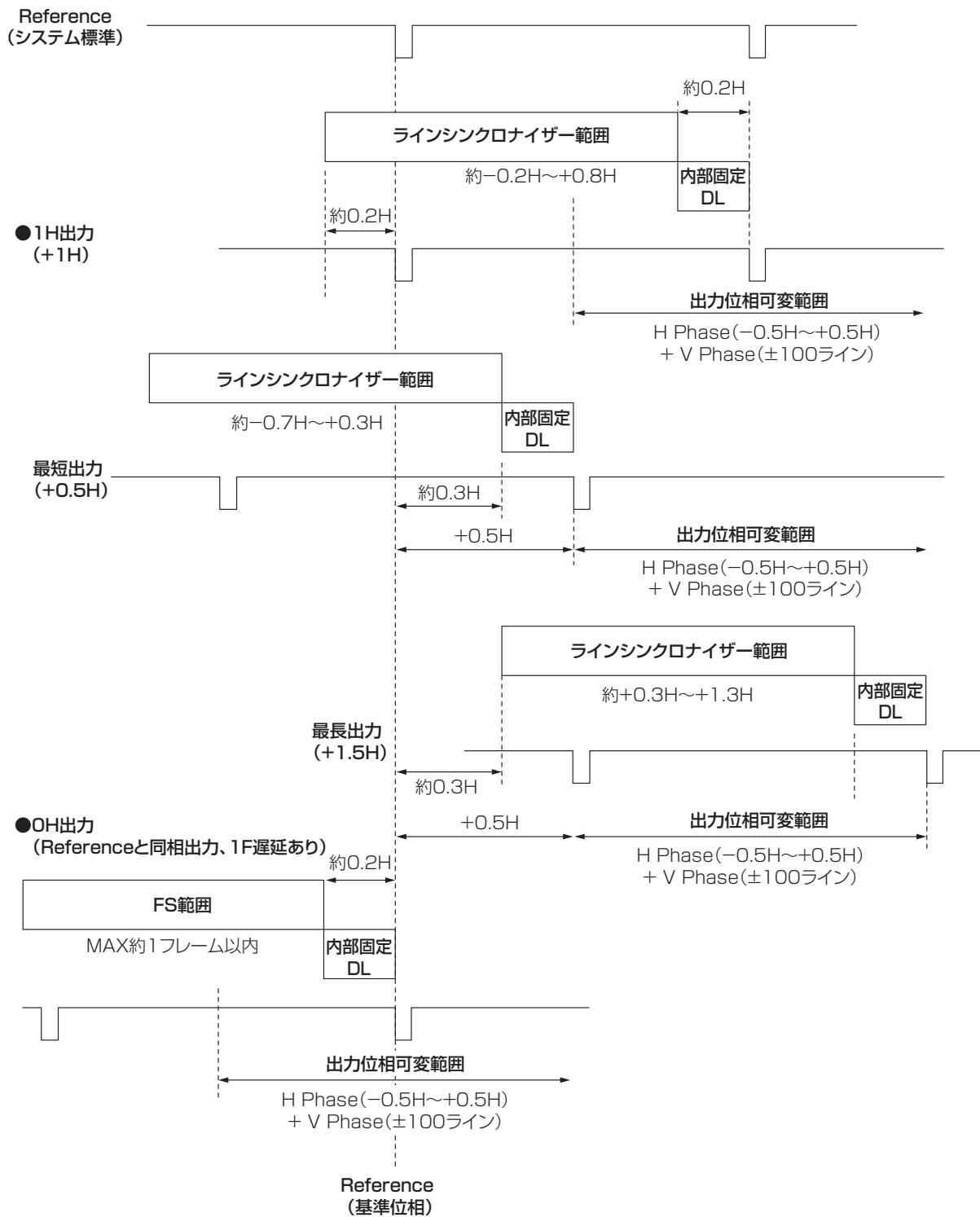
- システムフォーマットにより、メニューに表示される設定値が異なります。

⑤ [F4] を操作して、V-Phase 項目で V 位相の調整をします。

V-Phase は、-100H ~ +100H の範囲で調整することができます。

入出力信号の設定

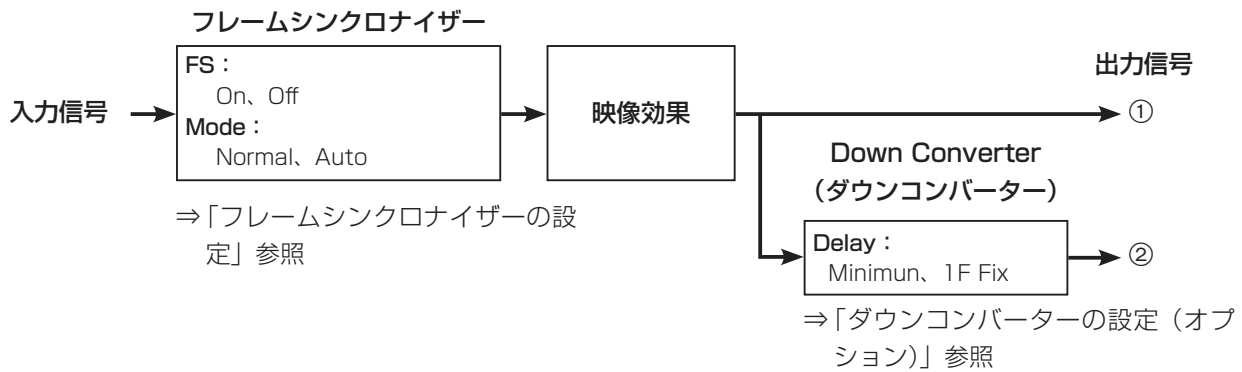
< 位相調整のしくみ >



ラインシンクロナイザー範囲：自動位相調整可能な引き込み範囲です。

入出力信号の設定

<HD フォーマット使用時における入出力信号の位相と遅延量>



Output Phase	Input		非同期入力	出力信号① Normal		出力信号② Down Converter (Minimum)		出力信号② Down Converter (1F Fix)	
	System	Mode		FS	位相	遅延量	位相	遅延量	位相
同期信号 (Reference) : ブラックバースト信号 (BB)、3 値シンク信号 (Tri-level sync)、内部基準信号 (Internal)									
1H	Normal	Off	不可	Reference +1H	1H	①+90H	1H+90H	①と同相	1H+1F
	Normal	On	可能	Reference +1H	最大 1F+1H	①+90H	最大 1F+1H +90H	①と同相	最大 2F+1H
	Auto	On (強制)	可能	Reference +1H	最大 1F	①+90H	最大 1F+90H	①と同相	最大 2F
OH (例 1)	Normal/ Auto	On (強制)	可能	Reference と同相	最大 1F	①+90H	最大 1F+90H	①と同相	最大 2F
同期信号 (Reference) : ブラックバースト信号 (BB Advanced)									
1H	Normal	Off	不可	Reference -90H+1H	1H	①+90H	1H+90H	①と同相	1F+1H
	Normal	On	可能	Reference -90H+1H	最大 1F-90H +1H	①+90H	最大 1F+1H	①と同相	最大 2F-90H +1H
	Auto	On (強制)	可能	Reference -90H+1H	最大 1F-90H	①+90H (Reference と同相)	最大 1F	①と同相	最大 2F-90H
OH (例 2)	Normal/ Auto	On (強制)	可能	Reference -90H	最大 1F-90H	①+90H (Reference と同相)	最大 1F	①と同相	最大 2F-90H

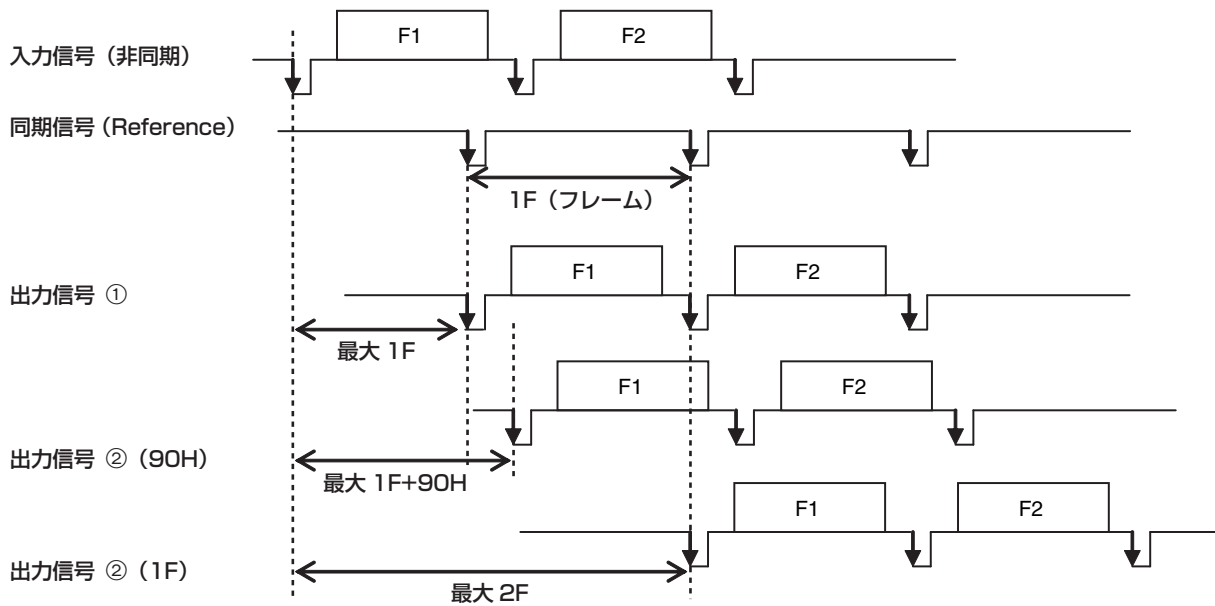
- 1080/50i、720/50p の場合は、上記の 90H が 75H になります。
- 1H は、HD フォーマットでの換算です。
- 映像効果として DVE、PinP を使用した場合は、出力信号が +1F 遅延します。
- マルチビューディスプレイに出力する場合は、出力映像が +1F 遅延します。

入出力信号の設定

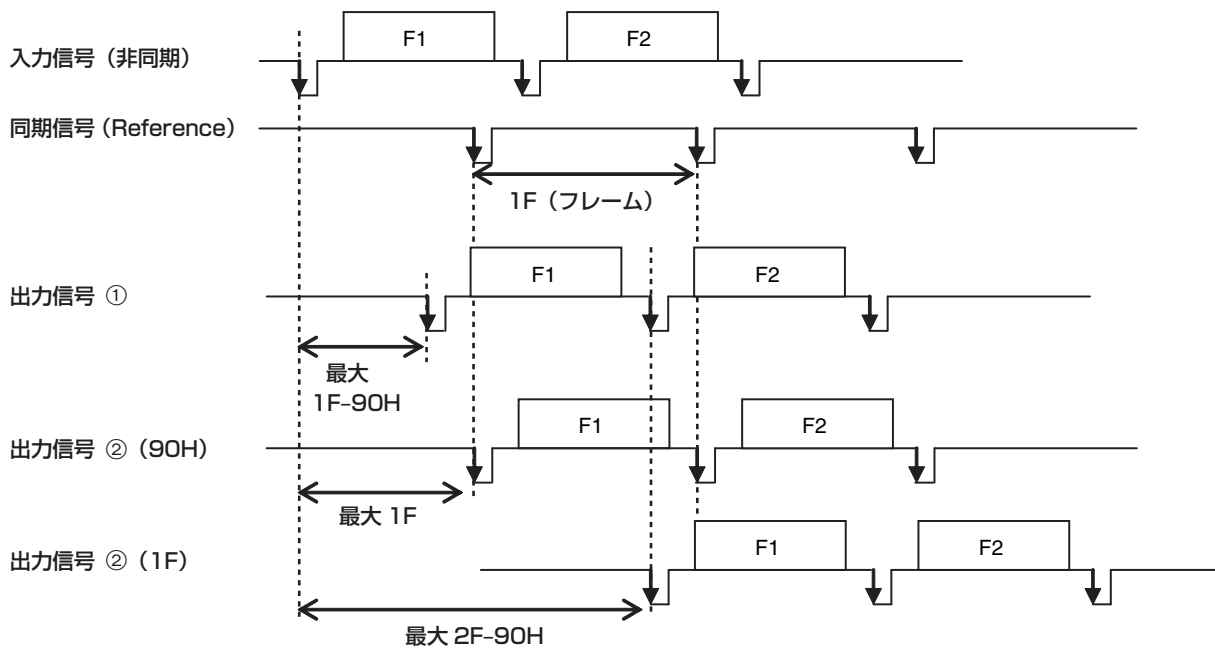
< 入力信号と出力信号の位相関係 >

(1080/59.94i の場合)

(例 1)



(例 2)



入出力信号の設定

マルチビューディスプレイの設定

画面レイアウトの設定

画面レイアウトは以下の 10 とおりの中から選択します。

本機のマルチビューディスプレイは、MV1、MV2 に対応しています。


内蔵ディスプレイにはどちらか 1 つを選択して表示できます。

4Split	5-aSplit	5-bSplit	6-aSplit	6-bSplit
9Split	10-aSplit	10-bSplit	12Split	16Split

子画面の 1 ~ 16 には、下記の信号の表示をアサインすることが可能です。

アサイン可能な信号

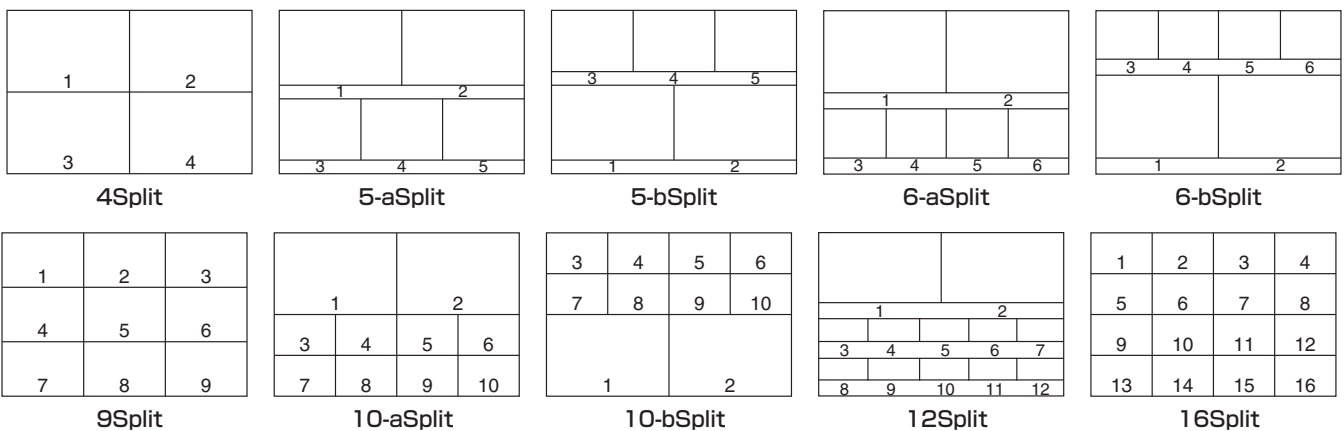
IN1、IN2、SDI IN3 ~ 8、IN-A1 ~ 4、IN-B1 ~ 4、Black、CBGD1、CBGD2、CBAR、Still1V、Still1K、Still2V、Still2K、Clip1V、Clip1K、Clip2V、Clip2K、PGM、PVW、CLN、ME PGM、Key Out、MV1、MV2、AUX1 ~ 4、Clock

- ①  ボタンを押して点灯させ、Multi View Display メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、MV Split サブメニューを表示します。
- ③ [F2] を操作して、Split 項目で分割の表示モードを設定します。
- ④ [F3] を操作して、Size 項目で分割画面の大きさモードを設定します。

Fit	分割枠と分割画面の大きさは同じになります。
SQ	分割枠と分割画面の大きさは小さくなり、分割画面外側に素材名、レベルメーターなどを表示します。

- ⑤ [F1] を操作して、MV Pattern1/4 ~ 4/4 サブメニューを表示します。
- ⑥ [F2] ~ [F5] を操作して、子画面 (1 ~ 16) に表示する信号名を設定します。
 - 入力信号 (IN1、IN2、SDI IN3 ~ 8、IN-A1 ~ 4、IN-B1 ~ 4) を選択した場合は、Input メニュー → Name サブメニューで設定した素材名の表示は、文字や記号により異なります。
 - AUX バス (AUX1 ~ 4) で入力信号を選択した場合は、[] 内の素材名の表示は、文字や記号により異なります。
 - MV を選択している AUX バスをマルチビューディスプレイの子画面に選択すると、2 枚の鏡を向かい合わせにしたときのように映像がループします。
 - 720p では、12 分割が選択できません。


< 表示モード >

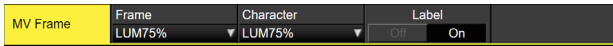


入出力信号の設定

分割枠と文字の設定

マルチビューディスプレイに表示される分割画面の枠、文字の輝度と背景の設定を行います。

- ①  ボタンを押して点灯させ、Multi View Display メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、MV Frame サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Frame 項目で分割枠の輝度および分割枠の表示を設定します。

LUM0%、 LUM25%、 LUM50%、 LUM75%、 LUM100%	分割枠（グレースケール）の輝度を設定します。
Off	分割枠を表示しません。

- ④ [F3] を操作して、Character 項目で文字の輝度および文字の表示を設定します。

LUM0%、 LUM25%、 LUM50%、 LUM75%、 LUM100%	文字（グレースケール）の輝度を設定します。
Off	文字を表示しません。 また、文字背景も表示しません。

- ⑤ [F4] を操作して、Label 項目で文字背景（ハーフトーン）の表示を設定します。

On	文字背景を表示します。
Off	文字背景を表示しません。


- Fit のときに有効です。

タリー表示の設定

マルチビューディスプレイの分割枠に重ねるタリー表示の設定を行います。

本機ではタリーグループを 2 つ設定でき、それぞれのグループに対して素材を設定できます。

マルチビューディスプレイではタリーグループ 1 と 2 の表示ができます。

- ①  ボタンを押して点灯させ、System メニューを表示します。


- ② [F1] を操作して、Tally MV Color サブメニューを表示します。

Group1	Red で固定されています。
Group2	Green で固定されています。

- ③ [F1] を操作して、Tally Target サブメニューを表示します。

- ④ [F2]、[F3] を操作して、Group1 と 2 に割り当てる素材を選択します。

PGM	プログラム映像信号
PVW	プレビュー映像信号
CLN	クリーン信号
ME PGM	ME プログラム映像信号
KeyOut	キー出力信号
AUX1	AUX1 バス出力信号
AUX2	AUX2 バス出力信号
AUX3	AUX3 バス出力信号
AUX4	AUX4 バス出力信号

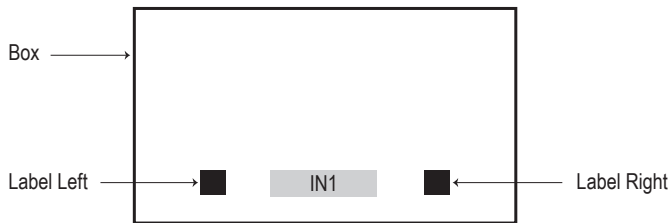
- ⑤  ボタンを点灯させ、Multi View Display メニューを表示します。

- ⑥ [F1] を操作して、Tally Group1 / 2 サブメニューを表示します。

- 上記①～④で設定した Group1 と 2 についてマルチビューディスプレイへの表示設定ができます。

入出力信号の設定

- ⑦ [F2] ~ [F4] を操作して、マルチビューディスプレイの分割枠に重ねるタリ表示の設定を行います。



On	タリ表示をします。
Off	タリ表示をしません。

素材名の変更 (入力信号)

マルチビューディスプレイに設定する、入力信号 (IN1、IN2、SDI IN3 ~ SDI IN8、IN-A1 ~ IN-A4、IN-B1 ~ IN-B4) の素材名を変更します。

素材名は、デフォルト設定、またはユーザー設定から選択することができます。

- ① ボタンを押して点灯させ、Input メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Input サブメニューを表示します。
- ③ [F2] を操作して、Select 項目で設定する入力を選択します。
⇒ 「入力信号の設定」 参照
- ④ [F1] を操作して、Name サブメニューを表示します。



- ⑤ [F2] を操作して、Type 項目で素材名の種類を選択します。

Default (デフォルト設定)	自動的に下記の素材名が選択されます。 IN1、IN2、SDI IN3 ~ SDI IN8、 IN-A1 ~ IN-A4、IN-B1 ~ IN-B4
User (ユーザー設定)	32 文字までで素材名を設定します。

User タイプの設定方法



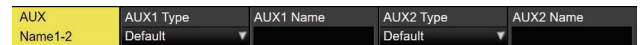
- ① Name サブメニューより、[F2] を操作して Type 項目で "User" を選択します。
- ② [F3] を押して、キーボード画面を表示します。
- ③ [F1] ~ [F3]、ポジショナー、ロータリーエンコーダー [Z]、テンキーを使って名前を入力し、[F4] を押しします。
入力した名前を取り消してキーボード画面を閉じる場合は、[F5] を押しします。
⇒ 「キーボード画面の操作」 参照

素材名の変更 (出力信号)

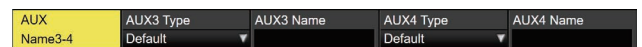
マルチビューディスプレイに設定する、出力信号 (AUX1 ~ AUX4) の素材名を変更します。

素材名は、デフォルト設定、またはユーザー設定から選択することができます。

- ① ボタンを押して点灯させ、Config メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、AUX Name1-2 サブメニューを表示します。



- ③ [F2]、[F4] を操作して、Type 項目で AUX1、AUX2 の素材名の種類を選択します。
- ④ [F1] を操作して、AUX Name3-4 サブメニューを表示します。



- ⑤ [F2]、[F4] を操作して、Type 項目で AUX3、AUX4 の素材名の種類を選択します。

Default (デフォルト設定)	自動的に下記の素材名が選択されます。 AUX1 ~ AUX4
User (ユーザー設定)	32 文字までで素材名を設定します。

入出力信号の設定


User タイプの設定方法

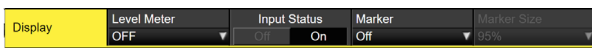
- ① AUX Name1-2 または AUX Name3-4 サブメニューより、[F2]、[F4] を操作して Type 項目で "User" を選択します。
- ② [F3]、[F5] を押して、キーボード画面を表示します。
- ③ [F1] ~ [F3]、ポジショナー、ロータリーエンコーダー [Z]、テンキーを使って名前を入力し、[F4] を押しします。
入力した名前を取り消してキーボード画面を閉じる場合は、[F5] を押しします。
⇒ 「キーボード画面の操作」 参照

レベルメーターの設定

各分割画面上に、SDI/HDMI 入出力で伝送されるエンベデッドオーディオ信号のレベルメーターを表示することができます。

- 左側の表示： グループ 1 の 1 ch
右側の表示： グループ 1 の 2 ch

- ①  ボタンを押して点灯させ、Multi View Display メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Display サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Level Meter 項目でレベルメーターの表示を設定します。

OFF	レベルメーターの表示をしません。
IN ON	入力信号と Clip、カラーバーのレベルメーターを表示します。
OUT ON	PGM/PVW/ME PGM/CLN/AUX のレベルメーターを表示します。
IN/OUT ON	入力信号と Clip、カラーバー、PGM/PVW/ME PGM/CLN/AUX のレベルメーターを表示します。

入力信号マークの設定

各分割画面に表示される素材名の先頭に、入力信号の状態を表示することができます。

“F” マーク：

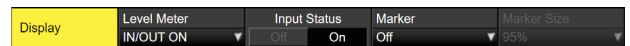
入力信号がフリーズ状態のとき。

“!” マーク：

入力信号がないときやフォーマットの異なる信号が入力されているとき。

- “F” マークが表示されているときは、“!” マークは表示されません。

- ① Display サブメニューより [F3] を操作して、Input Status 項目で入力信号状態表示の設定を行います。

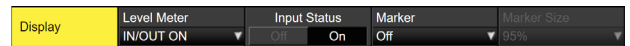


On	入力信号状態を表示します。
Off	入力信号状態を表示しません。

マーカーの設定

マルチビューの素材にセーフティマーカーを表示することができます。

- ① Display サブメニューより [F4] を操作して、Marker 項目でマーカー表示の設定を行います。




4:3	4 : 3 のアスペクト比でマーカーを表示します。
16:9	16 : 9 のアスペクト比でマーカーを表示します。
Off	マーカーを表示しません。

- ② [F5] を操作して、Marker Size 項目でマーカーの大きさを設定します。

入出力信号の設定

AUXバス、PGM、PVWのアンシラリー設定

SDI/HDMI入力信号のVアンシラリーデータ、およびエンベデッドオーディオデータを通過させる機能を設定します。

- ①  ボタンを押して点灯させ、Systemメニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Ancillary1サブメニューを表示します。



AUXバス (AUX1 ~ AUX4) の出力信号に対する設定

- ③ [F2] を操作して、AUX項目でON/OFFを選択します。

OFF	AUXバス(AUX1 ~ 4)出力のアンシラリーデータ、およびエンベデッドオーディオを通過させません。
ON	AUXバス(AUX1 ~ 4)出力のアンシラリーデータ、およびエンベデッドオーディオを通過させます。

プログラム出力信号に対する設定

- ④ [F3] を操作して、PGM項目でON/OFFを選択します。

OFF	PGM/ME PGM出力のアンシラリーデータ、およびエンベデッドオーディオを通過させません。
ON	PGM/ME PGM出力のアンシラリーデータ、およびエンベデッドオーディオを通過させます。

プレビュー出力信号に対する設定

- ⑤ [F4] を操作して、PVW項目でON/OFFを選択します。

OFF	PVW出力のアンシラリーデータ、およびエンベデッドオーディオを通過させません。
ON	PVW出力のアンシラリーデータ、およびエンベデッドオーディオを通過させます。

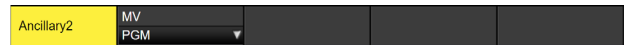
クリーン出力信号に対する設定

- ⑥ [F5] を操作して、CLN項目でON/OFFを選択します。

OFF	CLN出力のアンシラリーデータ、およびエンベデッドオーディオを通過させません。
ON	CLN出力のアンシラリーデータ、およびエンベデッドオーディオを通過させます。

マルチビューディスプレイの出力信号に対する設定

- ⑦ [F1] を操作して、Ancillary2サブメニューを表示します。



- ⑧ [F1] を操作して、MV項目でPGM/PVW/OFFを選択します。

PGM	すべてのMV出力にPGMのアンシラリーデータ、およびエンベデッドオーディオを通過させます。
PVW	すべてのMV出力にPVWのアンシラリーデータ、およびエンベデッドオーディオを通過させます。
OFF	すべてのMV出力でアンシラリーデータ、およびエンベデッドオーディオを通過させません。

NOTE

- KEY、DSKを合成した場合は、その音声も重畳されます。
- AUXの設定がONの場合、AUX1に重畳されたDSK1の音声も同時にAUX1に重畳されたまま出力されます。また同様に、AUX2に重畳されたDSK2の音声も同時にAUX2に重畳されたまま出力します。
- VANCデータは、システムフォーマットと異なるフォーマットの入力信号の場合、通りません。

入出力信号の設定


AUXバス、PGM、PVWのオーディオ設定

SDI/HDMI入力信号のエンベデッドオーディオデータを1つ選択して、各出力信号に対して通過させる機能を設定します。

各出力信号に対して、入力信号は以下から1つだけ選択できます。

IN1、IN2	SDIまたはHDMI入力信号のエンベデッドオーディオを通過させます。
SDI IN3～8	SDI入力信号のエンベデッドオーディオを通過させます。
IN-A1～4	オプションスロットA実装時のSDIまたはHDMI入力信号のエンベデッドオーディオを通過させます。
IN-B1～4	オプションスロットB実装時のSDIまたはHDMI入力信号のエンベデッドオーディオを通過させます。
Follow Video	バスで選択された入力信号のエンベデッドオーディオを通過させます。
OFF	エンベデッドオーディオを通過させません。

本機能を有効にするには、各バスのアンシラリー設定をONにしてください。

①  ボタンを押して点灯させ、Systemメニューを表示します。

② [F1] を操作して、Audio1 サブメニューを表示します。



AUXバス (AUX1～4) の出力信号に対するオーディオ設定

③ [F2]～[F5] を操作して、AUX1～4項目でエンベデッドオーディオを通過させる入力信号を設定します。

プログラム出力信号に対するオーディオ設定

④ [F1] を操作して、Audio2 サブメニューを表示します。



⑤ [F2] を操作して、PGM項目でエンベデッドオーディオを通過させる入力信号を設定します。

プレビュー出力信号に対するオーディオ設定

⑥ [F3] を操作して、PVW項目でエンベデッドオーディオを通過させる入力信号を設定します。

クリーン出力信号に対するオーディオ設定

⑦ [F4] を操作して、CLN項目でエンベデッドオーディオを通過させる入力信号を設定します。

マルチビュー出力信号に対するオーディオ設定

⑧ [F5] を操作して、MV項目でエンベデッドオーディオを通過させる入力信号を設定します。


システムの設定

システムフォーマットの設定

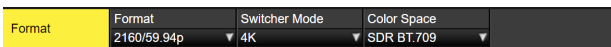
システムのフォーマット（入出力信号）を1つ選択します。

次の動作中には、フォーマットを変更しないでください。

- メモリーカードからの読み込み中、またはメモリーカードへの保存中
- ビデオメモリーの復帰中、または内蔵ストレージへの保存中
- 動画や静止画の記録中
- 動画の再生中

①  ボタンを押して点灯させ、System メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Format サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Format 項目でフォーマットを選択し、[F2] を押して選択内容を確定します。

スイッチャーモードの設定

① Format サブメニューから、[F3] ボタンを操作して、Switcher 項目で2Kもしくは4Kを選択し、[F3] を押して選択内容を確定します。

- Switcher モードを2Kから4K、もしくは4Kから2Kへ変更した場合、ダイアログが表示されますので、[F1] を押して本機を再起動してください。再起動後、メニュー値は初期化されます。

ダイナミックレンジ、色域の設定

① Format サブメニューから、[F4] ボタンを操作して、Color Space 項目で本機が扱う映像信号のダイナミックレンジと色域を選択し、[F4] を押して選択内容を確定します。

HDR BT.2020	ダイナミックレンジはHDR、色域はBT.2020で動作します。
HDR BT.709	ダイナミックレンジはHDR、色域はBT.709で動作します。
SDR BT.709	ダイナミックレンジはSDR、色域はBT.709で動作します。

システムの設定

クロスポイントの設定

クロスポイントのアサイン

クロスポイントボタン 1 ～ 24 には、外部映像入力信号および、内部発生信号をアサインすることができます。クロスポイントボタン 1 ～ 24 を長押しすると、押ししている間、アサイン状態が内蔵ディスプレイに表示されます。

現在クロスポイントボタンで選択されている信号のアサインを変更すると、変更に合わせてクロスポイントボタンの点灯位置が変わります。このとき出力されている映像は変わりません。

アサインされる素材は下記のようになります。

信号名	ディスプレイの表示	説明
IN1、IN2	IN1、IN2	SDI/HDMI 入力 1、2
SDI IN3 ～ SDI IN8	SDI IN3 ～ SDI IN8	SDI 入力 3 ～ 8
IN-A1-4、 IN-B1-4	IN-A1-4、 IN B1-4	オプションスロット (SDI、HDMI)
Black	Black	内部発生信号 (黒信号)
CBGD1、CBGD2	CBGD1、CBGD2	内部発生信号 (カラーバックグラウンド)
CBAR	CBAR	内部発生信号 (カラーバー)
Still1V、Still1K、 Still2V、Still2K	Still1V、Still1K、 Still2V、Still2K	静止画ビデオメモリー
Clip1V、Clip1K、 Clip2V、Clip2K	Clip1V、Clip1K、 Clip2V、Clip2K	動画ビデオメモリー
CLN	CLN	CLN (AUX バスと内蔵ディスプレイの映像のみ)
KeyOut	KeyOut	KeyOut (AUX バスと内蔵ディスプレイの映像のみ)
Shift	SHIFT	SHIFT 機能
None	None	アサインなし

- “None” がアサインされているボタンを押しても、映像は切り替わりません。


デフォルトは下記の設定になります。

ボタン	ディスプレイの表示	ボタン	ディスプレイの表示	ボタン	ディスプレイの表示
XPT1	IN1	XPT9	CBAR	XPT17	None
XPT2	IN2	XPT10	CBGD1	XPT18	None
XPT3	SDI IN 3	XPT11	CBGD2	XPT19	None
XPT4	SDI IN 4	XPT12	None	XPT20	None
XPT5	SDI IN 5	XPT13	None	XPT21	None
XPT6	SDI IN 6	XPT14	None	XPT22	None
XPT7	SDI IN 7	XPT15	None	XPT23	None
XPT8	SDI IN 8	XPT16	None	XPT24	None

システムの設定

クロスポイント切り替えの設定

クロスポイント切り替えのタイミングを設定します。
クロスポイントボタンと [Cut] ボタンの操作が対象になります。

- ①  ボタンを押して点灯させ、XPT メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、XPT Switch サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Timing 項目で切り替えのタイミングを選択します。

Any	最寄りのフィールドで切り替えます。ライブ用途向きです。
Field1	フィールド 1 で切り替えます。編集用途向きです。
Field2	フィールド 2 で切り替えます。編集用途向きです。

システムの設定

ボタンアサイン

ユーザーボタンの設定

メニュー項目で設定可能ないくつかの機能を、8つのユーザーボタン（U1～U8）にアサインすることができます。各ユーザーボタンは、アサインされた機能がONの状態のときはアンバー色に点灯し、OFFの状態のときは消灯します。ユーザーボタンを押すごとに機能のON/OFFが切り替わります。


ユーザーボタン（U1～U8）にアサインされる機能は下記のとおりです。

機能名称	機能
KEY1 PVW	KEY1 をプレビューに出力します。
KEY2 PVW	KEY2 をプレビューに出力します。
KEY3 PVW	KEY3 をプレビューに出力します。
DSK1 PVW	DSK1 をプレビューに出力します。
DSK2 PVW	DSK2 をプレビューに出力します。
GPII-EN	GPIInの有効/無効を切り替えます。
GPIO-EN	GPIOutの有効/無効を切り替えます。
SHIFT	A/BバスをAUXバスのクロスポイントを一括で表/裏を切り替えます。
AUX TRANS	AUXバストランジションの有効/無効を切り替えます。
AUX1 TRANS	AUX1バストランジションの有効/無効を切り替えます。
AUX2 TRANS	AUX2バストランジションの有効/無効を切り替えます。
DSK1 on AUX1	AUX1出力にDSKを載せます。
DSK2 on AUX2	AUX2出力にDSKを載せます。
Effect Dissolve	エフェクトディゾルブのON/OFFを切り替えます。
Macro Attach	Macro AttachのON/OFFを切り替えます。
None	何も割り当てません。

■ デフォルト設定

ボタン	機能名称	ボタン	機能名称
U1	KEY1 PVW	U5	DSK2 PVW
U2	KEY2 PVW	U6	AUX Trans
U3	KEY3 PVW	U7	Effect Dissolve
U4	DSK1 PVW	U8	SHIFT

< 設定方法 >

- ①  ボタンを押して点灯させ、Configメニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、User Button1 サブメニューと User Button2 サブメニューを表示します。

● User Button1-4 サブメニュー



User	User1	User2	User3	User4
Button1-4	KEY1 PVW	KEY2 PVW	KEY3 PVW	DSK1 PVW

- ③ [F2] を操作して、User1項目で[U1]ボタンにアサインする機能を選択します。
- ④ [F3] を操作して、User2項目で[U2]ボタンにアサインする機能を選択します。
- ⑤ [F4] を操作して、User3項目で[U3]ボタンにアサインする機能を選択します。
- ⑥ [F5] を操作して、User4項目で[U4]ボタンにアサインする機能を選択します。

● User Button5-8 サブメニュー



User	User5	User6	User7	User8
Button5-8	DSK2 PVW	AUX Trans	Effect Dissolve	SHIFT

- ⑦ [F2] を操作して、User5項目で[U5]ボタンにアサインする機能を選択します。
- ⑧ [F3] を操作して、User6項目で[U6]ボタンにアサインする機能を選択します。
- ⑨ [F4] を操作して、User7項目で[U7]ボタンにアサインする機能を選択します。
- ⑩ [F5] を操作して、User8項目で[U8]ボタンにアサインする機能を選択します。



システムの設定

日付と時刻の設定

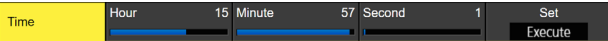
メモリーカードのタイムスタンプに使用する日付と時刻を設定します。

メモリーカードを使用する際は、必ず設定をしてください。


日付を設定する

- ①  ボタンを押して点灯させ、System メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Date サブメニューを表示します。

- ③ [F2] を操作して、Year 項目で年を設定します。
- ④ [F3] を操作して、Month 項目で月を設定します。
- ⑤ [F4] を操作して、Date 項目で日を設定します。
- ⑥ [F5] を押して、年・月・日を確定します。

時刻を設定する

- ① System メニューから、[F1] を操作して Time サブメニューを表示します。

- ② [F2] を操作して、Hour 項目で時を設定します。
- ③ [F3] を操作して、Minute 項目で分を設定します。
- ④ [F4] を操作して、Second 項目で秒を設定します。
- ⑤ [F5] を押して、時・分・秒を確定させます。

日付と時刻をロードする

- ① System メニューから、[F1] を操作して Now サブメニューを表示します。

- ② [F2] を押して、現在設定されている日付をロードします。
- ③ [F3] を押して、現在の時刻をロードします。

ネットワークの設定



LAN 経由で通信を行うためのネットワークの設定を行います。

初期設定は、IP アドレス：192.168.0.8、サブネットマスク：255.255.255.0 です。


ホストコンピューター側の設定を初期設定に合わせてご使用になる場合は、メニューでの設定は必要ありません。

設定を有効にするためには、システムの再起動が必要です。いったん電源を OFF にして、再度電源を ON にしてください。


IP アドレスの入力

- ①  ボタンを押して点灯させ、System メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Network1 サブメニューを表示します。

- ③ [F2] ~ [F5] を操作して IP アドレスを入力し、[F5] (Save) を押して確定します。

サブネットマスクの入力

- ① System メニューから、[F1] を操作して Network2 サブメニューを表示します。

- ② [F2] ~ [F5] を操作してサブネットマスクを入力し、[F5] (Save) を押して確定します。

ゲートウェイの設定

- ① System メニューから、[F1] を操作して Network3 サブメニューを表示します。

- ② [F2] ~ [F5] を操作してゲートウェイを設定し、[F5] (Save) を押して確定します。
 - 設定しない場合は、空白になります。

MAC アドレスを表示する

- ① System メニューから、[F1] を操作して Network4 サブメニューを表示します。
MAC アドレスが表示されます。


システムの設定

内蔵ディスプレイとイルミネーションの設定

内蔵ディスプレイのバックライトの設定

内蔵ディスプレイのバックライトの ON/OFF を設定します。

また、設定した時間内にパネルの操作が行われないと、自動的に内蔵ディスプレイのバックライトを消灯させることもできます。

- ①  ボタンを押して点灯させ、Config メニューを表示します。

- ② [F1] を操作して LCD Backlight サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Light 項目でバックライトの設定を行います。


On	常にバックライトを点灯します。
Off	“Off” に設定した瞬間は、バックライトを消灯します。 制御パネル部のディスプレイ部、メモリー / ワイブパターン / テンキー部、ポジションナー部（16 ページ）を操作すると、バックライトが点灯します。（設定は “On” の状態になります。）
60、120、180	設定した時間内（60 分、120 分、180 分）にパネルの操作が行われないと、自動的に内蔵ディスプレイのバックライトを消灯します。 時間が経過してバックライトが消灯しても、パネルの操作を行うとバックライトが点灯します。

- ④ [F3] を操作して、Adjust 項目でバックライトの明るさ設定を行います。

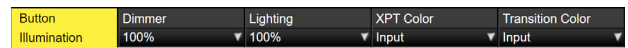
ボタンのイルミネーション

下記のボタン照明を常に点灯させることができます。
暗い場所で操作するときでも、ボタンに表示している文字が見やすくなります。

- メモリー / ワイブパターン / テンキー部
- ユーザーボタン部
- ディスプレイ部
- クロスポイント部
- トランジション部

- ①  ボタンを押して点灯させ、Config メニューを表示します。

- ② [F1] を操作して、Button Illumination サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Dimmer 項目でメモリー、ワイブパターン、テンキー、ユーザーボタン、ディスプレイ部の設定を行います。

Off	ボタンのイルミネーションを点灯させません。
80% ~ 150%	ボタンのイルミネーションを点灯させます。 明るさは 80% ~ 150% まで調整できます。

- ④ [F3] を操作して、Lighting 項目で選択しているボタンの設定を行います。

80% ~ 150%	ボタンのイルミネーションを点灯させます。 明るさは 80% ~ 150% まで調整できます。
------------	---

- ⑤ [F4] を操作して、XPT Color 項目でオフ時のボタンの設定を行います。

Input	ボタンのイルミネーションを白色で点灯させます。
Color Group1 ~ 8	8 種類の任意の色を設定します。

- ⑥ [F5] を操作し、Transition Color 項目でオフ時のボタンの設定を行います。

Input	ボタンのイルミネーションを白色で点灯させます。
Color Group1 ~ 8	8 種類の任意の色を設定します。

- ⑦ [F1] を操作して、Button Color Group1 サブメニューを表示します。




- ⑧ [F2] ~ [F4] を操作して、ボタンのイルミネーション [R]、[G]、[B] の設定を行います。

システムの設定

ステータス表示

アラーム状態の表示

本機の電源および、冷却ファンの異常状態（アラーム）を内蔵ディスプレイに表示します。

- ①  ボタンを押して点灯させ、System メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Alarm サブメニューを表示します。

Alarm	Power No Alarm	Fan No Alarm	Temperature No Alarm
-------	-------------------	-----------------	-------------------------

Power 項目には、電源の異常状態を表示します。

Fan 項目には、冷却ファンの異常状態を表示します。

Temperature 項目には、内部温度の異常状態を表示します。

No Alarm	異常なし
Alarm	異常あり

アラームメッセージ

アラームが発生した場合、内蔵ディスプレイにメッセージを表示します。


アラームメッセージ	異常の内容	動作
ALARM ! Fan Stop	冷却ファンの停止	OK を押すと、アラームメッセージが消えます。 ● 直ちに販売店に連絡してください。
ALARM ! Power Failure	電源電圧の低下	
ALARM ! Temperature	機器内部の温度が上昇	

システムの設定

バージョン情報／オプション情報の表示

本機のソフトウェアおよびハードウェアのバージョン情報、およびオプションのバージョンを表示します。

バージョン情報の表示

- ①  ボタンを押して点灯させ、System メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、System Version サブメニューを表示します。

System Version	System Version AV-UHS500_v1_02	Set Execute	Delete Execute
----------------	-----------------------------------	----------------	-------------------

- System Version 項目には、本機のシステムバージョンが表示されます。

オプション情報の表示

- ③ [F1] を操作して、Option サブメニューを表示します。

Option	Slot A SDI-IN	Slot B 4K-DVE		
--------	------------------	------------------	--	--

- ④ [F2] を操作して、Select 項目でオプションスロットを選択します。

SLOT A	オプションスロット A
SLOT B	オプションスロット B

- ⑤ Slot A 項目 / Slot B 項目に、接続されているオプションユニットの種類が表示されます。
 - 接続がない場合は、“None” と表示されます。

システムの設定


初期化

設定データの初期化

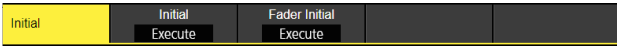
設定データを工場出荷状態に戻します。
設定データを初期化した場合、ビデオメモリーは消去されますが、内蔵ストレージに保存された Still、Clip データ、プロジェクトファイルは消去されません。

< 初期化の対象から除外される内容 >

- System メニューの下記項目
Network1、Network2、Network3、Date、Time

①  ボタンを押して点灯させ、System メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Initial サブメニューを表示します。



③ [F2] を押して、初期化を行います。

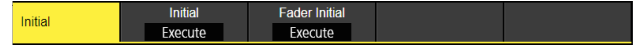
④ 初期化する場合は、[F1] を操作して “Yes” を選択し、[F1] を押します。
初期化しない場合は、[F5] を操作して “No” を選択し、[F5] を押します。

フェーダーの初期化

フェーダーレバーを操作してトランジションを行う範囲を初期化します。

フェーダーレバーを最後まで倒しているのに、トランジションが最後まで完了しない場合に初期化を行ってください。

① Initial サブメニューより [F3] を押して、初期化を行います。



② 初期化する場合は、[F1] を操作して “Yes” を選択し、[F1] を押します。

初期化しない場合は、[F5] を操作して “No” を選択し、[F5] を押します。

リモートカメラ連携機能

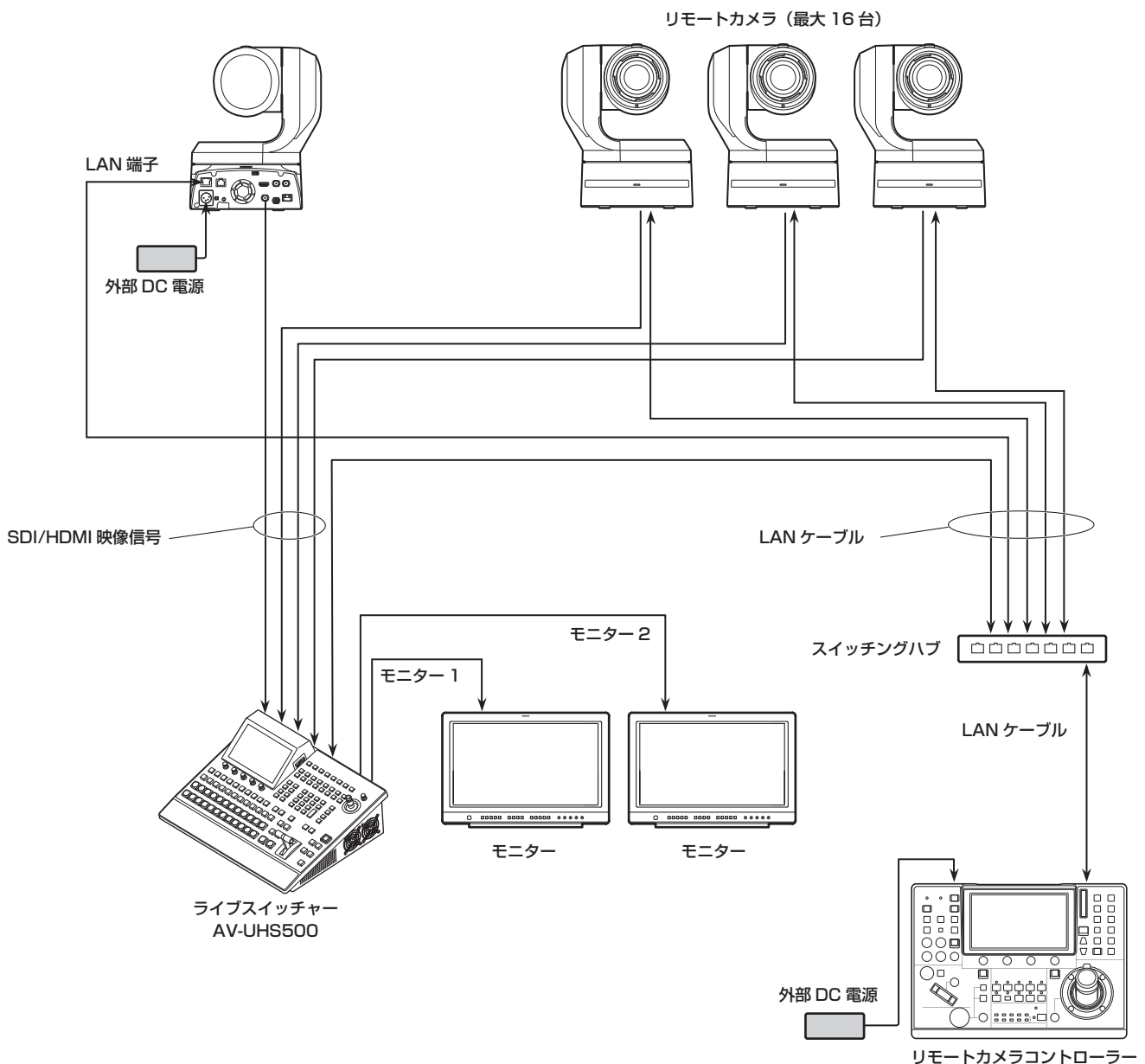
本機は最大 16 台までのリモートカメラを LAN 接続し、リモートコントロールすることが可能です。
接続できるリモートカメラは、下記のとおりです。

- AW-UE150 シリーズ
- AW-HN130 シリーズ
- AW-HE70 シリーズ
- AW-HR140 シリーズ
- AW-UE70 シリーズ
- AW-HN70 シリーズ
- AW-HE130 シリーズ
- AW-UN70 シリーズ
- AW-HE75 シリーズ
- AW-UE100 シリーズ

上記は、2020 年 10 月現在の情報です。

その他のリモートカメラ製品への対応については、下記 Web サイトの AV-UHS500 商品ページをご参照ください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav_switcher/lineup/av-uhs500

■ 接続例



- 本機とリモートカメラの接続には、GbE 対応のスイッチングハブと Cat5e 以上の STP LAN ケーブルを使用してください。
- また、本機とリモートカメラの IP アドレスは、同一サブネットになるようネットワーク設計してください。


リモートカメラ連携機能

本機と接続したリモートカメラに対する制御機能は以下のとおりです。

- IP アドレスの自動検出
- 最大 100 個のプリセットメモリーの再生、登録が可能
- 本機のポジショナーにより、接続された各リモートカメラのパン・チルト制御が可能
- 本機のエンコーダーにより、接続された各リモートカメラのズーム制御が可能
- 本機のエンコーダーにより、接続された各リモートカメラのフォーカス、アイリス制御が可能
- パン・チルト、ズーム、フォーカス、アイリスの制御を個別に無効化が可能
- 本機に接続されたリモートカメラの映像調整が可能
ホワイトバランス / AWB / ABB / ゲイン / R ゲイン / B ゲイン / ベデスタル
- 本機に接続されたリモートカメラのオンスクリーンメニューの表示、操作が可能
- 本機に接続されたリモートカメラの一括 / 個別電源 ON ⇄ スタンバイが可能
- 本機のタリー状態に連動して接続されたリモートカメラのタリー制御が可能
- 本機に接続されたリモートカメラの異常検出が可能

リモートカメラとの接続設定

リモートカメラ接続端子の選択

①  ボタンを押して点灯させ、Input メニューを表示します。

② [F1] を操作して Input サブメニューを表示します。



③ [F2] を押して、Select 項目でリモートカメラが接続されている入力信号を選択します。

- IN1 ~ 2, SDI IN 3 ~ 8, IN-A1 ~ 4, IN-B1 ~ 4 の入力に対して以下のリモートカメラ設定が可能です。

IP アドレスの設定

自動で設定する場合

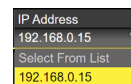
接続されたリモートカメラに設定されている IP アドレスをスキャンし、本機に設定することができます。

① [F1] を操作して、Camera Settings 1 サブメニューを表示します。



② [F5] を操作して、Scan IP Address 項目を実行し、接続されたリモートカメラの IP アドレスをスキャンします。

- スキャン結果が IP Address 項目のリストに表示されます。
- “Select From List” と表示されたら [F2] を操作し、IP アドレス項目で接続されているリモートカメラの IP アドレスを選択します。



- リモートカメラの IP アドレスが検出できなかった場合は、“Not Detected” と表示されます。
- 本機またはリモートカメラの IP アドレス設定を修正し、重複しないように設定してください。
- リモートカメラの IP アドレスが重複している場合は、“Duplicate IP Address Detected. (ErrNo = -650)” のエラーメッセージが表示されます。

リモートカメラ連携機能

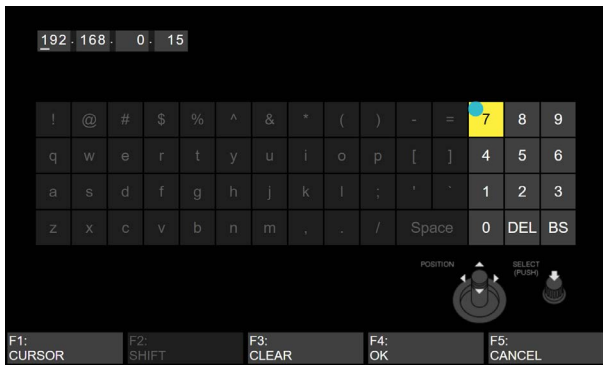
手動で設定する場合

接続されたリモートカメラに設定されている IP アドレスを直接、本機に設定することができます。

- ① [F1] を操作して、Camera Settings 1 サブメニューを表示します。

Camera Settings1	IP Address	Port	80	Edit IP Address	Scan IP Address
	192.168.0.15			Execute	Execute

- ② [F4] を操作して、Edit IP Address 項目を実行し、接続されたリモートカメラの IP アドレスを入力します。



リモートカメラのポート設定

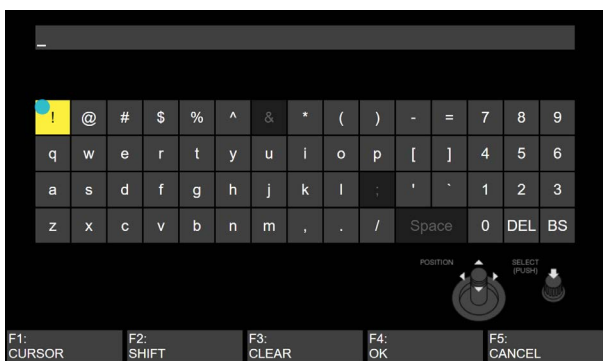
- ③ Camera Settings 1 サブメニューから、[F3] を操作して、Port 項目で接続されているリモートカメラのポートを設定します。

リモートカメラとの認証設定

- ① [F1] を操作して、Camera Settings 2 サブメニューを表示します。

Camera Settings2	Edit User Name	Edit Password	Name	Network Status
	Execute	Execute	UE150_BaseCamp	Connected

- ② [F2] を操作して、Edit User Name 項目を実行し、リモートカメラとの認証に用いるユーザー名を設定します。



- ③ [F3] を操作して、Edit Password 項目を実行し、リモートカメラとの認証に用いるパスワードを設定します。

リモートカメラ接続状況の確認

- ① [F1] を操作して、Camera Settings 2 サブメニューを表示します。

Camera Settings2	Edit User Name	Edit Password	Name	Network Status
	Execute	Execute	UE150_BaseCamp	Connected

- ② Name 項目にはリモートカメラに設定されたカメラ名称が表示されます。
- ③ Network Status 項目には、本機とリモートカメラの IP 接続状態が表示されます。

No IP Address	Input メニューでカメラの IP アドレスが入力されていません。
Now Checking...	本機とリモートカメラが通信中です。
Connected	本機とリモートカメラが接続されています。
Unauthorized	認証情報が未入力、または誤っています。
Not Connected	通信エラーが発生しています。

リモートカメラ連携機能

リモートカメラ操作方向の設定

本機に接続されたリモートカメラのパン・チルト・ズーム・フォーカス・アイリスは、本機のポジションナー、エンコーダーを用いて操作することができます。

以下ではその操作方向の設定を行います。

- ① [F1] を操作して、Camera Settings3 サブメニューを表示します。

Camera Settings3	Pan Direction Normal Reverse	Tilt Direction Normal Reverse	Tally (Group1) Disable Enable
------------------	---------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

- ② Pan Direction 項目では、本機のポジションナー操作によるリモートカメラのパン制御方向を設定します。

Normal	ポジションナーの操作方向と映像の移動方向が一致します。
Reverse	ポジションナーの操作方向と映像の移動方向が逆になります。

- ③ Tilt Direction 項目では、本機のポジションナー操作によるリモートカメラのチルト制御方向を設定します。

Normal	ポジションナーの操作方向と映像の移動方向が一致します。
Reverse	ポジションナーの操作方向と映像の移動方向が逆になります。

- ④ [F1] を操作して、Camera Settings4 サブメニューを表示します。

Camera Settings4	Zoom Direction Normal Reverse	Focus Direction Normal Reverse	Iris Direction Normal Reverse
------------------	----------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------

- ⑤ Zoom Direction 項目では、本機の [F1]/[F2]/[F3]/[Z] 操作によるリモートカメラのズーム制御方向を設定します。

Normal	[F1] を押すと、望遠側にズームします。 [F2] を押すと、広角側にズームします。 [F3]/[Z] の右回転で、望遠側にズームします。 [F3]/[Z] の左回転で、広角側にズームします。
Reverse	[F1] を押すと、広角側にズームします。 [F2] を押すと、望遠側にズームします。 [F3]/[Z] の右回転で、広角側にズームします。 [F3]/[Z] の左回転で、望遠側にズームします。

- ⑥ Focus Direction 項目では、本機の [F4] 操作によるリモートカメラのフォーカス制御方向を設定します。

Normal	右回転で、遠距離側にフォーカスします。 左回転で、近距離側にフォーカスします。
Reverse	右回転で、近距離側にフォーカスします。 左回転で、遠距離側にフォーカスします。

- ⑦ Iris Direction 項目では、本機の [F5] 操作によるリモートカメラのアイリス制御方向を設定します。

Normal	右回転で、絞りを開きます。 左回転で、絞りを閉じます。
Reverse	右回転で、絞りを閉じます。 左回転で、絞りを開きます。

リモートカメラのタリー制御設定

本機に接続されたリモートカメラの赤タリー制御を、本機の赤タリー制御に連動させることができます。

- ① [F1] を操作して、Camera Settings3 サブメニューを表示します。

Camera Settings3	Pan Direction Normal Reverse	Tilt Direction Normal Reverse	Tally (Group1) Disable Enable
------------------	---------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

- ② Tally(Group1) 項目で、本機の赤タリー制御とリモートカメラの赤タリー制御の連動を設定します。

Enable	連動します。
Disable	連動しません。

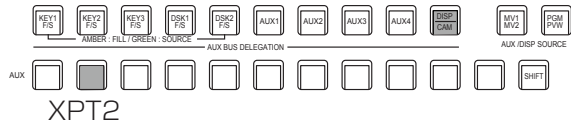
リモートカメラ連携機能

制御対象のカメラの選択方法

本機にリモートカメラを接続することで、ポジショナーとエンコーダーを使用して本機からリモートカメラを制御することができます。

- ① XPT に接続されたリモートカメラを割り当てます。
割り当てる方法は、「リモートカメラ接続端子の選択」を参照してください。

- ② [DISP/CAM] ボタンを押して緑色に点灯させます。



- ③ CAM バスのソースとして、手順①で割り当てたリモートカメラを選択します。

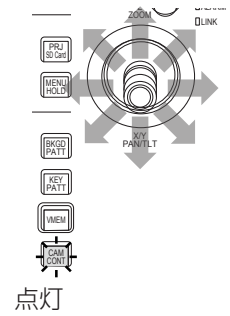
- 選択されたバスは緑色に点灯します。

CAM バスのソースとして選択できる入力は、以下の入力です。それ以外の XPT は選択できません。

- ・ IN1 ~ IN2
- ・ SDI IN3 ~ SDI IN8
- ・ IN-A1 ~ IN-A4
- ・ IN-B1 ~ IN-B4

- リモートカメラの制御は、[CAM PMEM] 画面または [CAM CONT] 画面の表示中のみ有効です。

- ④ ポジショナーを上下左右に動かすと、本機に接続されたリモートカメラのパン・チルト制御ができます。




- ⑤ [Z] を左右に回転し、パン・チルト制御の速度調整とズーム操作ができます。

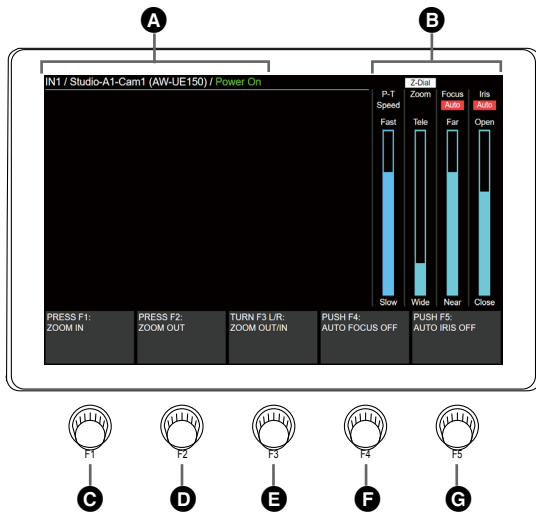
[Z] を押して、速度調整とズーム操作を切り替えることができます。

リモートカメラ連携機能

カメラコントロール画面での制御

本機にリモートカメラが接続されているとき、カメラコントロール画面で、内蔵ディスプレイに選択中のカメラ入力映像を表示させながら制御をすることができます。

- ① 本機とリモートカメラが接続された状態のときに、 ボタンを押します。
- ② 本機の内蔵ディスプレイの表示が切り替わり、[CAM CONT] ボタンがアンバー色に点灯します。



A	入力ソースの情報表示	以下の情報が表示されます。 CAM バスのソース素材名 / カメラ名称 / (カメラの機種名) / カメラのステータス カメラ名称は、リモートカメラ側で設定された名称が表示されます。
	カメラステータス	
	Power On	通常時
	Pan & Tilt Alarm	カメラのパン・チルトの異常を検出したとき
	Fan Alarm	カメラのファンの異常を検出したとき
	Other Alarm	カメラのパン・チルトおよびファン以外の異常を検出したとき
	Camera IP Connection Error	カメラと IP 接続に失敗したとき
	No IP Address for Camera	入力信号に対してカメラの IP アドレスが設定されていないとき
B	Z-Dial	[Z] の用途を表します。 [Z] を押すと、P-T Speed と Zoom が切り替わります。
	P-T Speed	パン・チルトの制御速度の状態を表します。“Fast” は高速動作、“Slow” は低速動作を示します。
	Zoom	ズーム位置を表します。“Tele” は望遠側、“Wide” は広角側を示します。
	Focus	フォーカス位置を表します。“Far” は遠距離側、“Near” は近距離側を示します。 オートフォーカスの場合は、“Auto” が表示されます。
	Iris	アイリスの状態を表します。“Open” は絞りが開き、“Close” は絞りが閉じた状態を示します。 オートアイリスの場合は、“Auto” が表示されます。
C	[F1]	ボタンを押すと、望遠側に等速でズームします。メニュー画面にも説明が表示されています。
D	[F2]	ボタンを押すと、広角側に等速でズームします。メニュー画面にも説明が表示されています。
E	[F3]	左右に回転させて、ズーム操作をします。左回転で広角側へ、右回転で望遠側へズームします。 メニュー画面にも説明が表示されています。
F	[F4]	左右に回転させて、フォーカス操作をします。左回転で近距離側、右回転で遠距離側にフォーカスします。 ボタンを押すと、フォーカスのオート、マニュアルが切り替えられます。 メニュー画面にも説明が表示されています。
G	[F5]	左右に回転させて、アイリスが操作できます。左回転で絞りを閉じ、右回転で絞りを開きます。 ボタンを押すと、アイリスのオート、マニュアルが切り替えられます。 メニュー画面にも説明が表示されています。


- リモートカメラの制御が無効な場合は F1 ~ F5 の説明が表示されません。

リモートカメラ連携機能

リモートカメラの設定

本機とリモートカメラが接続されているとき、カメラの設定を本機から行うことができます。

リモートカメラの選択と情報確認、電源制御

- ①  ボタンを押して、Camera メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Camera Information サブメニューを表示します。

Camera Information	Input Selection SDI IN3	Name ▼ UE150_BaseCamp	Model AW-UE150	Status Connected
--------------------	----------------------------	--------------------------	-------------------	---------------------

- ③ [F2] を操作して、Input Selection で設定したいリモートカメラの入力ソースを選択します。
以下の項目の情報が確認できます。

Name	本機に接続されているリモートカメラの名称が表示されます。リモートカメラで設定された名称が表示されます。	
Model	本機に接続されているリモートカメラのモデル名が表示されます。	
Status	本機とリモートカメラの IP 接続状態が表示されます。	
	No IP Address	Input メニューでカメラの IP アドレスが入力されていない状態
	Now Checking...	本機とリモートカメラが通信中で終了していない状態
	Connected	本機とリモートカメラが正常に通信している状態
	Unauthorized	本機とリモートカメラの認証情報が未入力、または誤っている状態
	Not Connected	本機とリモートカメラ間で通信エラーが発生した状態
	Please Wait...	リモートカメラが電源 ON ⇄ スタンバイの移行中
	Pan & Tilt Alarm	リモートカメラのパン・チルトの異常を検出した状態
	Fan Alarm	リモートカメラのファン異常を検出した状態
	Other Alarm	リモートカメラのパン・チルトおよびファン以外の異常を検出した状態

- ④ [F1] を操作して、Camera Control サブメニューを表示します。

Camera Control	Power Standby On	All Power On Execute	All Standby Execute	Z-Dial Usage P-T Sp. & Zoom ▼
----------------	---------------------	-------------------------	------------------------	----------------------------------

- ⑤ [F2] を操作して、Power 項目で、選択中の入力信号に対応したリモートカメラの電源 ON とスタンバイを切り替えます。
- ⑥ [F3] を操作して、All Power On 項目で、本機に接続したすべてのリモートカメラの電源を ON にします。
- ⑦ [F4] を操作して、All Standby 項目で、本機に接続したすべてのリモートカメラをスタンバイにします。
- ⑧ [F5] を操作して、Z-Dial Usage 項目で [Z] の用途を切り替えます。



P-T Sp. & Zoom	パン・チルト制御速度調整またはズーム制御に設定します。 押して、速度調整とズーム制御を切り替え可能とします。
P-T Speed Only	パン・チルト制御速度調整のみに設定します。

リモートカメラ連携機能


リモートカメラの制御速度設定

本機と接続されたリモートカメラのパン・チルト制御、ズーム制御速度、フォーカス制御速度、アイリス制御速度を設定します。

32段階で調整可能で、数字が大きいほど高速制御できます。

- ①  ボタンを押して、Camera メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Control Speed サブメニューを表示します。

- ③ [F2] を操作して、Pan & Tilt 項目でパン・チルト制御速度を設定します。
- ④ [F3] を操作して、Zoom 項目でズーム制御速度を設定します。
- ⑤ [F4] を操作して、Focus 項目でフォーカス制御速度を設定します。
- ⑥ [F5] を操作して、Iris 項目でアイリス制御速度を設定します。

リモートカメラのオンスクリーンメニュー、カラーバー設定

- ①  ボタンを押して、Camera メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、OSD Menu & Color Bars サブメニューを表示します。

OSD Menu & Color Bars	OSD Menu	Menu Operation	Color Bars
	Off	On (Turn or Push)	Off

- ③ [F2] を操作して、OSD Menu 項目でリモートカメラのオンスクリーンメニューの表示を設定します。

On	表示します。
Off	表示しません。

- ④ [F3] を操作して、Menu Operation 項目でリモートカメラのオンスクリーンメニューの操作ができます。

左回転	カーソルを上方向に移動します。
右回転	カーソルを下方向に移動します。
押下	決定します。

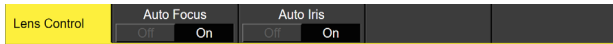
- ⑤ [F4] を操作して、Color Bars 項目でリモートカメラからの出力映像をカラーバーに設定します。

On	カラーバーに設定します。 カラーバーの種類は、カメラ側で設定してください。
Off	通常映像に設定します。

リモートカメラ連携機能

リモートカメラのレンズ制御設定

- ① [TIME CAM] ボタンを押して、Camera メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Lens Control サブメニューを表示します。



- ③ [F2] を操作して、Auto Focus 項目でリモートカメラのオートフォーカスを設定します。

On	オートフォーカス
Off	マニュアルフォーカス

- ④ [F3] を操作して、Auto Iris 項目でリモートカメラのオートアイリスを設定します。

On	オートアイリス
Off	マニュアルアイリス

- カメラ制御画面の操作説明は、以下のとおりです。



Auto Focus/Auto Iris が "Off" の場合



Auto Focus/Auto Iris が "On" の場合

リモートカメラの映像調整設定

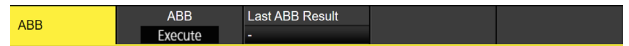
- ① [TIME CAM] ボタンを押して、Camera メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、AWB サブメニューを表示します。



- ③ [F4] を操作して、AWB Mode 項目で、自動ホワイトバランス調整モードを設定します。
- ④ [F2] を操作して、自動ホワイトバランス調整を実行します。
- ⑤ Last AWB Result 項目に調整結果が表示されます。

Successful	成功しました。
Failed	失敗しました。
—	本機の起動時、または入力信号を変更した場合

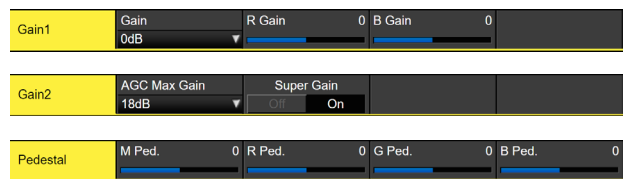
- ⑥ [F1] を操作して、ABB サブメニューを表示します。



- ⑦ [F2] を操作して、自動ブラックバランス調整を実行します。
- ⑧ Last ABB Result 項目に調整結果が表示されます。

Successful	成功しました。
Failed	失敗しました。
—	本機の起動時、または入力信号を変更した場合


- ⑨ [F1] を操作して、Gain1 / Gain2 / Pedestal 各サブメニューを表示します。



- ⑩ [F2] ~ [F5] を操作して、各項目を設定します。
- 各設定値の詳細は、接続しているリモートカメラの取扱説明書を参照してください。

リモートカメラ連携機能

リモートカメラのプリセットメモリー再生設定

- ①  ボタンを押して、Camera メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Preset Settings サブメニューを表示します。

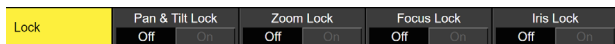


- ③ [F2] ~ [F5] を操作して、各項目を設定します。
 - 各設定値の詳細は、接続しているリモートカメラの取扱説明書を参照してください。

リモートカメラの制御無効化




本機と接続されたリモートカメラのパン・チルト、ズーム、フォーカス、アイリスの各制御を無効化設定します。

- ①  ボタンを押して、Camera メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Lock サブメニューを表示します。






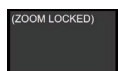
- ③ [F2] を操作して、Pan & Tilt Lock 項目でリモートカメラのパン・チルト制御および速度調整制御の有効 / 無効を設定します。

On	無効
Off	有効

- Lock 時には、 ボタンまたは  ボタンを押すと、内蔵ディスプレイ右側の“P-T Speed”上に  が表示されます。
- ④ [F3] を操作して、Zoom Lock 項目でリモートカメラのズーム制御および速度調整制御の有効 / 無効を設定します。




On	無効
Off	有効

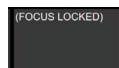
- Lock 時には、 ボタンまたは  ボタンを押すと、内蔵ディスプレイ右側の“Zoom”上に  が表示されます。
- [F1]/[F2] の操作説明は、空欄になります。
- [F3] の操作説明に“ZOOM LOCKED”が表示されます。



- ⑤ [F4] を操作して、Focus Lock 項目でリモートカメラのフォーカス制御および速度調整制御の有効 / 無効を設定します。




On	無効
Off	有効

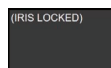
- Lock 時には、 ボタンまたは  ボタンを押すと、内蔵ディスプレイ右側の“Focus”上に  が表示されます。
- [F4] の操作説明に、“FOCUS LOCKED”が表示されます。



- ⑥ [F5] を操作して、Iris Lock 項目でリモートカメラのアイリス制御および速度調整制御の有効 / 無効を設定します。

On	無効
Off	有効


- Lock 時には、 ボタンまたは  ボタンを押すと、内蔵ディスプレイ右側の“Iris”上に  が表示されます。
- [F5] の操作説明に、“IRIS LOCKED”が表示されます。



リモートカメラ連携機能

カメラプリセットメモリー画面での制御

本機にリモートカメラが接続されているとき、カメラプリセット画面で、内蔵ディスプレイに選択中のカメラプリセットメモリーのサムネイル映像を表示させながら制御することができます。

- ①  ボタンを押します。
- ② 本機の内蔵ディスプレイの表示が切り替わります。
 - テンキーを使用することにより、プリセットメモリーの保存・再生・削除が可能です。
 - [F1]～[F3] を使用して、ズーム制御が可能です。
 - [F4]/[F5] を使用して、プリセットスコープ/プリセットスピードを変更することが可能です。

プリセットメモリーは本機と接続されたリモートカメラ側に最大 100 個保存することができます。

- 本機の内部には保存されません。

100 個のプリセットメモリーは 10 ページに分割され、1 ページ内には 10 個のプリセットメモリーが保存可能です。

テンキーに対応するプリセットメモリーが存在する場合、テンキーの LED が点灯します。

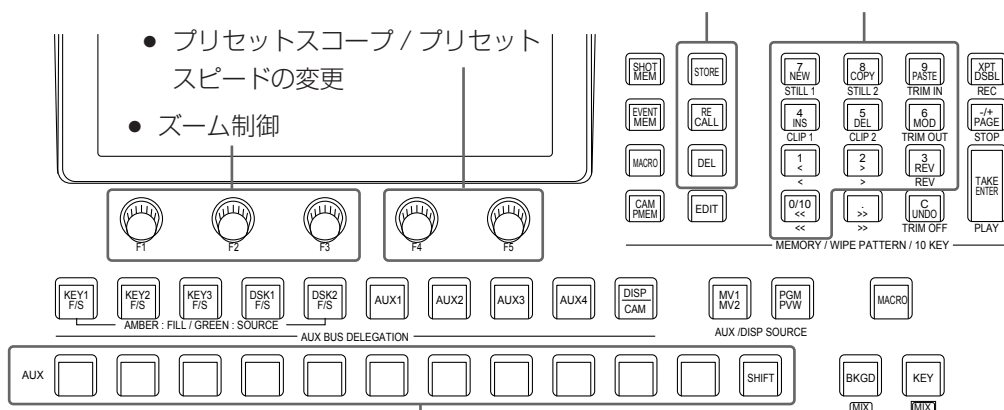
本機で最後に呼び出したプリセットメモリーに対応するテンキーはアンバー点灯、それ以外は緑点灯します。

[STORE]/[RECALL]/[DEL] ボタンを押すことでプリセットメモリーに対する操作を選択できます。

- [STORE] ボタンが赤点灯中に、テンキーを長押しすることで、プリセットメモリーの保存ができます。
- [RECALL] ボタンがアンバー点灯中に、テンキーを押すことで、プリセットメモリーの実行ができます。
- [DEL] ボタンが赤点灯中に、テンキーを長押しすることで、プリセットメモリーの削除ができます。

● PMEM 操作の選択

● PMEM に対する操作の実行



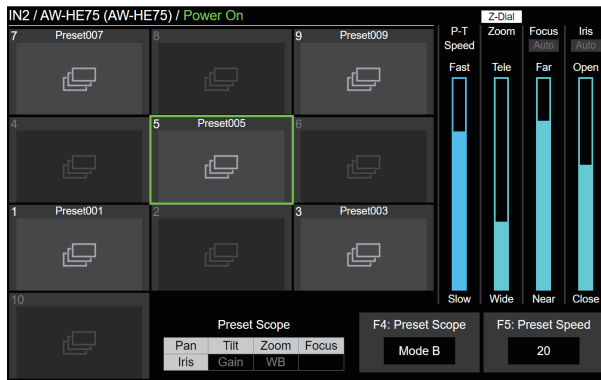
リモートカメラ連携機能



A	入力ソースの情報表示	以下の情報が表示されます。 CAM バスのソース素材名 / カメラ名称 / (カメラの機種名) / カメラのステータス カメラ名称は、リモートカメラ側で設定された名称が表示されます。
	カメラステータス	
	Power On	通常時
	Pan & Tilt Alarm	カメラのパン・チルトの異常を検出したとき
	Fan Alarm	カメラのファンの異常を検出したとき
	Other Alarm	カメラのパン・チルトおよびファン以外の異常を検出したとき
	Camera IP Connection Error	カメラと IP 接続に失敗したとき
	No IP Address for Camera	入力信号に対してカメラの IP アドレスが設定されていないとき
	Now Connecting to Camera...	入力信号切替後に初めてカメラに接続中のとき
Standby	カメラがスタンバイ状態のとき	
B	Z-Dial	[Z] の用途を表します。 [Z] を押すと P-T Speed と Zoom が切り替わります。
	P-T Speed	パン・チルトの制御速度の状態を表します。“Fast” は高速動作、“Slow” は低速動作を示します。
	Zoom	ズーム位置を表します。“Tele” は望遠側、“Wide” は広角側を示します。
	Focus	フォーカス位置を表します。“Far” は遠距離側、“Near” は近距離側を示します。 オートフォーカスの場合は、“Auto” が表示されます。
	Iris	アイリスの状態を表します。“Open” は絞りが開き、“Close” は絞りが閉じた状態を示します。 オートアイリスの場合は、“Auto” が表示されます。
C	[F1]	ボタンを押すと望遠側に等速でズームします。
	[F2]	ボタンを押すと広角側に等速でズームします。
	[F3]	左右に回転させるとズーム操作をします。左回転で広角側へ、右回転で望遠側へズームします。
	[F4]	左右に回転させるとプリセット対象が操作できます。 プリセット対象は以下の 3 モードが切り替えられます。
F	Mode A	プリセット対象をパン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリス、ゲイン、ホワイトバランスに設定します。
	Mode B	プリセット対象をパン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリスに設定します。
	Mode C	プリセット対象をパン、チルト、ズーム、フォーカスに設定します。
G	[F5]	
	1	最低速 (パン・チルトの動作時間設定となっている場合：99)
	20	初期値 (パン・チルトの動作時間設定となっている場合：20)
	30	最高速 (パン・チルトの動作時間設定となっている場合：1)

- この画面表示ではサムネール対応機種 (AW-UE150/AW-UE100 シリーズ) について記載しています。それ以外の機種では、サムネール表示はされず、アイコンが表示されます。
- すべてのリモートカメラでパン・チルトの動作時間を設定できません。詳しくは、リモートカメラ側の取扱いガイドをご確認ください。

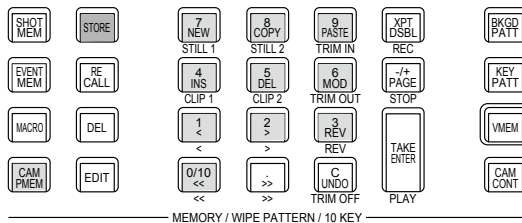
リモートカメラ連携機能



- リモートカメラの制御が無効な場合は F4、F5 の説明が表示されません。

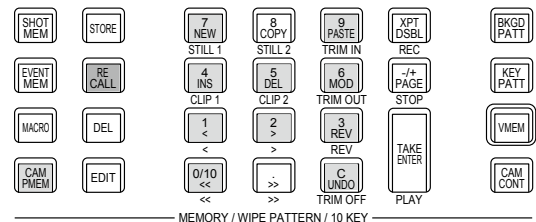
プリセットメモリーの保存

- ① ボタンを操作し、アンバー色に点灯させます。
- ② [STORE] ボタンを操作し、赤色に点灯させます。
- ③ 保存するプリセットメモリーに対応するテンキーを長押しし、保存を実行します。
 - 保存完了後、対応するテンキーが緑色に点灯します。
 - テンキーの 1 ~ 10 でプリセットメモリーの保存ができます。
 - テンキーに対応するプリセットメモリーがすでに存在する場合、長押ししても保存はできません。



プリセットメモリーの呼び出し

- ① ボタンを操作し、アンバー色に点灯させます。
- ② [RECALL] ボタンを操作し、アンバー色に点灯させます。
- ③ テンキーの 1 ~ 10 を押下すると、当該テンキーに対応するプリセットメモリーが実行されます。
 - 呼び出し中のプリセットメモリーに対応するテンキーが緑色に点滅します。
 - 呼び出し中は [C](UNDO) ボタンがアンバー色に点灯し、呼び出し終了後は消灯します。
 - 呼び出し終了後、最後に呼び出したプリセットメモリーに対応するテンキーがアンバー色に点灯します。
- ④ 呼び出し中に [C](UNDO) ボタンを押すと、呼び出しを停止します。




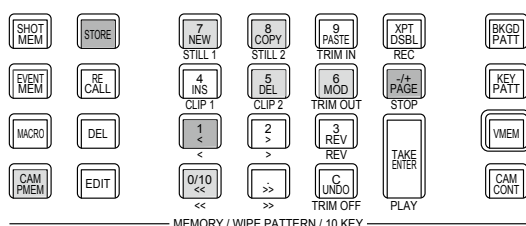
プリセットメモリーの削除

- ① ボタンを操作し、アンバー色に点灯させます。
- ② [DEL] ボタンを操作し、赤色に点灯させます。
- ③ テンキーの 1 ~ 10 を長押しすると、当該テンキーに対応するプリセットメモリーを削除できます。
 - 削除終了後、削除されたプリセットメモリーに対応するテンキーが消灯します。

リモートカメラ連携機能

プリセットメモリーのページ選択

- ①  ボタンを操作し、アンバー色に点灯させます。
- ② [PAGE] ボタンを押すと、ページ選択が開始されます。
 - ページ選択中は [PAGE] ボタンがアンバー色に点灯します。テンキーの 1 ~ 10 がページ番号の 1 ~ 10 に対応します。
- ③ テンキーの 1 ~ 10 または [PAGE] ボタンを操作しページ選択を終了します。
 - テンキーの 1 ~ 10 を押下した場合、現在のページ番号を当該テンキーの値に変更します。
 - [PAGE] ボタンを押すと、現在のページ番号は変更されません。
- ④ ページ内に 1 個以上のプリセットメモリーが存在する場合、当該ページに対応するテンキーの LED が点灯します。
 - 現在のページに対応するテンキーはアンバー色に点灯、それ以外は緑色に点灯します。
 - 下図の例は、ページ番号 1、5、6、7、8、10 に 1 個以上のプリセットメモリーが存在し、ページ番号 1 が現在のページです。



- プロジェクトファイル保存、マクロ記録の対象は以下の表のとおりです。

プロジェクトファイル保存	STORE / RECALL / DEL ボタンの選択、 入力信号（接続カメラごと）のプリセットのページ番号
マクロ記録対象	プリセットメモリーの保存、 プリセットメモリーの呼び出し、 プリセットメモリーの削除、 プリセットメモリー呼び出し時の、[C](UNDO) ボタンによる停止、[STORE]/[RECALL]/[DEL] ボタンの選択、ページの選択、 Preset Scope の変更、 Preset Speed の変更

ROI 機能

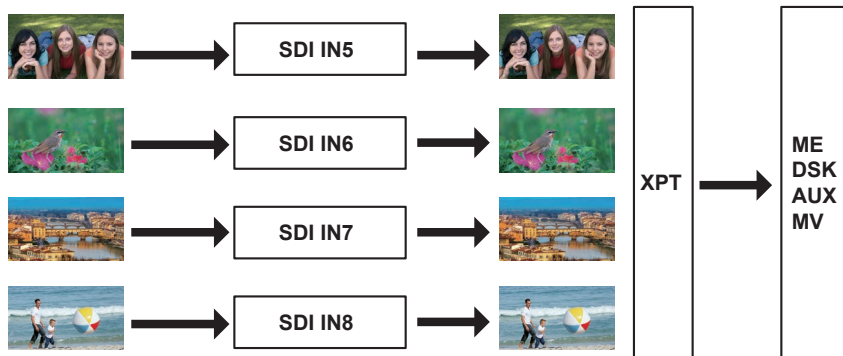
本機は、カメラからの入力映像から必要な部分を抽出し、クロスポイントに割り当てることができる ROI (Region of interest) を搭載しています。

1 台のカメラの映像から必要な部分を最大 4 つ抽出することで、複数のカメラを用意するのと同じ映像演出が可能となります。

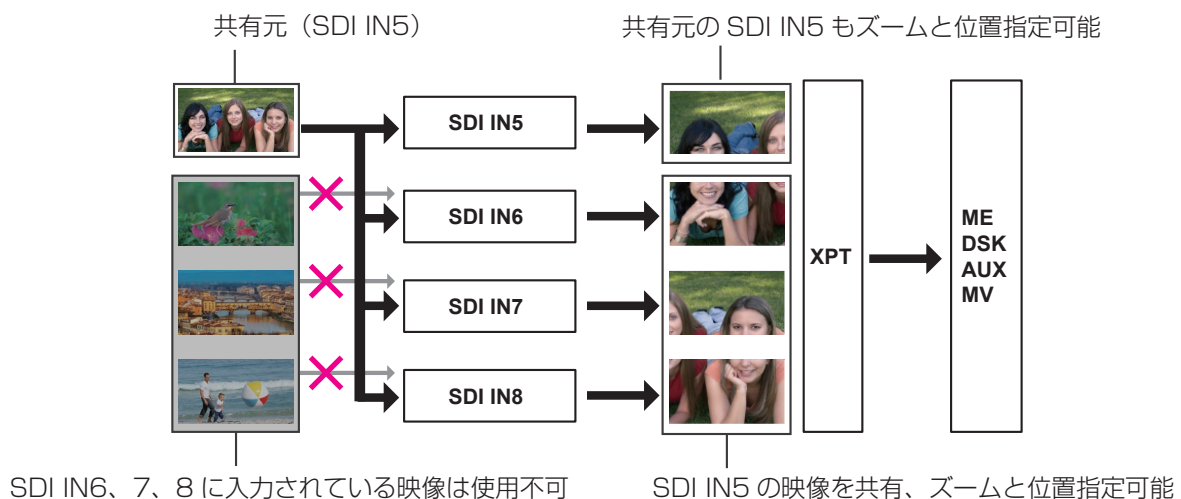
さらに SDI/HDMI のオプションユニットでも本機能を使用できるため、最大で 3 台のカメラで 12 個の映像を抽出することができます。

■ 概念図

通常モード



ROI モード



上図では、本機の SDI IN5 にカメラを接続した例を示しています。ROI モードのときには、SDI IN5 の映像が SDI IN6、SDI IN7、SDI IN8 で共有されます。

共有元となる SDI IN5 と、共有先の SDI IN6、SDI IN7、SDI IN8 は、それぞれ個別にサイズ、位置を調整することが可能になります。

その映像は XPT で選択することが可能で、ME、DSK、AUX、MV で使用することができます。共有元となる映像は、SDI IN5 固定となります。

ROI 機能

オプションユニット AV-UHS5M1(SDI 入力ユニット)、AV-UHS5M3(HDMI 入力ユニット)でも本機能が使用可能です。
この場合、共有元は IN-A1 または IN-B1 となり、共有先はそれぞれ IN-A2-4、IN-B2-4 となります。

ROI 機能が使用可能な入力は、以下のとおりです。

- 標準 SDI IN5 ~ 8
- SDI 入力ユニット (AV-UHS5M1) の IN-A1 ~ 4
- SDI 入力ユニット (AV-UHS5M1) の IN-B1 ~ 4
- HDMI 入力ユニット (AV-UHS5M3) の IN-A1 ~ 4
- HDMI 入力ユニット (AV-UHS5M3) の IN-B1 ~ 4

また、共有元となる入力と、共有先の入力の関係は以下のとおりです。

標準 SDI 入力

	共有元	共有先		
SDI IN	SDI IN5	SDI IN6	SDI IN7	SDI IN8

- 標準 SDI IN1 ~ 4、標準 HDMI IN1 ~ 2 は、ROI 機能を使用することはできません。

オプションスロット A

	共有元	共有先		
SDI IN	IN-A1	IN-A2	IN-A3	IN-A4
HDMI IN	IN-A1	IN-A2	IN-A3	IN-A4 (*1)

- オプションスロット B の映像を共有することはできません。

*1: HDMI 入力ユニットの IN-A4 入力は、ROI モード時のみ有効となります。クロスポイントとマルチビューで使用可能です。

オプションスロット B

	共有元	共有先		
SDI IN	IN-B1	IN-B2	IN-B3	IN-B4
HDMI IN	IN-B1	IN-B2	IN-B3	IN-B4 (*2)

- オプションスロット A の映像を共有することはできません。


*2: HDMI 入力ユニットの IN-B4 入力は、ROI モード時のみ有効となります。クロスポイントとマルチビューで使用可能です。

NOTE

- 共有元となる映像は SDI IN5、IN-A1、IN-B1 に固定となります。
- ROI モードは、システムフォーマットがプログレッシブである場合、または、システムフォーマットがインターレースでも、入力がプログレッシブであれば有効となります。
また、有効な入力はプログレッシブと PsF です。
- ROI モードでは、1080/59.94p、1080/50p の LEVEL-B 入力には対応していません。
- スイッチャーのシステムフォーマットが 29.97/25 Hz の場合は、ROI モードでの 1080i/1080PsF での入力が有効です。
- スイッチャーのシステムフォーマットが 59.94/50 Hz の場合は、ROI モードでの 1080i/1080PsF での入力は無効です。

ROI 機能

ROI モード設定

①  ボタンを押して点灯させ、Config メニューを表示します。

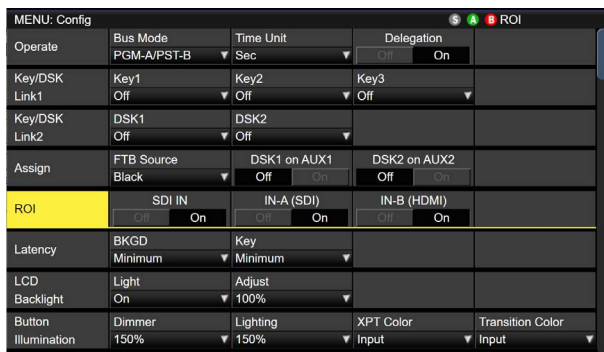
② [F1] を操作して ROI サブメニューを表示します。



③ [F2]/[F3]/[F4] を押して、Select 項目で ROI 機能を有効にする入力を選択します。

SDI IN	On	標準 SDI 入力で ROI 機能が有効になります。
	Off	標準 SDI 入力で ROI 機能が無効になります。
IN-A	On	オプションスロット A で ROI 機能が有効になります。
	Off	オプションスロット A で ROI 機能が無効になります。
● オプションスロット A に SDI または HDMI 入力ユニットが実装されたときに表示されます。		
IN-B	On	オプションスロット B で ROI 機能が有効になります。
	Off	オプションスロット B で ROI 機能が無効になります。
● オプションスロット B に SDI または HDMI 入力ユニットが実装されたときに表示されます。		

ROI 機能が有効になった時には画面にインジケータが表示されます。



ROI 機能

ROIの抽出位置、範囲の調整

ROI 機能が有効と選択されているとき、ポジショナー部のポジショナーで抽出位置の X、Y 座標を調整し、ロータリーエンコーダー[Z] で抽出範囲を調整できます。

また、メニューでも設定することができます。

①  ボタンを押して点灯させ、Input メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Input サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Select 項目で、ROI 機能が有効になっている入力信号を選択します。

④ ROI 機能が有効になっている入力信号の場合、[F1] を操作して、ROI サブメニューを表示します。



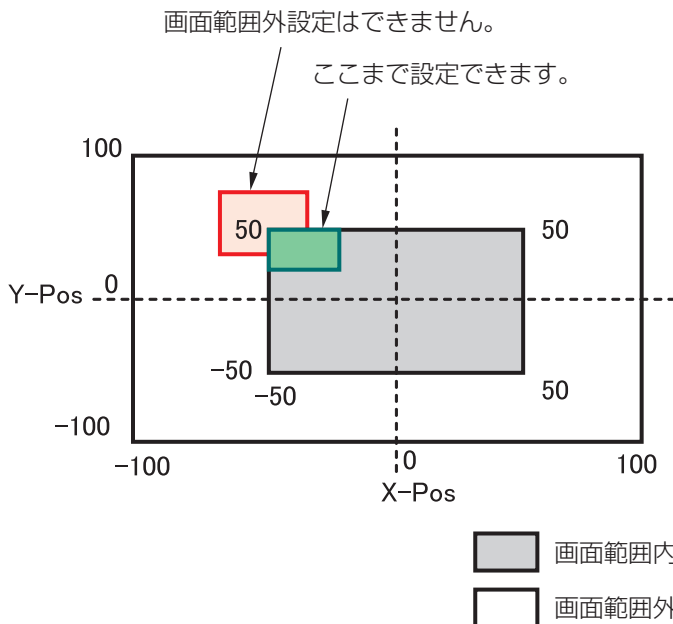
⑤ ポジショナーとロータリーエンコーダー [Z] を操作する、または [F2] ~ [F5] を操作して、Pos-X、Pos-Y、Size、Pos-Speed の各項目で抽出位置と抽出範囲を設定します。

	内容	設定範囲	初期値
Pos-X	X 位置の調整	- 45.00 ~ 45.00	0.00
Pos-Y	Y 位置の調整	- 45.00 ~ 45.00	0.00
Size	抽出範囲の設定	10.00 ~ 100.00	100.00
Pos-Speed	ポジショナー移動速度の設定	1 ~ 100	50

抽出位置と抽出範囲の設定範囲について

Pos-X、Pos-Y、Size の設定は下図のとおりに反映されます。ただし、下図赤枠のように画面設定範囲外となる設定はできません。

赤枠のように X-Pos、Y-Pos、Size を変更しようとしても、変更可能な X-Pos、Y-Pos、Size までしか設定されません。Size の設定変更が優先されるため、Size の変更によって下図赤枠のようになる場合には、X-Pos、Y-Pos が画面設定範囲内に収まるように連動して変更されます。

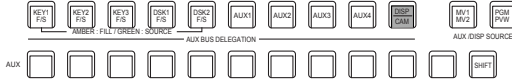


ROI 機能

CAM CONT 画面からの ROI 調整

ROI 機能が有効と選択されているとき、CAM CONT 画面からも対象の入力信号を選択して抽出位置と抽出範囲を調整できます。

① [DISP/CAM] ボタンを押して緑色に点灯させ、CAM バスを選択します。



② CAM バスのソースとして、ROI 機能が有効となっている入力信号を選択します。

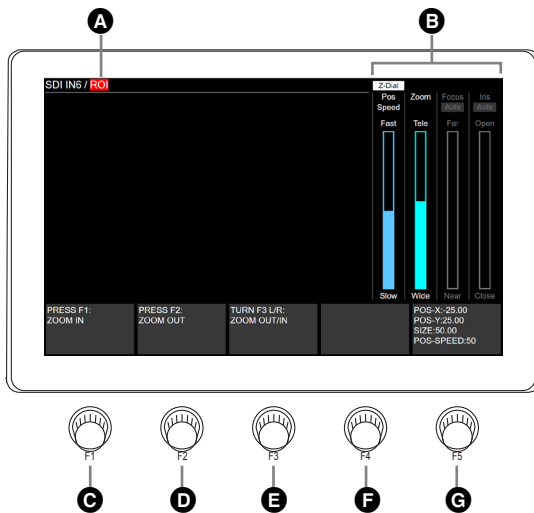
- 選択されたバスは緑色に点灯します。

ROI 調整できる入力は、以下のとおりです。

- ・ SDI IN5 ~ SDI IN8
- ・ IN-A1 ~ IN-A4
- ・ IN-B1 ~ IN-B4

③ [CAM CONT] ボタンを押すと、本機の内蔵ディスプレイの表示が切り替わり、[CAM CONT] ボタンが橙色に点灯します。

④ ポジショナーを使用して抽出位置の調整を行います。




A	ROI モード表示	入力信号が ROI モードであることを表します。
B	Z-Dial	[Z] の用途を表します。[Z] を押すと、Pos-Speed と Zoom が切り替わります。
	Pos Speed	抽出位置の移動速度の状態を表します。「Fast」は高速動作、「Slow」は低速動作を示します。
	Zoom	抽出範囲の大きさを表します。
	Focus	ROI 調整時は、未使用のためグレーアウトします。
	Iris	ROI 調整時は、未使用のためグレーアウトします。
C	[F1]	ボタンを押すと、抽出範囲が小さくなります。メニュー画面にも説明が表示されています。
D	[F2]	ボタンを押すと、抽出範囲が大きくなります。メニュー画面にも説明が表示されています。
E	[F3]	左右に回転させて、抽出範囲を調整します。左回転で大きく、右回転で小さくなります。メニュー画面にも説明が表示されています。
F	[F4]	使用しません。
G	[F5]	Input メニューの X-Pos、Y-Pos、Size、Pos-Speed の設定値を表示します。

- リモートカメラ制御中にこの画面に遷移すると、カメラ操作を行うことはできません。

ROI 機能

ROI プリセットメモリー

本機で ROI 機能が有効になっているときに、対応する入力信号それぞれに対しての抽出位置、抽出範囲を ROI プリセットメモリーとして保存、再生をすることができます。

- ①  ボタンを押します。
 - ② 本機の内蔵ディスプレイの表示が切り替わります。
 - ③ ポジショナーを使用して抽出位置の調整を行います。
- テンキーを使用することにより、ROI プリセットメモリーの保存、再生、削除が可能です。
 - [F5] を使用して ROI プリセットスピードを変更することが可能です。
また、[F5] を押しながら回転操作することで、1sec 単位で設定を変更することができます。

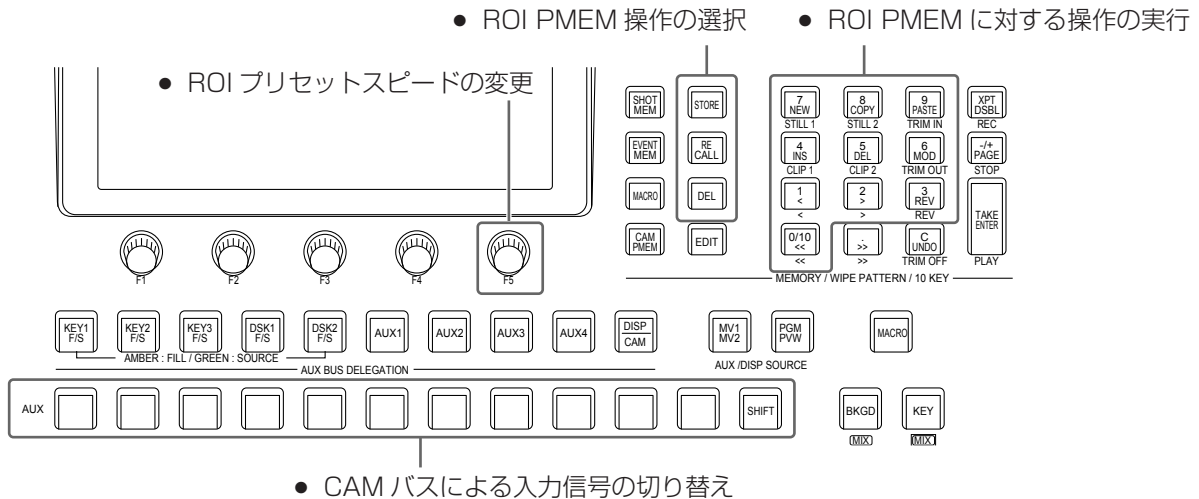
ROI プリセットメモリーは、本機内部に各入力に 10 個保存することができます。

テンキーに対応する ROI プリセットメモリーが存在する場合、テンキーの LED が点灯します。

本機で最後に呼び出した ROI プリセットメモリーに対応するテンキーは、アンバー点灯、それ以外は緑色に点灯します。

[STORE]/[RECALL]/[DEL] ボタンを押すことで ROI プリセットメモリーに対する操作を選択できます。

- [STORE] ボタンが赤点灯中に、テンキーを長押しすることで、ROI プリセットメモリーの保存ができます。
- [RECALL] ボタンがアンバー点灯中に、テンキーを押すことで、ROI プリセットメモリーの実行ができます。
- [DEL] ボタンが赤点灯中に、テンキーを長押しすることで、ROI プリセットメモリーの削除ができます。



ROI 機能



A	入力信号の情報表示	入力信号が ROI モードであることを表します。
B	Z-Dial	[Z] の用途を表します。[Z] を押しと、Pos-Speed と Zoom が切り替わります。
	Pos Speed	抽出位置の移動速度の状態を表します。「Fast」は高速動作、「Slow」は低速動作を示します。
	Zoom	抽出範囲の大きさを表します。
	Focus	ROI 調整時は、未使用のためグレーアウトします。
	Iris	ROI 調整時は、未使用のためグレーアウトします。
C	[F1]	使用しません。
D	[F2]	使用しません。
E	[F3]	使用しません。
F	[F4]	使用しません。
G	[F5]	ROI プリセトリコール時のディゾルブタイムを表示します。 現在の映像から登録されている状態の映像への切り替えを、ここで設定する時間でスムーズに変化させることが可能です。

- プリセット保存時にはサムネールが表示されますが、保存実行したときの入力映像になります。プリセットの保存後に任意のサムネールに変更することはできません。

ROI プリセトリコール時のディゾルブタイムは、Input メニューでも設定できます。

ROI 機能が有効になっているそれぞれの入力信号に対して個別に設定することが可能です。

① ボタンを押して点灯させ、Input メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Input サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Select 項目で、ROI 機能が有効になっている入力信号を選択します。

④ [F1] を操作して、ROI Preset サブメニューを表示します。




⑤ [F2] を操作して、TransTime 項目で ROI プリセトリコール時のディゾルブタイムを設定します。

外部インターフェース

GPI I/O の設定

GPI ポートから制御を行う機能と、制御を有効にするかどうかの設定をします。

- ①  ボタンを押して点灯させ、Config メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、GPI-In Setting サブメニュー（または GPI-Out Setting サブメニュー）を表示します。

GPI-In Setting	GPI-In Enable OFF On	AUX Sel AUX1
----------------	-------------------------	-----------------

GPI-Out Setting	GPI-Out Enable OFF On	AUX Tly Sel AUX1
-----------------	--------------------------	---------------------

- ③ [F2] を操作して、GPI-In Enable 項目（または、GPI-Out Enable 項目）で各ポートから行う制御の有効（On）と無効（Off）を設定します。
- ④ [F3] を操作して、AUX Sel 項目でタリーを通知する AUX バスを設定します。
- ⑤ [F1] を操作して、GPI-In Port 1/2 サブメニュー、GPI-In Port 2/2 サブメニュー（または、GPI-Out Port 1/5 ~ GPI-Out Port 5/5 サブメニュー）を表示します。

MENU : Config	GPI-In Port 1/2	Port1Assign No Assign	Port2Assign No Assign	Port3Assign No Assign	Port4Assign No Assign
---------------	-----------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

MENU : Config	GPI-In Port 2/2	Port5Assign No Assign	Port6Assign No Assign	Port7Assign No Assign	Port8Assign No Assign
---------------	-----------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

MENU : Config	GPI-Out Port 1/5	Port1Assign No Assign	Port2Assign No Assign	Port3Assign No Assign	Port4Assign No Assign
---------------	------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

MENU : Config	GPI-Out Port 2/5	Port5Assign No Assign	Port6Assign No Assign	Port7Assign No Assign	Port8Assign No Assign
---------------	------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

MENU : Config	GPI-Out Port 3/5	Port9Assign No Assign	Port10Assign No Assign	Port11Assign No Assign	Port12Assign No Assign
---------------	------------------	--------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------

MENU : Config	GPI-Out Port 4/5	Port13Assign No Assign	Port14Assign No Assign	Port15Assign No Assign	Port16Assign No Assign
---------------	------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------

MENU : Config	GPI-Out Port 5/5	Port17Assign No Assign	Port18Assign No Assign	Port19Assign No Assign	
---------------	------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	--

- ⑥ [F2] ~ [F5] を操作して、それぞれのピン番号にアサインする機能を割り当てます。
⇒「GPI Input ポートでの制御」と「GPI Output ポートからの出力」を参照
- GPI-In Enable 項目（または GPI-Out Enable 項目）の設定は、ユーザーボタンにアサインすることができます。
⇒ユーザーボタンの設定参照

外部インターフェース

■ GPI Input ポートでの制御

Assign 項目	アサインする機能	制御方法
AUTO	トランジション部の AUTO ボタン	接点入力で動作します。 (30 ms 以上)
CUT	トランジション部の CUT ボタン	
KEY ON	トランジション部の KEY1 ~ KEY3 ボタン	
DSK ON	トランジション部の DSK1、DSK2 ボタン	
FTB	トランジション部の FTB ボタン	
BKGD AUTO	バックグラウンドが選択されているときの AUTO ボタン	
BKGD CUT	バックグラウンドが選択されているときの CUT ボタン	
KEY AUTO	キーが選択されているときの AUTO ボタン	
KEY CUT	キーが選択されているときの CUT ボタン	
REC Still1	Still1 の記録	
REC Still2	Still2 の記録	
REC Clip1	Clip1 の記録開始	
REC Clip2	Clip2 の記録開始	
STOP Clip1	Clip1 の記録停止、または再生停止	
STOP Clip2	Clip2 の記録停止、または再生停止	
PLAY Clip1	Clip1 の再生開始	
PLAY Clip2	Clip2 の再生開始	
AUX XPT 1 ~ 24	AUX バスを切り替えるクロスポイントボタン (1 ~ 24) ● 制御する AUX バス (AUX1 ~ AUX4) をメニューで選択します。	接点入力で有効になります。 (オープン状態で無効)
TlyG1 DSBL	レッドタリー信号を出力しない	
TlyG2 DSBL	グリーンタリー信号を出力しない	
AUXTly DSBL	AUX のタリー信号を出力しない	接点入力で動作します。 (30 ms 以上)
MACRO 001 ~ 100	該当するマクロレジスターメモリー (1 ~ 100 のうちいずれか) の再生	
MACRO Cancel	マクロ再生の中断	
No Assign	アサインなし	

外部インターフェース

■ GPI Output ポートからの出力

Assign 項目	アサインする機能	出力
CUT	カットトランジションを行ったとき	Low パルスを出力します。 (約 50 ~ 60 ms)
KEY1 ON ~ KEY3 ON	キー 1 ~ 3 のトランジションを開始	
DSK1 ON ~ DSK2 ON	DSK1 ~ 2 のトランジションを開始	
FTB ON	FTB のトランジションを開始	
BKGD CUT	バックグラウンドのカットトランジションを行ったとき	
KEY1 CUT	キー 1 のカットトランジションを行ったとき	
EVENTMEM	イベントメモリーで設定したイベントを実行したとき	
AUTO	オートトランジションが実行中	Low レベルを出力します。
BKGD AUTO	バックグラウンドのオートトランジションが実行中	
KEY1 AUTO	キー 1 のオートトランジションが実行中	
TlyG1 SDI IN1 ~ SDI IN8	SDI IN1 ~ SDI IN8 のレッドタリー	タリー出力時に Low レベルを出力 します。
TlyG1 HDMI IN1 ~ HDMI IN2	HDMI IN1 ~ HDMI IN2 のレッドタリー	
TlyG1 IN-A1 ~ IN-A4	IN-A1 ~ IN-A4 のレッドタリー	
TlyG1 IN-B1 ~ IN-B4	IN-B1 ~ IN-B4 のレッドタリー	
TlyG2 SDI IN1 ~ SDI IN8	SDI IN1 ~ SDI IN8 のグリーントアリー	
TlyG2 HDMI IN1 ~ HDMI IN2	HDMI IN1 ~ HDMI IN2 のグリーントアリー	
TlyG2 IN-A1 ~ IN-A4	IN-A1 ~ IN-A4 のグリーントアリー	
TlyG2 IN-B1 ~ IN-B4	IN-B1 ~ IN-B4 のグリーントアリー	
AUXTly SDI IN1 ~ SDI IN8	AUX バスで SDI IN1 ~ SDI IN8 を選択しているとき *	選択中に Low レベルを出力します。
AUXTly HDMI IN1 ~ HDMI IN2	AUX バスで HDMI IN1 ~ HDMI IN2 を選択しているとき *	
AUXTly IN-A1 ~ IN-A4	AUX バスで IN-A1 ~ IN-A4 を選択しているとき *	
AUXTly IN-B1 ~ IN-B4	AUX バスで IN-B ~ IN-B4 を選択しているとき *	
No Assign	アサインなし	

*: 出力する AUX バス (AUX1 ~ AUX4) をメニューで選択します。

外部インターフェース

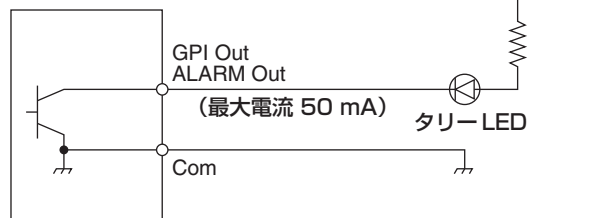
GPI Out、ALARM 接続例

次の条件を守ってください。

耐圧：最大 DC 24 V

電流：最大 50 mA

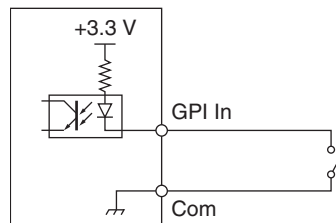
AV-UHS500



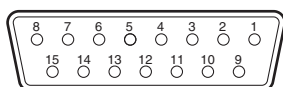
GPI In 接続例

接点入力を行ってください。

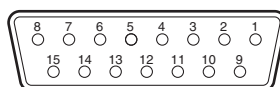
AV-UHS500



TALLY/GPI 1



TALLY/GPI 2



ピン番号	信号名
1	GPI-Out1
9	GPI-Out9
2	GPI-Out2
10	ALARM Out
3	GPI-Out3
11	GPI-In1
4	GPI-Out4
12	GPI-In2
5	GPI-Out5
13	GPI-In3
6	GPI-Out6
14	GPI-In4
7	GPI-Out7
15	GPI-Com
8	GPI-Out8

ピン番号	信号名
1	GPI-Out10
9	GPI-Out18
2	GPI-Out11
10	GPI-Out19
3	GPI-Out12
11	GPI-In5
4	GPI-Out13
12	GPI-In6
5	GPI-Out14
13	GPI-In7
6	GPI-Out15
14	GPI-In8
7	GPI-Out16
15	GPI-Com
8	GPI-Out17

LAN

本機とコンピューター、または本機と外部機器*を接続します。

*：本機から外部機器を制御することができます。

- LAN ケーブルは、CAT5E 以上のストレートまたはクロスケーブル、STP(Shielded Twisted Pair)、最大 100 m を使用してください。

外部インターフェース

外部パネルの制御

本機は、IP ネットワークを介して接続した外部パネル (*) から以下の操作を行うことができます。

- 各バスの素材選択
- ビデオトランジションの実行
- マクロメモリーの再生
- ショットメモリーの再生
- 各バスのクロスポイント選択

* : LAWOW 製 LBP シリーズに対応しています。LBP シリーズの設定や操作について、詳しくは LAWOW 社へお問い合わせください。

準備

外部パネルを、LAN ケーブルで本機背面の LAN 端子に接続します。

最大 20 台の外部パネルを接続可能です。複数の外部パネルを接続する場合は HUB を経由して接続します。

NOTE

外部パネルと本機の電源 ON/OFF について

各装置の電源 ON/OFF、再起動をする場合は、以下の点にご注意ください。

- 本機の再起動後、3 分以上経過しても外部パネルと接続できない場合は、外部パネルを再起動してください。
- 本機の起動中に外部パネルの電源を切る場合は、System メニュー → ExtPanel Info サブメニュー → Disable/Enable 項目を Disable に設定してから外部パネルの電源を切ってください。

外部パネルの設定

本機の下記設定を確認し、接続する外部パネルに設定を行ってください。

- System メニュー → Network1 サブメニュー
本サブメニューの IP Address 項目に設定されたアドレス値を、外部パネルが制御対象とする機器の IP アドレスとして設定します。
- System メニュー → ExtPanel Info サブメニュー
本サブメニューの Port No 項目に設定されたポート番号を、外部パネルが制御対象とする機器のポート番号として設定します。

その他、接続しているネットワーク環境に応じて、サブネットワークマスク (Network2 サブメニュー) やデフォルトゲートウェイ (Network3 サブメニュー) の設定を行ってください。

外部パネル接続時の本機の設定

受信ポート番号の設定

- ①  ボタンを押して点灯させ、System メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、ExtPanel Info サブメニューを表示します。


ExtPanel Info	Disable/Enable Disable Enable	PortNo	62010
---------------	----------------------------------	--------	-------

- ③ [F2] を押して、Disable/Enable 項目で外部パネル機能の有効 / 無効を設定します。
- ④ [F3] を操作して、本機が使用する受信ポート番号を設定します。

設定可能範囲	62000 ~ 65535
初期値	62010

ショットメモリー再生対象設定

外部パネルからの操作により、本機のショットメモリー再生を行うときの再生対象を設定します。

- ①  ボタンを押して点灯させ、System メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、ExtPanelIP SMEMRecall 1/2 サブメニューを表示します。

ExtPanelIP SMEMRecall1	ME Off On	DSK Off On	AUX Off On
ExtPanelIP SMEMRecall2	CBGD Off On	XPT Off On	

- ③ [F2] ~ [F4] を操作して、ショットメモリーの再生対象を設定します。
- ME、DSK、AUX、カラーバックグラウンド、クロスポイントを個別に ON/OFF できます。

外部インターフェース

バス ID、ソース ID 一覧

外部パネルで操作を行うと、バス (Destination) に対して素材 (Source) を指定するクロスポイント設定コマンドが発行されます。

本機は、外部パネルからクロスポイント設定コマンドを受信すると、コマンド内で指定されたバスと素材の組み合わせに応じて、素材の選択やビデオトランジションの実行を行います。

本章では、本機が、各バス、各素材を特定するために使用する ID (番号) について記載します。

ID は、大きく分けて以下の 2 種類が存在します。

1) 通常のバス ID、素材 ID

スイッチャーの内部バス (ME1PGM, AUX1 など) と、スイッチャーの素材 (IN1, CBGD1, STILL1-V など) を指定する ID です。

1 ~ 512 の範囲の番号を使用します。

2) 拡張バス ID、拡張素材 ID

ビデオトランジションやマクロメモリー、ショットメモリーの再生に用いる ID です。

本機は、バスと素材に対して同じ拡張 ID が指定されたクロスポイント設定コマンドを受信すると、対応する機能を実行します。

例えば、ME1 AUTO バス (ID:522) に対して、ME1 AUTO 素材 (ID:522) を指定するコマンドを受信すると、ME1 で AUTO トランジションが実行されます。

513 ~ 1024 の範囲の番号を使用します。

実行可能な動作	指定するバス、素材
ME のキートランジション	ME1 KEY1 AUTO ~ ME1 KEY3 AUTO
ME のキートランジション (CUT)	ME1 KEY1 CUT ~ ME1 KEY3 CUT
ME の AUTO トランジション	ME1 BKGD AUTO
ME の CUT トランジション	ME1 BKGD CUT
DSK のトランジション	DSK1 AUTO ~ DSK2 AUTO
DSK のトランジション (CUT)	DSK1 CUT ~ DSK2 CUT
マクロレジスタメモリーの再生	MACROPLAY1-1 ~ MACROPLAY10-10
ショットメモリーレジスタメモリーの再生	SHOTPLAY1-1 ~ SHOTPLAY10-10
各バスのクロスポイント選択	XPT1 ~ XPT24

- LBP シリーズの各ボタン操作に ID を割り付ける方法について、詳しくは LAW0 社にお問い合わせください。

NOTE

外部インターフェース (ExtPanel) で用いる外部パネル (LAW0 社製 LBP シリーズ) の設定について

複数 (2 台以上) の外部パネルを接続する場合は、以下の点にご注意ください。

- 複数の外部パネルのコンフィギュレーションデータを作成するときは、同一の .snap ファイル内でデータを作成してください。
- 使用する外部パネルごとに、パラメーター設定は同一で名称のみ異なるルーターを設定してください。

上記の対応を取らずに複数の外部パネルで制御 ID の拡張バス ID/ 拡張ソース ID810 ~ 833 (XPT1 ~ XPT24) の設定を行うと、外部パネルが正常に動作しない場合があります。

外部インターフェース

バス ID

ID	バス	ID	バス	ID	バス	ID	バス	ID	バス
1	ME1PGM	100	DSK2-S	149	-	163	MV1-11	177	MV2-9
2	ME1PVW	101	-	150	VMEM-V	164	MV1-12	178	MV2-10
3	ME1KEY1-F	∴		151	VMEM-K	165	MV1-13	179	MV2-11
4	ME1KEY1-S	112	-	152	-	166	MV1-14	180	MV2-12
5	ME1KEY2-F	113	AUX1	153	MV1-1	167	MV1-15	181	MV2-13
6	ME1KEY2-S	114	AUX2	154	MV1-2	168	MV1-16	182	MV2-14
7	ME1KEY3-F	115	AUX3	155	MV1-3	169	MV2-1	183	MV2-15
8	ME1KEY3-S	116	AUX4	156	MV1-4	170	MV2-2	184	MV2-16
9	-	117	-	157	MV1-5	171	MV2-3	185	-
∴		∴		158	MV1-6	172	MV2-4	∴	
96	-	140	-	159	MV1-7	173	MV2-5	512	-
97	DSK1-F	141	DISP	160	MV1-8	174	MV2-6		
98	DSK1-S	142	-	161	MV1-9	175	MV2-7		
99	DSK2-F	∴		162	MV1-10	176	MV2-8		

-: 未使用の ID

ソース ID

ID	ソース	ID	ソース	ID	ソース	ID	ソース	ID	ソース
1	IN1	15	OPB_IN3	∴		171	Key Out	226	-
2	IN2	16	OPB_IN4	156	-	172	CLN	227	AUX1
3	SDI_IN3	17	-	157	CLIP1V	173	-	228	AUX2
4	SDI_IN4	∴		158	CLIP1K	∴		229	AUX3
5	SDI_IN5	144	-	159	CLIP2V	200	-	230	AUX4
6	SDI_IN6	145	CBGD1	160	CLIP2K	201	PGM	231	-
7	SDI_IN7	146	CBGD2	161	-	202	-	∴	
8	SDI_IN8	147	CBAR	∴		203	PVW	250	-
9	OPA_IN1	148	BLACK	164	-	204	-	251	CLOCK
10	OPA_IN2	149	STILL1V	165	MV1	∴		252	-
11	OPA_IN3	150	STILL1K	166	MV2	208	-	∴	
12	OPA_IN4	151	STILL2V	167	-	209	ME PGM	512	-
13	OPB_IN1	152	STILL2K	∴		210	-		
14	OPB_IN2	153	-	170	-	∴			

-: 未使用の ID

外部インターフェース

拡張バス ID

ID	バス	ID	バス	ID	バス	ID	バス	ID	バス
513	-	633	MACROPLAY3-4	679	MACROPLAY7-10	725	SHOTPLAY2-6	771	SHOTPLAY7-2
514	ME1 KEY1 AUTO	634	MACROPLAY3-5	680	MACROPLAY8-1	726	SHOTPLAY2-7	772	SHOTPLAY7-3
515	ME1 KEY2 AUTO	635	MACROPLAY3-6	681	MACROPLAY8-2	727	SHOTPLAY2-8	773	SHOTPLAY7-4
516	ME1 KEY3 AUTO	636	MACROPLAY3-7	682	MACROPLAY8-3	728	SHOTPLAY2-9	774	SHOTPLAY7-5
517	-	637	MACROPLAY3-8	683	MACROPLAY8-4	729	SHOTPLAY2-10	775	SHOTPLAY7-6
518	ME1 KEY1 CUT	638	MACROPLAY3-9	684	MACROPLAY8-5	730	SHOTPLAY3-1	776	SHOTPLAY7-7
519	ME1 KEY2 CUT	639	MACROPLAY3-10	685	MACROPLAY8-6	731	SHOTPLAY3-2	777	SHOTPLAY7-8
520	ME1 KEY3 CUT	640	MACROPLAY4-1	686	MACROPLAY8-7	732	SHOTPLAY3-3	778	SHOTPLAY7-9
521	-	641	MACROPLAY4-2	687	MACROPLAY8-8	733	SHOTPLAY3-4	779	SHOTPLAY7-10
522	ME1 BKGD AUTO	642	MACROPLAY4-3	688	MACROPLAY8-9	734	SHOTPLAY3-5	780	SHOTPLAY8-1
523	ME1 BKGD CUT	643	MACROPLAY4-4	689	MACROPLAY8-10	735	SHOTPLAY3-6	781	SHOTPLAY8-2
524	-	644	MACROPLAY4-5	690	MACROPLAY9-1	736	SHOTPLAY3-7	782	SHOTPLAY8-3
⋮		645	MACROPLAY4-6	691	MACROPLAY9-2	737	SHOTPLAY3-8	783	SHOTPLAY8-4
593	-	646	MACROPLAY4-7	692	MACROPLAY9-3	738	SHOTPLAY3-9	784	SHOTPLAY8-5
594	DSK1 AUTO	647	MACROPLAY4-8	693	MACROPLAY9-4	739	SHOTPLAY3-10	785	SHOTPLAY8-6
595	DSK2 AUTO	648	MACROPLAY4-9	694	MACROPLAY9-5	740	SHOTPLAY4-1	786	SHOTPLAY8-7
596	-	649	MACROPLAY4-10	695	MACROPLAY9-6	741	SHOTPLAY4-2	787	SHOTPLAY8-8
597	-	650	MACROPLAY5-1	696	MACROPLAY9-7	742	SHOTPLAY4-3	788	SHOTPLAY8-9
598	DSK1 CUT	651	MACROPLAY5-2	697	MACROPLAY9-8	743	SHOTPLAY4-4	789	SHOTPLAY8-10
599	DSK2 CUT	652	MACROPLAY5-3	698	MACROPLAY9-9	744	SHOTPLAY4-5	790	SHOTPLAY9-1
600	-	653	MACROPLAY5-4	699	MACROPLAY9-10	745	SHOTPLAY4-6	791	SHOTPLAY9-2
⋮		654	MACROPLAY5-5	700	MACROPLAY10-1	746	SHOTPLAY4-7	792	SHOTPLAY9-3
609	-	655	MACROPLAY5-6	701	MACROPLAY10-2	747	SHOTPLAY4-8	793	SHOTPLAY9-4
610	MACROPLAY1-1	656	MACROPLAY5-7	702	MACROPLAY10-3	748	SHOTPLAY4-9	794	SHOTPLAY9-5
611	MACROPLAY1-2	657	MACROPLAY5-8	703	MACROPLAY10-4	749	SHOTPLAY4-10	795	SHOTPLAY9-6
612	MACROPLAY1-3	658	MACROPLAY5-9	704	MACROPLAY10-5	750	SHOTPLAY5-1	796	SHOTPLAY9-7
613	MACROPLAY1-4	659	MACROPLAY5-10	705	MACROPLAY10-6	751	SHOTPLAY5-2	797	SHOTPLAY9-8
614	MACROPLAY1-5	660	MACROPLAY6-1	706	MACROPLAY10-7	752	SHOTPLAY5-3	798	SHOTPLAY9-9
615	MACROPLAY1-6	661	MACROPLAY6-2	707	MACROPLAY10-8	753	SHOTPLAY5-4	799	SHOTPLAY9-10
616	MACROPLAY1-7	662	MACROPLAY6-3	708	MACROPLAY10-9	754	SHOTPLAY5-5	800	SHOTPLAY10-1
617	MACROPLAY1-8	663	MACROPLAY6-4	709	MACROPLAY10-10	755	SHOTPLAY5-6	801	SHOTPLAY10-2
618	MACROPLAY1-9	664	MACROPLAY6-5	710	SHOTPLAY1-1	756	SHOTPLAY5-7	802	SHOTPLAY10-3
619	MACROPLAY1-10	665	MACROPLAY6-6	711	SHOTPLAY1-2	757	SHOTPLAY5-8	803	SHOTPLAY10-4
620	MACROPLAY2-1	666	MACROPLAY6-7	712	SHOTPLAY1-3	758	SHOTPLAY5-9	804	SHOTPLAY10-5
621	MACROPLAY2-2	667	MACROPLAY6-8	713	SHOTPLAY1-4	759	SHOTPLAY5-10	805	SHOTPLAY10-6
622	MACROPLAY2-3	668	MACROPLAY6-9	714	SHOTPLAY1-5	760	SHOTPLAY6-1	806	SHOTPLAY10-7
623	MACROPLAY2-4	669	MACROPLAY6-10	715	SHOTPLAY1-6	761	SHOTPLAY6-2	807	SHOTPLAY10-8
624	MACROPLAY2-5	670	MACROPLAY7-1	716	SHOTPLAY1-7	762	SHOTPLAY6-3	808	SHOTPLAY10-9
625	MACROPLAY2-6	671	MACROPLAY7-2	717	SHOTPLAY1-8	763	SHOTPLAY6-4	809	SHOTPLAY10-10
626	MACROPLAY2-7	672	MACROPLAY7-3	718	SHOTPLAY1-9	764	SHOTPLAY6-5	810	XPT1
627	MACROPLAY2-8	673	MACROPLAY7-4	719	SHOTPLAY1-10	765	SHOTPLAY6-6	811	XPT2
628	MACROPLAY2-9	674	MACROPLAY7-5	720	SHOTPLAY2-1	766	SHOTPLAY6-7	812	XPT3
629	MACROPLAY2-10	675	MACROPLAY7-6	721	SHOTPLAY2-2	767	SHOTPLAY6-8	813	XPT4
630	MACROPLAY3-1	676	MACROPLAY7-7	722	SHOTPLAY2-3	768	SHOTPLAY6-9	814	XPT5
631	MACROPLAY3-2	677	MACROPLAY7-8	723	SHOTPLAY2-4	769	SHOTPLAY6-10	815	XPT6
632	MACROPLAY3-3	678	MACROPLAY7-9	724	SHOTPLAY2-5	770	SHOTPLAY7-1	816	XPT7

-: 無効 ID(-1) を送信

外部インターフェース

拡張バスID (つづき)

ID	バス
817	XPT8
818	XPT9
819	XPT10
820	XPT11
821	XPT12
822	XPT13
823	XPT14
824	XPT15
825	XPT16
826	XPT17
827	XPT18
828	XPT19
829	XPT20
830	XPT21
831	XPT22
832	XPT23
833	XPT24
834	-
⋮	
1024	-

-: 無効 ID(-1) を送信

拡張ソースID

ID	ソース	ID	ソース	ID	ソース
513	-	633	MACROPLAY3-4	679	MACROPLAY7-10
514	ME1 KEY1 AUTO	634	MACROPLAY3-5	680	MACROPLAY8-1
515	ME1 KEY2 AUTO	635	MACROPLAY3-6	681	MACROPLAY8-2
516	ME1 KEY3 AUTO	636	MACROPLAY3-7	682	MACROPLAY8-3
517	-	637	MACROPLAY3-8	683	MACROPLAY8-4
518	ME1 KEY1 CUT	638	MACROPLAY3-9	684	MACROPLAY8-5
519	ME1 KEY2 CUT	639	MACROPLAY3-10	685	MACROPLAY8-6
520	ME1 KEY3 CUT	640	MACROPLAY4-1	686	MACROPLAY8-7
521	-	641	MACROPLAY4-2	687	MACROPLAY8-8
522	ME1 BKGD AUTO	642	MACROPLAY4-3	688	MACROPLAY8-9
523	ME1 BKGD CUT	643	MACROPLAY4-4	689	MACROPLAY8-10
524	-	644	MACROPLAY4-5	690	MACROPLAY9-1
⋮		645	MACROPLAY4-6	691	MACROPLAY9-2
593	-	646	MACROPLAY4-7	692	MACROPLAY9-3
594	DSK1 AUTO	647	MACROPLAY4-8	693	MACROPLAY9-4
595	DSK2 AUTO	648	MACROPLAY4-9	694	MACROPLAY9-5
596	-	649	MACROPLAY4-10	695	MACROPLAY9-6
597	-	650	MACROPLAY5-1	696	MACROPLAY9-7
598	DSK1 CUT	651	MACROPLAY5-2	697	MACROPLAY9-8
599	DSK2 CUT	652	MACROPLAY5-3	698	MACROPLAY9-9
600	-	653	MACROPLAY5-4	699	MACROPLAY9-10
⋮		654	MACROPLAY5-5	700	MACROPLAY10-1
609	-	655	MACROPLAY5-6	701	MACROPLAY10-2
610	MACROPLAY1-1	656	MACROPLAY5-7	702	MACROPLAY10-3
611	MACROPLAY1-2	657	MACROPLAY5-8	703	MACROPLAY10-4
612	MACROPLAY1-3	658	MACROPLAY5-9	704	MACROPLAY10-5
613	MACROPLAY1-4	659	MACROPLAY5-10	705	MACROPLAY10-6
614	MACROPLAY1-5	660	MACROPLAY6-1	706	MACROPLAY10-7
615	MACROPLAY1-6	661	MACROPLAY6-2	707	MACROPLAY10-8
616	MACROPLAY1-7	662	MACROPLAY6-3	708	MACROPLAY10-9
617	MACROPLAY1-8	663	MACROPLAY6-4	709	MACROPLAY10-10
618	MACROPLAY1-9	664	MACROPLAY6-5	710	SHOTPLAY1-1
619	MACROPLAY1-10	665	MACROPLAY6-6	711	SHOTPLAY1-2
620	MACROPLAY2-1	666	MACROPLAY6-7	712	SHOTPLAY1-3
621	MACROPLAY2-2	667	MACROPLAY6-8	713	SHOTPLAY1-4
622	MACROPLAY2-3	668	MACROPLAY6-9	714	SHOTPLAY1-5
623	MACROPLAY2-4	669	MACROPLAY6-10	715	SHOTPLAY1-6
624	MACROPLAY2-5	670	MACROPLAY7-1	716	SHOTPLAY1-7
625	MACROPLAY2-6	671	MACROPLAY7-2	717	SHOTPLAY1-8
626	MACROPLAY2-7	672	MACROPLAY7-3	718	SHOTPLAY1-9
627	MACROPLAY2-8	673	MACROPLAY7-4	719	SHOTPLAY1-10
628	MACROPLAY2-9	674	MACROPLAY7-5	720	SHOTPLAY2-1
629	MACROPLAY2-10	675	MACROPLAY7-6	721	SHOTPLAY2-2
630	MACROPLAY3-1	676	MACROPLAY7-7	722	SHOTPLAY2-3
631	MACROPLAY3-2	677	MACROPLAY7-8	723	SHOTPLAY2-4
632	MACROPLAY3-3	678	MACROPLAY7-9	724	SHOTPLAY2-5

-: 未使用の ID

外部インターフェース

拡張ソース ID (つづき)

ID	ソース	ID	ソース	ID	ソース
725	SHOTPLAY2-6	771	SHOTPLAY7-2	817	XPT8
726	SHOTPLAY2-7	772	SHOTPLAY7-3	818	XPT9
727	SHOTPLAY2-8	773	SHOTPLAY7-4	819	XPT10
728	SHOTPLAY2-9	774	SHOTPLAY7-5	820	XPT11
729	SHOTPLAY2-10	775	SHOTPLAY7-6	821	XPT12
730	SHOTPLAY3-1	776	SHOTPLAY7-7	822	XPT13
731	SHOTPLAY3-2	777	SHOTPLAY7-8	823	XPT14
732	SHOTPLAY3-3	778	SHOTPLAY7-9	824	XPT15
733	SHOTPLAY3-4	779	SHOTPLAY7-10	825	XPT16
734	SHOTPLAY3-5	780	SHOTPLAY8-1	826	XPT17
735	SHOTPLAY3-6	781	SHOTPLAY8-2	827	XPT18
736	SHOTPLAY3-7	782	SHOTPLAY8-3	828	XPT19
737	SHOTPLAY3-8	783	SHOTPLAY8-4	829	XPT20
738	SHOTPLAY3-9	784	SHOTPLAY8-5	830	XPT21
739	SHOTPLAY3-10	785	SHOTPLAY8-6	831	XPT22
740	SHOTPLAY4-1	786	SHOTPLAY8-7	832	XPT23
741	SHOTPLAY4-2	787	SHOTPLAY8-8	833	XPT24
742	SHOTPLAY4-3	788	SHOTPLAY8-9	834	-
743	SHOTPLAY4-4	789	SHOTPLAY8-10	:	
744	SHOTPLAY4-5	790	SHOTPLAY9-1	1024	-
745	SHOTPLAY4-6	791	SHOTPLAY9-2		
746	SHOTPLAY4-7	792	SHOTPLAY9-3		
747	SHOTPLAY4-8	793	SHOTPLAY9-4		
748	SHOTPLAY4-9	794	SHOTPLAY9-5		
749	SHOTPLAY4-10	795	SHOTPLAY9-6		
750	SHOTPLAY5-1	796	SHOTPLAY9-7		
751	SHOTPLAY5-2	797	SHOTPLAY9-8		
752	SHOTPLAY5-3	798	SHOTPLAY9-9		
753	SHOTPLAY5-4	799	SHOTPLAY9-10		
754	SHOTPLAY5-5	800	SHOTPLAY10-1		
755	SHOTPLAY5-6	801	SHOTPLAY10-2		
756	SHOTPLAY5-7	802	SHOTPLAY10-3		
757	SHOTPLAY5-8	803	SHOTPLAY10-4		
758	SHOTPLAY5-9	804	SHOTPLAY10-5		
759	SHOTPLAY5-10	805	SHOTPLAY10-6		
760	SHOTPLAY6-1	806	SHOTPLAY10-7		
761	SHOTPLAY6-2	807	SHOTPLAY10-8		
762	SHOTPLAY6-3	808	SHOTPLAY10-9		
763	SHOTPLAY6-4	809	SHOTPLAY10-10		
764	SHOTPLAY6-5	810	XPT1		
765	SHOTPLAY6-6	811	XPT2		
766	SHOTPLAY6-7	812	XPT3		
767	SHOTPLAY6-8	813	XPT4		
768	SHOTPLAY6-9	814	XPT5		
769	SHOTPLAY6-10	815	XPT6		
770	SHOTPLAY7-1	816	XPT7		

-: 未使用の ID

外部インターフェース

External Control

<概要>

ネットワークに接続したシステムコントローラーやタリーインターフェースなどの外部機器との間で、AV-UHS500すべてのバスの素材切り替えや素材名情報の送受信ができます。

また、外部機器からの Key Signal Coupling 設定の切り替えが可能です。

TSL UMD Protocol V5.0 に対応した通信フォーマットでタリー情報と Source ID 情報の送受信が可能です。

当社製品のリモートカメラコントローラー AW-RP シリーズと IP 接続することにより、AW-RP シリーズのカメラセレクトによる AV-UHS500 バスの素材切り替えや Tally 情報送信、フォーカスアシストや素材名の取得が可能です。

- 制御バスの設定などは、AW-RP シリーズの取扱説明書を参照してください。

<準備>

外部機器を LAN ケーブルで AV-UHS500 背面の LAN 端子に接続します。

本機は、20 系統の接続 IP に対応しています。複数の外部機器と接続する場合は HUB で分配して接続します。IP は重複しないように設定してください。

AV-UHS500 のネットワーク設定は <CONF/SYS> ボタン → [SYSTEM] → [NetWork1]、[NetWork2] サブメニューで確認します。

初期値は、IP Address : "192.168.0.8"、Subnet Mask : "255.255.255.0" です。

<設定>

- ①  ボタンを押して点灯させ、System メニューを表示します。

- ② [F1] を操作し、ExtControl Switcher サブメニューを表示します。

ExtControl Switcher	Disable/Enable Disable Enable	PortNo 62000	IntervalTime 16ms	Response Off On
---------------------	----------------------------------	--------------	----------------------	--------------------

- ③ [F2] を押して、Disable/Enable 項目で External Control 機能の有効 / 無効を設定します。
- ④ [F3] を操作して、PortNo 項目でネットワークの設定をします。
- ⑤ [F4] を操作して、IntervalTime 項目でコマンド送信間隔の設定をおこないます。
- ⑥ [F5] を操作して、Response 項目で、送信元に対する変更通知送信の設定を行います。

On	送信元に対して変更通知を送信する。
Off	送信元に対して変更通知を送信しない。

- ⑦ [F1] を操作して、ExtControl AUX Panel1 ~ 5 サブメニューを表示します。

ExtControl AUX Panel1	IP Address1 0.0.0.0	IP Address2 0.0.0.0	IP Address3 0.0.0.0	IP Address4 0.0.0.0
ExtControl AUX Panel2	IP Address5 0.0.0.0	IP Address6 0.0.0.0	IP Address7 0.0.0.0	IP Address8 0.0.0.0
ExtControl AUX Panel3	IP Address9 0.0.0.0	IP Address10 0.0.0.0	IP Address11 0.0.0.0	IP Address12 0.0.0.0
ExtControl AUX Panel4	IP Address13 0.0.0.0	IP Address14 0.0.0.0	IP Address15 0.0.0.0	IP Address16 0.0.0.0
ExtControl AUX Panel5	IP Address17 0.0.0.0	IP Address18 0.0.0.0	IP Address19 0.0.0.0	IP Address20 0.0.0.0

- ⑧ [F2] ~ [F5] を押して、接続される外部機器の IP アドレスを設定します。

- ⑨ [F1] を操作して、ExtControl Aux Panel6 サブメニューを表示します。

ExtControl AUX Panel6	PortNo 65000
-----------------------	--------------

- ⑩ [F2] を操作して、外部接続機器の受信ポート番号を設定します。
リモートカメラコントローラー AW-RP シリーズと接続する場合は、60031 に設定します。

外部インターフェース

- ⑪ TSL UMD Protocol V5.0 コマンドの DMSG-CONTROL パラメータについて。
RH タリー出力時は、TallyGroup1 の設定が出力されます。
TXT タリー出力時は、TallyGroup2 の設定が出力されます。
- ⑫ 素材名を変更させる場合は
<IN/OUT> ボタン → [Input] → [Name] サブメニューの Type 項目を User に設定しておく必要があります。

<コマンド仕様>

AV-UHS500 外部インターフェース通信プロトコル仕様書を参照してください。

Macro Trigger

<概要>

ネットワークで接続した外部機器から TCP/IP プロトコルによる特定コマンドを受信することで、設定したマクロを実行することができます。

TCP/IP の PORT 番号は、63000 を使用します。

<準備>

マクロ実行のトリガーをネットワークで与える外部機器を、LAN ケーブルで AV-UHS500 背面の LAN 端子に接続します。

20 系統の接続 IP に対応しています。複数の外部機器と接続する場合は HUB で分配して接続します。IP は重複しないように設定してください。

<設定>

- ①  ボタンを押して点灯させ、System メニューを表示します。

- ② [F1] を操作し、Macro Trigger Control1 サブメニューを表示します。

Macro Trigger Control1	Disable/Enable	Disable	Enable		
------------------------	----------------	---------	--------	--	--

- ③ [F2] を押して、Disable/Enable 項目で Macro Trigger 機能の有効 / 無効を設定します。

- ④ [F1] を操作し、Macro Trigger Control2 ~ 11 サブメニューを表示します。

Macro Trigger Control2	IP Address1 0.0.0.0	Macro1 No Assign	IP Address2 0.0.0.0	Macro2 No Assign
Macro Trigger Control3	IP Address3 0.0.0.0	Macro3 No Assign	IP Address4 0.0.0.0	Macro4 No Assign
Macro Trigger Control4	IP Address5 0.0.0.0	Macro5 No Assign	IP Address6 0.0.0.0	Macro6 No Assign
Macro Trigger Control5	IP Address7 0.0.0.0	Macro7 No Assign	IP Address8 0.0.0.0	Macro8 No Assign
Macro Trigger Control6	IP Address9 0.0.0.0	Macro9 No Assign	IP Address10 0.0.0.0	Macro10 No Assign
Macro Trigger Control7	IP Address11 0.0.0.0	Macro11 No Assign	IP Address12 0.0.0.0	Macro12 No Assign
Macro Trigger Control8	IP Address13 0.0.0.0	Macro13 No Assign	IP Address14 0.0.0.0	Macro14 No Assign
Macro Trigger Control9	IP Address15 0.0.0.0	Macro15 No Assign	IP Address16 0.0.0.0	Macro16 No Assign

- ⑤ [F2]、[F4] を押して、IP Address 項目でマクロ実行のトリガーをネットワークで与える外部機器の IP アドレスを設定します。

- ⑥ [F3]、[F5] を押して、Macro 項目で実行するマクロを設定します。

- ⑦ AV-UHS500 に実行するマクロを登録します。マクロ登録については「メモリー」を参照してください。

外部インターフェース

<コマンド仕様>

外部機器と AV-UHS500 の間で送受信される TCP/IP プロトコルのコマンドについて記述します。

外部機器からマクロ設定コマンド (401) が AV-UHS500 に送られると、マクロ設定応答コマンド (451) が返されます。

- マクロ設定コマンド (401) (外部機器 → AV-UHS500)

No.	名称		サイズ (byte)	内容
0	開始コード		2	「@S」固定
2	送信元情報	機器コード	2	上位 1byte: 機器種別 0x19 固定 下位 1byte: 機器番号(重複しないように任意に設定。1 ~)
4		PROTOCOL ID	1	0 固定
5		Transaction ID	1	任意の値を設定
6		IP アドレス	4	機器の IP アドレス
10		PORT 番号	2	機器の PORT 番号
12	受信先情報	機器コード	2	上位 1byte: 機器種別 0x02 固定 下位 1byte: 機器番号(重複しないように任意に設定。1 ~)
14		PROTOCOL ID	1	0 固定
15		Transaction ID	1	任意の値を設定
16		IP アドレス	4	機器の IP アドレス
20		PORT 番号	2	機器の PORT 番号 63000=0xF618
22	情報部ヘッダー	制御コード	1	0 固定
23		制御数	1	0 固定
24		データ長	2	3 固定
26	情報部データ	コマンド	2	マクロ設定 401=0x191
28		データ	1	0 固定
29		Reserved	481	0 固定
510	終了コード		2	「@E」固定

外部インターフェース

- マクロ設定応答コマンド (451) (AV-UHS500 → 外部機器)

No.	名称		サイズ (byte)	内容
0	開始コード		2	「@S」固定
2	送信元情報	機器コード	2	上位 1byte: 機器種別 0x02 固定 下位 1byte: 機器番号(重複しないように任意に設定。1 ~)
4		PROTOCOL ID	1	0 固定
5		Transaction ID	1	受信時の受信先 Transaction ID
6		IP アドレス	4	機器の IP アドレス
10		PORT 番号	2	機器の PORT 番号 63000=0xF618
12		受信先情報	機器コード	2
14	PROTOCOL ID		1	0 固定
15	Transaction ID		1	受信時の送信元 Transaction ID
16	IP アドレス		4	機器の IP アドレス
20	PORT 番号		2	機器の PORT 番号
22	情報部ヘッダー		制御コード	1
23		制御数	1	0 固定
24		データ長	2	3 固定
26	情報部データ	コマンド	2	マクロ設定応答 451=0x1C3
28		データ	1	0 固定
29		Reserved	481	0 固定
510	終了コード		2	「@E」固定


外部インターフェース

ソフトパネル接続設定

本機では、ソフトウェアパネル AV-SF500 をインストールした PC を LAN 接続することにより、本機の操作、設定をリモート制御することができます。

ソフトウェアパネルとの認証を行うため、本機で認証情報の設定を行います。

- ローカル PC にソフトウェアパネルをインストールするには、AV-SF500 の導入手順書を参照してください。
- ソフトウェアパネルの操作に関しては、AV-SF500 の取扱説明書を参照してください。

①  ボタンを押して点灯させ、System メニューを表示します。

② [F1] を操作して、SW Ctrl Panel Settings サブメニューを表示します。



③ User Name 項目で [F2] を操作し、キーボード画面を表示します。

ソフトウェアパネル認証時のユーザー名を入力します。

④ [F1] ~ [F3]、ポジショナー、ロータリーエンコーダー [Z]、テンキーを使ってユーザー名を入力し、[F4] を押します。

入力したユーザー名を取り消してキーボード画面を閉じる場合は、[F5] を押します。

⇒「キーボード画面の操作」参照

⑤ Password 項目で [F3](Execute) を操作し、キーボード画面を表示します。

ソフトウェアパネル認証時のパスワードを入力します。認証パスワードは 2 回の入力が必要です。

⑥ [F1] ~ [F3]、ポジショナー、ロータリーエンコーダー [Z]、テンキーを使ってパスワードを入力し、[F4] を押します。

入力したパスワードを取り消してキーボード画面を閉じる場合は、[F5] を押します。

⇒「キーボード画面の操作」参照


ローカル PC

ソフトウェアパネル AV-SF500 をインストールした PC を LAN 接続することにより、本機のセットアップデータをプロジェクトファイルとして保存することができます。

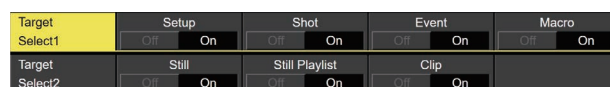
また、ソフトウェアパネル AV-SF500 をインストールした PC から本機にセットアップデータを読み出すことも可能です。

- ローカル PC にソフトウェアパネルをインストールするには、AV-SF500 の導入手順書を参照してください。
- ソフトウェアパネルの操作に関しては、AV-SF500 の取扱説明書を参照してください。
- 高画質で記録時間が長い動画や高画質の静止画ファイルを内蔵ストレージに保存する際には、しばらく時間がかかる場合があります。
- プロジェクトファイルとして、以下のデータを選択して保存 / 読み込みができます。
セットアップデータ、ショットメモリーデータ、イベントメモリーデータ、マクロメモリーデータ、Still ビデオメモリー、Clip ビデオメモリー、Still プレイリスト
- 日付、時刻、ネットワーク設定は保存できません。

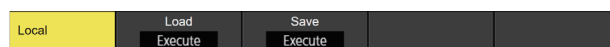
ローカル PC へのプロジェクトファイルの保存

①  ボタンを押して点灯させ、Project File メニューを表示します。

② [F1] を操作して、Target Select 1/2 項目でプロジェクトファイルとして保存したい項目を選択します。
[F2] ~ [F5] を操作し、保存する項目をそれぞれ ON にします。




③ [F1] を操作して、Local サブメニューを表示します。

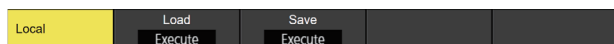


④ Save 項目で [F3](Execute) を押し、ローカル PC へプロジェクトファイルを保存します。

外部インターフェース

ローカル PC からのプロジェクトファイルの読み出し

- ①  ボタンを押して点灯させ、Project File メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して、Target Select 1/2 項目でプロジェクトファイルとして読み出したい項目を選択します。
[F2] ~ [F5] を操作し、読み出す項目をそれぞれ ON にします。
- ③ [F1] を操作して、Local サブメニューを表示します。



- ④ Load 項目で [F2](Execute) を押し、ローカル PC からプロジェクトファイルを読み出します。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。
万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■補修用性能部品 8年

当社では、ライブスイッチャーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。
※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。
部品の摩耗、劣化、ゴミ、ほこりの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。
定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認くださいの上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	ライブスイッチャー
品番	AV-UHS500
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

電源 : AC (～) 100 V – 240 V、50/60 Hz
消費電流 : 1.5 A

 は安全項目です。

映像系端子

〈SDI IN 1〉～ 〈SDI IN 8〉端子	8 系統 (OPTION 使用時 +最大 8 系統) ● コネクター : BNC × 8 ● 〈SDI IN 5〉～〈SDI IN 8〉端子は、アップコンバーターを搭載しています。 ● 〈SDI IN 5〉～〈SDI IN 8〉端子は、カラーコレクターを搭載しています。 ※ SDI IN 1/2 は HDMI IN 1/2 と排他です。	
	12G-SDI	12G-SDI、SMPTE ST 2082-10 準拠
	3G-SDI	3G-SDI、SMPTE292 準拠 (Level-A/Level-B に対応)
	HD-SDI	HD-SDI、SMPTE292M 準拠
〈HDMI IN 1〉～ 〈HDMI IN 2〉端子	2 系統 (OPTION 使用時 +最大 6 系統)、HDMI2.0 対応 映像フォーマット入力 : 720p/59.94 Hz、720p/50 Hz、1080i/59.94 Hz、1080i/50 Hz、 1080p/59.94 Hz、1080p/50 Hz、1080p/29.97 Hz、1080p/25 Hz、 1080p/24 Hz、1080p/23.98 Hz、2160p/59.94 Hz、2160p/50 Hz、 2160p/29.97 Hz、2160p/25 Hz、2160p/24 Hz、2160p/23.98 Hz、 720p/60 Hz、1080i/60 Hz、1080p/60 Hz、2160p/60 Hz ● コネクター : HDMI × 2 ● CPRM には対応していません。 ※ HDMI IN 1/2 は SDI IN 1/2 と排他です。	
〈SDI OUT 1〉～ 〈SDI OUT 5〉端子	5 系統 (OPTION 使用時 +最大 8 系統) ● コネクター : BNC × 5 ● PGM、PVW、CLN、ME PGM、MV1～MV2、AUX1～AUX4、Key Out を割り当て できます。	
	12G-SDI	12G-SDI、SMPTE ST 2082-10 準拠
	3G-SDI	3G-SDI、SMPTE292 準拠 (Level-A に対応)
	HD-SDI	HD-SDI、SMPTE292M 準拠
〈HDMI OUT 1〉～ 〈HDMI OUT 2〉端子	2 系統 (OPTION 使用時 +最大 6 系統)、HDMI2.0 対応 映像フォーマット出力 : 720p/59.94 Hz、720p/50 Hz、1080i/59.94 Hz、1080i/50 Hz、 1080p/59.94 Hz、1080p/50 Hz、1080p/29.97 Hz、1080p/25 Hz、 1080p/24 Hz、1080p/23.98 Hz、2160p/59.94 Hz、2160p/50 Hz、 2160p/29.97 Hz、2160p/25 Hz、2160p/24 Hz、2160p/23.98 Hz、 720p/60 Hz、1080i/60 Hz、1080p/60 Hz、2160p/60 Hz ● コネクター : HDMI × 2 ● PGM、PVW、CLN、ME PGM、MV1～MV2、AUX1～AUX4、Key Out を割り当 てできます。	
信号フォーマット	2160/59.94P、50P、29.97P、25P、24P、23.98P、 1080/59.94P、50P、29.97Psf、25Psf、24Psf、23.98Psf、59.94i、50i、 29.97p、25p、24p、23.98p、 720/59.94P、50P	
信号処理	R : G : B	4 : 4 : 4 10 bit / 4 : 2 : 2 10 bit
	Y : P _B : P _R	4 : 2 : 2 10 bit
ME 数	1ME	

定格

同期系端子

〈REF〉端子 リファレンス入力/ BB 出力	Genlock モード：ブラックバーストまたは Tri-level Sync 入力信号（ループスルー付）	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部同期モード時は、ループスルー出力します。 ● ループスルー出力を使用しない場合は、75 Ω で終端してください。 ● コネクター：BNC ● システムフォーマットと同じフィールド周波数に対応 ● 1080/24PsF フォーマット時は、Genlock モードのみに対応 ● 1080/23.98PsF フォーマット時は、10 Field ID 付きブラックバースト信号（SMPTE318M 準拠）または Tri-level Sync 信号に対応 ● 内部同期モード時は、2 つの端子から BB 信号を出力します。 	
映像遅延時間	1 ライン (H)	フレームシンクロナイザーの設定が [Off] で、アップ/ダウンコンバーターが動作していないとき
	1 フレーム (F)	フレームシンクロナイザーの設定がオン、またはアップ/ダウンコンバーターが動作しているとき
	● PinP、DVE、マルチビュー、ダウンコンバーター、HDMI IN を経由した場合、それぞれ最大 1 フレームの遅延が加わります。	

制御系端子

〈LAN〉端子	1000Base-T、AUTO-MDIX 対応 (IP 制御用)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続ケーブル：LAN ケーブル (CAT5E)、最大 100 m、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブルを推奨 ● コネクター：RJ-45
〈TALLY GPI〉端子	INPUT：8 入力、汎用、フォトカプラ受け OUTPUT：19 出力、R・G タリー、汎用から選択 ALARM：1 出力、オープンコレクタ出力 (負論理)

その他

動作周囲温度	0 °C ~ 40 °C
動作周囲湿度	10 % ~ 90 % (結露なきこと)
保存温度	0 °C ~ 40 °C
保存湿度	10 % ~ 90 % (結露なきこと)
質量	約 7 kg
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	440 mm × 170 mm × 360 mm (突起部含まず)

セッティングメニュー一覧

- (↓) の表示されている項目は、項目を選択して [F2] ~ [F5] を押すと設定が反映されます。

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Background	Border	パラメーター	Border	Width	Soft	
		設定範囲	On, Off	0.1 ~ 100.0	0.0 ~ 100.0	
		初期値	Off	5.0	0.0	
	Border Color	パラメーター	Hue	Sat	Lum	Load
		設定範囲	0.0 ~ 359.9	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0	White, Yellow, Cyan, Green, Magenta, Red, Blue, Black
		初期値	0.0	0.0	100.0	White
	Position	パラメーター	X-Pos	Y-Pos		Copy To Key1
		設定範囲	- 100.00 ~ 100.00	- 100.00 ~ 100.00		Execute
		初期値	0.00	0.00		
	Modify	パラメーター	Trim			
		設定範囲	Off, 16:9, 4:3, 4:3 Smooth			
		初期値	Off			
	3D Modify	パラメーター	Light	Size	Radius	Angle
		設定範囲	On, Off	0.0 ~ 100.0	0.000 ~ 1.000	- 45 ~ 45
		初期値	Off	100.0	0.500	0
	Transition Time	パラメーター	TransTime	WaitTime	Wait	
		設定範囲	0 ~ 999 ※ (Frame)	0 ~ 999 ※ (Frame)	Off, On	
		初期値	1s00f	0s00f	Off	
	Transition Margin	パラメーター	Margin	Start	End	
		設定範囲	Off, On	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 100.0	
	初期値	Off	0.0	0.0		
Clip Trans Sync	パラメーター	Clip1	Clip2			
	設定範囲	Off, AUTO, KEY1 ON, KEY2 ON, KEY3 ON, DSK1 ON, DSK2 ON, FTB ON, Fader	Off, AUTO, KEY1 ON, KEY2 ON, KEY3 ON, DSK1 ON, DSK2 ON, FTB ON, Fader			
	初期値	Off	Off			

※ : Frame 数で表記されているものは、実際には Format に対応する時間が表示されます。

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Color Background	CBGD1 Main	パラメーター	Hue	Sat	Lum	Load
		設定範囲	0.0 ~ 359.9	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0	White, Yellow, Cyan, Green, Magenta, Red, Blue, Black
		初期値	120.0	100.0	100.0	Blue
	CBGD1 Sub	パラメーター	Hue	Sat	Lum	Load
		設定範囲	0.0 ~ 359.9	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0	White, Yellow, Cyan, Green, Magenta, Red, Blue, Black
		初期値	0.0	0.0	100.0	White
	CBGD1 Wash	パラメーター	Wash	Color	R-Sat	R-Lum
		設定範囲	On, Off	Dual, Rainbow	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0
		初期値	Off	Dual	100.0	100.0
	CBGD1 Wave	パラメーター	Pattern	Cycle	Phase	Angle
		設定範囲	Sine, Saw	0 ~ 100	- 180.0 ~ 180.0	0.0 ~ 360.0
		初期値	Sine	0	0.0	0.0
	CBGD1 Move	パラメーター	Move	Speed		
		設定範囲	Off, Roll, Rotation	- 50.0 ~ 50.0		
		初期値	Off	1.0		
	CBGD2 Main	パラメーター	Hue	Sat	Lum	Load
		設定範囲	0.0 ~ 359.9	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0	White, Yellow, Cyan, Green, Magenta, Red, Blue, Black
		初期値	0.0	100.0	100.0	Red
	CBGD2 Sub	パラメーター	Hue	Sat	Lum	Load
		設定範囲	0.0 ~ 359.9	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0	White, Yellow, Cyan, Green, Magenta, Red, Blue, Black
		初期値	0.0	0.0	100.0	White
	CBGD2 Wash	パラメーター	Wash	Color	R-Sat	R-Lum
		設定範囲	On, Off	Dual, Rainbow	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0
		初期値	Off	Dual	100.0	100.0
CBGD2 Wave	パラメーター	Pattern	Cycle	Phase	Angle	
	設定範囲	Sine, Saw	0 ~ 100	- 180.0 ~ 180.0	0.0 ~ 360.0	
	初期値	Sine	0	0.0	0.0	
CBGD2 Move	パラメーター	Move	Speed			
	設定範囲	Off, Roll, Rotation	- 50.0 ~ 50.0			
	初期値	Off	1.0			

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Key1	Key	パラメーター	Type	Lum Key	Fill	PVW
		設定範囲	Lum, Linear, Chroma, Full	Chroma On, Chroma Off	Bus, Matte	Auto, Off, On
		初期値	Linear	Chroma Off	Bus	Auto
	Adjust	パラメーター	Clip	Gain	Density	Invert
		設定範囲	0.0 ~ 108.0	0.0 ~ 200.0	0.0 ~ 100.0	On, Off
		初期値	0.0	100.0	100.0	Off
	Fill Matte	パラメーター	Hue	Sat	Lum	Load
		設定範囲	0.0 ~ 359.9	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0	White, Yellow, Cyan, Green, Magenta, Red, Blue, Black
		初期値	0.0	0.0	100.0	White
	Edge1	パラメーター	Type	Width	Direction	Density
		設定範囲	Off, Border, Drop, Shadow, Outline	0 ~ 4	0, 45, 90, 135, 180, 225, 270, 315	25%, 50%, 75%, 100%
		初期値	Off	2	0	100%
	Edge2	パラメーター	Edge Fill			
		設定範囲	Color, CBGD1, CBGD2, Still1, Still2, Clip1, Clip2			
		初期値	Color			
	Edge Color	パラメーター	Hue	Sat	Lum	Load
		設定範囲	0.0 ~ 359.9	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0	White, Yellow, Cyan, Green, Magenta, Red, Blue, Black
		初期値	0.0	0.0	0.0	Black
	Transition	パラメーター	Keyout Pattern			
		設定範囲	Normal, Reverse			
		初期値	Normal			
	Position	パラメーター	X-Pos	Y-Pos		Copy To BKGD
		設定範囲	- 100.00 ~ 100.00	- 100.00 ~ 100.00		Execute
		初期値	0.00	0.00		
	Flying Key Rotation/Size	パラメーター	X-Pos	Y-Pos	Size	
		設定範囲	- 100.00 ~ 100.00	- 100.00 ~ 100.00	0.0 ~ 400.00	
		初期値	0.00	0.00	100.0	
	Flying Key Rotation	パラメーター	X	Y	Z	
		設定範囲	- 2880.0 ~ 2880.0	- 2880.0 ~ 2880.0	- 2880.0 ~ 2880.0	
		初期値	0.0	0.0	0.0	
Flying Key Aspect	パラメーター	X	Y			
	設定範囲	50.00 ~ 100.00	50.00 ~ 100.00			
	初期値	100.00	100.00			
3D Modify	パラメーター	Light	Size	Radius	Angle	
	設定範囲	On, Off	0.0 ~ 100.0	0.000 ~ 1.000	- 45 ~ 45	
	初期値	Off	100.0	0.500	0	

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー [F1] で選択		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
			[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Key1	Mask	パラメーター	Mask	Invert		
		設定範囲	Off, Manual, 4:3	On, Off		
		初期値	Off	Off		
	Mask Adjust	パラメーター	Left	Top	Bottom	Right
		設定範囲	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00
		初期値	- 25.00	25.00	- 25.00	25.00
	PinP	パラメーター	PinP	Full Key	Shape	Density
		設定範囲	On, Off	On, Off	Square, Circle, Heart, Flower, Star	0.0 ~ 100.0
		初期値	Off	On	Square	100.0
	PinP Border	パラメーター	Border	Width	Soft	Mode
		設定範囲	On, Off	0.1 ~ 100.0	0.0 ~ 100.0	Fix, Variable
		初期値	Off	5.0	0.0	Fix
	PinP Border Color	パラメーター	Hue	Sat	Lum	Load
		設定範囲	0.0 ~ 359.9	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0	White, Yellow, Cyan, Green, Magenta, Red, Blue, Black
		初期値	0.0	0.0	100.0	White
	PinP Position	パラメーター	X-Pos	Y-Pos	Size	
		設定範囲	- 100.00 ~ 100.00	- 100.00 ~ 100.00	0.0 ~ 100.0	
		初期値	0.00	0.00	25.0	
	PinP Trim	パラメーター	Trim	Pair	Preset	
		設定範囲	Off, On (Square 以外に設定したときは無効)	On, Off	16:9, 12:9, 9:9, 7:9, 6:9, Manual	
		初期値	Off	Off	16:9	
	PinP Trim Adjust	パラメーター	Left	Top	Bottom	Right
		設定範囲	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00
		初期値	- 50.00	50.00	- 50.00	50.00
PinP Sync	パラメーター	Symmetry			Copy To DSK1	
	設定範囲	Off, X, Y, Center, Same			Execute	
	初期値	Off				
Key Signal Coupling	パラメーター	Independent				
	設定範囲	On, Off				
	初期値	Off				
Key Priority	パラメーター	Key1	Key2	Key3		
	設定範囲	1st, 2nd, 3rd	1st, 2nd, 3rd	1st, 2nd, 3rd		
	初期値	3rd	2nd	1st		
Key On	パラメーター	Key1				
	設定範囲	On, Off				
	初期値	Off				

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Key2	Key	パラメーター	Type	Lum Key	Fill	PVW
		設定範囲	Lum, Linear, Full	Chroma On, Chroma Off	Bus, Matte	Off, On
		初期値	Linear	Chroma Off	Bus	Off
	Adjust	パラメーター	Clip	Gain	Density	Invert
		設定範囲	0.0 ~ 108.0	0.0 ~ 200.0	0.0 ~ 100.0	On, Off
		初期値	0.0	100.0	100.0	Off
	Fill Matte	パラメーター	Hue	Sat	Lum	Load
		設定範囲	0.0 ~ 359.9	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0	White, Yellow, Cyan, Green, Magenta, Red, Blue, Black
		初期値	0.0	0.0	100.0	White
	Edge1	パラメーター	Type	Width	Direction	Density
		設定範囲	Off, Border, Drop, Shadow, Outline	0 ~ 4	0, 45, 90, 135, 180, 225, 270, 315	25%, 50%, 75%, 100%
		初期値	Off	2	0	100%
	Edge2	パラメーター	Edge Fill			
		設定範囲	Color, CBGD1, CBGD2, Still1, Still2, Clip1, Clip2			
		初期値	Color			
	Edge Color	パラメーター	Hue	Sat	Lum	Load
		設定範囲	0.0 ~ 359.9	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0	White, Yellow, Cyan, Green, Magenta, Red, Blue, Black
		初期値	0.0	0.0	0.0	Black
	Mask	パラメーター	Mask	Invert		
		設定範囲	Off, Manual, 4:3	On, Off		
		初期値	Off	Off		
	Mask Adjust	パラメーター	Left	Top	Bottom	Right
		設定範囲	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00
		初期値	- 25.00	25.00	- 25.00	25.00
	PinP	パラメーター	PinP	Full Key	Shape	Density
		設定範囲	On, Off	On, Off	Square, Circle, Heart, Flower, Star	0.0 ~ 100.0
		初期値	Off	On	Square	100.0
	PinP Border	パラメーター	Border	Width	Soft	Mode
		設定範囲	Off, On	0.1 ~ 100.0	0.0 ~ 100.0	Fix, Variable
		初期値	Off	5.0	0.0	Fix
PinP Border Color	パラメーター	Hue	Sat	Lum	Load	
	設定範囲	0.0 ~ 359.9	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0	White, Yellow, Cyan, Green, Magenta, Red, Blue, Black	
	初期値	0.0	0.0	100.0	White	

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Key2	PinP Position	パラメーター	X-Pos	Y-Pos	Size	
		設定範囲	- 100.00 ~ 100.00	- 100.00 ~ 100.00	0.00 ~ 100.00	
		初期値	0.00	0.00	25.00	
	PinP Trim	パラメーター	Trim	Pair	Preset	
		設定範囲	Off, On (Square 以外に設定したときは無効)	Off, On	16:9, 12:9, 9:9, 7:9, 6:9, Manual	
		初期値	Off	Off	16:9	
	PinP Trim Adjust	パラメーター	Left	Top	Bottom	Right
		設定範囲	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00
		初期値	- 50.00	50.00	- 50.00	50.00
	PinP Sync	パラメーター	Symmetry			Copy To DSK1
		設定範囲	Off, X, Y, Center, Same			Execute
		初期値	Off			
	Key Signal Coupling	パラメーター	Independent			
		設定範囲	On, Off			
		初期値	Off			
	Key Priority	パラメーター	Key1	Key2	Key3	
	設定範囲	1st, 2nd, 3rd	1st, 2nd, 3rd	1st, 2nd, 3rd		
	初期値	3rd	2nd	1st		
Key On	パラメーター	Key2				
	設定範囲	On, Off				
	初期値	Off				

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー [F1]で選択		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
			[F2]で選択	[F3]で選択	[F4]で選択	[F5]で選択
Key3	Key	パラメーター	Type	Lum Key	Fill	PVW
		設定範囲	Lum, Linear, Full	Chroma On, Chroma Off	Bus, Matte	Off, On
		初期値	Linear	Chroma Off	Bus	Off
	Adjust	パラメーター	Clip	Gain	Density	Invert
		設定範囲	0.0 ~ 108.0	0.0 ~ 200.0	0.0 ~ 100.0	On, Off
		初期値	0.0	100.0	100.0	Off
	Fill Matte	パラメーター	Hue	Sat	Lum	Load
		設定範囲	0.0 ~ 359.9	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0	White, Yellow, Cyan, Green, Magenta, Red, Blue, Black
		初期値	0.0	0.0	100.0	White
	Mask	パラメーター	Mask	Invert		
		設定範囲	Off, Manual, 4:3	On, Off		
		初期値	Off	Off		
	Mask Adjust	パラメーター	Left	Top	Bottom	Right
		設定範囲	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00
		初期値	- 25.00	25.00	- 25.00	25.00
	Key Signal Coupling	パラメーター	Independent			
		設定範囲	On, Off			
		初期値	Off			
	Key Priority	パラメーター	Key1	Key2	Key3	
		設定範囲	1st, 2nd, 3rd	1st, 2nd, 3rd	1st, 2nd, 3rd	
	初期値	3rd	2nd	1st		
Key On	パラメーター	Key2				
	設定範囲	On, Off				
	初期値	Off				

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Chroma Key	Chroma Key	パラメーター	Select	Key Type		
		設定範囲	Key1, DSK1	Select で選択した Key1 or DSK の Key Type と連動		
		初期値	Key1			
	Auto Compute	パラメーター	Auto Compute			Reset
		設定範囲	Execute			Execute
		初期値				
	Adjust	パラメーター	Narrow	Phase		
		設定範囲	Off, 0.5, 1.0, 1.5	- 4.0 ~ 4.0		
		初期値	Off	0.0		
	Sampling	パラメーター	View	Mode	Sampling	Undo
		設定範囲	Composite, Matte, Proc FG, FG	Select BG, Clean BG, Clean FG, Sponge, Fine Tuning	Execute	Execute
		初期値	Composite	Select BG		
	Sampling Area	パラメーター	X-Pos	Y-Pos	Size	
		設定範囲	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	1.00 ~ 100.00	
		初期値	0.00	0.00	10.00	
	Fine Tuning	パラメーター	Spill	Trans	Detail	
		設定範囲	- 1000 ~ 1000	- 1000 ~ 1000	- 1000 ~ 1000	
		初期値	0	0	0	
	Adjusting Mode	パラメーター	Adjusting Mode			
		設定範囲	Sample Mode, Value Mode			
	初期値	Sample Mode				
Value	パラメーター	ColorCancel	FG Trans	BG Clean		
	設定範囲	- 100.00 ~ 100.00	- 100.00 ~ 100.00	- 100.00 ~ 100.00		
	初期値	0.00	0.00	0.00		
DSK1	DSK	パラメーター	Type	Lum Key	Fill	PVW
		設定範囲	Lum, Linear, Chroma, Full	Chroma On, Chroma Off	Bus, Matte	Off, On
		初期値	Linear	Chroma Off	Bus	Off
	Adjust	パラメーター	Clip	Gain	Density	Invert
		設定範囲	0.0 ~ 108.0	0.0 ~ 200.0	0.0 ~ 100.0	On, Off
		初期値	0.0	100.0	100.0	Off
	Fill Matte	パラメーター	Hue	Sat	Lum	Load
	設定範囲	0.0 ~ 359.9	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0	White, Yellow, Cyan, Green, Magenta, Red, Blue, Black	
	初期値	0.0	0.0	100.0	White	

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー [F1]で選択		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
			[F2]で選択	[F3]で選択	[F4]で選択	[F5]で選択
DSK1	Mask	パラメーター	Mask	Invert		
		設定範囲	Off, Manual, 4:3	On, Off		
		初期値	Off	Off		
	Mask Adjust	パラメーター	Left	Top	Bottom	Right
		設定範囲	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00
		初期値	- 25.00	25.00	- 25.00	25.00
	PinP	パラメーター	PinP	Full Key	Shape	Density
		設定範囲	On, Off	On, Off	Square, Circle, Heart, Flower, Star	0.0 ~ 100.0
		初期値	Off	On	Square	100.0
	PinP Border	パラメーター	Border	Width	Soft	Mode
		設定範囲	Off, On	0.1 ~ 100.0	0.0 ~ 100.0	Fix, Variable
		初期値	Off	5.0	0.0	Fix
	PinP Border Color	パラメーター	Hue	Sat	Lum	Load
		設定範囲	0.0 ~ 359.9	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0	White, Yellow, Cyan, Green, Magenta, Red, Blue, Black
		初期値	0.0	0.0	100.0	White
	PinP Position	パラメーター	X-Pos	Y-Pos	Size	
		設定範囲	- 100.0 ~ 100.0	- 100.0 ~ 100.0	0.0 ~ 100.0	
		初期値	0.00	0.00	25.0	
	PinP Trim	パラメーター	Trim	Pair	Preset	
		設定範囲	Off, On (Square 以外に設定したときは無効)	Off, On	16:9, 12:9, 9:9, 7:9, 6:9, Manual	
		初期値	Off	Off	16:9	
	PinP Trim Adjust	パラメーター	Left	Top	Bottom	Right
		設定範囲	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00
		初期値	- 50.00	50.00	- 50.00	50.00
PinP Sync	パラメーター	Symmetry			Copy To Key2	
	設定範囲	Off, X, Y, Center, Same			Execute	
	初期値	Off				
DSK Signal Coupling	パラメーター	Independent				
	設定範囲	On, Off				
	初期値	Off				
DSK Priority	パラメーター	DSK1	DSK2			
	設定範囲	1st, 2nd	1st, 2nd			
	初期値	2nd	1st			
DSK On	パラメーター	DSK1				
	設定範囲	On, Off				
	初期値	Off				

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
DSK2	DSK	パラメーター	Type	Lum Key	Fill	PVW
		設定範囲	Lum, Linear, Full	Chroma On, Chroma Off	Bus, Matte	Off, On
		初期値	Linear	Chroma Off	Bus	Off
	Adjust	パラメーター	Clip	Gain	Density	Invert
		設定範囲	0.0 ~ 108.0	0.0 ~ 200.0	0.0 ~ 100.0	On, Off
		初期値	0.0	100.0	100.0	Off
	Fill Matte	パラメーター	Hue	Sat	Lum	Load
		設定範囲	0.0 ~ 359.9	0.0 ~ 100.0	0.0 ~ 108.0	White, Yellow, Cyan, Green, Magenta, Red, Blue, Black
		初期値	0.0	0.0	100.0	White
	Mask	パラメーター	Mask	Invert		
		設定範囲	Off, Manual, 4:3	On, Off		
		初期値	Off	Off		
	Mask Adjust	パラメーター	Left	Top	Bottom	Right
		設定範囲	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00	- 50.00 ~ 50.00
		初期値	- 25.00	25.00	- 25.00	25.00
	DSK Priority	パラメーター	DSK1	DSK2		
		設定範囲	1st, 2nd	1st, 2nd		
		初期値	2nd	1st		
	DSK Signal Coupling	パラメーター	Independent			
		設定範囲	On, Off			
	初期値	Off				
DSK On	パラメーター	DSK2				
	設定範囲	On, Off				
	初期値	Off				

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー [F1] で選択		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
			[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Time	BKGD	パラメーター	TransTime	WaitTime	Wait	
		設定範囲	0 ~ 999 ※ (Frame)	0 ~ 999 ※ (Frame)	Off, On	
		初期値	1s00f	0s00f	Off	
	Key1	パラメーター	TransTime			
		設定範囲	0 ~ 999 ※ (Frame)			
		初期値	1s00f			
	Key2	パラメーター	TransTime			
		設定範囲	0 ~ 999 ※ (Frame)			
		初期値	1s00f			
	Key3	パラメーター	TransTime			
		設定範囲	0 ~ 999 ※ (Frame)			
		初期値	1s00f			
	DSK1	パラメーター	TransTime			
		設定範囲	0 ~ 999 ※ (Frame)			
		初期値	1s00f			
	DSK2	パラメーター	TransTime			
		設定範囲	0 ~ 999 ※ (Frame)			
		初期値	1s00f			
	AUX1 BUS Trans	パラメーター	TransTime	Transition		
		設定範囲	0 ~ 999 ※ (Frame)	On, Off		
		初期値	1s00f	Off		
	AUX2 BUS Trans	パラメーター	TransTime	Transition		
		設定範囲	0 ~ 999 ※ (Frame)	On, Off		
		初期値	1s00f	Off		
Effect Dissolve	パラメーター	TransTime				
	設定範囲	0 ~ 999 ※ (Frame)				
	初期値	1s00f				
FTB	パラメーター	TransTime				
	設定範囲	0 ~ 999 ※ (Frame)				
	初期値	1s00f				

※ : Frame 数で表記されているものは、実際には Format に対応する時間が表示されます。

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー	パラメーター	パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Camera	Camera Information	パラメーター	Input Selection	Name	Model	Status
		設定範囲	※ 1	※ 2	カメラのモデル名 カメラ非接続時は「-」を表示	※ 3
		初期値	IN1	-	-	No IP Address
	Camera Control	パラメーター	Power	All Power On	All Standby	Z-Dial Usage
		設定範囲	Standby, On	Execute	Execute	P-T Sp. & Zoom, P-T Speed Only
		初期値	不定 (カメラ側で保持)			P-T Sp. & Zoom
	Control Speed	パラメーター	Pan & Tilt	Zoom	Focus	Iris
		設定範囲	1 ~ 32	1 ~ 32	1 ~ 32	1 ~ 32
		初期値	16	16	16	16
	OSD Menu & Color Bars	パラメーター	OSD Menu	Menu Operation	Color Bars	
		設定範囲	On, Off	(Turn or Push)	On, Off	
		初期値	不定 (カメラ側で保持)		不定 (カメラ側で保持)	
	Lens Control	パラメーター	Auto Focus	Auto Iris		
		設定範囲	On, Off	On, Off		
		初期値	不定 (カメラ側で保持)	不定 (カメラ側で保持)		
	AWB	パラメーター	AWB	Last AWB Result	AWB Mode	
	設定範囲	Execute	- , Successful, Failed	ATW, AWB A, AWB B, 3200K, 5600K, VAR		
	初期値		-	不定 (カメラ側で保持)		
<p>※ 1: IN1, IN2, SDI IN3, SDI IN4, SDI IN5, SDI IN6, SDI IN7, SDI IN8, HDMI IN1, HDMI IN2, SlotA HDMI IN 基板挿入時: IN-A1, IN-A2, IN-A3, IN-A4 (ROI モード時のみ有効) SlotA SDI IN 基板挿入時: IN-A1, IN-A2, IN-A3, IN-A4 SlotB HDMI IN 基板挿入時: IN-B1, IN-B2, IN-B3, IN-B4 (ROI モード時のみ有効) SlotB SDI IN 基板挿入時: IN-B1, IN-B2, IN-B3, IN-B4</p> <p>※ 2: カメラに登録された名前。 カメラ非接続時は「-」、カメラ名称がスペース 1 個の場合は「(Standby Mode)」を表示</p> <p>※ 3: No IP Address, Now Checking..., Connected, Unauthorized, Not Connected, Please Wait..., Pan & Tilt Alarm, Fan Alarm, Other Alarm</p>						

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4	
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択	
Camera	ABB	パラメーター	ABB	Last ABB Result			
		設定範囲	Execute	- , Successful, Failed			
		初期値		-			
	Gain1	パラメーター	Gain	R Gain	B Gain		
		設定範囲	※ 1	※ 2			
		初期値	不定 (カメラ側で保持)	不定 (カメラ側で保持)	不定 (カメラ側で保持)		
	Gain2	パラメーター	AGC Max Gain	Super Gain			
		設定範囲	※ 4	ON, OFF			
		初期値	不定 (カメラ側で保持)	不定 (カメラ側で保持)			
	Pedestal	パラメーター	M Ped.	R Ped.	G Ped.	B Ped.	
		設定範囲	※ 3	- 100 ~ 100	- 100 ~ 100	- 100 ~ 100	
		初期値	不定 (カメラ側で保持)	不定 (カメラ側で保持)	不定 (カメラ側で保持)	不定 (カメラ側で保持)	
	Preset Settings	パラメーター	Preset Scope	Speed	Preset Sp. Unit	Preset Sp. Table	
		設定範囲	Mode A, Mode B, Mode C	※ 5	Speed Table, Time	Slow, Fast	
		初期値	不定 (カメラ側で保持)	不定 (カメラ側で保持)	不定 (カメラ側で保持)	不定 (カメラ側で保持)	
	Lock	パラメーター	Pan & Tilt Lock	Zoom Lock	Focus Lock	Iris Lock	
		設定範囲	On, Off	On, Off	On, Off	On, Off	
		初期値	Off	Off	Off	Off	
	<p>※ 1: AW-UE150 : -3 ~ 42 dB, AGC (Super Gain: ON), -3 ~ 36 dB, AGC (Super Gain: OFF) AW-UE100/AW-HR140 : 0 ~ 42 dB, AGC (Super Gain: ON), 0 ~ 36 dB, AGC (Super Gain: OFF) AW-HE130/AW-HN130 : 0 ~ 36 dB, AGC AW-UE70/AW-UN70/AW-HE70/AW-HN70/AW-HE75 : 0, 3, ..., 48 dB (3 dB 刻み) , AGC</p> <p>※ 2: AW-UE100/AW-UE150 : -200 ~ 200 AW-HR140/AW-HE130/AW-HN130 : -150 ~ 150 AW-UE70/AW-UN70/AW-HE70/AW-HN70/AW-HE75 : -30 ~ 30</p> <p>※ 3: AW-UE100/AW-UE150: -200 ~ 200 AW-HR140/AW-HE130/AW-HN130: -150 ~ 150 AW-UE70/AW-UN70/AW-HE70/AW-HN70/AW-HE75: -10 ~ 10</p> <p>※ 4: AW-UE100/AW-UE150/AW-HR140/AW-HE130/AW-HN130: 6 dB, 12 dB, 18 dB AW-UE70/AW-UN70/AW-HE70/AW-HN70/AW-HE75: 6 dB, 12 dB, 18 dB, 24 dB, 30 dB, 36 dB, 42 dB, 48 dB</p> <p>※ 5: AW-UE100/AW-UE150 : 1 ~ 30 (Preset Sp.Unit: Speed Table) 1 ~ 99 (Preset Sp.Unit: Time) AW-UE100/AW-UE150 以外 : 1 ~ 30</p> <p>※ 1 ~ ※ 5 のパラメーター設定範囲の詳細については、対応カメラの取扱説明書をご確認ください。 対応カメラは、140 ページを参照してください。</p> <p>上記は、2020 年 10 月現在の情報です。</p>						

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4	
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択	
Project File	Last Load File	パラメーター	Media	File Name			
		設定範囲 初期値	表示のみ	表示のみ			
	Last Load Date	パラメーター		Date			
		設定範囲 初期値		表示のみ			
	Project File	パラメーター	Load	Save	Delete	Rename	
		設定範囲 初期値	Execute	Execute	Execute	Execute	
	Local	パラメーター	Load	Save			
		設定範囲 初期値	Execute	Execute			
	Target Select1	パラメーター	Setup	Shot	Event	Macro	
		設定範囲 初期値	On, Off On	On, Off On	On, Off On	On, Off On	
	Target Select2	パラメーター	Still	Still Playlist	Clip		
		設定範囲 初期値	On, Off Off	On, Off Off	On, Off Off		
	SD Card	Card Management	パラメーター	Mount	Unmount		Format
			設定範囲 初期値	Execute	Execute		Execute
Mode		パラメーター	Load	Delete	Rename	Sort	
		設定範囲 初期値	Execute	Execute	Execute	Newest, Oldest, Name Name	
File		パラメーター	Save	Save Type	Format		
		設定範囲 初期値	Execute	Still1, Still2, Clip1, Clip2, Project, Log Project	bmp, tga, png, jpeg, tif, gif png		
Target Select1		パラメーター	Setup	Shot	Event	Macro	
		設定範囲 初期値	On, Off On	On, Off On	On, Off On	On, Off On	
Target Select2		パラメーター	Still	Clip			
		設定範囲 初期値	On, Off Off	On, Off Off			
Create Thumbnail		パラメーター	Still	Clip			
		設定範囲 初期値	Execute	Execute			
Card Information		パラメーター	Free	Total			
		設定範囲 初期値					

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー [F1]で選択		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
			[F2]で選択	[F3]で選択	[F4]で選択	[F5]で選択
Video Memory Still1, Still2の場合	Video Memory1	パラメーター	Select	Rec	Key	
		設定範囲	Still1, Still2, Clip1, Clip2	Execute	On, Off	
		初期値	Still1			
	Rec1	パラメーター	VMEM Video	VMEM Key		
		設定範囲	AUX1 ~ 4	AUX1 ~ 4		
		初期値	AUX1	AUX1		
	Rec2	パラメーター	Preview	Key Enable	Review	
		設定範囲	On, Off	On, Off	On, Off	
		初期値	Off	On	On	
	Memory	パラメーター	Mode	Select		Save
		設定範囲	Auto, Manual	Still1, Still2, Clip1, Clip2, All		Execute
		初期値	Auto	All		
	Play Mode	パラメーター	Freeze			
		設定範囲	Frame, Field			
	初期値	Frame				
Test Pattern	パラメーター	Load				
	設定範囲	Execute				
	初期値					

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Video Memory Clip1, Clip2 の場合	Video Memory1	パラメーター	Select	Rec	Play	Stop
		設定範囲 初期値	Still1, Still2, Clip1, Clip2 Still1	Execute	Execute	Execute
	Video Memory2	パラメーター	LEAD	LAST		
		設定範囲 初期値	Execute	Execute		
	Video Memory3	パラメーター	Total Time	Current Time	Key	
		設定範囲 初期値	フォーマットごとに設定範囲が異なります。		On, Off	
	Rec1	パラメーター	VMEM Video	VMEM Key		
		設定範囲 初期値	AUX1 ~ 4 AUX1	AUX1 ~ 4 AUX1		
	Rec2	パラメーター	Preview	Key Enable	Review	
		設定範囲 初期値	On, Off Off	On, Off On	On, Off On	
	Rec3	パラメーター	Loop	Quality	Audio	
		設定範囲 初期値	On, Off Off	High, Standard Standard	On, Off Off	
	Limit Time	パラメーター	Mode			
		設定範囲 初期値	1f ~ 2m00s00f (59.94i 時) 5s00f			
	Play Mode1	パラメーター	Mode	Reverse	Variable	Freeze
		設定範囲 初期値	Lead, Last, Loop Last	On, Off Off	x1, x2, x4, x8, x1/2, x1/4, x1/8 x1	Frame, Field Frame
	Play Mode2	パラメーター	Trans Sync		Audio	
		設定範囲 初期値	Off, Auto, KEY1 ON, KEY2 ON, KEY3 ON, DSK1 ON, DSK2 ON, FTB ON, Fader Off		On, Off On	
	Memory	パラメーター	Mode	Select		Save
		設定範囲 初期値	Auto, Manual Auto	Still1, Still2, Clip1, Clip2, All All		Execute

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Macro	Store Select1	パラメーター	ME	DSK	AUX	
		設定範囲	On, Off	On, Off	On, Off	
		初期値	On	On	On	
	Store Select2	パラメーター	MENU	XPT	OTHER	
		設定範囲	On, Off	On, Off	On, Off	
		初期値	On	On	On	
	Insert Delay	パラメーター	Time	Set		
		設定範囲	0 ~ 600 ※ (Frame)	Execute		
		初期値	1s00f			
	Macro Assign 1/6	パラメーター	XPT1	XPT2	XPT3	XPT4
		設定範囲	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign
		初期値	No Assign	No Assign	No Assign	No Assign
	Macro Assign 2/6	パラメーター	XPT5	XPT6	XPT7	XPT8
		設定範囲	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign
		初期値	No Assign	No Assign	No Assign	No Assign
	Macro Assign 3/6	パラメーター	XPT9	XPT10	XPT11	XPT12
		設定範囲	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign
		初期値	No Assign	No Assign	No Assign	No Assign
	Macro Assign 4/6	パラメーター	XPT13	XPT14	XPT15	XPT16
		設定範囲	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign
		初期値	No Assign	No Assign	No Assign	No Assign
	Macro Assign 5/6	パラメーター	XPT17	XPT18	XPT19	XPT20
		設定範囲	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign
		初期値	No Assign	No Assign	No Assign	No Assign
Macro Assign 6/6	パラメーター	XPT21	XPT22	XPT23	XPT24	
	設定範囲	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	Macro001 ~ Macro100, PlayCancel, No Assign	
	初期値	No Assign	No Assign	No Assign	No Assign	

※ : Frame 数で表記されているものは、実際には Format に対応する時間が表示されます。

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー [F1]で選択		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
			[F2]で選択	[F3]で選択	[F4]で選択	[F5]で選択
Macro	Register	パラメーター	Page	No.	Rename	
		設定範囲	1 ~ 10	1 ~ 10	Execute	
		初期値	1	1		
	Attach	パラメーター	Enable	Attach Setting		
	設定範囲	Off, On	Execute			
	初期値	Off				
Shot Memory	Target Select1	パラメーター	ME	DSK	AUX	
		設定範囲	On, Off	On, Off	On, Off	
		初期値	On	On	On	
	Target Select2	パラメーター	CBGD			
		設定範囲	On, Off			
		初期値	On			
	Register	パラメーター	Page	No.	Rename (↓)	
		設定範囲	1 ~ 10	1 ~ 10	Execute	
		初期値	1	1		
	Path	パラメーター	Effect	Hue Path		
	設定範囲	Cut, Dissolve	Short, Long, CW, CCW			
	初期値	Dissolve	Short			
Event Memory	Mark	パラメーター	PAUSE	CLIP	GPI-Out	
		設定範囲	On, Off	Off, Clip1, Clip2	Off, GPI-O1 ~ GPI-O19	
		初期値	Off	Off	Off	
	Event Duration	パラメーター	(Time)	Set		
		設定範囲	0 ~ 215999 ※ (Frame)	Execute		
		初期値	1s00f			
	Total Duration	パラメーター	(Time)	Set		
		設定範囲	0 ~ 215999 ※ (Frame)	Execute		
		初期値	1s00f			
	Timeline	パラメーター	View			
		設定範囲	Normal, Wide			
		初期値	Wide			
	Play	パラメーター	Loop	Play Mode		
		設定範囲	Once, Loop	Normal, Reverse		
		初期値	Once	Normal		
	Target Select1	パラメーター	ME	DSK	AUX	
		設定範囲	On, Off	On, Off	On, Off	
		初期値	On	On	On	
	Target Select2	パラメーター	CBGD	CLIP		
		設定範囲	On, Off	On, Off		
	初期値	On	On			
Register	パラメーター	Page	No.	Rename (↓)		
	設定範囲	1 ~ 10	1 ~ 10	Execute		
	初期値	1	1			
Path	パラメーター	Trans Path	Hue Path			
	設定範囲	Linear, Spline, Step	Short, Long, CW, CCW, Step			
	初期値	Linear	CW			

※ : Frame 数で表記されているものは、実際には Format に対応する時間が表示されます。

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー [F1]で選択		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
			[F2]で選択	[F3]で選択	[F4]で選択	[F5]で選択
XPT	XPT Assign 1/6	パラメーター	XPT1 Signal	XPT2 Signal	XPT3 Signal	XPT4 Signal
		設定範囲	IN1、IN2、SDI IN3 ~ 8, IN-A1, IN-A2, IN-A3, IN-A4, IN-B1, IN-B2, IN-B3, IN-B4, Black, CBGD 1, CBGD 2, CBAR, Still 1V, Still 1K, Still 2V, Still 2K, Clip 1V, Clip 1K, Clip2 V, Clip 2K, CLN, Key Out, None			
		初期値	IN1	IN2	SDI IN3	SDI IN4
	XPT Assign 2/6	パラメーター	XPT5 Signal	XPT6 Signal	XPT7 Signal	XPT8 Signal
		設定範囲	設定範囲は、XPT Assign 1/6 サブメニューと同じです。			
		初期値	SDI IN5	SDI IN6	SDI IN7	SDI IN8
	XPT Assign 3/6	パラメーター	XPT9 Signal	XPT10 Signal	XPT11 Signal	XPT12 Signal
		設定範囲	設定範囲は、XPT Assign 1/6 サブメニューと同じです。			
		初期値	CBAR	CBGD 1	CBGD 2	None
	XPT Assign 4/6	パラメーター	XPT13 Signal	XPT14 Signal	XPT15 Signal	XPT16 Signal
		設定範囲	設定範囲は、XPT Assign 1/6 サブメニューと同じです。			
		初期値	None	None	None	None
	XPT Assign 5/6	パラメーター	XPT17 Signal	XPT18 Signal	XPT19 Signal	XPT20 Signal
		設定範囲	設定範囲は、XPT Assign 1/6 サブメニューと同じです。			
		初期値	None	None	None	None
	XPT Assign 6/6	パラメーター	XPT21 Signal	XPT22 Signal	XPT23 Signal	XPT24 Signal
	設定範囲	設定範囲は、XPT Assign 1/6 サブメニューと同じです。				
	初期値	None	None	None	None	
XPT Setting	パラメーター	Shift	Shift-Lock			
	設定範囲	Off, Right, Left	On, Off			
	初期値	Right	Off			
XPT Switch	パラメーター	Timing				
	設定範囲	Any, Field1, Field2				
	初期値	Any				
Multi View Display	MV	パラメーター	Select			
		設定範囲	MV1, MV2			
		初期値	MV1			

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー [F1]で選択		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
			[F2]で選択	[F3]で選択	[F4]で選択	[F5]で選択
Multi View Display MV1 の場合	MV Split	パラメーター	Split	Size		
		設定範囲	4Split, 5-aSplit, 5-bSplit, 6-aSplit, 6-bSplit, 9Split, 10-aSplit, 10-bSplit, 12Split, 16Split	Fit, SQ		
		初期値	10-aSplit	SQ		
	MV Pattern 1/4	パラメーター	Pos1 Signal	Pos2 Signal	Pos3 Signal	Pos4 Signal
		設定範囲	IN1, IN2, SDI IN3, SDI IN4, SDI IN5, SDI IN6, SDI IN7, SDI IN8, IN-A1, IN-A2, IN-A3, IN-A4, IN-B1, IN-B2, IN-B3, IN-B4, Black, CBGD 1, CBGD 2, CBAR, Still 1V, Still 1K, Still 2V, Still 2K, Clip 1V, Clip 1K, Clip 2V, Clip 2K, PGM, PVW, CLN, ME PGM, Key Out, MV1, MV2, AUX1, AUX2, AUX3, AUX4, Clock			
		初期値	PGM	PVW	IN1	IN2
	MV Pattern 2/4	パラメーター	Pos5 Signal	Pos6 Signal	Pos7 Signal	Pos8 Signal
		設定範囲	設定範囲は、MV Pattern 1/4 サブメニューと同じです。			
		初期値	SDI IN3	SDI IN4	SDI IN5	SDI IN6
	MV Pattern 3/4	パラメーター	Pos9 Signal	Pos10 Signal	Pos11 Signal	Pos12 Signal
		設定範囲	設定範囲は、MV Pattern 1/4 サブメニューと同じです。			
		初期値	SDI IN7	SDI IN8	Still 1V	Still 2V
	MV Pattern 4/4	パラメーター	Pos13 Signal	Pos14 Signal	Pos15 Signal	Pos16 Signal
		設定範囲	設定範囲は、MV Pattern 1/4 サブメニューと同じです。			
		初期値	Clip 1V	Clip 2V	AUX1	AUX2
	MV Frame	パラメーター	Frame	Character	Label	
		設定範囲	LUM0%, LUM25%, LUM50%, LUM75%, LUM100%, Off		On, Off	
		初期値	LUM75%		On	
	Tally Group1	パラメーター	Box	Label Left	Label Right	
		設定範囲	On, Off	On, Off	On, Off	
	初期値	Off	Off	Off		
Tally Group2	パラメーター	Box	Label Left	Label Right		
	設定範囲	On, Off	On, Off	On, Off		
	初期値	Off	Off	Off		
Display	パラメーター	Level Meter	Input Status	Marker	Marker Size	
	設定範囲	OFF, IN ON, OUT ON, IN/OUT ON	On, Off	4:3, 16:9, Off	80 ~ 100%	
	初期値	OFF	On	Off	95%	

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Multi View Display MV2 の場合	MV Split	パラメーター	Split	Size		
		設定範囲	4Split, 5-aSplit, 5-bSplit, 6-aSplit, 6-bSplit, 9Split, 10-aSplit, 10-bSplit, 12Split, 16Split	Fit, SQ		
		初期値	10-aSplit	SQ		
	MV Pattern 1/4	パラメーター	Pos1 Signal	Pos2 Signal	Pos3 Signal	Pos4 Signal
		設定範囲	IN1, IN2, SDI IN3, SDI IN4, SDI IN5, SDI IN6, SDI IN7, SDI IN8, IN-A1, IN-A2, IN-A3, IN-A4, IN-B1, IN-B2, IN-B3, IN-B4, Black, CBGD 1, CBGD 2, CBAR, Still 1V, Still 1K, Still 2V, Still 2K, Clip 1V, Clip 1K, Clip 2V, Clip 2K, PGM, PVW, CLN, ME PGM, Key Out, MV1, MV2, AUX1, AUX2, AUX3, AUX4, Clock			
		初期値	IN1	IN2	CBGD 1	CBGD 2
	MV Pattern 2/4	パラメーター	Pos5 Signal	Pos6 Signal	Pos7 Signal	Pos8 Signal
		設定範囲	設定範囲は、MV Pattern 1/4 サブメニューと同じです。			
		初期値	CBAR	Black	Still 1K	Clip 1K
	MV Pattern 3/4	パラメーター	Pos9 Signal	Pos10 Signal	Pos11 Signal	Pos12 Signal
		設定範囲	設定範囲は、MV Pattern 1/4 サブメニューと同じです。			
		初期値	CLN	ME PGM	Key Out	AUX1
	MV Pattern 4/4	パラメーター	Pos13 Signal	Pos14 Signal	Pos15 Signal	Pos16 Signal
		設定範囲	設定範囲は、MV Pattern 1/4 サブメニューと同じです。			
		初期値	AUX2	AUX3	AUX4	Clock
	MV Frame	パラメーター	Frame	Character	Label	
		設定範囲	LUM0%, LUM25%, LUM50%, LUM75%, LUM100%, Off	On, Off		
		初期値	LUM75%	On		
	Tally Group1	パラメーター	Box	Label Left	Label Right	
		設定範囲	On, Off	On, Off	On, Off	
	初期値	Off	Off	Off		
Tally Group2	パラメーター	Box	Label Left	Label Right		
	設定範囲	On, Off	On, Off	On, Off		
	初期値	Off	Off	Off		
Display	パラメーター	Level Meter	Input Status	Marker	Marker Size	
	設定範囲	OFF, IN ON, OUT ON, IN/OUT ON	On, Off	4:3, 16:9, Off	80 ~ 100%	
	初期値	OFF	On	Off	95%	

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー [F1]で選択	パラメーター 1 [F2]で選択	パラメーター 2 [F3]で選択	パラメーター 3 [F4]で選択	パラメーター 4 [F5]で選択	
Input	Input	パラメーター 設定範囲	Select IN1, IN2, SDI IN3, SDI IN4, SDI IN5, SDI IN6, SDI IN7, SDI IN8, IN-A1, IN-A2, IN-A3, IN-A4, IN-B1, IN-B2, IN- B3, IN-B4 *		Color Space HDR BT.2020,HDR BT.709, SDR BT.709	SDI/HDMI SDI IN, HDMI IN
		初期値	IN1		SDR BT.709	SDI IN
※： IN-A1 ～ IN-A4、 IN-B1 ～ IN-B4 はオプションユニットの有無によって変化します。 AV-UHS5M2/AV-UHS5M4/AV-UHS5M5 接続時にはすべて無効、 IN-A4/IN-B4 は AV-UHS5M3 接続時 には無効となります。						

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー	パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4	
	[F1] で選択					[F2] で選択
Input (SDI) / X(***) ● X 部分には、IN1, IN2, SDI IN3 ~ 8, IN-A1 ~ 4, IN-B1 ~ 4 を表示します。 ● *** の部分には素材名を表示します。(32文字まで)	Status	パラメーター	Format	Audio	Color Space	
		設定範囲				
		初期値				
	FS	パラメーター	Mode	Delay		
		設定範囲	Off, Normal, Auto	0F ~ 8F		
		初期値	Auto	0F		
	Freeze	パラメーター	Select	Freeze		
		設定範囲	Frame, Field	On, Off		
		初期値	Frame	Off		
	Name	パラメーター	Type	Name		
		設定範囲	Default, User			
		初期値	Default			
	Up/Down Converter	パラメーター	Move Detect	Sharp		
		設定範囲	1 ~ 5	1 ~ 5		
		初期値	5	3		
	ROI	パラメーター	Pos-X	Pos-Y	Size	Pos-Speed
		設定範囲	- 45.00 ~ 45.00	- 45.00 ~ 45.00	10.00 ~ 100.00	1 ~ 100
		初期値	0.00	0.00	100.0	50
	ROI Preset	パラメーター	TransTime			
		設定範囲	00s00f ~ 16s39f			
		初期値	01s00f			
	C/C Operation	パラメーター	C/C	Limit		
		設定範囲	On, Off	Off, 108, 104, 100		
		初期値	Off	Off		
	C/C Process	パラメーター	Y-Gain	Pedestal	C-Gain	Hue
		設定範囲	0.0 ~ 200.0	- 20.0 ~ 20.0	0.0 ~ 200.0	0.0 ~ 359.9
		初期値	100.0	0.0	100.0	0.0
	C/C Tone1 Black	パラメーター	Red	Green	Blue	RGB Link
		設定範囲	- 10.0 ~ 108.0	- 10.0 ~ 108.0	- 10.0 ~ 108.0	On, Off
		初期値	0.0	0.0	0.0	Off
	C/C Tone2 Gray L	パラメーター	Red	Green	Blue	
		設定範囲	- 10.0 ~ 108.0	- 10.0 ~ 108.0	- 10.0 ~ 108.0	
	初期値	33.3	33.3	33.3		
C/C Tone3 Gray H	パラメーター	Red	Green	Blue		
	設定範囲	- 10.0 ~ 108.0	- 10.0 ~ 108.0	- 10.0 ~ 108.0		
	初期値	66.6	66.6	66.6		
C/C Tone4 White	パラメーター	Red	Green	Blue		
	設定範囲	- 10.0 ~ 108.0	- 10.0 ~ 108.0	- 10.0 ~ 108.0		
	初期値	100.0	100.0	100.0		
● カラーコレクター関連のサブメニュー (C/C から始まるもの) は、Select 項目で SDI IN5 ~ SDI IN8, IN-A1 ~ IN-A4, IN-B1 ~ IN-B4 のいずれかを選択しているときに表示されます。						

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Input (SDI) / X(***) <ul style="list-style-type: none"> ● X 部分には、IN1, IN2, SDI IN3 ~ 8, IN-A1 ~ 4, IN-B1 ~ 4 を表示します。 ● *** の部分には素材名を表示します。(32文字まで) 	C/C Matrix R/G	パラメーター	R-G	R-B	G-R	G-B
		設定範囲	-0.60 ~ 0.60	-0.60 ~ 0.60	-0.60 ~ 0.60	-0.60 ~ 0.60
		初期値	0.00	0.00	0.00	0.00
	C/C Matrix B	パラメーター	B-R	B-G		
		設定範囲	-0.60 ~ 0.60	-0.60 ~ 0.60		
		初期値	0.00	0.00		
	C/C Setting	パラメーター	Init Target	Initialize	Copy Target	Copy From
		設定範囲	Process, Tone, RGB Matrix, All	Execute	SDI IN5, SDI IN6, SDI IN7, SDI IN8, IN-A1, IN-A2, IN-A3, IN-A4, IN-B1, IN-B2, IN-B3, IN-B4	Execute
		初期値	All	-	SDI IN5	-
	Input (HDMI) / X(***) <ul style="list-style-type: none"> ● X 部分には、IN1, IN2, IN-A1 ~ 4, IN-B1 ~ 4 を表示します。 ● *** の部分には素材名を表示します。(10文字まで) 	Freeze	パラメーター	Select	Freeze	
		設定範囲	Frame, Field	On, Off		
		初期値	Frame	Off		
Limited		パラメーター	Limited			
		設定範囲	On, Off			
		初期値	Off			
Name		パラメーター	Type	Name		
		設定範囲	Default, User			
		初期値	Default			
HDMI Input		パラメーター	Scale			
		設定範囲	Fit-V, Fit-H, Full			
		初期値	Full			
HDMI Status		パラメーター	Size	Dot Clock	H-Frequency	V-Frequency
		設定範囲	-			
		初期値	****x****	***.MHz	**.kHz	**.Hz
ROI		パラメーター	Pos-X	Pos-Y	Size	Pos-Speed
		設定範囲	-45.00 ~ 45.00	-45.00 ~ 45.00	10.00 ~ 100.00	1 ~ 100
		初期値	0.00	0.00	100.0	50
ROI Preset		パラメーター	TransTime			
		設定範囲	00s00f ~ 16s39f			
	初期値	01s00f				
C/C Operation	パラメーター	C/C	Limit			
	設定範囲	On, Off	Off, 108, 104, 100			
	初期値	Off	Off			
C/C Process	パラメーター	Y-Gain	Pedestal	C-Gain	Hue	
	設定範囲	0.0 ~ 200.0	-20.0 ~ 20.0	0.0 ~ 200.0	0.0 ~ 359.9	
	初期値	100.0	0.0	100.0	0.0	
C/C Tone1 Black	パラメーター	Red	Green	Blue	RGB Link	
	設定範囲	-10.0 ~ 108.0	-10.0 ~ 108.0	-10.0 ~ 108.0	On, Off	
	初期値	0.0	0.0	0.0	Off	
<ul style="list-style-type: none"> ● カラーコレクター関連のサブメニュー (C/C から始まるもの) は、Select 項目で SDI IN5 ~ SDI IN8, IN-A1 ~ IN-A4, IN-B1 ~ IN-B4 のいずれかを選択しているときに表示されます。 						

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー [F1] で選択		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
			[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Input (HDMI) / X(***) ● X 部分には、IN1, IN2, IN-A1 ~ 4, IN-B1 ~ 4 を表示します。 ● *** の部分には素材名を表示します。(10文字まで)	C/C Tone2 Gray L	パラメーター	Red	Green	Blue	
		設定範囲	- 10.0 ~ 108.0	- 10.0 ~ 108.0	- 10.0 ~ 108.0	
		初期値	33.3	33.3	33.3	
	C/C Tone3 Gray H	パラメーター	Red	Green	Blue	
		設定範囲	- 10.0 ~ 108.0	- 10.0 ~ 108.0	- 10.0 ~ 108.0	
		初期値	66.6	66.6	66.6	
	C/C Tone4 White	パラメーター	Red	Green	Blue	
		設定範囲	- 10.0 ~ 108.0	- 10.0 ~ 108.0	- 10.0 ~ 108.0	
		初期値	100.0	100.0	100.0	
	C/C Matrix R/G	パラメーター	R-G	R-B	G-R	G-B
		設定範囲	- 0.60 ~ 0.60	- 0.60 ~ 0.60	- 0.60 ~ 0.60	- 0.60 ~ 0.60
		初期値	0.00	0.00	0.00	0.00
C/C Matrix B	パラメーター	B-R	B-G			
	設定範囲	- 0.60 ~ 0.60	- 0.60 ~ 0.60			
	初期値	0.00	0.00			
C/C Setting	パラメーター	Init Target	Initialize	Copy Target	Copy From	
	設定範囲	Process, Tone, RGB Matrix, All	Execute	SDI IN5, SDI IN6, SDI IN7, SDI IN8, IN-A1, IN-A2, IN-A3, IN-A4, IN-B1, IN-B2, IN-B3, IN-B4	Execute	
	初期値	All	-	SDI IN5	-	
Input	Camera Settings1	パラメーター	IP Address	Port	Edit IP Address	Scan IP Address
		設定範囲	Need Edit/Scan Now Scanning... Not Detected Select From List	1 ~ 65535	Execute	Execute
		初期値	Need Edit/Scan	80		-
	Camera Settings2	パラメーター	Edit User Name	Edit Password	Name	Network Status
		設定範囲	Execute	Execute	カメラに登録された名前	No IP Address, Now Checking..., Connected, Unauthorized, Not Connected
		初期値			-	No IP Address
	Camera Settings3	パラメーター	Pan Direction	Tilt Direction		Tally (Group1)
		設定範囲	Normal, Reverse	Normal, Reverse		Disable, Enable
		初期値	Normal	Normal		Enable
	Camera Settings4	パラメーター	Zoom Direction	Focus Direction	Iris Direction	
	設定範囲	Normal, Reverse	Normal, Reverse	Normal, Reverse		
	初期値	Normal	Normal	Normal		
● カラーコレクター関連のサブメニュー (C/C から始まるもの) は、Select 項目で SDI IN5 ~ SDI IN8, IN-A1 ~ IN-A4, IN-B1 ~ IN-B4 のいずれかを選択しているときに表示されます。						

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー [F1] で選択		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
			[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Output	Output	パラメーター 設定範囲	Select	Mode	Color Space	
		初期値	SDI OUT1, SDI OUT2, SDI OUT3, SDI OUT4, SDI OUT5, HDMI OUT1, HDMI OUT2, OUT-A1, OUT-A2, OUT-A3, OUT-A4, OUT-B1, OUT-B2, OUT-B3, OUT-B4 ※	Normal, 1080p, 1080i, 720p	HDR BT.2020, HDR BT.709, SDR BT.709	
※ : OUT-A1 ~ OUT-A4、OUT-B1 ~ OUT-B4 はオプションユニットの有無によって変化します。 AV-UHS5M1/AV-UHS5M3/AV-UHS5M5 接続時にはすべて無効、OUT-A4/OUT-B4 は AV-UHS5M4 接続時には無効となります。						
Output (SDI) / Y ● Y 部分には、SDI OUT1 ~ 5、 OUT-A1 ~ 4、 OUT-B1 ~ 4 を表 示します。	Assign	パラメーター 設定範囲	Source			
		初期値	PGM, PVW, CLN, ME PGM, AUX1, AUX2, AUX3, AUX4, MV1, MV2, Key Out	Normal		
	Down Converter	パラメーター	Delay	Sharp		
		設定範囲	Minimum, 1F Fix	1 ~ 5		
		初期値	Minimum	3		

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー	パラメーター	パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Output (HDMI) / Y ● Y 部分には、 HDMI OUT1、2、 OUT-A1 ~ 3、 OUT-B1 ~ 3 を表 示します。	Assign	パラメーター	Source			
		設定範囲	PGM, PVW, CLN, ME PGM, AUX1, AUX2, AUX3, AUX4, MV1, MV2, Key Out			
		初期値	MV1(HDMI OUT1), MV2(HDMI OUT2), AUX1(OUT-A1), AUX2(OUT-A2), AUX3(OUT-A3), AUX1(OUT-B1), AUX2(OUT-B2), AUX3(OUT-B3)			
	HDMI Output	パラメーター	Size	Color	Scale	Move Detect
		設定範囲	Auto, XGA, WXGA, SXGA, WSXGA+, UXGA, WUXGA, WQHD, Native	Auto, RGB, YUV444, YUV422	Fit-V, Fit-H, Full, Full90%, Full80%	1 ~ 5
		初期値	Auto	Auto	Full	5

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Config	Operate	パラメーター	Bus Mode	Time Unit	Delegation	
		設定範囲	A/B, PGM-A/ PST-B, PGM-B/ PST-A	Sec, Frame	On, Off	
		初期値	PGM-A/PST-B	Sec	On	
	Key/DSK Link1	パラメーター	Key1	Key2	Key3	
		設定範囲	Off, Group1, Group2, Group3, Group4	Off, Group1, Group2, Group3, Group4	Off, Group1, Group2, Group3, Group4	
		初期値	Off	Off	Off	
	Key/DSK Link2	パラメーター	DSK1	DSK2		
		設定範囲	Off, Group1, Group2, Group3, Group4	Off, Group1, Group2, Group3, Group4		
		初期値	Off	Off		
	Assign	パラメーター	FTB Source	DSK1 on AUX1	DSK2 on AUX2	
		設定範囲	Still1, Still2, Clip1, Clip2, CBGD1, CBGD2, White, Black	On, Off	On, Off	
		初期値	Black	Off	Off	
	ROI	パラメーター	SDI IN	IN-A	IN-B	
		設定範囲	On, Off	On, Off	On, Off	
		初期値	Off	Off	Off	
	Latency	パラメーター	BKGD	Key		
		設定範囲	1F Fix, Minimum	1F Fix, Minimum		
		初期値	Minimum	Minimum		
	LCD Backlight	パラメーター	Light	Adjust		
		設定範囲	On, Off, 60, 120, 180	80%, 90%, 100%, 110%, 120%, 130%, 140%, 150%		
		初期値	On	100%		
	Button Illumination	パラメーター	Dimmer	Lighting	XPT Color	Transition Color
		設定範囲	Off, 80%, 90%, 100%, 110%, 120%, 130%, 140%, 150%		Input, Color Group1, Color Group2, Color Group3, Color Group4, Color Group5, Color Group6, Color Group7, Color Group8	
		初期値	100%	150%	Input	Input
Color Group SDI IN 1/2	パラメーター	IN1	IN2	SDI IN3	SDI IN4	
	設定範囲	Color Group1, Color Group2, Color Group3, Color Group4, Color Group5, Color Group6, Color Group7, Color Group8				
	初期値	Color Group1	Color Group1	Color Group1	Color Group1	
Color Group SDI IN 2/2	パラメーター	SDI IN5	SDI IN6	SDI IN7	SDI IN8	
	設定範囲	設定範囲は、Color Group SDI IN 1/2 サブメニューと同じです。				
	初期値	Color Group1	Color Group1	Color Group1	Color Group1	
Color Group Option	パラメーター	IN-A1	IN-A2	IN-A3	IN-A4	
	設定範囲	設定範囲は、Color Group SDI IN 1/2 サブメニューと同じです。				
	初期値	Color Group1	Color Group1	Color Group1	Color Group1	

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Config	Color Group Option	パラメーター	IN-B1	IN-B2	IN-B3	IN-B4
		設定範囲 ----- 初期値	設定範囲は、Color Group SDI IN 1/2 サブメニューと同じです。			
	Color Group Internal	パラメーター	Black	CBGD 1	CBGD 2	CBAR
		設定範囲 ----- 初期値	設定範囲は、Color Group SDI IN 1/2 サブメニューと同じです。			
	Color Group Still	パラメーター	Still 1V	Still 1K	Still 2V	Still 2K
		設定範囲 ----- 初期値	設定範囲は、Color Group SDI IN 1/2 サブメニューと同じです。			
	Color Group Clip	パラメーター	Clip 1V	Clip 1K	Clip 2V	Clip 2K
		設定範囲 ----- 初期値	設定範囲は、Color Group SDI IN 1/2 サブメニューと同じです。			
	Color Group Other	パラメーター	CLN	Key Out	Shift	Macro Attach
		設定範囲 ----- 初期値	設定範囲は、Color Group SDI IN 1/2 サブメニューと同じです。			
	Color Group Transition	パラメーター	AUTO	CUT	MIX	WIPE
		設定範囲 ----- 初期値	設定範囲は、Color Group SDI IN 1/2 サブメニューと同じです。			
	Color Group Next Trans	パラメーター	BKGD	KEY		
		設定範囲 ----- 初期値	設定範囲は、Color Group SDI IN 1/2 サブメニューと同じです。			
	Color Group KEY ON	パラメーター	KEY1 ON	KEY2 ON	KEY3 ON	
		設定範囲 ----- 初期値	設定範囲は、Color Group SDI IN 1/2 サブメニューと同じです。			
	Color Group DSK/FTB ON	パラメーター	DSK1 ON	DSK2 ON	FTB ON	
		設定範囲 ----- 初期値	設定範囲は、Color Group SDI IN 1/2 サブメニューと同じです。			
	Button Color Group1	パラメーター	R	G	B	
		設定範囲 ----- 初期値	0.0 ~ 1.5 0.1	0.0 ~ 1.5 0.1	0.0 ~ 1.5 0.1	

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Config	Button Color Group2	パラメーター	R	G	B	
		設定範囲 初期値	0.0 ~ 1.5 0.1	0.0 ~ 1.5 0.1	0.0 ~ 1.5 0.0	
	Button Color Group3	パラメーター	R	G	B	
		設定範囲 初期値	0.0 ~ 1.5 0.0	0.0 ~ 1.5 0.1	0.0 ~ 1.5 0.1	
	Button Color Group4	パラメーター	R	G	B	
		設定範囲 初期値	0.0 ~ 1.5 0.0	0.0 ~ 1.5 0.1	0.0 ~ 1.5 0.0	
	Button Color Group5	パラメーター	R	G	B	
		設定範囲 初期値	0.0 ~ 1.5 0.1	0.0 ~ 1.5 0.0	0.0 ~ 1.5 0.1	
	Button Color Group6	パラメーター	R	G	B	
		設定範囲 初期値	0.0 ~ 1.5 0.1	0.0 ~ 1.5 0.0	0.0 ~ 1.5 0.0	
	Button Color Group7	パラメーター	R	G	B	
		設定範囲 初期値	0.0 ~ 1.5 0.0	0.0 ~ 1.5 0.0	0.0 ~ 1.5 0.1	
	Button Color Group8	パラメーター	R	G	B	
		設定範囲 初期値	0.0 ~ 1.5 0.0	0.0 ~ 1.5 0.0	0.0 ~ 1.5 0.0	
	WFM	パラメーター	Style	Mode		
		設定範囲 初期値	Parade, Overlay Parade	YPbPr, RGB, Y YPbPr		
	Vector	パラメーター	Bar Target			
		設定範囲 初期値	75%, 100% 100%			
	User Button1-4	パラメーター	User1	User2	User3	User4
		設定範囲 初期値	Key1 PVW, Key2 PVW, Key3 PVW, DSK1 PVW, DSK2 PVW, GPII-EN, GPIO-EN, SHIFT, AUX Trans, AUX1 Trans, AUX2 Trans, DSK1 on AUX1, DSK2 on AUX2, Effect Dissolve, Macro Attach, None			
		初期値	Key1 PVW	Key2 PVW	Key3 PVW	DSK1 PVW
	User Button5-8	パラメーター	User5	User6	User7	User8
		設定範囲 初期値	設定範囲は、User Button1-4 サブメニューと同じです。			
		初期値	DSK2 PVW	AUX Trans	Effect Dissolve	SHIFT
	AUX Name1-2	パラメーター	AUX1 Type	AUX1 Name	AUX2 Type	AUX2 Name
		設定範囲 初期値	Default, User Default		Default, User Default	
	AUX Name3-4	パラメーター	AUX3 Type	AUX3 Name	AUX4 Type	AUX4 Name
		設定範囲 初期値	Default, User Default		Default, User Default	
GPI-In Setting	パラメーター	GPI-In Enable	AUX Sel			
	設定範囲 初期値	On, Off On	AUX1, AUX2, AUX3, AUX4 AUX1			

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
Config	GPI-In Port1/2	パラメーター	Port1 Assign	Port2 Assign	Port3 Assign	Port4 Assign
		設定範囲	No Assign, AUTO, CUT, KEY1 ON, KEY2 ON, KEY3 ON, DSK1 ON, DSK2 ON, FTB ON, BKGD AUTO, BKGD CUT, KEY1 AUTO, KEY1 CUT, REC Still1, REC Still2, REC Clip1, PLAY Clip1, STOP Clip1, REC Clip2, PLAY Clip2, STOP Clip2, AUX XPT1 ~ 24, TlyG1 DSBL, TlyG2 DSBL, AUX Tly DSBL, MACRO001 ~ 100, MACRO Cancel			
		初期値	No Assign	No Assign	No Assign	No Assign
	GPI-In Port2/2	パラメーター	Port5 Assign	Port6 Assign	Port7 Assign	Port8 Assign
		設定範囲	設定範囲は、GPI-In Port1/2 サブメニューと同じです。			
		初期値	No Assign	No Assign	No Assign	No Assign
	GPI-Out Setting	パラメーター	GPI-Out Enable	AUX Tly Sel		
		設定範囲	On, Off	AUX1, AUX2, AUX3, AUX4		
		初期値	On	AUX1		
	GPI-Out Port1/5	パラメーター	Port1 Assign	Port2 Assign	Port3 Assign	Port4 Assign
		設定範囲	No Assign, AUTO, CUT, KEY1 ON, KEY2 ON, KEY3 ON, DSK1 ON, DSK2 ON, FTB ON, BKGD AUTO, BKGD CUT, KEY1 AUTO, KEY1 CUT, TlyG1 SDI IN1 ~ TlyG1 SDI IN8, TlyG1 HDMI IN1, TlyG1 HDMI IN2, TlyG1 IN-A1 ~ TlyG1 IN-A4, TlyG1 IN-B1 ~ TlyG1 IN-B4, TlyG2 SDI IN1 ~ TlyG2 SDI IN8, TlyG2 HDMI IN1, TlyG2 HDMI IN2, TlyG2 IN-A1 ~ TlyG2 IN-A4, TlyG2 IN-B1 ~ TlyG2 IN-B4, AuxTly SDI IN1 ~ AuxTly SDI IN8, AuxTly HDMI IN1, AuxTly HDMI IN2, AuxTly IN-A1 ~ AuxTly IN-A4, AuxTly IN-B1 ~ AuxTly IN-B4, Event MEM			
		初期値	No Assign	No Assign	No Assign	No Assign
	GPI-Out Port2/5	パラメーター	Port5 Assign	Port6 Assign	Port7 Assign	Port8 Assign
		設定範囲	設定範囲は、GPI-Out Port1/5 サブメニューと同じです。			
		初期値	No Assign	No Assign	No Assign	No Assign
	GPI-Out Port3/5	パラメーター	Port9 Assign	Port10 Assign	Port11 Assign	Port12 Assign
		設定範囲	設定範囲は、GPI-Out Port1/5 サブメニューと同じです。			
		初期値	No Assign	No Assign	No Assign	No Assign
	GPI-Out Port4/5	パラメーター	Port13 Assign	Port14 Assign	Port15 Assign	Port16 Assign
		設定範囲	設定範囲は、GPI-Out Port1/5 サブメニューと同じです。			
		初期値	No Assign	No Assign	No Assign	No Assign
	GPI-Out Port5/5	パラメーター	Port17 Assign	Port18 Assign	Port19 Assign	
		設定範囲	設定範囲は、GPI-Out Port1/5 サブメニューと同じです。			
		初期値	No Assign	No Assign	No Assign	
System Menu	パラメーター	Lock				
	設定範囲	On, Off				
	初期値	Off				
Preview Mode	パラメーター	Mode Select				
	設定範囲	PVW Mode1, PVW Mode2				
	初期値	PVW Mode1				

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー [F1]で選択		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
			[F2]で選択	[F3]で選択	[F4]で選択	[F5]で選択
Config	Key Source Signal Coupling1	パラメーター	Fill/Source			
		設定範囲	Fill To Source, Source To Fill			
		初期値	Fill To Source			
	Key Source Signal Coupling2	パラメーター	IN1	IN2	SDI IN3	SDI IN4
		設定範囲	IN1, IN2, SDI IN3, SDI IN4, SDI IN5, SDI IN6, SDI IN7, SDI IN8, IN-A1, IN-A2, IN-A3, IN-A4, IN-B1, IN-B2, IN-B3, IN-B4, Black, CBGD 1, CBGD 2, CBAR, Still 1V, Still 1K, Still 2V, Still 2K, Clip 1V, Clip 1K, Clip 2V, Clip 2K			
		初期値	IN1	IN2	SDI IN3	SDI IN4
	Key Source Signal Coupling3	パラメーター	SDI IN5	SDI IN6	SDI IN7	SDI IN8
		設定範囲	設定範囲は、Key Source Signal Coupling2 サブメニューと同じです。			
		初期値	SDI IN5	SDI IN6	SDI IN7	SDI IN8
	Key Source Signal Coupling4	パラメーター	IN-A1	IN-A2	IN-A3	IN-A4
		設定範囲	設定範囲は、Key Source Signal Coupling2 サブメニューと同じです。			
		初期値	IN-A1	IN-A2	IN-A3	IN-A4
	Key Source Signal Coupling5	パラメーター	IN-B1	IN-B2	IN-B3	IN-B4
		設定範囲	設定範囲は、Key Source Signal Coupling2 サブメニューと同じです。			
		初期値	IN-B1	IN-B2	IN-B3	IN-B4
	Key Source Signal Coupling6	パラメーター	Black	CBGD 1	CBGD 2	CBAR
		設定範囲	設定範囲は、Key Source Signal Coupling2 サブメニューと同じです。			
		初期値	Black	CBGD 1	CBGD 2	CBAR
	Key Source Signal Coupling7	パラメーター	Still 1V	Still 1K	Still 2V	Still 2K
		設定範囲	設定範囲は、Key Source Signal Coupling2 サブメニューと同じです。			
	初期値	Still 1V	Still 1K	Still 2V	Still 2K	
Key Source Signal Coupling8	パラメーター	Clip 1V	Clip 1K	Clip 2V	Clip 2K	
	設定範囲	設定範囲は、Key Source Signal Coupling2 サブメニューと同じです。				
	初期値	Clip 1V	Clip 1K	Clip 2V	Clip 2K	
System/Locked (ロック時)			(全メニューグレーアウト)			

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
System (ロック解除時)	Format	パラメーター	Format	Switcher Mode	Color Space	
		設定範囲	2160/59.94P, 50P, 29.97P, 25P, 24P, 23.98P 1080/59.94P, 50P, 59.94i, 50i, 29.97p, 25p, 24p, 23.98p, 29.97Psf, 25Psf, 24Psf, 23.98Psf 720/59.94P, 50P	2K, 4K, HD	HDR, BT.2020, HDR BT.709, SDR BT.709	
		初期値	1080/59.94i	2K	SDR BT.709	
	Output Phase	パラメーター	System	H-Phase	V-Phase	
		設定範囲	0H, 1H	- 0.50 ~ 0.49	- 100 ~ 100	
		初期値	0H	0	0	
	Reference	パラメーター	Sync	BB Setup	Gen Lock	
		設定範囲	BB, BB Advanced, Tri- level Sync, Internal	OIRE, 7.5IRE	Locked, Unlocked	
		初期値	BB	7.5IRE	Unlocked	
	Ancillary1	パラメーター	AUX	PGM	PVW	CLN
		設定範囲	On, Off	On, Off	On, Off	On, Off
		初期値	Off	Off	Off	Off
	Ancillary2	パラメーター	MV			
		設定範囲	PGM, PVW, Off			
		初期値	Off			
	Audio1	パラメーター	AUX1	AUX2	AUX3	AUX4
		設定範囲	IN1, IN2, SDI IN3 ~ 8, IN-A1 ~ 4, IN-B1 ~ 4, Follow Video, OFF			
		初期値	Follow Video			
	Audio2	パラメーター	PGM	PVW	CLN	MV
		設定範囲	IN1, IN2, SDI IN3 ~ 8, IN-A1 ~ 4, IN-B1 ~ 4, Follow Video, OFF			
	初期値	Follow Video				
Test Tone	パラメーター	Color Bar				
	設定範囲	Normal, Low, Off				
	初期値	Normal				

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー [F1] で選択		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
			[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
System (ロック解除時)	Alarm	パラメーター	Power	Fan	Temperature	
		設定範囲	Alarm, No Alarm	Alarm, No Alarm	Alarm, No Alarm	
		初期値				
	Initial	パラメーター	Initial	Fader Initial		
		設定範囲	Execute	Execute		
		初期値				
	Network1	パラメーター	IP Address			
		設定範囲	0 ~ 255			
		初期値	192.168.0.8			
	Network2	パラメーター	Subnet Mask			
		設定範囲	0 ~ 255			
		初期値	255.255.255.0			
	Network3	パラメーター	Default Gateway			
		設定範囲	0 ~ 255			
		初期値				
	Network4	パラメーター	MAC Address			
		設定範囲	表示のみ			
		初期値				
	SW Ctrl Panel Settings	パラメーター	User Name	Password		
		設定範囲		Execute		
		初期値				
	ExtPanel Info	パラメーター	Disable/Enable	PortNo		
		設定範囲	Disable, Enable	62000 ~ 65535		
		初期値	Disable	62010		
	ExtPanelip SMEMRecall1	パラメーター	ME	DSK	AUX	
		設定範囲	On, Off	On, Off	On, Off	
		初期値	Off	Off	Off	
	ExtPanelip SMEMRecall2	パラメーター	CBGD	XPT		
		設定範囲	On, Off	On, Off		
		初期値	Off	Off		
	ExtControl Switcher	パラメーター	Disable/Enable	PortNo	IntervalTime	Response
		設定範囲	Disable, Enable	62000 ~ 65535	0ms, 16ms, 32ms, 48ms, 64ms, 80ms	On, Off
		初期値	Disable	62000	16ms	On
ExtControl AUX Panel1	パラメーター	IP Address1	IP Address2	IP Address3	IP Address4	
	設定範囲	0 ~ 255	0 ~ 255	0 ~ 255	0 ~ 255	
	初期値	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	
ExtControl AUX Panel2	パラメーター	IP Address5	IP Address6	IP Address7	IP Address8	
	設定範囲	0 ~ 255	0 ~ 255	0 ~ 255	0 ~ 255	
	初期値	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	
ExtControl AUX Panel3	パラメーター	IP Address9	IP Address10	IP Address11	IP Address12	
	設定範囲	0 ~ 255	0 ~ 255	0 ~ 255	0 ~ 255	
	初期値	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー [F1] で選択		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
			[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
System (ロック解除時)	ExtControl AUX Panel4	パラメーター	IP Address13	IP Address14	IP Address15	IP Address16
		設定範囲 ----- 初期値	0 ~ 255 0.0.0.0	0 ~ 255 0.0.0.0	0 ~ 255 0.0.0.0	0 ~ 255 0.0.0.0
	ExtControl AUX Panel5	パラメーター	IP Address17	IP Address18	IP Address19	IP Address20
		設定範囲 ----- 初期値	0 ~ 255 0.0.0.0	0 ~ 255 0.0.0.0	0 ~ 255 0.0.0.0	0 ~ 255 0.0.0.0
	ExtControl AUX Panel6	パラメーター	PortNo			
		設定範囲 ----- 初期値	60000 ~ 65535 65000			
	Macro Trigger Control1	パラメーター	Disable/Enable			
		設定範囲 ----- 初期値	Disable, Enable Disable			
	Macro Trigger Control2	パラメーター	IP Address1	Macro1	IP Address2	Macro2
		設定範囲 ----- 初期値	0 ~ 255 0.0.0.0	No Assign, Macro001 ~ Macro100 No Assign	0 ~ 255 0.0.0.0	No Assign, Macro001 ~ Macro100 No Assign
	Macro Trigger Control3	パラメーター	IP Address3	Macro3	IP Address4	Macro4
		設定範囲 ----- 初期値	0 ~ 255 0.0.0.0	No Assign, Macro001 ~ Macro100 No Assign	0 ~ 255 0.0.0.0	No Assign, Macro001 ~ Macro100 No Assign
	Macro Trigger Control4	パラメーター	IP Address5	Macro5	IP Address6	Macro6
		設定範囲 ----- 初期値	0 ~ 255 0.0.0.0	No Assign, Macro001 ~ Macro100 No Assign	0 ~ 255 0.0.0.0	No Assign, Macro001 ~ Macro100 No Assign
	Macro Trigger Control5	パラメーター	IP Address7	Macro7	IP Address8	Macro8
		設定範囲 ----- 初期値	0 ~ 255 0.0.0.0	No Assign, Macro001 ~ Macro100 No Assign	0 ~ 255 0.0.0.0	No Assign, Macro001 ~ Macro100 No Assign

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー [F1] で選択		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
			[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
System (ロック解除時)	Macro Trigger Control6	パラメーター	IP Address9	Macro9	IP Address10	Macro10
		設定範囲	0 ~ 255	No Assign, Macro001 ~ Macro100	0 ~ 255	No Assign, Macro001 ~ Macro100
		初期値	0.0.0.0	No Assign	0.0.0.0	No Assign
	Macro Trigger Control7	パラメーター	IP Address11	Macro11	IP Address12	Macro12
		設定範囲	0 ~ 255	No Assign, Macro001 ~ Macro100	0 ~ 255	No Assign, Macro001 ~ Macro100
		初期値	0.0.0.0	No Assign	0.0.0.0	No Assign
	Macro Trigger Control8	パラメーター	IP Address13	Macro13	IP Address14	Macro14
		設定範囲	0 ~ 255	No Assign, Macro001 ~ Macro100	0 ~ 255	No Assign, Macro001 ~ Macro100
		初期値	0.0.0.0	No Assign	0.0.0.0	No Assign
	Macro Trigger Control9	パラメーター	IP Address15	Macro15	IP Address16	Macro16
		設定範囲	0 ~ 255	No Assign, Macro001 ~ Macro100	0 ~ 255	No Assign, Macro001 ~ Macro100
		初期値	0.0.0.0	No Assign	0.0.0.0	No Assign
	Macro Trigger Control10	パラメーター	IP Address17	Macro17	IP Address18	Macro18
		設定範囲	0 ~ 255	No Assign, Macro001 ~ Macro100	0 ~ 255	No Assign, Macro001 ~ Macro100
		初期値	0.0.0.0	No Assign	0.0.0.0	No Assign
	Macro Trigger Control11	パラメーター	IP Address19	Macro19	IP Address20	Macro20
		設定範囲	0 ~ 255	No Assign, Macro001 ~ Macro100	0 ~ 255	No Assign, Macro001 ~ Macro100
		初期値	0.0.0.0	No Assign	0.0.0.0	No Assign
	Tally Mode	パラメーター	Tally Target			
		設定範囲	On, Off			
	初期値	On				

セッティングメニュー一覧

メニュー	サブメニュー		パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3	パラメーター 4
	[F1] で選択		[F2] で選択	[F3] で選択	[F4] で選択	[F5] で選択
System (ロック解除時)	Tally MV Color	パラメーター	Group1	Group2		
		設定範囲	Red	Green		
		初期値	Red	Green		
	Tally Target	パラメーター	Group1	Group2		
		設定範囲	Off, PGM, PVW, CLN, ME PGM, KeyOut, AUX1, AUX2, AUX3, AUX4			
		初期値	PGM	PVW		
	Now	パラメーター	Get Date	Get Time		
		設定範囲	Execute	Execute		
		初期値				
	Date	パラメーター	Year	Month	Day	Set
		設定範囲	2000 ~ 2037	1 ~ 12	1 ~ 31	Execute
		初期値	-	-	-	
	Time	パラメーター	Hour	Minute	Second	Set
		設定範囲	0 ~ 23	0 ~ 59	0 ~ 59	Execute
		初期値	-	-	-	
	System Version	パラメーター	System Version		Set	Delete
		設定範囲	Version number		Execute	Execute
		初期値				
	System Core Version	パラメーター	System Core Version		Update	
		設定範囲	Version number		Execute	
	初期値					
Option	パラメーター	Slot A	Slot B			
	設定範囲	SDI-IN, HDMI-IN, SDI-OUT, HDMI-OUT, 4K-DVE, None				
	初期値					

付 録【用語解説】

本書で使用している用語について説明します。

用 語	解 説
AB Bus AB バス方式	バス制御モードの 1 つです。トランジションの実行により、A バス、B バスの信号が交互にプログラム映像に出力されます。
Ancillary Data アンシラリーデータ	映像シリアルインターフェースのデータストリームの内部で伝送される、映像信号以外の補助データのことです。垂直ブランキング期間に重畳されるデータを V アンシラリーデータ (VANC) と呼びます。
Aspect アスペクト比	画面の縦と横の比率のことです。 HD フォーマットは 16 : 9、SD フォーマットは 4 : 3 です。
AUX [Auxiliary Bus] オグジュアリバス	本線出力以外でスイッチング可能な予備バスのことです。
BB ブラックバースト	BlackBurst (ブラックバースト) 信号の略です。全画面黒レベルのコンポジット信号のことで、Genlock (ゲンロック) 用途の基準信号として利用されます。
Border ボーダー	ワイプやキーの縁に付加する縁取りのことで、幅や色を調整することができます。ボーダーの周りをぼかすことをソフト効果と呼びます。
Chroma Key クロマキー	映像信号の色情報を基にキー信号を作成し、キー合成を行う機能のことです。
Clip クリップ	キーソースからキー信号を作成するときの、輝度のしきい値のことです。
Color Background カラーバックグラウンド	バックグラウンド画像として使用する、内蔵のカラージェネレーターから出力される信号のことです。
Cut カット	次の映像へ瞬時に切り替える効果のことです。
Density デンシティ	キー信号の濃さを調整するパラメーターのことです。
Down Converter ダウンコンバーター	4K フォーマットの素材を、2K/HD フォーマットへ変換する機能のことです。
DSK [Downstream Key] ダウンストリームキー	ミックスエフェクトの最後に行われるキー合成処理のことです。 常に映像の一番手前に合成されます。
DVE [Digital Video Effect] デジタルビデオエフェクト	縮小やスライド効果を伴うトランジションパターンのことです。
Embedded Audio エンベデッドオーディオ	映像シリアルインターフェースのデータストリームの内部で伝送される、オーディオデータパケットのことです。
Flip Flop フリップフロップ方式 (PGM/PST 方式)	バス制御モードの 1 つです。プログラムバスで選択されている信号は常にプログラム映像として出力されます。トランジションの実行により、プログラムバスとプリセットバスの信号が入れ替わります。
Flying Key フライングキー	DVE 効果を利用して、キー信号の移動や拡大、縮小を行う機能のことです。
Frame Synchronizer フレームシンクロナイザー	非同期の映像信号入力の同期を合わせる機能のことです。
Freeze フリーズ	映像信号を静止させる機能のことです。
FTB [Fade to Black] フェードトゥブラック	バックグラウンド映像が黒画面へフェードアウトする効果のことです。
Genlock ゲンロック	外部同期信号を基準に映像信号を同期させる機能のことです。
GPI [General Purpose Interface] ジー・ピー・アイ	外部からオートトランジションを制御するインターフェース信号のことです。

付 録 【用語解説】

用 語	解 説
Hue ヒュー	映像信号の色相（色合い）のことです。
IRE アイ・アール・イー	映像信号レベルの単位のことです。信号のセットアップレベル（黒レベル）を、0 IRE、7.5 IREなどと表します。
Key Edge キーエッジ	キーの縁に付加する縁取り（ボーダー）や影（シャドウ）のことです。
Key Fill キーフィル	キー合成処理で、キー信号で抜いた部分を埋め合わせる信号のことです。
Key Gain キーゲイン	キー信号の増幅度を調整するパラメーターのことです。
Key Invert キーインバート	キー信号を反転させる機能のことです。
Key Mask キーマスク	ボックスパターンなどでキー合成する領域を指定する機能のことです。キー信号の一部の領域だけを使用する場合に、不要な領域をマスクして合成します。
Key Source キーソース	キー信号を作成するための映像信号のことです。
Line Synchronizer ラインシンクロナイザー	入力映像信号の位相を水平同期基準信号の位相に合わせて自動的に調整する機能です。
Linear Key リニアキー	輪郭に階調を持っているモノクロのキー信号を基準にキー合成する機能のことです。
Lum [Luminance] ルミナンス	映像信号の輝度（明るさ）のことです。
Luminance Key ルミナンスキー	映像信号の輝度（明るさ）情報を基にキー信号を作成し、キー合成を行う機能のことです。
ME [Mix Effect] ミックスエフェクト	いくつかの映像信号を合成し、ミックス、ワイプ、キーなどの映像信号を作り出す映像効果装置のことです。
Mix ミックス	次の画像とオーバーラップさせながら画面を切り替える効果のことです。ディゾルブとも呼びます。
Multi View Display マルチビューディスプレイ	複数の素材を合成して、1つの画面に表示する機能のことです。PGM、PVWと入力素材を、1つの画面で同時にプレビューすることができます。
PinP [Picture in Picture] ピクチャー・イン・ピクチャー	バックグラウンド映像に、子画面映像を合成する機能のことです。
PVW [Preview] プレビュー	次のトランジションのあとに出力される映像を事前に確認するための機能です。PVWシステムより出力されます。
PGM [Program Bus] プログラムバス	常にプログラム出力されるバスのことです。
PST [Preset Bus] プリセットバス	次のバックグラウンドトランジションのあとにプログラム出力されるバスのことです。
Sat [Saturation] サチュレーション	映像信号の彩度（色の濃さ）のことです。
SDI [Serial Digital Interface]	SD、HDの各フォーマットの映像信号を1本の同軸ケーブルで伝送する規格のことです。
Self Key セルフキー	キーフィル信号からキー信号を作成して、キー合成する機能のことです。
Setup Data セットアップデータ	パネルの状態を保存し、呼び出すことができるメモリーのことです。ボタンの選択状態やボーダー、色などの設定情報を保存します。
Tally タリー	各入力信号のプログラム出力の状態を外部機器へ出力する信号のことです。パネル上でプログラム出力の状態を示すLEDもタリーと呼びます。

付 録【用語解説】

用 語	解 説
Transition トランジション	画像を切り替える機能のことです。切り替え時の効果は、ワイプ、ミックスなどがあります。
Tri-level Sync トライレベルシンク (3 値シンク)	HD フォーマット用の同期信号のことです。
Trimming トリミング	PinP で合成する映像の上下左右の不要な部分をカットする機能のことです。
Up Converter アップコンバーター	2K/HD フォーマットの素材を、解像度の高い4K フォーマットへ変換する機能のことです。
Video Memory ビデオメモリー	キー信号付きの映像（静止画と動画）を保持することができるメモリーのことです。
Wipe ワイプ	特定のパターンに従って、現在の画面と次の画面の境界を移動させながら、画面を切り替える効果のことです。

A		Config	208
AUXバスクロスポイントボタン	18	Assign	208
B		AUX Name1-2	210
Background	181	AUX Name3-4	210
3D Modify	181	Button Color Group1	209
Border	181	Button Color Group2	210
Border Color	181	Button Color Group3	210
Clip Trans Sync	181	Button Color Group4	210
Modify	181	Button Color Group5	210
Position	181	Button Color Group6	210
Transition Margin	181	Button Color Group7	210
Transition Time	181	Button Color Group8	210
BKGD/KEYパターン選択ボタン	19	Button Illumination	208
C		Color Group Clip	209
Camera	192	Color Group DSK/FTB ON	209
ABB	193	Color Group Internal	209
AWB	192	Color Group KEY ON	209
Camera Control	192	Color Group Next Trans	209
Camera Information	192	Color Group Option	208
Control Speed	192	Color Group Other	209
Gain1	193	Color Group SDI IN 1/2	208
Gain2	193	Color Group SDI IN 2/2	208
Lens Control	192	Color Group Still	209
Lock	193	Color Group Transition	209
OSD Menu & Color Bars	192	GPI-In Port1/2	211
Pedestal	193	GPI-In Port2/2	211
Preset Settings	193	GPI-In Setting	210
Chroma Key	188	GPI-Out Port1/5	211
Adjust	188	GPI-Out Port2/5	211
Adjusting Mode	188	GPI-Out Port3/5	211
Auto Compute	188	GPI-Out Port4/5	211
Chroma Key	188	GPI-Out Port5/5	211
Fine Tuning	188	GPI-Out Setting	211
Sampling	188	Key/DSK Link1	208
Sampling Area	188	Key/DSK Link2	208
Value	188	Key Source Signal Coupling1	212
Color Background	182	Key Source Signal Coupling2	212
CBGD1 Main	182	Key Source Signal Coupling3	212
CBGD1 Move	182	Key Source Signal Coupling4	212
CBGD1 Sub	182	Key Source Signal Coupling5	212
CBGD1 Wash	182	Key Source Signal Coupling6	212
CBGD1 Wave	182	Key Source Signal Coupling7	212
CBGD2 Main	182	Key Source Signal Coupling8	212
CBGD2 Move	182	Latency	208
CBGD2 Sub	182	LCD Backlight	208
CBGD2 Wash	182	Operate	208
CBGD2 Wave	182	Preview Mode	211
		ROI	208
		System Menu	211
		User Button1-4	210
		User Button5-8	210
		Vector	210
		WFM	210

D	
DSK1	188
Adjust	188
DSK	188
DSK On	189
DSK Priority	189
DSK Signal Coupling	189
Fill Matte	188
Mask	189
Mask Adjust	189
PinP	189
PinP Border	189
PinP Border Color	189
PinP Position	189
PinP Sync	189
PinP Trim	189
PinP Trim Adjust	189
DSK2	190
Adjust	190
DSK	190
DSK On	190
DSK Priority	190
DSK Signal Coupling	190
Fill Matte	190
Mask	190
Mask Adjust	190
E	
Event Memory	198
Event Duration	198
Mark	198
Path	198
Play	198
Register	198
Target Select1	198
Target Select2	198
Timeline	198
Total Duration	198
I	
Input	202、205
Camera Settings1	205
Camera Settings2	205
Camera Settings3	205
Camera Settings4	205
Input	202
Input (HDMI)	204
C/C Matrix B	205
C/C Matrix R/G	205
C/C Operation	204
C/C Process	204
C/C Setting	205
C/C Tone1 Black	204
C/C Tone2 Gray L	205
C/C Tone3 Gray H	205
C/C Tone4 White	205
Freeze	204
HDMI Input	204
HDMI Status	204
Limited	204
Name	204
ROI	204
ROI Preset	204
Input (SDI)	203
C/C Matrix B	204
C/C Matrix R/G	204
C/C Operation	203
C/C Process	203
C/C Setting	204
C/C Tone1 Black	203
C/C Tone2 Gray L	203
C/C Tone3 Gray H	203
C/C Tone4 White	203
Freeze	203
FS	203
Name	203
ROI	203
ROI Preset	203
Status	203
Up/Down Converter	203
K	
Key1	183
3D Modify	183
Adjust	183
Edge1	183
Edge2	183
Edge Color	183
Fill Matte	183
Flying Key Aspect	183
Flying Key Rotation	183
Flying Key Rotation/Size	183
Key	183
Key On	184
Key Priority	184
Key Signal Coupling	184
Mask	184
Mask Adjust	184
PinP	184
PinP Border	184
PinP Border Color	184
PinP Position	184
PinP Sync	184
PinP Trim	184

PinP Trim Adjust	184	MV Frame	200、201
Position	183	MV Pattern 1/4	200、201
Transition	183	MV Pattern 2/4	200、201
Key2	185	MV Pattern 3/4	200、201
Adjust	185	MV Pattern 4/4	200、201
Edge1	185	MV Split	200、201
Edge2	185	Tally Group1	200、201
Edge Color	185	Tally Group2	200、201
Fill Matte	185		
Key	185	O	
Key On	186	Output	206
Key Priority	186	Output	206
Key Signal Coupling	186	Output (HDMI)	207
Mask	185	Assign	207
Mask Adjust	185	HDMI Output	207
PinP	185	Output (SDI)	206
PinP Border	185	Assign	206
PinP Border Color	185	Down Converter	206
PinP Position	186		
PinP Sync	186	P	
PinP Trim	186	PGM/Aバスクロスポイントボタン	17
PinP Trim Adjust	186	Project File	194
Key3	187	Last Load Date	194
Adjust	187	Last Load File	194
Fill Matte	187	Local	194
Key	187	Project File	194
Key On	187	Target Select 1	194
Key Priority	187	Target Select2	194
Key Signal Coupling	187	PST/Bバスクロスポイントボタン	17
Mask	187		
Mask Adjust	187	S	
		SD Card	194
L		Card Information	194
LANケーブル	140	Card Management	194
		Create Thumbnail	194
M		File	194
Macro	197	Mode	194
Attach	198	Target Select 1	194
Insert Delay	197	Target Select2	194
Macro Assign 1/6	197	Shot Memory	198
Macro Assign 2/6	197	Path	198
Macro Assign 3/6	197	Register	198
Macro Assign 4/6	197	Target Select 1	198
Macro Assign 5/6	197	Target Select2	198
Macro Assign 6/6	197	System	213
Register	198	Alarm	214
Store Select1	197	Ancillary1	213
Store Select2	197	Ancillary2	213
Multi View Display	199	Audio1	213
Display	200、201	Audio2	213
MV	199		

Date	217
ExtControl AUX Panel1	214
ExtControl AUX Panel2	214
ExtControl AUX Panel3	214
ExtControl AUX Panel4	215
ExtControl AUX Panel5	215
ExtControl AUX Panel6	215
ExtControl Switcher	214
ExtPanel Info	214
ExtPanelip SMEMRecall1	214
ExtPanelip SMEMRecall2	214
Format	213
Initial	214
Macro Trigger Control1	215
Macro Trigger Control2	215
Macro Trigger Control3	215
Macro Trigger Control4	215
Macro Trigger Control5	215
Macro Trigger Control6	216
Macro Trigger Control7	216
Macro Trigger Control8	216
Macro Trigger Control9	216
Macro Trigger Control10	216
Macro Trigger Control11	216
Network1	214
Network2	214
Network3	214
Network4	214
Now	217
Option	217
Output Phase	213
Reference	213
SW Ctrl Panel Settings	214
System Core Version	217
System Version	217
Tally Mode	216
Tally MV Color	217
Tally Target	217
Test Tone	213
Time	217

T

Time	191
AUX1 BUS Trans	191
AUX2 BUS Trans	191
BKGD	191
DSK1	191
DSK2	191
Effect Dissolve	191
FTB	191
Key1	191
Key2	191
Key3	191

V

Video Memory	195
Limit Time	196
Memory	195、196
Play Mode	195
Play Mode1	196
Play Mode2	196
Rec1	195、196
Rec2	195、196
Rec3	196
Test Pattern	195
Video Memory1	195、196
Video Memory2	196
Video Memory3	196

X

XPT	199
XPT Assign 1/6	199
XPT Assign 2/6	199
XPT Assign 3/6	199
XPT Assign 4/6	199
XPT Assign 5/6	199
XPT Assign 6/6	199
XPT Setting	199
XPT Switch	199

ふ

フェーダーレバー	21
----------------	----

ほ

ポジションナー	24
---------------	----

め

メニュー	28
メニュー選択ボタン	23、28
メモリー操作ボタン	19

ゆ

ユーザーボタン	20
---------------	----

ろ

ロータリーエンコーダー	23、24、28
-------------------	----------

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2020-2022